

^{тури-щитлуэ} **D5300**

活用ガイド

ニコンデジタルー眼レフカメラをお買い上げくださいまして、誠にありがとうございま す。お使いになる前に、使用説明書と活用ガイド(本書)をよくお読みになり、内容を 充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がい つでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

本書について

本書では、次から知りたいことを簡単に探し出すことができます。



本文中のマークについて

本書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

□ 本書上で関連情報が記載されているページです。

表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SDカード」と表記 しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- •ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- •本書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。

ヘルプ機能

このカメラにはヘルプ機能が付いています。メニュー操作時などに、液晶モニターでその項目の意味などを調べることができます。詳しくはCD8をご覧ください。

☆安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されてい ます。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくはロx~xviをご覧 ください。

目 次

安全上のご注意		X
ご確認ください		xv
位置情報機能につい	いて	xvii
Wi-Fi(無線 LAN)	機能について	xviii

お使いになる前に

各部の名称	. 1
メニューを使う	. 8

撮影前の準備をする

かんたんに静止画 / 動画を撮影する

(🖀 オート / 🕄 発光禁止オート)

ファインダーをのぞいて静止画を撮影する	20
撮影した画像を再生する(1コマ表示モード)	22
不要な画像を削除する	22
液晶モニターを見ながら静止画を撮影する(ライブビュー撮影)	24
撮影した画像を再生する(1コマ表示モード)	26
不要な画像を削除する	26
動画を撮影する	27
撮影した動画を再生する	28
不要な動画を削除する	29

被写体や状況に合わせて撮影する(シーンモード)

ź	(ポートレート)	. 31
	(風景)	. 31
2	(こどもスナップ)	. 31
÷	(スポーツ)	. 32
٠	(クローズアップ)	. 32
• *	(夜景ポートレート)	. 33
ш,	(夜景)	. 33
*	(パーティー)	. 34
)/8	(海・雪)	. 34
	(夕焼け)	. 34
· · ··	(トワイライト)	. 35

1

11

19

**	(ペット)	35
٥	(キャンドルライト)	35
Ģ	(桜)	36
Ģ	(紅葉)	36
۳ſ	(料理)	36

特殊効果をつけて撮影する(スペシャルエフェクトモード) 37

20	(ナイトビジョン)	37
3	(カラースケッチ)	38
D TOY	(トイカメラ風)	38
	(ミニチュア効果)	38
<i>A</i>	(セレクトカラー)	39
ĩ	(シルエット)	39
HI	(ハイキー)	39
Lo	(ローキー)	40
ġ	(HDR ペインティング)	40

47

撮影機能を使いこなす

レリーズモードを選ぶ	47
連写で撮影する	48
静音撮影する	50
セルフタイマーを使って撮影する	51
ファインダー撮影時にオートフォーカスでピントを合わせる	53
ピントの合わせ方を選ぶ(フォーカスモード)	53
フォーカスポイントの選び方を決める(AF エリアモード)	55
フォーカスポイントを自分で選ぶ	57
フォーカスロック撮影	57
マニュアルフォーカスでピントを合わせる	59
画質や画像のサイズを変更する	61
画質モードを設定する	61
画像サイズを設定する	63
内蔵フラッシュを使う	64
内蔵フラッシュが自動的に上がる撮影モードの場合	64
内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モードの場合	66
ISO 感度を設定する	69
設定した間隔で撮影する(インターバルタイマー撮影)	70

リモコン撮影する	
別売のリモコン ML-L3 を使って撮影する	
最初の設定に戻す (ツーボタンリセット)	74
位置情報機能を使う	76
位置情報を記録しながら撮影する	
位置情報のログを取得する	
保存したログを削除する	
GPS 設定	

P、S、A、M モードで撮影する

撮影モード P、S、A、M を使う	
P :プログラムオート	
S :シャッター優先オート	
A:絞り優先オート	
M:マニュアル	
長時間露出で撮影する(撮影モード M のみ)	
被写体の露出(明るさ)を設定する	
明るさを測る方法を設定する(測光モード)	
AE ロック撮影	
画像の明るさを調整する(露出補正)	
フラッシュの発光量を調整する(フラッシュ調光補正)	
白とびや黒つぶれを抑えて撮影する	
アクティブ D- ライティング	
HDR(ハイダイナミックレンジ)合成を行う	100
多重露出撮影をする	102
ホワイトバランスを合わせる	105
ホワイトバランスを微調整する	107
プリセットマニュアルを使う	108
明るさ、ホワイトバランス、アクティブ D- ライティングを変えながら	
撮影する (オートブラケティング撮影)	112
画像の仕上がりを設定したり、思い通りに調整する	
(ピクチャーコントロール)	116
ピクチャーコントロールを選ぶ	116
ピクチャーコントロールを調整する	117
カスタムピクチャーコントロールを登録する	120
SDカードを使ってピクチャーコントロールを対応ソフトウェア	
と共用する	122

ライブビュー撮影(液晶モニターを見ながら撮影する) 123

ライブビュー撮影する	123
ライブビュー撮影時のピントの合わせ方を選ぶ	
(フォーカスモード)	124
ライブビュー撮影時のフォーカスポイントの選び方を決める	
(AF エリアモード)	125

動画の撮影と再生

動画を撮影する	132
動画の設定	135
動画を再生する	137
動画の編集	138
動画の必要な部分を残す	138
動画の1フレームを JPEG 画像として保存する	140

画像の再生と削除

141

画像を1コマずつ再生する (1コマ表示モード)	141
画像情報を表示する	142
複数の画像を一覧表示する(サムネイル表示モード)	148
撮影した日付ごとに画像を表示する(カレンダー表示モード)	149
画像を拡大表示する	150
画像を保護する (プロテクト)	151
画像にレーティング(重要度)を設定する	152
表示中の画像にレーティングを設定する	152
複数の画像にレーティングを設定する	153
画像を削除する	154
表示中の画像を削除する	154
複数の画像をまとめて削除する	155
スライドショーで再生する	157

パソコン、プリンター、テレビとの接続

ViewNX 2 をインストールする	. 159
ViewNX 2 を使う	. 161
パソコンに画像を取り込む	. 161
画像を見る	. 162
プリンターで印刷する(ダイレクトプリント)	. 164
カメラとプリンターを接続する	. 164
1 コマだけプリントする	. 165
複数の画像をプリントする	. 167
プリントしたい画像を指定する(プリント指定)	. 169
テレビで見る	. 171
AV ケーブルを使ってテレビと接続する	. 171
HDMI ケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する	. 172

Wi-Fi を使う

174

Wi-Fi を使ってできること	174
カメラとスマートデバイスを接続する	175
WPSプッシュボタン接続でスマートデバイスと接続する	
(Android OS のみ)	176
スマートデバイスのPINコードをカメラに入力して接続する	
(Android OS のみ)	177
カメラのSSIDをスマートデバイスで選んで接続する	
(Android OS/iOS)	178
スマートデバイスに取り込みたい画像をカメラで送信指定する	180
表示中の画像を送信指定する	180
複数の画像をまとめて送信指定する	181

メニュー項目

▶ 再生メニュー:再生で使える便利な機能	182
削除	182
再生フォルダー設定	183
再生画面設定	183
撮影直後の画像確認	183
縱位置自動回転	183
スライドショー	182
プリント指定(DPOF)	182
レーティング	182
スマートデバイスへの送信指定	182

✿ 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能	184
撮影メニューのリセット	185
記録フォルダー設定	185
画質モード	184
画像サイズ	184
RAW 記録	186
ホワイトバランス	184
ピクチャーコントロール	184
カスタムピクチャーコントロール	184
自動ゆがみ補正	186
色空間	187
アクティブ D- ライティング	184
HDR(ハイダイナミックレンジ)	184
長秒時ノイズ低減	187
高感度ノイズ低減	188
ISO 感度設定	188
レリーズモード	184
多重露出	184
インターバルタイマー撮影	184
光学手ブレ補正	189
動画の設定	184
🖋 カスタムメニュー:撮影に関するさらに詳細な設定	190
カスタムメニューのリセット	191
a:オートフォーカス	192
a1:AF-C モード時の優先	192
a2:AF 点数切り換え	192
a3:内蔵 AF 補助光の照射設定	192
a4:フォーカスエイドインジケーター	193
b:露出	193
b1:露出設定ステップ幅	193
с:АЕ ロック・タイマー	194
c1:半押し AE ロック	194
c2:パワーオフ時間	194
c3:セルフタイマー	195
c4:リモコン待機時間(ML-L3)	

d:撮影・記録・表示	196
d1:電子音設定	196
d2:ファインダー内格子線表示	196
d3:ISO 感度表示	196
d4:連番モード	197
d5:露出ディレーモード	198
d6:デート写し込み設定	199
e:フラッシュ・BKT 撮影	201
e1:内蔵フラッシュ発光	201
e2:オートブラケティングのセット	202
f:操作	202
f1:Fn ボタンの機能	202
f2:AE/AF ロックボタンの機能	203
f3:コマンドダイヤル回転方向の変更	204
f4:カードなし時レリーズ	204
f5:インジケーターの+ / -方向	204
ਊ セットアップメニュー:カメラを使いやすくする基本設定	205
カードの初期化(フォーマット)	206
液晶モニターの明るさ	206
インフォ画面デザイン	206
インフォ画面の自動表示	209
イメージセンサークリーニング	205
クリーニングミラーアップ	205
イメージダストオフデータ取得	209
フリッカー低減	210
地域と日時	211
言語(Language)	211
縦横位置情報の記録	212
画像コメント	213
位置情報	205
ビデオ出力	213
HDMI	205
リモート操作	214
Wi-Fi	205
Eye-Fi 送信機能	214
認証マークの表示	215
ファームウェアバージョン	215

▲ 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能	216
画像編集の操作方法	. 217
D- ライティング	. 218
赤目補正	219
トリミング	. 219
モノトーン	. 220
フィルター効果	. 221
カラーカスタマイズ	222
画像合成	223
RAW 現像 (パソコンを使わずに RAW 画像を JPEG 画像に	
変換する)	225
リサイズ	226
簡単レタッチ	228
傾き補正	228
ゆがみ補正	. 229
魚眼効果	229
塗り絵	230
カラースケッチ	230
アオリ効果	. 231
ミニチュア効果	232
セレクトカラー	233
動画編集	216
編集前後の画像表示	235
冒最近設定した項目/ 同マイメニュー	237
🗐 最近設定したメニューをたどる(最近設定した項目)	238
🗟 よく使うメニューを登録する(マイメニュー)	238

資料

使用できるレンズ	241
外付けのスピードライトについて(別売フラッシュ)	247
ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトに	
ついて	247
ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの)
組み合わせで使用できる機能	248
使用できるアクセサリー	251
SD カード	254
カメラとパワーコネクター、AC アダプターの接続方法	255

カメラのお手入れについて	
保管について	
クリーニングについて	
カメラ内部のお手入れについて	
カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意	
カメラの取り扱い上のご注意	
バッテリーの取り扱いについて	
撮影モード別:設定できる機能一覧	
困ったときは	
電源・表示関連	
撮影関連(全撮影モード共通)	
撮影関連(撮影モード P、S、A、M)	271
再生関連	272
位置情報関連	273
Wi-Fi(無線 LAN)関連	
その他	274
警告メッセージ	275
主な仕様	
レンズキットをご購入のお客様へ	
AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR/	
AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G	287
AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II	
AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VR	296
記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数	
電池寿命について	
索引	
ニコンプラザについて	
修理サービスのご案内	
修理に関するお問い合わせ先	
製品の使い方に関するお問い合わせ先	

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上の ご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止 するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られ るところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定 される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例 ▲ □ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。 ③ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。 € ● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的

● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的 な強制内容(左図の場合はプラグをコンセントから抜く)が描かれています。

▲ 警告 (カメラとレンズについて)

	分解禁止	分解したり修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
	接触禁止 すぐに修理依頼を	落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 バッテリー、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
¢ 0	バッテリーを取る すぐに修理依頼を	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかにバッテリーを取り出すこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。 バッテリーを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
\bigcirc	水かけ禁止	水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと 発火したり感電の原因となります。
\bigcirc	使用禁止	引火、爆発のおそれのある場所では使わない プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用 すると、爆発や火災の原因になります。

	⚠️ 警告 (カメラとレンズについて)
♥ 使用禁止	レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと 失明や視力障害の原因となります。
	車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと 事故の原因となります。
● 発光禁止	フラッシュを人の目に近づけて発光しない 視力障害の原因になります。 撮影時には、1m以上離れてください。 特に乳幼児の撮影には注意してください。
保管注意	幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。
<u> </u>	ストラップが首に巻き付かないようにすること 特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと 首に巻き付いて窒息の原因となります。
● 使用禁止	ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
	指定のバッテリーまたは専用ACアダプターを使用すること 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
	⚠ 注意 (カメラとレンズについて)
《外感電注意	ぬれた手でさわらないこと 感電の原因になることがあります。
使用注意	カメラの電源がONの状態で、長時間直接触れないこと 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
全國保管注意	製品は、幼児の手の届くところに置かない ケガの原因になることがあります。
使用注意	逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと 太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわ すかに外しても火災の原因になることがあります。
全國保管注意	使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
⚠️移動注意	三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。
使用注意	航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする また、搭乗前にGPSの位置情報機能もOFFにする 飛行中は無線通信機能を使わない 病院では、病院の指示に従う 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。 Eye-Fiカードは、あらかじめカメラから取り外してください。

	⚠️注意 (カメラとレンズについて)
 ビデリーを取る デデリーを取る デラグを抜く 	 長期間使用しないときは電源(バッテリーやACアダブター)を外すこと バッテリーの液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをで使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
	内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと やけどや発火の原因になることがあります。
☆ ☆	布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
◎ 放置禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない 故障や火災の原因になることがあります。
	付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。
	▲ 危険 (専用リチウムイオン充電池について)
	バッテリーを火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
分解禁止	バッテリーを分解しない 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
企業	電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
<u>危険</u>	専用の充電器を使用すること 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
<u>危</u> 険	ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと ショートして液もれ、発熱、破裂、発火の原因になりますので、端子カバーを付けて絶縁 してください。
● 使用禁止	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aに対応していない機器には使用しないこと 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。 Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aは、D5300に対応しています。
危険	バッテリーからもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。
	⚠️ 警告 (専用リチウムイオン充電池について)
(保管注意	バッテリーは、幼児の手の届くところに置かない 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
入 水かけ禁止	水につけたり、ぬらさないこと 液もれ、発熱の原因となります。
<u> </u>	変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

	⚠️ 警告 (専用リチウムイオン充電池について)
<u> </u>	充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
全部	バッテリーをリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはビニールテープなどで接点 部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関やリサ イクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
⚠警告	バッテリーからもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。
	⚠️注意 (専用リチウムイオン充電池について)
使用注意	充電中のバッテリーに長時間直接触れないこと 充電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
	⚠ 警告 (チャージャーについて)
分解禁止	分解したり修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
後 接触禁止	落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと 感電したり、破損部でケガをする原因となります。
すぐに修理依頼な	を チャージャーをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
でた ブラグを抜く	 熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにチャージャーをコンセントから抜くこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 を チャージャーをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。ニコンサービス
🔊 水かけ禁止	水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと 発火したり感電の原因となります。
	引火、爆発のおそれのある場所では使わない プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用 すると、爆発や火災の原因になります。
<u>小</u> 警告	電源ブラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること そのまま使用すると火災の原因になります。
○ 使用禁止	雷が鳴り出したらチャージャーに触れないこと 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
感電注意	ぬれた手でチャージャーをコンセントから抜き差ししないこと 感電の原因になることがあります。
	チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)やDC/ACインバー ターなどの電源に接続して使わないこと 発熱、故障、火災の原因となります。

	⚠️注意 (チャージャーについて)
感電注意	ぬれた手でさわらないこと 感電の原因になることがあります。
使用注意	通電中のチャージャーに長時間直接触れないこと 通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
放置注意	製品は、幼児の手の届くところに置かない ケガの原因になることがあります。
○ 禁止	布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

ご確認ください

● 保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店 からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証 書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられ ないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

● カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/support/

● 大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用および利益喪失等に 関する損害等)についての補償はご容赦願います。

● 本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(レンズ、スピードライト、バッテリー、チャージャー、ACアダプター など)に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

• Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14aには、ニコン純正品であることを示すホロ グラムシールが貼られています。

kon Nikon Nik byj<u>N</u> uoyj<u>N</u> uo byj<u>N</u> uoyj<u>N</u> uo kon Nikon Nik

- ・模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発揮できないほか、バッ テリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

● 使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書および活用ガイドの内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書および活用ガイドのPDFファイルをダウンロードできます。

http://downloadcenter.nikonimglib.com/

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

● 著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うこと ができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を 制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法 の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

● カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。 譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してし まう可能性があります。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

- SD カードを譲渡 / 廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、セットアップメニュー [位置情報]の[位置情報記録](ロ76)を [しない]にしてから、SDカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。なお、ホワイトバランスのプリセットマニュアル画像(ロ108)も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。
- セットアップメニュー[位置情報]の[ログリスト]では、SDカード内の全てのログファイルを削除できます(印81)。
- Wi-Fi接続設定は、セットアップメニュー [Wi-Fi] → [接続設定] → [接続設定のリセット] で工場出 荷時の設定にリセットしてください(□179)。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされているものです。

(i)AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます) (ii)個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給する

ことについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること 上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。 詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<u>http://www.mpegla.com</u> をご参照ください。

🚺 アクセサリーについてのご注意

このカメラには、当社製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリーは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください(皿xv)。

位置情報機能について

- セットアップメニュー [位置情報]の[位置情報記録]を[する]にしているときやログの取得中は、 カメラの電源をOFFにした後も位置情報機能やログ取得機能が作動します(ロ76)。航空機内や病院な どの使用禁止・制限区域では、必ず[位置情報記録]を[しない]にしてからカメラの電源をOFFにし てください。カメラが出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
- ・位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。位置情報を記録した静止画、動画、ログファイルを、他人へ譲渡したりインターネットなど複数の人が閲覧できる環境に掲載したりする場合はご注意ください。「カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」(ロxvi)も必ずお読みください。
- このカメラが計測する情報は、あくまでも目安です。航空機、車、人などの航法用途、および測量用途 には使わないでください。
- 登山やトレッキングなどでお使いの際は、地図や航法機器、計測機器を必ず携帯してください。
- 中国および中国の周辺国の国境付近などでは、位置情報機能が正常に機能しない場合があります(2013 年11月現在)。
- ・ 位置情報機能付きカメラを外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめ ください。中国など、国によっては、政府の許可なしに位置情報機能を使用できないことがあります。
 [位置情報記録]を[しない]にしてご使用ください。

<u>Wi-Fi(無線LAN)機能について</u>

● 電波に係わるご注意

本製品のWi-Fiの無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。
 ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。ご購入された国がわからないときは、本書の裏表紙に記載のニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● Wi-Fi (無線LAN) 機能のご注意



Wi-Fi(無線LAN)機能: 2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は2.4 GHz 帯、変調方式はDSSS、OFDM、与干 渉距離は約40 mです。

 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上 に表示しています。

以下の行為は法令で罰せられることがあります。

- 本製品の分解/改造
- 本製品から証明ラベルをはがす
- •本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局(免許を要する無線局)
 - 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
 - アマチュア無線局(免許を要する無線局)

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- •本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、**Wi-Fi**アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書の裏表紙に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
 データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi (無線LAN) 機器としてお使いください。

Wi-Fi機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全 設計や故障に対する適切な処置をしてください。

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利 点がありますが、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能 性があります。
 - 情報の漏洩:悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードなどの個人情報が漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス: 悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんな どの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティーを設定したにもかかわらず、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティーが破られることもありますので、ご理解の上ご使 用ください。
- セキュリティー設定は、専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」(□175)を使って行うことができます。
- 液晶モニターやスマートデバイスに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しようとしない でください。接続しようとすると、不正アクセスとみなされる恐れがあります。使用権限のあるネット ワークだけをお使いください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制(EAR)を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国(キューバ、イ ラン、北朝鮮、スーダン、シリア)への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご 注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問 い合わせください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi (無線LAN) 接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。 必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。
 当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、
 当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー [Wi-Fi] → [接続設定] → [接続設定のリセット]で工場出荷時の設定にリセットしてください(□179)。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

お使いになる前に

各部の名称

<u>カメラ本体</u>





🚺 スピーカーについてのご注意

スピーカーに磁気カードなどの磁気製品を近づけると、記録内容が壊れることがあります。スピーカー に磁気製品を近づけないでください。

🖉 電源スイッチ

電源スイッチを矢印の方向に回して「ON」のマークを指標に合わせると、カメラの電源がONになります。



電源スイッチを矢印の方向に回して「OFF」のマー クを指標に合わせると、カメラの電源がOFFにな ります。



撮影モードダイヤル

撮影モードダイヤルを回すと、次の各モードに切り換えられます。

P、S、A、Mモード

 シャッタースピードや絞り値、各種設定を 自分で決めて、より本格的な撮影を楽しむ ことができる撮影モードです。
 ア:プログラムオート(□87)
 S:シャッター優先オート(□88)
 A:絞り優先オート(□89)
 M:マニュアル(□90)
 * レクトカラー(□39、45)
 ご:ハイキー(□39)

スペシャルエフェクトモード

 $\square : \square - \neq - (\square 40)$

オートモード

撮影状況に合わせて、各種設定をカメラが自動的にコント ロールするので、カメラまかせで簡単に撮影することがで きます。デジタルー眼レフカメラを初めてお使いになる方 におすすめの撮影モードです。 ▲□□: オートモード(□□19) (3): 発光禁止オートモード(□□19)

シーンモード

ファインダー(説明のため、全ての表示を点灯させています)



	7 8 9 10 ●AEL₿XXXFXX 16	11 12 13 14 15 11 12 13 14 15 11 12 13 14 15 12 13 14 15 14 12 13 14 15 17 18 20 21 19
1 構図用格子線 196 8 (カスタムメニューd2[ファ 9 インダー内格子線表示]を 10 (する] 12 2 フォーカスポイント表示 12 3 AFエリアフレーム 14.200 4 バッテリー警告表示 16 5 白黒マーク(撮影モードが図の 場合、ピクチャーコントロー ルが[モノクローム]の場合 または[モノクローム]を示 13 6 カードなしマーク 37、116 7 ピント表示 14	AEロックマーク 94 シャッタースピード 86 絞り値 86 スペシャルエフェクト 17 モード表示 37 オートブラケティングマーク 112 記録可能コマ数 14 連続撮影可能コマ数 49 ホワイトバランスプリセット マニュアルデータ取得 モード表示 108 露出補正値 95 フラッシュ調光補正値 97 ISO感度 69, 196 PCカメラモード表示 100 コマ以上補助表示 14	15 レディーライト

🖉 ファインダーについて

ファインダー内の表示の応答速度や明るさは、温度によって変化しますが、故障ではありません。

<u>液晶モニター</u>

このカメラの液晶モニターは、向きや角度を変えて使えます。



通常の撮影

通常の撮影では、モニター画面を外側にしてカメ ラ本体に収納した状態でお使いいただくことをお すすめします。

ローアングル撮影

ライブビュー撮影時、低い位置にある被写体の撮 影に便利です。

ハイアングル撮影

ライブビュー撮影時、高い位置にある被写体や人 越しの撮影に便利です。

セルフポートレート撮影

ライブビュー撮影でのセルフポートレートの撮影に便利です。

 液晶モニターには鏡に映ったような状態(鏡像) で表示されますが、画像はカメラから見た状態 (正像)で記録されます。





🔽 液晶モニター取り扱い上のご注意

- 液晶モニターを回転させる場合は、回転範囲内でゆっくりと回してください。無理な力がかかると、 カメラ本体との接続部の破損の原因となります。
- 液晶モニターを使用しないときは、傷や汚れを防ぐためにモニター画面を内側にしてカメラ本体に収納することをおすすめします。
- 5 お使いになる前に

<u>液晶モニター表示</u>

■ インフォ画面 (説明のため、全ての表示を点灯させています) ■ ボタンを押すと、液晶モニターに次のようなインフォ画面が表示されます。

	1 8 9 10 11 2 3 1/ 125 4 5 1/ 125 4 5 1/ 125 4 5 1/ 125 6 7 NORM C OFF C SD AF-A C	12 13 14 15 16 17 18 F5.6	() () () () () () () () () () () () () ()
1	撮影モード 器(オート)または③(発光禁止 オート)で撮影する 19 シーンに合わせて撮影する… 30 特殊効果をつけて撮影する 37 撮影モード P、S、A、Mを 使う	 7 レリーズモード	 20 ADLブラケティング 度合い表示114 21 記録可能コマ数14 ホワイトバランスプリセット マニュアルデータ取得モー ド表示108 PCカメラモード表示
2		13 多重露出マーク	 22 1000コマ以上補助表示14 23 インジケーター
3	絞りイメージ	14 テート与し込み設定マーク 	露出
	シャッタースピードイメージ 	15 手ブレ補正マーク17、189 16 フラッシュ発光方式マーク	AEブラケティング 114
4	オートブラケティングマーク 112	201 スピードライト調光補正	24 ヘルプあり表示
5	AEロックマーク 57	マーク 249	
6	オートエリアAF設定マーク	17 電子音マーク 196	
		18 バッテリー残量表示16	
	3D-トラッキング設定マーク 55	19 ISO感度	
	フォーカスポイント 57	ISO-AUTOマーク 189	
	-		

💋 液晶モニター(インフォ画面)を消灯するには

シャッターボタンを半押しする

• インフォ画面の表示中に、

「「「「」「」を押す

操作を行わないまま約8秒経過したときも、インフォ画面は消灯します(液晶モニターが消灯するまでの時間は、カスタムメニュー c2 [**パワーオフ時間**](□194)で変更できます)。

■撮影時の設定を変更する

 ・ボタンを押すと、インフォ画面下部に表示されている撮影時の
 設定を変更できる画面に切り替わります。マルチセレクターの
 ▲▼◀▶を押してカーソルを動かし、項目を選んで@ボタンを押
 すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。



iボタン



1	画質モード 61	5	アクティブD-ライティング… 98	10	フラッシュモード65、67
2	画像サイズ63	6	ホワイトバランス105	11	測光モード
3	オートブラケティング 112	7	ISO感度 69	12	AFエリアモード 55、125
4	HDR(ハイダイナミック	8	露出補正	13	フォーカスモード 53、124
	レンジ) 100	9	フラッシュ調光補正	14	ピクチャーコントロール… 116

メニューを使う

再生や撮影、カメラの基本的な設定をするときは、主にメニュー 画面を使います。

MENUボタンを押すと、液晶モニターに次のようなメニュー画面 (例:セットアップメニュー)を表示します。



MENUボタン



■メニュー項目の設定方法

メニューの操作には、マルチセレクターと®ボタンを使います。



- 1 メニュー画面を表示する
 - MENUボタンを押します。



- **2** メニューのタブを選ぶ
 - マルチセレクターの
 を押して、タブのアイコンを 黄色く表示します。



- 3 メニューを切り換える
 - ▲または▼を押して、メニューのタブを切り換えます。





4 選んだメニューに入る

▶を押して、選んだメニューに入ります。

5 メニュー項目を選ぶ

・▲または▼で項目を選びます。

6 設定内容を表示する

- ▶を押して設定内容を表示します。
- 7 設定内容を選ぶ
 - ・▲または▼で設定内容を選びます。

8 決定する

- ・
 ・
 ・
 ボタンを押して決定します。
- メニュー操作をキャンセル(中止)するには、MENUボタンを 押してください。
- •撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項 目はグレーで表示されて選べません。
- ∞ボタンの代わりに ▶を押しても決定できますが、画像の削除やSDカードの初期化などの重要な設定項目については、 ∞ボタンしか使えないことがあります。
- •メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し(□23)してください。







しない

從位置自動



撮影前の準備をする

バッテリーやSDカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したりするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

1 カメラにストラップを取り付ける(2カ所)



- 2 バッテリーをバッテリーチャージャーで充電する
 - •フル充電するには約1時間50分かかります(残量の無いバッテリーの場合)。





3 カメラにバッテリーとSDカードを入れる

- バッテリーとSDカードは、図のように正しい向きで入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを 奥まで入れると、バッテリーロックレバーがバッテリーに掛かって固定されます。





バッテリーロックレバー



SDカードは、カチッと音がするまで挿入してください。







4 レンズを取り付ける

•ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。



• 撮影する前に、レンズキャップを取り外してください。



5 液晶モニターを開く

•液晶モニターは、無理な力を加えずにゆっくりと回してください。





6 カメラの電源をONにする



7 日付と時刻を設定する

- ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付と時刻を設定する画面 が表示されます。日時の設定が完了するまで、撮影や他の設定はできません。
- マルチセレクターの▲または▼を押して、選択中の項目の数値を合わせ、◀または▶で項目を移動します。
- ●日付と時刻の設定を完了したら、
 ・●ボタンを押します。



🜌 ズームリングボタンの付いたレンズをお使いの場合

ズームリングボタンを押しながら(①)、ズームリン グを矢印の方向に回してください(②)。ズームリン グのロックが解除され、レンズが繰り出します。

レンズを収納した状態では撮影できません。レンズを繰り出さずに電源をONにして警告メッセージが表示された場合、撮影できる位置までズームリングを回すと、警告メッセージが消えます。









8 バッテリーとSDカードを確認する

• I ボタンを押すと、バッテリーの残量とSDカードの記録可能コマ数(これから撮影できる枚数)を液晶モニターで確認できます。



励ボタン バッテリー残量

•記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マークが点灯します。



記録可能コマ数

 9 ファインダーを見やすくする
 ・ファインダーで構図を決めながら撮影する場合は、 あらかじめ、ファインダー内がはっきり見えるよう に視度調節ダイヤルを回して調節してください。
 ・爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。
 ・レンズキャップを取り外し、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、 AFエリアフレームが最もはっきり見えるように調節してください。



🚺 チャージャーの使用上のご注意

- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。
- チャージャーを使用しないときは、チャージャーをコンセントから抜いてください。
- バッテリーチャージャー MH-24対応のバッテリー以外は充電しないでください。

🔽 チャージャーの「CHARGE」ランプが速く(1秒間に8回)点滅する場合

- バッテリーのセットミス:チャージャーをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、チャージャーにセットし直してください。
- 指定温度外での使用:チャージャーを指定温度範囲内(0℃~40℃)でお使いください。
- さらに不具合が続く場合は、ただちにチャージャーをコンセントから抜いて、充電を中止してください。
 販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。

🔽 バッテリーの使用上のご注意

- お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□x~xiv)、「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」(□261~263)をお読みになり、記載事項をお守りください。
- バッテリーは0℃~40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が 劣化したり、故障の原因となります。
- 周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃~15℃、45℃~60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
🜌 バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにしてから、バッテリー室カバーを開けてください。バッテリー ロックレバーを矢印の方向に押すと、バッテリーが少し飛び出しますので、 引き抜いて取り出してください。

🖉 バッテリー残量

バッテリー残量は、インフォ画面で確認できます。残量が少なくなると、 ファインダーにバッテリー警告が表示されます。

• M ボタンを押してもインフォ画面が表示されない場合、バッテリー残量 がありません。

液晶モニター	ファインダー	意味
	—	残量は充分に残っています。
	—	残量が減り始めました。
		残量は残りわずかです。
(点滅)	€ ■ (点滅)	残量がなくなりました。バッテリーを充電してください。

🔽 SDカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- SD カードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしない でください。記録されているデータの破損やSDカードの故障の原因となります。
 - SDカードの着脱をしないでください
 - カメラの電源をOFFにしないでください
 - バッテリーを取り出さないでください
 - ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- •曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- •熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

🔽 SDカードのフォーマット

このカメラに初めて入れるSDカードや、他の機器でフォーマットされたSD カードは、セットアップメニュー [カードの初期化(フォーマット)] (ロ206)で、画面の指示に従ってフォーマットしてください。SDカード を初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。必要なデータが ある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください。







🖉 SDカードを取り出すときは

SDカードカバーを開ける前に、SDカードアクセスランプの消灯を確認して、 電源をOFFにしてください。SDカードカバーを開けて、SDカードを奥に押 し込むと(①)、カードが押し出されるので、引き抜いて取り出してください (②)。

🖉 SDカードの書き込み禁止スイッチについて

- SD カードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このス イッチを「LOCK」の位置にすると、データの書き込みや削除が 禁止され、カード内の画像を保護できます。
- 「LOCK」した SD カードをカメラに入れてシャッターをきろうとすると、警告音が鳴り、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは「LOCK」を解除してください。

🖉 レンズのフォーカスモードについて

レンズのフォーカスモード(¹¹⁵⁹⁾が切り換えられる場合は、オートフォー カス(A、M/A、またはA/M)に設定してください(使用できるレンズにつ いては、¹¹²41をご覧ください)。

🖉 手ブレ補正機能について

手ブレ補正機能がONのときは、インフォ画面に手ブレ補正マークが表示されます。

- ・撮影メニュー [光学手ブレ補正] に対応したレンズの装着時には、 [光学手ブレ補正] を [する] に設定すると、手ブレ補正機能がON になります(□189)。
- •レンズに手ブレ補正スイッチがある場合は、手ブレ補正スイッチを ONにすると、手ブレ補正機能がONになります。

🖉 レンズを取り外すには

カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ取り外しボタンを押 しながら(①)、レンズを矢印の方向にいっぱいまで回し(②)、引き抜い てください。

 レンズを取り外した後は、カメラのボディーキャップとレンズの裏 ぶたをそれぞれ取り付けてください。

🖉 ズームリングボタンの付いたレンズの収納方法

- カメラを使わないときは、レンズを収納してコンパクトにすることができます。レンズを収納するには、ズームリングボタンを押しながら(①)、ズームリングを矢印の方向に回してください(②)。ズームリング上の指標を「L」(ロック)の位置に合わせると、ズームリングがロックされてレンズが収納されます。
- レンズの着脱時にズームリングボタンを押さないようご注意ください。
- レンズを取り外す前にレンズを収納してください。





書き込み禁止 スイッチ











🖉 カメラの内蔵時計について

カメラの内蔵時計は、一般的な時計(腕時計など)ほど精度は良くありません。定期的に日時設定を 行うことをおすすめします。

🖉 時計用電池について

カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラにバッテリーを入れると、 時計用電池が充電されます。フル充電するには約3日間かかります。充電すると、約1カ月の間時計を 動かすことができます。液晶モニターに[日時未設定]と表示された場合は、内蔵時計の設定が初期 化されているため、撮影日時が正しく記録されません。もう一度日時設定を行ってください。

かんたんに静止画/動画を撮影 する (アオート/ジ発光禁止オート)

撮影モード習(オート)と③(発光禁止オート)を使うと、 カメラまかせの簡単な操作で静止画撮影と動画撮影を楽し むことができます。習の場合は、必要に応じてフラッシュが 光ります。フラッシュを光らせずに撮影したいときは、③で 撮影してください。



カメラの電源をONにして、カメラ上面の撮影 モードダイヤルを留または③に合わせます。 撮影モードダイヤル



ファインダーを のぞいて撮影する





静止画を撮影するには	m 20
• 再生するには	m 22
●削除するには	m 22



19 かんたんに静止画/動画を撮影する (習オート/ ③発光禁止オート)

ファインダーをのぞいて静止画を撮影する

1 カメラを構える

- 脇を軽く締め、右手でカメラのグリップ を包み込むようにしっかりと持ち、左手 でレンズを支えます。

 人物などを縦位置で撮影する場合は、 カメラを縦位置に構えます。



2構図を決める

- •ファインダーをのぞいて、構図を決めてください。
- 被写体をAFエリアフレーム内に配置します。



AFエリアフレーム





 ・ピントが合うと、ピピッという電子音が鳴り、ファインダー内のピント表示(●)が 点灯します(被写体が動いているときは、電子音が鳴らない場合があります)。

ファインダー内ピント表示	意味
● (点灯)	被写体にピントが合っています。
●(点滅)	オートフォーカスでのピント合わせができません(「オー トフォーカスの苦手な被写体」(ロ54)をご覧ください)。

ピントが合った位置には、フォーカスポイントが表示されます。



• 撮影した画像が液晶モニターに数秒間表示されます。



撮影した画像を再生する(1コマ表示モード)

▶ボタンを押すと、撮影した画像が表示されます。



 マルチセレクターの
 または
 を押すと、他の 画像を表示できます。

不要な画像を削除する

1 削除したい画像を表示する





▶ボタン



血ボタン

3 もう一度 面ボタンを 押す

2 面ボタンを押す

表示中の画像が削除されます。



🖉 シャッターボタンの半押し

シャッターボタンは、2段階に押し込むようになっています。まず、シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。次に、そのまま深く押し込む(これを「シャッターボタンを全押しする」といいます)と、シャッターがきれます。



• 再生中にシャッターボタンを半押しすると、すぐに次の撮影ができます。

🖉 半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイマー」という機能があります。シャッターボタンを半押しすると、半押しタイマーがオンになります。何も操作が行われないまま約8秒経過すると半押しタイマーがオフになり、ファインダー内表示が消灯します。もう一度シャッターボタンを半押しすると、半押しタイマーがオンになり、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、カスタムメニュー c2 [**パワーオフ時間**](^{CD}194)で変更できます。



🖉 内蔵フラッシュについて

撮影モード留では、シャッターボタンを半押しすると必要に応じて自動的 に内蔵フラッシュが上がります(印64)。

- ファインダー内に **5** (レディーライト) が点灯しているとき:シャッター ボタンを全押しすると、内蔵フラッシュが発光します。
- 内蔵フラッシュが上がっている状態で↓が点灯していないとき:フラッシュが充電中のため、撮影できません。

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下 げます。フラッシュを使わないときは常に収納してください。



പ

液晶モニターを見ながら静止画を撮影する

(ライブビュー撮影)

1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。

2 カメラを構える

- 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。
- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カ メラを縦位置に構えます。
- **3** シャッターボタンを軽く押して(半押しして)、 ピントを合わせる
 - フォーカスポイントは、オートフォーカス作動中は緑
 色で点滅し、ピントが合うと緑色で点灯します。ピン
 トが合わないと赤色で点滅します。







フォーカスポイント

4 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに 深く押し込んで(全押しして)撮影する

- 撮影時は液晶モニターが消灯します。
- SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像 を記録しています。SDカードやバッテリーを取り 出さないでください。
- 撮影後は、撮影した画像が液晶モニターに数秒間 表示されます。

ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。



SD JJート アクセスランプ



 			
	ž	ポートレート	人物を認識した場合
		風景	自然の風景や街並みを認識した場合
	₹.	クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
	<u>e</u> **	夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
	AUTO	オート	上記のシーンを認識しなかった場合

● 発光禁止オート 響または③に適したシーンの場合

🖉 ライブビュー撮影について

🖉 おまかせシーン

ライブビュー撮影時のご注意や、撮影時に設定できる機能の説明については、「ライブビュー撮影(液 晶モニターを見ながら撮影する)」(ロ123)をご覧ください。

25 かんたんに静止画/動画を撮影する(習オート/③発光禁止オート)

撮影した画像を再生する(1コマ表示モード)

▶ボタンを押すと、撮影した画像が表示されます。





▶ボタン

 マルチセレクターの
 または
 を押すと、他の 画像を表示できます。



不要な画像を削除する

1 削除したい画像を表示する





・
ボタン

2 面ボタンを押す





面ボタン

3 もう一度面ボタンを押す

• 表示中の画像が削除されます。



動画を撮影する

ライブビューにすると動画を撮影できます。

- 1 ライブビュースイッチを回す
 - •液晶モニターに被写体が表示されます。



2 カメラを構える

右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。





3 シャッターボタンを軽く押して(半押しして)、 ピントを合わせる



フォーカスポイント

4 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める



動画撮影ボタン

録画中マーク



残り時間

 録画中は録画中マークが液晶モニターに表示されます。SD カードに記録できる残り時間の目安も液晶モニターで確認で きます。

5 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する

ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。

• ®ボタンを押して動画を再生します。マルチセレクターの▲または ■ボタンを押すと、動画再生を終了します。動画再生時の詳しい操作については、「動画を再生する | (□137) をご覧く



撮影した動画を再生する

■ボタンを押して、県マークが表示されている画像を表示します(1コマ表示モード)。







✓ 動画撮影について

ださい。

動画撮影時のご注意や、撮影時に設定できる機能の説明については、「動画を撮影する」(□132)を ご覧ください。

<u>不要な動画を削除する</u>

- _____ **1** 削除したい動画を表示する
 - 県マークが表示されている画像が動画です。





▶ボタン

2 面ボタンを押す





面ボタン

3 もう一度面ボタンを押す

•表示中の動画が削除されます。



被写体や状況に合わせて撮影 する (シーンモード)

撮影するシーンが決まっているときは、シーンに合わせて撮影モードを選ぶだけで、美しく撮影できます。



 撮影モードダイヤルをSCENEにしてからコマンドダイヤルを回して設定できる シーンモード



	夜景ポートレート
	夜景
×	パーティー
)/8	海·雪
	夕焼け
· ·· ·	トワイライト
**	ペット
4	キャンドルライト
9	桜
Ģ	紅葉
۳ſ	料理

<u>撮影モードダイヤルを回して設定できるシーンモード</u>

撮影モードダイヤルを回して設定します。



撮影モードダイヤル

え (ポートレート)



人物を美しく撮影したいときに使います。 人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げ ます。

 被写体と背景が離れているときや、望遠 レンズを使って撮影したときは、背景が ぼけて立体感のある画像になります。



自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

▼ご注意 内蔵フラッシュとAF補助光は光りません。



子供の撮影に向いています。肌の色を美し く表現すると同時に、服装や背景も鮮やか に仕上げます。

💐 (スポーツ)



運動会などスポーツ写真の撮影に向いて います。動きのある被写体の一瞬の動きを 鮮明にとらえ、躍動感のある画像に仕上げ ます。

▼ご注意 内蔵フラッシュとAF補助光は光りません。



草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、 大きく写したいときに使います。

 マイクロレンズを使用すると、より被写 体に近づいて撮影することができます。

<u>撮影モードダイヤルをSCENEにしてからコマンド</u> ダイヤルを回して設定できるシーンモード

撮影モードダイヤルをSCENEに合わせた後、コマンドダイヤルを回して設定します。







コマンドダイヤル



液晶モニター

🖸 (夜景ポートレート)



タ景や夜景をバックに、人物を撮影したいと きに使います。人物と背景の両方を美しく表 現します。





夜景の撮影に適しています。ノイズや不自然 な発色を抑え、外灯やネオンなどの光を鮮や かにして夜景の雰囲気を表現します。

✔ ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。





パーティーなどでの撮影に適しています。 パーティー会場の光の雰囲気も表現します。

🌯 (海・雪)



晴天の海や湖、砂浜、雪景色などの撮影に適 しています。

✔ご注意 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。





夕焼けや朝焼けの撮影に適しています。

✔ご注意 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。

🚔 (トワイライト)



夜明け前や日没後の風景の撮影に適してい ます。わずかな自然光での風景をきれいに表 現します。

▼ご注意 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。





動き回るペットなどの撮影に適しています。

✓ご注意 AF補助光ランプは光りません。



キャンドルライトでの撮影に適しています。

✓ご注意 内蔵フラッシュは光りません。





桜、花畑などの花がたくさん咲いている風景の撮影に適しています。

▼ご注意 内蔵フラッシュは光りません。





紅葉の撮影に適しています。紅葉の赤色や黄 色を鮮やかに表現します。

▼ご注意 内蔵フラッシュは光りません。





料理の撮影に適しています。料理を鮮やかに 表現します。

✔ ご注意

★(別2)ボタンを押して内蔵フラッシュを上げて、 フラッシュ撮影することもできます(□166)。

🖉 三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

特殊効果をつけて撮影する

特殊な効果のついた画像を撮影できます。



撮影モードダイヤルをEFFECTSに合わせた後、コマンドダイヤルを回して設定します。





意図的に高感度で撮影して、モノトーン(白 黒)で表現します。暗闇での撮影に適してい ます。

✔ ご注意

- オートフォーカスはライブビュー撮影時のみ使 えます。
- オートフォーカスでピントが合いにくい場合は、 フォーカスモードを [MF] (マニュアルフォー カス)に設定してください。
- 撮影した画像にノイズ(ざらつき、むら、すじ) が発生する場合があります。
- 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。

🔯 (カラースケッチ)



輪郭を抽出して色をつけることで、スケッチ 風に表現します。

 効果はライブビュー表示中に設定できます (□41)。

✔ ご注意

- •オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- 動画撮影の場合は、コマ送りのような動画として 記録されます。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。

鼠 (トイカメラ風)



色の濃さと周辺減光量を調整し、トイカメラ で撮影したように表現します。

 効果はライブビュー表示中に設定できます (ロ42)。

🎝 (ミニチュア効果)



ミニチュア(模型)を接写したように表現し ます。 高いところから見下ろして撮影する場 合に適しています。

 効果はライブビュー表示中に設定できます (□43)。

✔ ご注意

- 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。
- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- •動画撮影の場合は、早送り動画として記録されます。
- 動画撮影に音声は記録されません。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。

特殊効果をつけて撮影する(スペシャルエフェクトモード) 38

🖋 (セレクトカラー)



選んだ色のみを残し、それ以外の色をモノ トーン(白黒)で表現します。

 効果はライブビュー表示中に設定できます (□45)。

✔ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。



背景が明るいシーンで、被写体を意図的にシ ルエットで表現します。







全体的に明るめの被写体の撮影に適してい ます。画像全体を意図的に明るいトーンで表 現します。光に満ちた華やいだ雰囲気になり ます。

✔ ご注意 内蔵フラッシュは光りません。





全体的に暗めの被写体の撮影に適していま す。画像全体を意図的に暗いトーンで表現し ます。深く落ち着き、ハイライト部分が引き 立った雰囲気になります。

▼ご注意
内蔵フラッシュは光りません。



絵画のように色彩やディティールが強調さ れた仕上がりになります。

●1回の撮影で露出が異なる画像を連続2コ マ撮影して合成します。

✔ ご注意

- ・合成処理中は、液晶モニターにメッセージが表示
 され、表示が消えるまで次の撮影はできません。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手 ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないこ とがあります。
- 効果はライブビュー表示時には確認できません。動画撮影時には、撮影モード③として動作します。
- 内蔵フラッシュは光りません。
- レリーズモードを[9](低速連続撮影)または[9]H](高速連続撮影)に設定していても、 連続撮影はできません。

🖉 三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

🖉 スペシャルエフェクトモードについて

- ・撮影モード団、◎、息、崎、ダまたは草の場合に画質モード [RAW] で撮影すると、画質モードFINE で画像が記録されます。RAWとJPEGを同時に記録した場合は、JPEG画像のみが記録されます。
- •撮影モードが唸または僻のときにレリーズモードを「��L」(低速連続撮影)または「��H」(高速連続撮影)に設定した場合、連続撮影速度が遅くなります。

■③(カラースケッチ)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードででを選んだ後、効果を設定します。

1 ライブビュースイッチを回す

- •液晶モニターに被写体が表示されます。
- 2 ◎ ボタンを押す
 - カラースケッチの設定画面が表示されます。
- 3 色の濃さを設定する
 ・マルチセレクターの▲または▼を押して [色の濃 さ] を選びます。
 - ●▶を押すと濃くなり、◀を押すと薄くなります。

4 線の濃さを設定する

- ▲または▼を押して [線の濃さ] を選びます。
- ●▶を押すと濃くなり、◀を押すと薄くなります。
- [線の濃さ]を濃くすると、画像全体の色も濃くなります。

5 決定する

- ・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。ライブビューを 終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効果は、ファインダー撮影でも 適用されます。





色の濃さ

■ 〇 (トイカメラ風)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで息を選んだ後、効果を設定します。

1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。

2 ◎ ボタンを押す

- トイカメラ風の設定画面が表示されます。
- 3 色の濃さを設定する
 ・マルチセレクターの▲または▼を押して [色の濃
 - **さ**]を選びます。
 - ●▶を押すと濃くなり、◀を押すと薄くなります。

4 周辺減光を設定する

- マルチセレクターの▲または▼を押して [周辺減 光] を選びます。
- ●を押すと減光効果が強くなり、
 ●を押すと減光効果が弱くなります。

5 決定する

- ・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。ライブビューを 終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効果は、ファインダー撮影でも 適用されます。









■ 🎝 (ミニチュア効果)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードでのを選んだ後、効果を設定します。

1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。

2 フォーカスポイントを被写体に重ねる

- マルチセレクターの▲▼◀▶ボタンを押して、ぼか さないではっきりと見せたい部分にフォーカスポ イントを移動します。
- •シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
- ペボタンを押すと、被写体が拡大表示され、ピント
 を細部まで確認できます。
 ペ (?) ボタンを押すと画像を縮小表示します。
- 拡大表示中は効果が一時解除されます。

3 ● ボタンを押す

• ミニチュア効果の設定画面が表示されます。



- ▲または▼を押すと、効果をかける幅を設定できます。

5 決定する

- ・ ・
 ・
 ・
 ボタンを押して決定します。
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。ライブビューを 終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効果は、ファインダー撮影でも 適用されます。







🖉 ミニチュア効果での動画撮影について

動画の記録時間は撮影にかかる時間よりも短くなります。たとえば、撮影メニュー [動画の設定]の [画像サイズ/フレームレート]が1920×1080、30pの場合(□135)、約3分の動画ファイルを作成 するためには、約45分の撮影時間が必要です。

■ 🖋(セレクトカラー)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで、を選んだ後、効果を設定します。

1 ライブビュースイッチを回す

- •液晶モニターに被写体が表示されます。
- 2 ◎ ボタンを押す
 - セレクトカラーの設定画面が表示されます。

3 残したい色を抽出する

- カメラを動かして画面中央の枠を残したい色の被 写体に重ねます。
- Q ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、残した い色を細部まで確認できます。Q☎(?)ボタンを押 すと画像を縮小表示します。
- マルチセレクターの▲を押すと、画面中央の枠に重ねた被写体の色が抽出され、色の 枠に表示されます。
- 抽出した色以外の色は、モノトーン(白黒)で表示されます。

4 抽出する色の感度を設定する

▲または▼を押して、抽出する色の感度を[1]~
 [7]から設定します。数値が大きいほど抽出する色の色相が広くなり、小さいほど狭くなります。









5 抽出する色を追加する

 コマンドダイヤルを回して別の色の枠を選び、手順 3~4と同じ手順で色を抽出し、色の感度を設定し ます。



- •最大3色まで設定できます。
- 抽出した色を選んで面ボタンを押すと、抽出した色をリセットします。

6 決定する

- ・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<
- ライブビューを終了する場合は、ライブビュースイッチを回します。ライブビューを 終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効果は、ファインダー撮影でも 適用されます。

🔽 セレクトカラー設定時のご注意

• 残したい色の彩度によっては、抽出しにくい場合があります。彩度の高い色の抽出をおすすめします。

• 色の感度を高く設定しすぎると、選択した色に近い色相の色も抽出されます。

撮影機能を使いこなす

レリーズモードを選ぶ

 □ (心/i)ボタンを押すと、シャッターをきる(レ リーズする)ときの動作(レリーズモード)の選択 画面が表示されます。マルチセレクターの
 ▲▼◀▶を押してカーソルを動かし、®ボタンを 押して決定します。



🖳 (ů/i) ボタン

S	1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影できます。	
밀니	低速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、低速連続撮影します。	囗48
말	高速連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、高速連続撮影します。	囗48
Q	静音撮影	1コマ撮影に比べて静かに撮影できます。	四50
હ	セルフタイマー	セルフタイマー撮影ができます。	m 51
â 2s	2秒リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押すと、2秒後にシャッターがきれます。	CI 72
Î	瞬時リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押すと、すぐにシャッターがきれます。	C 172

連写で撮影する

シャッターボタンを深く押し込んで(全押しして)、そのまま押し続けている間、連写 (連続撮影)で撮影できます。[**马**L](低速連続撮影)と、[**马**H](高速連続撮影)から 選べます。

1 🖳 (心/i) ボタンを押す





2 [□L] (低速連続撮影) または [□H] (高速 連続撮影) を選ぶ

・ (W)ボタンを押して設定します。



- 3 構図を決め、ピントを合わせる
- 4 シャッターボタンを全押しして連続撮影する
 - シャッターボタンを深く押し込んで(全押しして)、そのまま押し続けている間、連続撮影します。



▶ 連続撮影についてのご注意

- ・内蔵フラッシュが発光するときは、連続撮影はできません。連続撮影するには、撮影モードを④(発 光禁止オート)(□19)にするか、フラッシュモード(□65、67)を[④](発光禁止)にしてください。
- バッテリー残量が減ると、連続撮影速度が遅くなることがあります。撮影中にバッテリーの残量がな くなった場合は、連続撮影は中止され、撮影済みの画像データがSDカードに記録されます。

🖉 連続撮影速度について

[**□」**L](低速連続撮影)と[**□**」H](高速連続撮影)設定時の連続撮影速度については、□ 281ページ をご覧ください。

[F + 1]

🖉 連続撮影可能コマ数の表示

- •連続撮影は最大100コマまでできます。
- 表示される連続撮影可能コマ数は、撮影条件によって増減することがあります。[♪00] と表示されたときは、連続撮影速度が低下します。

静音撮影する

1コマ撮影に比べて静かに撮影するため、できるだけ音を立てたくないときに便利です。 ピントが合ったときの電子音は鳴りません。





[回](静音撮影)を選ぶ ・ (※ボタンを押して設定します。)



3 シャッターボタンを全押しして撮影する



セルフタイマーを使って撮影する

セルフタイマーによる撮影は、記念写真など、撮影者自身も一緒に写りたいときなどに 便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚などを使ってカメラを固定してください。

🖳 (ぐ)/â) ボタン



3 構図を決め、ピントを合わせる

2 「心」 (セルフタイマー)を選ぶ

1 □ ()/i) ボタンを押す

 ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれな い状態ではセルフタイマーは作動しません。

4 セルフタイマー撮影を開始する

 シャッターボタンを全押しすると、約10秒後にシャ ターがきれます。タイマーが作動している間は、電子 音が鳴り、セルフタイマーランプが点滅します。撮影 約2秒前になると、点滅から点灯に変わり、電子音が 鳴る間隔が短くなります。








🖉 セルフタイマー撮影時のフラッシュについて

内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モード(□066)でフラッシュを使って撮影したいときは、撮影を 開始する前に\$(聞望)ボタンを押して内蔵フラッシュを上げ、ファインダー内の\$(フラッシュアイ コン)が点灯するまでお待ちください。セルフタイマーの作動中にフラッシュを上げると、撮影は中 止されます。

🖉 セルフタイマー撮影の解除について

作動中のタイマーを解除するには、電源をOFFにしてください。

🖉 カスタムメニュー c3 [セルフタイマー]

カスタムメニュー c3 [**セルフタイマー**] では、セルフタイマーの作動時間や連続撮影コマ数を変更できます(ロ195)。

ファインダー撮影時にオートフォーカスで ピントを合わせる

ファインダーをのぞいて撮影するときの、オートフォーカスでのピントの合わせ方について説明します。

<u> ピントの合わせ方を選ぶ(フォーカスモード)</u>

AF-A	AFサーボモード 自動切り換え	被写体が静止しているときは [AF-S]、動いているときは [AF-C] に 自動的に切り替わります。ピントが合っていないときはシャッターは きれません。
AF-S	シングル AFサーボ ※	静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半押 しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。ピン トが合っていないときはシャッターはきれません。
AF-C	コンティニュアス AFサーボ*	スポーツなど動きのある被写体の撮影に適しています。ピントが合っ てもフォーカスロックはされず、シャッターをきるまでピントを合わ せ続けるモードです。 • 初期設定では、ピントが合うまでシャッターをきれませんが、ピン ト状態に関係なく、シャッターボタンを全押しするとシャッターが きれるように変更できます(ロ192)。
MF	マニュアル フォーカス	手動でピントを合わせます(口 59)。

※撮影モードP、S、A、Mで選べます。

- 1 [フォーカスモード] を選ぶ
 - •*i*ボタンを押します。





iボタン

インフォ画面

 マルチセレクターで [フォーカスモード] を選 んで®ボタンを押します。





・ Wボタンを押して設定します。



🖉 予測駆動フォーカスについて

ファインダー撮影時のAFモードが「AF-C」のときや、「AF-A」に設定していて自動的に「AF-C」に 切り替わったときは、シャッターボタンの半押し時に被写体が近づいてくるのをカメラが認識すると、 自動的に予測駆動フォーカスに切り替わります。予測駆動フォーカスが作動すると、シャッターがき れる時点での到達位置を予測しながらピントを合わせ続けます。

▼【AF-C】コンティニュアスAFサーボについてのご注意

カスタムメニュー a1 「**AF-Cモード時の優先**」を「フォーカス」(印192)に設定している場合、「AF-C はシャッターチャンスを逃さないために、「AF-S」よりもシャッターのきれるピントの範囲が広くなっ ています。このため、ファインダー内のピント表示(●)が点灯する前にシャッターがきれることが あります。[AF-A]に設定していて自動的に [AF-C] に切り替わった場合でも、同様の動作をします。

🖉 オートフォーカスの苦手な被写体

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができず、シャッターがきれないこと や、ピントが合っていなくても電子音が鳴ってピント表示(●)が点灯し、シャッターがきれること があります。このような場合は、マニュアルフォーカス(印59)でピントを合わせるか、フォーカス ロック(凹57)を利用してください。



- 被写体が暗い場合などにシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせ のために、AF補助光を自動的に照射します(撮影モードや設定によっては、 AF補助光を照射しないことがあります(ロ268))。
- AF 補助光ランプを連続して使うと、保護機能が働いて一時的に照射が制限 されます。少し時間をおくと再び照射するようになります。また、短時間に 何回も使うと、AF補助光ランプが熱くなることがあるのでご注意ください。



<u>フォーカスポイントの選び方を決める</u> <u>(AFエリアモード)</u>

[1]	シングルポイント AF	静止している被写体の撮影に適しています。選んだフォーカスポイン トだけを使ってピント合わせをします。
[0] 9 [0]21 [0]39	ダイナミックAF (9点) * ダイナミックAF (21点) * ダイナミックAF (39点) *	 不規則な動きをする被写体の撮影に効果的です。選んだフォーカスポイントから被写体が一時的に外れてしまった場合でも、周辺のフォーカスポイントからのピント情報を使ってピントを合わせます。 ダイナミックAF(9点):構図を決めて撮影するときや、被写体の動く方向が予測でき、フォーカスポイントで被写体を捉えやすい撮影に適しています(例:陸上競技やモータースポーツ)。 ダイナミックAF(21点):動きがランダムで予測しにくい被写体の撮影に適しています(例:フィールドスポーツ)。 ダイナミックAF(39点):被写体の動きが速く、選択したフォーカスポイントで被写体を捉えにくい場合の撮影に適しています(例:野鳥撮影)。
[3D]	3D-トラッキング※	左右に動く被写体を自由な構図で撮影するのに適しています(例:テ ニス)。選んだフォーカスポイントで被写体にピントを合わせると、 シャッターボタンを半押ししている間、構図の変化に合わせて、 フォーカスポイントを自動的に切り換えてピントを合わせ続けます。
(==)	オートエリアAF	カメラが自動的に、全てのフォーカスポイントから被写体を判別して ピントを合わせます。

※フォーカスモードが [AF-S] のときは選べません。

1 [AFエリアモード] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。



• マルチセレクターで [AFエリアモード] を選ん でのボタンを押します。

インフォ画面



2 設定したいAFエリアモードを選ぶ

・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<



🖉 AFエリアモードの設定について

P、S、A、M以外の撮影モードで設定したAFエリアモードは、撮影モードを切り換えると、リセットされます。

🖉 3D-トラッキングについて

- [[3D] (3D-トラッキング)では、半押ししていったんピントが合ったときに選択したフォーカスポイント周辺の色を背景の色も含めて記憶します。そのため、被写体の色が周囲の色と似ていると、うまく作動しない場合があります。
- 素早い動きをする被写体などの場合、カメラが途中で被写体を見失ってしまうときがあります。その場合、いったんシャッターボタンを放して、もう一度被写体にフォーカスポイントを合わせてください。

<u>フォーカスポイントを自分で選ぶ</u>

このカメラには、39点のフォーカスポイント(自動でピント合わせを行う領域)があります。フォーカスポイントを自分で選ぶことで、構図を自由に変えられます。

- [■] (オートエリアAF) 以外のAFエリアモードを選ぶ(□55)
- 2 ファインダーをのぞきながらマルチセレクター の▲▼◀▶でフォーカスポイントを選ぶ
 - ・半押しタイマー作動中に▲▼◀▶を押すと、ファインダー内でフォーカスポイントが移動します。

 - 選んだフォーカスポイントは、インフォ画面でも確認できます。





フォーカスポイント



フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体がいずれのフォーカスポイントにも入らない場合や、オート フォーカスが苦手な被写体(ロ54)を撮影する場合には、ピントを固定(フォーカス ロック)して撮影すると効果的です。

フォーカスロックを行う前に、AFエリアモード(ロ55)を [**一**] (オートエリアAF) 以外に設定することをおすすめします。

- 1 ピントを合わせたい被写体にフォーカスポイ ントを重ね、シャッターボタンを半押しする
 - ピントが合うと、ファインダー内のピント表示(●) が点灯します。



2 ピントを固定する

フォーカスモード (□53) が [AF-A] または [AF-C] のとき:

シャッターボタンを半押ししたまま(①)、 (凸)、 (凸)、ボタンを押すと(②)、 ピントが固定されます。 (凸)、 パタンを押している間は、シャッターボタンから指を放しても、 ピントが固定されます(この状態をフォーカスロックといいます)。

シャッターボタン



(On)ボタン

フォーカスモード(□53)が [AF-S] のとき:

- シャッターボタンを半押ししている間は、ピントが固定されます。料(On)ボタンでフォーカスロックを行うこともできます。
- 3 フォーカスロックを行ったままで構図を変え、 シャッターボタンを全押しして撮影する
 - 被写体との距離は変えないでください。フォーカス ロック後に被写体との距離が変化した場合は、いっ たんフォーカスロックを解除し、ピントを合わせ直 してください。



🖉 ピントを固定したまま繰り返し撮影したいときは

- シャッターボタンの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターをきった後、シャッターボタンを半押しの状態に戻し、そのままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。
- 【(Om)ボタンでフォーカスロックを行った場合は、【(Om)ボタンを押したままもう一度シャッターボタンを全押ししてください。

🖉 AEロックについて

手順2で料(On)ボタンを押すと、ボタンを押している間、ピントと同時に露出も固定されます。これをAEロックといいます。AEロック撮影については、「AEロック撮影」(ロ94)をご覧ください。

59 撮影機能を使いこなす

マニュアルフォーカスでピントを合わせる

ピントを手動で合わせたいときや、オートフォーカスが使えない場合、オートフォーカスの苦手な被写体の場合には、マニュアルフォーカスでピントを合わせられます。

1 マニュアルフォーカスを選ぶ

レンズにA-M切り換えスイッチまたはフォーカスモード切り換えスイッチがある場合は、レンズ側のフォーカスモードをM(マニュアルフォーカス)にします。

A-M切り換えスイッチ



フォーカスモード 切り換えスイッチ



• A-M 切り換えスイッチまたはフォーカスモード切り換えスイッチのないレンズの場合は、[フォーカスモード]を[MF](マニュアルフォーカス)に設定します(□53)。

2 ピントを合わせる

レンズのフォーカスリングを回して、ファインダー内のメインの被写体がはっきり見えるようにピントを合わせます。

■フォーカスエイドによるピント合わせ

開放F値がF5.6以上明るいレンズ(絞りの最も小さい数値がF5.6 以下のレンズ)を使ってマニュアルフォーカスで撮影するとき は、ファインダー内のピント表示(●)でピントが合っているか どうかを確認できます。ピントが合っているかどうかの基準とな るフォーカスポイントは39カ所から選べます。

- ピントが合うとピント表示(●)が表示されます(□4、21)。
- オートフォーカスの苦手な被写体(□54)では、ピントが合っていなくてもピント表示(●)が点灯することがありますので、ファインダースクリーンの像でピントが合っていることを確認してください。





🖉 カメラ側での設定

M/A(マニュアル優先オートフォーカス)またはA/M(オート優先オート フォーカス)モード機能付きのレンズをお使いの場合は、フォーカスモー ド(ロ53)で[**MF**](マニュアルフォーカス)を選んでもマニュアルフォー カスになります。レンズ側のフォーカスモードを切り換える必要はありま せん。

🖉 距離基準マーク



画質や画像のサイズを変更する

<u>画質モードを設定する</u>

画像を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。

画質モード		ファイル形式	説明			
RAW		NEF	撮像素子の生データ(RAW形式)を記録します。撮影時 設定したホワイトバランスやコントラストなどを、撮影 に変更できます。			
FINE	高		画像データは約1/4に圧縮されます。			
NORMAL	画質	JPEG	画像データは約1/8に圧縮されます。			
BASIC	低		画像データは約1/16に圧縮されます。			
RAW+FINE			RAWとJPEG (FINE) の2種類の画像を同時に記録します。			
RAW+NORMAL		NEF+JPEG	RAWとJPEG(NORMAL)の2種類の画像を同時に記録します。			
RAW+BASIC			RAWとJPEG (BASIC)の2種類の画像を同時に記録します。			

1 [画質モード] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。



iボタン

インフォ画面

マルチセレクターで [画質モード] を選んで

 ・ボタンを押します。



2 設定したい画質モードを選ぶ

・ Wボタンを押して設定します。



▼「RAW」についてのご注意

- 現像には画像編集メニューの [RAW現像] (□225)、または付属のソフトウェア ViewNX 2や別売のCapture NX 2 (□252)を使います。
- 画質モードをRAWに設定すると [**画像サイズ**] (印63) は変更できません。
- RAWを含む画質モードに設定すると、次の機能は使用できません。
 - WBブラケティング(皿112)
 - HDR (🖽 100)
 - カスタムメニュー d6 [デート写し込み設定](□199)

🖉 RAW画像とJPEG画像の同時記録について

- カメラでの再生時には、JPEG画像だけが表示されます。
- JPEG画像をカメラ上で削除すると、同時記録されたRAW画像も削除されます。

画像サイズを設定する

画像を記録するときのファイルサイズを設定できます。

画像サイズ		画像の大きさ	プリント時の大きさ※ (出力解像度300dpiの場合)	
🔲 サイズL	た	6000×4000ピクセル	約50.8×33.9 cm	
M サイズM	サイズ	4496×3000ピクセル	約38.1×25.4 cm	
⑤ サイズS	小	2992×2000ピクセル	約25.3×16.9 cm	

※ピクセル数÷出力解像度(dpi)×2.54 cmで計算しています。

1 [画像サイズ] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。



マルチセレクターで [画像サイズ] を選んで の
 ボタンを押します。

2 設定したい画像サイズを選ぶ

・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<



内蔵フラッシュを使う

内蔵フラッシュを使うと、暗い場所や逆光下など、さまざまな場所での撮影を楽しむこ とができます。

内蔵フラッシュが自動的に上がる撮影モードの場合

撮影モード**習、**え、全、**ツ**、図、深、分、唸、息では、暗いときや逆光のときなど、 必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが上がり、発光します。

1 フラッシュモードを設定する

 ・
 く
 (団
)
 ボタンを押しな
 がらコマンドダイヤルを
 回すと、インフォ画面の
 フラッシュモード表示が
 変わります。



ボタン

コマンド

WIE



インフォ画面

シャッターボタンを半押しして、ピントを合わ せてから撮影する

 必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが上がり、発光します。フラッシュが自動的に上がらないとき、手で 無理に上げないでください。内蔵フラッシュが破損するおそれがあります。



■設定できるフラッシュモード

内蔵フラッシュが自動的に上がる撮影モードで設定できるフラッシュモードは次の通 りです。

フラッシュモード	撮影モード
\$AUTO 通常発光オート(自動発光) :暗いときや逆光のときに必要に応じて発	MO, Z, Z, V,
光します。	💥、🤿、🐼、 🔒
♀ ③ AUTO 赤目軽減オート (自動発光):人物撮影に適しています。 フラッシュ	AUTO 🔧 🏂 🖤
が発光する前に、赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」 を軽減します。	
	MIO, Z, Z, V,
③ 発光禁止:内蔵フラッシュは発光しません。	🖪 、 💥 😽 😽 😽 .
	OT
↓ ● AUTO 赤目軽減オート(自動発光)+スローシャッター :夜景や夕景を	
バックにした人物撮影などに適しています。赤目軽減発光に加え、背景をきれ	•*
いに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」	
が行われます。	
\$ AUTO 通常発光オート (自動発光) +スローシャッター :通常発光に加え、背	
景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スロー	*
シャッター」が行われます。	

フラッシュモードの設定について フラッシュモードは、インフォ画面でも設定できます(ロ7)。



内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モードの場合

撮影モードP、S、A、M、判では、4(四2)ボタンを押して、手動で内蔵フラッシュを 上げます。

1 ↓ (12) ボタンを押して、内蔵フラッシュを 上げる



- 2 フラッシュモードを設定する
 - ・

 ・

 ・

 ・

 くの回知) ボタンを押しな
 がらコマンドダイヤルを
 回すと、インフォ画面の
 フラッシュモード表示が
 変わります。





インフォ画面

 ¶の場合、フラッシュモー ドを設定する必要はありま せん。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてから撮影する

• 内蔵フラッシュを上げているときは、周囲の明るさなどにかかわらず、フラッシュは常に発光します。

■設定できるフラッシュモード

内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モードで設定できるフラッシュモードは次の通り です。

フラッシュモード		撮景	(モ -	- ۴	£
↓ 通常発光:撮影のたびに内蔵フラッシュが発光します。	P、	S.	A.	M.	۳٩
◆ ◆ 赤目軽減発光:人物撮影に適しています。フラッシュが発光する前に、赤 目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。	P.	S.	A.	м	
★ ◆ SLOW 赤目軽減発光+スローシャッター: 夜景や夕景をバックにした人物 撮影などに適しています。赤目軽減発光に加え、背景をきれいに写すために、自 動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	P、	A			
\$SLOW 通常発光+スローシャッター :通常発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	P、	A			
\$ \$EQX 後幕発光+スローシャッター:動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したい場合などに適しています。後幕発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	P、	A			
\$REAR 後幕発光 : 通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光します(先幕発光)が、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。 発光します。 た 幕発光 た 幕発光	S.	М			

🖉 内蔵フラッシュの収納

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下 げます。バッテリーの消耗を防ぐため、フラッシュを使わないときは常に 収納してください。



🔽 内蔵フラッシュについてのご注意

- 内蔵フラッシュを使って撮影するときは、カメラを被写体から0.6m以上離してください。
- 内蔵フラッシュ撮影が可能なレンズについては¹²²44をご覧ください。フラッシュの光がさえぎられることがあるので、レンズフードは取り外してください。また、マクロ付きズームレンズのマクロ領域ではお使いになれません。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するために、一時的に発光が制限され、シャッター がきれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び使えるようになります。

🖉 内蔵フラッシュ撮影時のシャッタースピード制限について

内蔵フラッシュ撮影時のシャッタースピードは、次の範囲で制限されます。

📅 、 Ź 、 荃 、 逖 、 溪 、 🤿 、 11、 🗟 、 昌 、 P 、 A	1/200~1/60秒
E.	1/200~1秒
S	1/200~30秒
Μ	1/200~30秒、Bulb、Time

- 撮影モード
 をONにしているとき(□298)は、シャッタースピードの低速側の制限が自動的に1/30秒まで延長されます。
- 撮影モードPまたはAでのスローシャッター時(□167)は、シャッタースピードの低速側の制限が 30秒まで延長されます。

🖉 内蔵フラッシュの調光範囲(光の届く範囲)

内蔵フラッシュはISO感度と絞り値によって調光範囲(光の届く範囲)が異なります。下表を参考にし てください。

ISO感度および絞り値							調光範囲 (m)			
100	200	400	800	1600	3200	6400	12800	詞ノし単じ四(111)		
1.4	2	2.8	4	5.6	8	11	16	約1~8.5		
2	2.8	4	5.6	8	11	16	22	約0.7~6.0		
2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	約0.6~4.2		
4	5.6	8	11	16	22	32	—	約0.6~3.0		
5.6	8	11	16	22	32	—	—	約0.6~2.1		
8	11	16	22	32	_	—	—	約0.6~1.5		
11	16	22	32		_	—	—	約0.6~1.1		
16	22	32	—	—	—	—	—	約0.6~0.7		

ISO感度を設定する

撮影時の周辺の明るさに応じて、光に対する感度(ISO感度)を変更できます。一般的 に、ISO感度を高くするほど、より高速のシャッタースピードで撮影できます(同じ被 写体を同じ絞り値で撮影する場合)。

設定できるISO感度は、撮影モードによって異なります。

פ•. 🕄. 🗹	AUTO
P、S、A、M	100~12800(1/3段ステップで設定できます)、Hi 0.3、Hi 0.7、Hi 1
その他の撮影モード	AUTO、100~12800(1/3段ステップで設定できます)、Hi 0.3、Hi 0.7、 Hi 1

- [AUTO] ではカメラが自動的に ISO 感度を決めます。撮影メニュー [ISO 感度設定] の「感度自動制御」では、撮影モードP、S、A、Mでも、ISO感度を自動制御するよ うに設定できます(四188)。
- [Hi 0.3] ~ [Hi 1] (ISO 16000~ISO 25600相当) で撮影した画像には、ノイズ (ざ らつき、むら、すじ)が特に発生しやすくなります。
- **1** [ISO感度] を選ぶ
 - iボタンを押します。



iボタン

インフォ画面

- マルチセレクターで「ISO感度」を選んで のボタンを押します。
- 2 設定したいISO感度を選ぶ



設定した間隔で撮影する (インターバルタイマー撮影)

撮影間隔(インターバル)を設定し、1コマずつ自動的に撮影します。つぼみがゆっく りと開く様子や、蝶が羽化する様子などを記録したい場合などに便利です。

- 1 [インターバルタイマー撮影] を選ぶ
 - MENU ボタンを押して、撮影メニューの [イン ターバルタイマー撮影]を選んでマルチセレク ターの▶を押します。



MENUボタン

- 2 [開始トリガー] (開始方法)を設定する
 - すぐに撮影する場合、[即時スタート] を選んで ▶
 を押します(手順4へ)。
 - ・開始時刻を決めて撮影する場合、[開始時刻設定] を 選んで▶を押します(手順3へ)。
- 3 [開始時刻] を設定する
- 4 [撮影間隔] (インターバル)を設定する

 - 撮影間隔は、シャッタースピードよりも長い時間を 設定してください。
- 5 [撮影回数] を設定する
 - ● または を押して撮影回数を1ケタずつ選びます。
 ▲または ▼を押すと、数値が変わります。数値の設定後、●を押して手順6の画面に進みます。





@ 10.00



6 インターバルタイマー撮影を開始する

 ・[撮影動作] で [開始] を選んで
 ・ ボタンを押します。
 「開始トリガー] で [即時スタート] を選んだ場合は、約3秒後に撮影を開始します。
 [開始時刻設定]
 を選んだ場合は、設定した時刻に撮影を開始します。



- •インターバルタイマー撮影中は、SDカードアクセスランプが一定間隔で点滅します。
- 設定した撮影回数分撮影すると、インターバルタイマー撮影を終了して、通常の撮影 に戻ります。
- すぐに撮影を開始しない場合は、[終了]を選んで∞ボタンを押すと、設定を保存して 撮影メニューに戻ります。

🔽 インターバルタイマー撮影を開始する前に

- 試し撮りをすることをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニューの [地域と日時] (ロ211) で日時が正確に設定されていることを 確認してください。
- カメラを三脚で固定することをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。

🔽 インターバルタイマー撮影についてのご注意

- [レリーズモード](□47)が[回](静音撮影)の場合は、撮影時の動作音を抑えて撮影します。その他のレリーズモードの場合は、[S](1コマ撮影)の設定で撮影します。
- 実際のインターバルタイマー撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理 を行う時間が含まれます。撮影間隔が充分な長さに設定されていない場合は、設定した撮影間隔で撮 影できず、その回の撮影がキャンセルされることがあります。
- 設定した [開始時刻] が現在時刻後1分以内の場合や、シャッタースピードがBulbやTimeの場合など、インターバルタイマー撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- インターバルタイマー撮影とオートブラケティング(四112)、[多重露出](四102)、[HDR (ハイ ダイナミックレンジ)](四100)は併用できません。
- インターバルタイマー撮影中は、設定の変更はできません。
- 電源をOFFにするか撮影モードダイヤルを回すと、インターバルタイマー撮影を中止します。
- ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーからの光が適正露出や画像に影響を与えることを防ぐため、付属のアイピースキャップを取り付けることをおすすめします(ロ51)。

🖉 液晶モニターの開閉について

インターバルタイマー撮影中に液晶モニターを収納状態にしても、インターバルタイマー撮影は継続 されます。

リモコン撮影する

<u>別売のリモコンML-L3を使って撮影する</u>

別売のリモコンML-L3(CD253)を使って、カメラから離れた場所から静止画を撮影す ることができます。記念写真など撮影者自身も一緒に写りたいときや、シャッターボタ ンを押すときの手ブレを軽減したいときなどにお使いください。リモコン撮影時は、三 脚などを使ってカメラを固定してください。

1 🖳 (心/i) ボタンを押す



🖳 (🕑/â) ボタン

2 [â 2s] (2秒リモコン (ML-L3)) または [â] (瞬時リモコン (ML-L3)) を選ぶ

・ Wボタンを押して設定します。

- 3 構図を決め、ピントを合わせる
 - オートフォーカスで撮影する場合、撮影を開始する前にカメラのシャッターボタンを半押しして、ピント合わせを行ってください。

4 ML-L3の送信ボタンを押す

- •5m以内の距離から、ML-L3の送信部をカメラのリモコン受光部 に向け、送信ボタンを押してください(リモコン受光部は、カ メラ前面と背面の2カ所にあります(ロ1、2))。
- [â 2s] (2秒リモコン (ML-L3))の場合、セルフタイマーラン プが約2秒間点灯してからシャッターがきれます。
- [**î**] (**瞬時リモコン (ML-L3)**)の場合、すぐにシャッターがきれ、撮影後にセルフタ イマーランプが一瞬点灯します。

🖉 リモコンの送信ボタンを押しても撮影できないときは

ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態では撮影できないことがあります。



🖉 リモコン撮影について

- 別売のリモコンML-L3を初めてお使いになるときは、リモコンにはさんである透明の絶縁シートを引き抜いてください。
- •ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーからの光が適正露出や画像に影響を与えることを防ぐため、付属のアイピースキャップを取り付けることをおすすめします(凹51)。
- レリーズモードが [â 2s] (2秒リモコン (ML-L3)) または [â] (瞬時リモコン (ML-L3)) のときに、カメラや別売のリモートコード、ワイヤレスリモートコントローラーのシャッターボタンを全押しすると、[S] (1コマ撮影) で撮影します。

🖉 リモコンモード設定(ML-L3)の解除について

次の場合、リモコンモードを解除します。

- ・撮影を行わないまま、カスタムメニュー c4 [リモコン待機時間(ML-L3)](□195)で設定したリ モコン待機時間が過ぎた場合
- カメラの電源をOFFにしたとき
- ツーボタンリセットを行った場合(凹74)
- [撮影メニューのリセット] を行った場合

🖉 リモコン撮影時のフラッシュについて

- 内蔵フラッシュが自動で上がる撮影モード(□064)では、リモコンの受信待機状態になるとフラッシュの充電が始まり、充電完了後にML-L3の送信ボタンを押すと、必要に応じて内蔵フラッシュが自動的に上がり発光します。フラッシュの充電中にML-L3の送信ボタンを押しても、カメラは反応しません。しばらく待ってから送信ボタンを押してください。
- ・内蔵フラッシュを手動で上げる撮影モード(□066)でフラッシュを使って撮影したいときは、撮影を開始する前に\$(122)ボタンを押して内蔵フラッシュを上げ、ファインダー内の\$(フラッシュアイコン)が点灯するまでお待ちください(□23)。ML-L3の送信ボタンを押した後にフラッシュを上げると、撮影は中止されます。

🖉 カスタムメニュー c4[リモコン待機時間(ML-L3)]

カスタムメニュー c4 [**リモコン待機時間 (ML-L3)**]では、リモコンの受信待機時間を変更できます (皿195)。

🖉 別売のワイヤレスリモートコントローラーを使って撮影する

別売のワイヤレスリモートコントローラー WR-R10、WR-T10、およびWR-1(ロ253)を組み合わせ て使うと、無線での遠隔撮影を行えます。ワイヤレスリモートコントローラーのシャッターボタンは、 カメラのシャッターボタンと同様に操作して撮影できます。詳しい操作方法については、ワイヤレス リモートコントローラーの使用説明書をご覧ください。

最初の設定に戻す (ツーボタンリセット)

MENUボタンと*i*ボタン(緑色の●印がついています) を同時に約2秒間押すと、インフォ画面がいったん消灯 してから再点灯し、次の各機能が初期設定状態に戻り ます。



■インフォ画面で設定できる機能

画質モード(□□61)	NORMAL
画像サイズ(🗆 63)	サイズL
オートブラケティング(🗅	112)
P、S、A、M	解除 (OFF)
HDR(ハイダイナミックレ	ンジ)(□100)
P. S. A. M	しない
アクティブD-ライティン	グ(□198)
P. S. A. M	オート
ホワイトバランス (四10	5)
P. S. A. M	オート
ISO感度(□□69)	
P、S、A、M	100
Ž. 🛋 🔮 💐 🕷 🖾	
	オート
\$, \$, \$, \$, \$, \$, \$\$, \$, \$, \$\$, \$\$, \$\$,	
ピクチャーコントロールの	D調整値(□□116)※
P、S、A、M	—
フォーカスモード	
ファインダー撮影(□5)	3)
四回りの提野エード	AFサーボモード
	自動切り換え
ライブビュー / 動画撮影	ミハングリ ハロサーボ
(🗆 124)	

※現在選択中のピクチャーコントロールのみ解除 されます。

AFエリアモード	
ファインダー撮影(□5	5)
🕏 . 4. †1. 🛋 . 🖽 . 🗖	シングルポイントAF
دير وق	ダイナミックAF
1.77	(39点)
™ 、 ③、 <u>∡</u> 、 ▲ 、 <u>∡</u> 、	
	オートエリアAF
₩,₩,₩,₩,₩,₩, ₽. \$. Δ. Μ	
ライブビュー /動画撮影	([[]]125)
≦`` ``````````````````````````````````	顔認識AF
속, 🔜, 🤿, 🖾, 🗐, 🔒,	
Ø, Ϫ, ₩, ω , ⋣, P,	ワイドエリアAF
S, A, M	
\$, "1	ノーマルエリアAF
測光モード(🗆 93)	
Ρ、 S、 A、 M	マルチパターン測光
フラッシュモード(🖽 64)
™、え、 を、 ♥、¥、 ▼、泉	通常発光オート
5 *	通常発光オート+
	スローシャッター
X	赤目軽減オート
Ρ、 S、 A、 M	通常発光
フラッシュ調光補正(□□9	97)
P、S、A、M	解除(0.0)
露出補正(□□95)	
🗹 、 P、 S、 A、 M	解除(0.0)

■その他の撮影関連の機能

レリーズモード(□147)		ス
₹ . ₩	高速連続撮影	た
その他の撮影モード	1コマ撮影	1
フォーカスポイント	фф	ł
(□157)		۱
AE/AFロックボタンのホー	ルド状態(🗆 203)	1
響、 ・ ③ 以外の 場影エード	解除	1
	<u> </u>	
フロクラムシフト (山87)	3
P	解除	3
多重露出(□□102)		t
多重露出モード		1
P. S. A. M	しない	1
		and the second s

スペシャルエフェクトモードの効果(🕮 37)		
カラースケッチ(□141)		
色の濃さ	0	
線の濃さ	0	
トイカメラ風(□□42)		
色の濃さ	0	
周辺減光	0	
ミニチュア効果(□□43)		
効果をかける方向	横方向	
効果をかける幅	標準	
セレクトカラー(□145)		
抽出した色	リセット	
色の感度	3	

位置情報機能を使う

位置情報を記録しながら撮影する

カメラの位置情報機能を使って、現在の位置情報(緯度、経度、標高)と時刻(UTC (協定世界時))を取得します。取得した位置情報は、撮影する画像に記録できます。位 置情報を取得するときは、空のひらけた屋外でカメラを操作してください。

1 [位置情報] を選ぶ

 MENUボタンを押して、セットアップメニューの [位置情報]を選んでマルチセレクターの▶を押 します。



位置情報話 GPS設定 ロク取得 ログリスト

MENUボタン

2 [位置情報記録] を選ぶ

〔位置情報記録〕を選んで▶を押します。



• [する]を選んで ∞ ボタンを押すと、位置情報機能が 有効になり、衛星から電波を受信して測位が始まり ます。 □ 位置情報
 □ 位置情報記録
 □ する
 □ しない

🖉 位置情報機能をお使いの前に

- •「位置情報機能について」(□xvii)をお読みください。
- セットアップメニューの [地域と日時] (四211) で日時が正しく設定されていることを確認してく ださい。
- 操作中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。

4 インフォ画面で衛星受信状態を確認する

■ボタンを押して、インフォ画面の衛星受信状態マークを確認します。



位置情報 位置情報記録

5 撮影する

- 衛星から受信した位置情報が画像に記録されます。
- 画像に記録した位置情報は、再生画面の情報表示(ロ142)またはViewNX 2(ロ80) で確認できます。

6 測位を終了する

•セットアップメニュー[位置情報]の[位置情報記録]を[し ない]にすると、位置情報機能が無効になり、測位を終了します。

🖉 衛星受信状態マークについて		
• 衛星受信状態マークは、[位置情報]画面でも確認できます。	▶ 位置情報	
• 衛星受信状態マークの見方は次の通りです。	GPS設定	
- 🛃 (点灯):衛星から測位した緯度、経度、標高の情報が画像に記録さ		
れます。	1	
- 🔧 (点灯):衛星から測位した緯度、経度の情報が画像に記録されます。		[1/2] HAR
標高は記録されません。		
- 💰 (点滅):測位できていません。画像に位置情報は記録されません。		

位置情報のログを取得する

このカメラの位置情報機能を使うと、移動中の位置情報(緯度、経度、標高)と時刻 (UTC(協定世界時))のログを取得できます。



MENUボタンを押して、セットアップメニューの
 [位置情報] で[位置情報記録] を選んでマルチ
 セレクターの▶を押します。

「する」を選んで ○ ボタンを押すと、 位置情報機



MENUボタン



2 [ログ取得] を選ぶ

能が有効になります。

• [ログ取得] を選んで▶を押します。



3 ログの取得間隔と取得時間を設定する

- [取得間隔(s)] を選んで ◀ または ▶ を押して、ログを 取得する間隔(単位:秒)を設定します。
- [取得時間(h)]を選んで◀または▶を押して、ログを 取得し続ける最長時間(単位:時間)を設定します。



4 ログ取得を開始する

- [ログ取得実行] を選んで▶を押します。[実行開始] を選び、∞ボタンを押すと、ログ取得を開始します。
- ログ取得中は、[位置情報] 画面に残り時間が表示されます。
- カメラの電源をOFFにしたり、半押しタイマーがオフになっても、ログを取得し続けます。電池残量に注意してください。

5 ログ取得を終了する

- ・設定したログの取得時間が経過する前にログ取得を 終了するには、セットアップメニュー [位置情報] →
 [ログ取得] → [ログ取得実行] で [終了] を選んで
 ◎ ボタンを押します。
- 取得したログは、SD カードにログファイルとして保存されます。SDカードアクセスランプが点灯している間は、ログファイルの保存中です。SDカードやバッテリーを取り出さないでください。



残り時間

· 置信都記紹

NN



🖉 ログを取得した日付の一覧を表示するには

セットアップメニュー [位置情報] の [ログリスト] では、ログを取得した 日付の一覧が表示されます。複数のログを取得した日付の後ろには、取得し たログの識別番号が表示されます。



🖉 ViewNX 2の [地図] 機能について

付属のViewNX 2の [地図]機能(ロ162)を使うと、画像に記録した位置情報を地図上に表示したり、カメラで取得したログを使って地図上に移動ルートを表示できます。

🖉 このカメラで取得したログについて

- ログはSDカードの「NIKON」フォルダー内にある「GNSS」フォルダーに保存され、Nyymmddx.log という名前が付けられます。yy にはログを取得した年の西暦下2桁が入り、mmには月が、ddには 日が、xには0~9、A~Zの識別番号が入り、拡張子は「.log」になります(たとえば、2013年10月 15日に最初に取得したログのファイル名は「N1310150.log」になります)。パソコンに装備されて いるカードスロットまたは市販のカードリーダーに、ログファイルの入ったSDカードを差し込み、 Nikon Transfer 2でパソコンに転送してください。
- NMEAフォーマットに準拠しています。ただし、すべてのソフトウェアやカメラでの表示を保証するものではありません。

保存したログを削除する

- 1 ログリストを表示する
 - セットアップメニュー「位置情報]の「ログリスト] (□80)を選んでのボタンを押します。

2 而ボタンを押す

が表示されます。

- ●「ログデータ削除〕画面が表示されます。
- ●削除したいログを選び、マルチセレクターの● を押してチェックボックスをオン区にします。 もう一度▶を押すと、チェックボックスがオフ □になります。
 のボタンを押すと、確認画面が 表示されます。





位置情報記録 GPS設定

ログリスト

NFF



面ボタン

• [はい] を選んで ® ボタンを押すと、選んだログが削 除されます。



♥ボタン



<u>GPS設定</u>

セットアップメニュー [位置情報]の[GPS設定]では、位置情報に関する設定を変更 できます。

■■半押しタイマー

位置情報機能を使っているときの半押しタイマーを設定できます。

カメラを操作していないときは、カスタムメニュー c2 [**パワーオフ時間**]の [**半押しタ** イマー] (ロ194) で設定された時間で半押しタイマーがオフになります。

- カメラのバッテリーの消耗を少なくすることができます。
- **有効** 電源をONにした直後または半押しタイマーがオンになった直後は、カメラが位置情報
 を取得できるまで半押しタイマーがさらに最大1分間延長されます。
 - カメラの位置情報機能使用時と別売のGPSユニット使用時は、半押しタイマーがオフになってからも、位置情報の測位を一定時間継続します。

無効 カメラの位置情報機能使用時と別売のGPSユニット使用時は、半押しタイマーがオフにならず、位置情報を測位し続けます。

■■衛星による日時合わせ

する 位置情報機能を使って取得した日時の情報で、カメラの内蔵時計を合わせます。 しない 位置情報機能を使って日時を合わせません。

■A-GPSデータ更新

最新のA-GPS(アシストGPS)データを使うと、カメラの位置情報機能で位置情報を測 位するまでの時間を短くできます。次の方法でA-GPSデータを更新します。

1 下記のホームページから最新の A-GPS ファイルをパソコンにダウンロー ドする

http://downloadcenter.nikonimglib.com/

- 2 パソコンに装備されているカードスロットまたは市販のカードリーダーを 使って、ダウンロードしたファイルをSD カードの「NIKON」フォルダー にコピーする
 - •「NIKON」フォルダーはSDカードのルートディレクトリ(一番上の階層)にあります。 SDカード内に「NIKON」フォルダーがない場合は、フォルダーを新規作成してくだ さい。
- **3** A-GPSファイルを保存したSDカードをカメラに入れる

4 カメラの電源を入れる

5 [A-GPSデータ更新] でA-GPSデータを更新する

- セットアップメニュー[位置情報]の[GPS設定]で[A-GPSデータ更新]を選んで マルチセレクターの▶を押します。
- [はい]を選んで®ボタンを押すと、SDカードに保存したA-GPSファイルで更新します。
- •更新終了まで約2分かかります。

🔽 A-GPSデータ更新についてのご注意

- A-GPS ファイルの有効期限は約2週間です。有効期限切れの A-GPS ファイルを SD カードに入れて A-GPSデータを更新しようとすると、警告メッセージが表示されます。
- カメラ内のA-GPSデータの有効期限は、[A-GPSデータ更新] 画面で確認で きます
- A-GPS データの有効期限が切れている場合は、位置情報の測位は早くなりません。A-GPS データは位置情報機能を使う前に更新することをおすすめします。



▶ 位置情報機能についてのご注意

- 初めて測位したときや、測位できない状態が長時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときなど、測位情報を取得するまで時間がかかることがあります。
- 航法衛星の位置は常に変化しています。お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がか かったり、測位できないこともあります。
- 次のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかったり、測位した位置が実際にいた 場所と異なることがあります。
 - 建物の中や地下
 - 高層ビルの間
 - 高架の下
 - トンネルの中
 - 高圧電線などの近く
 - 密集した樹木の間
 - 入れ物の中(金属製のカバンなど)
- 携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものや、磁気を発生するものがある場合は、測 位できないことがあります。
- 航法衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足元にご注意ください。
- 動画の場合は、動画撮影開始時に取得した情報を記録します。
- ・画像ファイルに記録されている位置情報は、取得した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。
- カメラの電源をOFFにしても、位置情報機能は無効になりません。
- 83 撮影機能を使いこなす

🔽 ログ取得についてのご注意

- •日時が設定されていない場合やSDカードがカメラに入っていない場合は、ログ取得はできません。
- 操作中のバッテリー切れを防ぐため、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- ログ取得時間内でも、次の場合にログ取得が終了します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - バッテリーを取り外したとき
 - セットアップメニュー [位置情報] の [位置情報記録] を [しない] にしたとき
 - 別売のGPSユニットをカメラに接続したとき
- 位置情報の測位ができずに、ログの取得が途絶えている間は、ログは記録されません。

🖉 GPSユニットとの接続について

- 別売のGPSユニットをカメラに接続するには、カメラの電源をOFFにしてから、GPSユニットに付属のケーブルをアクセサリーターミナルに接続します(ロ252)。
- GPSユニットをカメラに接続すると、常にGPSユニットを使って位置情報を受信します。セットアッ プメニュー [位置情報]の [位置情報記録]の設定は無効になります。GPSユニット装着時は、ロ グの取得はできません。
- ・別売のGPSユニットを使って位置情報を取得する場合も、セットアップメニュー[位置情報]→[GPS 設定]の[半押しタイマー]と[衛星による日時合わせ]で設定した内容で動作します(□282)。
- GPSユニットについての詳しい情報は、GPSユニットの使用説明書をご覧ください。

P、S、A、Mモードで撮影する

撮影モードP、S、A、Mを使う

撮影の意図に応じて、シャッタースピードと絞り値のそれぞれを自分で 設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。



P	プログラムオート (□□87)	シャッターチャンスを逃したくないスナップ撮影などに使います。 シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動制御します。
S	シャッター優先オート (□288)	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使います。シャッ タースピードを自分で設定し、絞り値はカメラが自動制御します。
A	絞り優先オート (□□89)	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに使います。絞り値 を自分で設定し、シャッタースピードはカメラが自動制御します。
М	マニュアル (□90)	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定します。長時間露 出(バルブ、タイム)撮影も、このモードで行います。

🖉 シャッタースピードと絞り値について

シャッタースピードと絞り値は、ファインダー内とインフォ画面に表示されます。







動きの速い被写体を撮影したいときは、 速いシャッタースピードに設定する (シャッタースピード: 1/1600秒)



メインとなる被写体を浮き立たせたいときは、 絞りを開く (絞り値:F5.6)



被写体の動きを強調したいときは、 遅いシャッタースピードに設定する (シャッタースピード:1秒)



近くから遠くまでピントの合った写真を 撮影するには、絞りを絞りこむ (絞り値:F22)

<u> P:プログラムオート</u>

シャッターチャンスを逃したくないスナップなど幅広 い撮影に適しています。被写体の明るさに応じて、露 出が適正になるようにカメラがシャッタースピードと 絞り値を自動的に決定します。「プログラムオート」に するには、撮影モードを**P**に合わせます。 撮影モードダイヤル



WIE

コマンドダイヤル

P*

B)00 F6.3

🖉 プログラムシフトの操作方法

[プログラムオート](P)では、カメラがシャッタースピードと絞り値を決めますが、「プログラムシフト」を行うと、適正露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。

動きの速い被写体を撮影したいときや、背景をぼかしたいときは、コマン ドダイヤルを右に回します(シャッタースピードが速くなり、絞りが開き ます)。

被写体の動きを強調したいときや、近くから遠くまでピントの合った写真 を撮影したいときは、コマンドダイヤルを左に回します(シャッタースピー ドが遅くなり、絞りが絞り込まれます)。

- プログラムシフト中はファインダー内とインフォ画面にプログラムシ フトマーク局(P)が点灯します。
- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク □(□)が 消灯するまでコマンドダイヤルを回します。電源をOFFにしたときや、 他の撮影モードに切り換えたときも、プログラムシフトは解除されま す。
<u>S:シャッター優先オート</u>

動きを写し止めて撮影したいときや、被写体の動きを強調する撮影に適しています。 シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り 値を決定します。



迷いシャッタースヒードに 設定したとき (シャッタースピード:1/1600秒)



遅いシャッタースピードに 設定したとき (シャッタースピード:1秒)

シャッタースピードは次の方法で設定します。

1 撮影モードダイヤルをSに合わせる



2 シャッタースピードを設定する

 コマンドダイヤルを右に回すとシャッタース ピードが速くなり、左に回すとシャッタース ピードが遅くなります。



A:絞り優先オート

背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立たせたい場合や、近くから遠くまでピント の合った写真を撮影したい場合に適しています。絞り値を自分で決めると、露出が適正 になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。



絞りを開いたとき (絞り値:F5.6)



絞りを絞り込んだとき (絞り値:F22)

絞り値は次の方法で設定します。

1 撮影モードダイヤルをAに合わせる



2 絞り値を設定する

 コマンドダイヤルを左に回すと絞りが開き(絞) り値が小さくなり)、右に回すと絞りが絞り込 まれ(絞り値が大きくなり)ます。



ダイヤル

<u>M:マニュアル</u>

シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露出 (バルブ、タイム)撮影(ロ91)で撮影する場合にもこの撮影モードを使います。



2 露出インジケーター(下記参照)を確認しながら、シャッタースピードと 絞り値を設定する

シャッタースピードの設定

 コマンドダイヤルを右に回すとシャッタース ピードが速くなり、左に回すとシャッタース ピードが遅くなります。



絞り値の設定:

 図(@)ボタンを押しながら コマンドダイヤルを左に回す と絞りが開き(絞り値が小さく なり)、右に回すと絞りが絞り 込まれ(絞り値が大きくなり) ます。



🖉 露出インジケーターの見方				
適正露出	1/3段アンダー	2段以上オーバー		
º.+	<mark>0</mark> . +	- 0 + ⊡uiui⊳		
• 長時間露出 (バルブ、タイム) 撮影時 (四91) と非CPUレンズ使用時 (四246) は、露出インジケー ターは表示されません。				

長時間露出で撮影する(撮影モードMのみ)

長時間露出撮影には、バルブ撮影とタイム撮影の2種類があります。花火や夜景、星空の撮影や、自動車のライトの流れを表現したいときなどに使います。



シャッタースピードを35秒、 絞り値をF25にして撮影した場合の画像

バルブ撮影	シャッターボタンを押し続けている間シャッターが開いたままになり、シャッター ボタンを放すとシャッターが閉じます。 • リモコンML-L3 (別売)の送信ボタンを押すと、シャッタースピードをBulbにして いても、タイム撮影します。
タイム撮影	シャッターボタンを全押しするとシャッターが開いたままになり、もう一度押すと シャッターが閉じます。

■バルブ撮影する

 1 撮影モードダイヤルをMに合わせる
 撮影モードダイヤル
 単二・ドダイヤル
 2 コマンドダイヤルを回して、シャッター スピードをBulbに設定する
 コマンド ダイヤル
 しいからして、シャッター
 コマンド ダイヤル

3 ピントを合わせて、撮影を開始する

シャッターボタンを全押しして撮影を開始します。シャッターボタンは押し続けてください。

4 撮影を終了する

- •シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。
- 91 P、S、A、Mモードで撮影する

■タイム撮影する

1 撮影モードダイヤルをMに合わせる



2 コマンドダイヤルを左に回して、シャッ タースピードをTime(ファインダー内 表示は--)に設定する



- 3 ピントを合わせて、撮影を開始する
 - •シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開き、撮影を開始します。
- 4 もう一度シャッターボタンを全押しして撮影を終了する
 - シャッターが開いてからボタンを押さないまま30分経つと、シャッターが自動的に閉じて撮影を終了します。

🖉 別売のリモコンML-L3をお使いの場合

撮影前にレリーズモードをリモコンモード([â 2s](2秒リモコン(ML-L3))または[â](瞬時リモ コン(ML-L3))に設定してください(ロ72)。

🖉 長時間露出撮影を開始する前に

- 手ブレを抑えるために三脚や別売のリモコン、ワイヤレスリモートコントローラーまたは、リモート コードが必要です(ロ252、253)。ワイヤレスリモートコントローラーとリモートコードのシャッ ターボタンは、カメラのシャッターボタンと同様に機能します。
- ・露光時間が長くなると、画像にノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生することがあります。このノ イズは、あらかじめ撮影メニューの[長秒時ノイズ低減](□187)を[する]にしておくことで低 減できます。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。
- 適正露出や画像に影響を与える接眼部からの逆入射光を防ぐため、シャッターボタンを押す前に付属のアイピースキャップを取り付けてください(ロ51)。

被写体の露出(明るさ)を設定する

明るさを測る方法を設定する (測光モード)

適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法(測光モード)を設定し ます。

じ マルチパターン測光	ほとんどの撮影状況に対応できる測光モードです。画面の広い領域を測光して、被写体の輝度(明るさ)分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。
(∅) 中央部重点測光	 画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。 露出倍数のかかるフィルターをお使いになるときは、中央部重点測光をおすすめします。
• スポット測光	逆光時や被写体の明暗差が激しいときなど、狭い範囲での露出を基準にして 撮影したい場合に適しています。選んだフォーカスポイントに重なる部分だ けを測光します。

1 「測光モード」を選ぶ

 ・
 ・
 ボタンを押します。





iボタン

インフォ画面

 マルチセレクターで「測光モード」を選んで

2 設定したい測光モードを選ぶ

のボタンを押して設定します。



🖉 スポット測光について

測光エリアは、フォーカスポイントに連動します。 ただし、ファインダー撮影時の [AFエリアモード] (□55)が[[]](オートエリアAF)のときは、中央のフォーカスポイントに相当する部分を測光します。

<u>AEロック撮影</u>

AEロック撮影とは、被写体の特定の部分を測光して露出を決め、そのまま構図を変え て撮影する方法です。露出を合わせたい部分とその周囲とで、極端に明るさが異なる場 合などに効果的です。測光モードは〔•〕(スポット測光)または〔◎〕(中央部重点測 光)に設定してください(□93)。撮影モード習と③では、AEロックできません。

1 シャッターボタンを半押しする



2 露出を固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま(①)、 (①)、 (①)、 ボタンを 押すと(②)、 露出が固定されます。 (①)、 ボタンを押して いる間は、シャッターボタンから指を放しても、 露出が固定さ れます(この状態をAEロックといいます)。
- **紀**(**O**n) ボタンを押している間、ファインダー内には**AE-L** マークが点灯します。
- 3 AE ロックを行ったままで構図を変え、シャッ ターボタンを全押しして撮影する





 AEロック中のカメラ操作について AEロックしている間もコマンドダイヤルで次の操作ができます。 			
	撮影モード	操作	
-	P (プログラムオート)	プログラムシフト(印87)	
-	S(シャッター優先オート)	シャッタースピードの変更	
-	A(絞り優先オート)	絞り値の変更	
 ● AFロック中は、測光モードは変更できません。			

シャッターボタン



<u>画像の明るさを調整する (露出補正)</u>

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。画像全体を明 るくしたり、暗くしたいときなどに使います(□282)。露出補正を行うときは、測光 モード(□293)を [回](中央部重点測光)または [⊡](スポット測光)にすると効 果的です。





露出補正なし



+1段補正

露出補正値を変える

- (②) ボタンを押しながらコ マンドダイヤルを回すと、ファ インダー内とインフォ画面の 露出補正値が変わります。
- 被写体を明るくしたいときは
 +側に、暗くしたいときは
 ー側に補正します。







🖉 撮影モードMで露出補正をした場合

露出補正値を0.0以外に設定すると、露出インジケーターの基準値が変わります。

✓ 撮影モード恐で露出補正をした場合

撮影モード図でも露出補正ができます。図で露出補正を行った場合、撮影モードを切り換えると、露 出補正値の設定は解除されます。

🖉 フラッシュ使用時の露出補正

フラッシュ使用時に露出補正を行った場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方に補正が行われます。

🖉 オートブラケティング撮影

露出補正値を変えながら、明るさの異なる画像を続けて撮影できます(ロ112)。

フラッシュの発光量を調整する (フラッシュ調光補正)

調光補正とは、フラッシュの発光量を意図的に変えることで、被写体の明るさを調整 したいときなどに使います(ロ282)。発光量を多くしてメインの被写体をより明るく 照らしたり、発光量を少なくしてメインの被写体に光が強く当たりすぎないようにで きます。

調光補正値を変える

- ・ (四2) ボタンと 22(20) ボタンを 押しながらコマンドダイヤルを回す と、ファインダー内とインフォ画面の 調光補正値が変わります。
- 被写体を明るくしたいときは+側に、
 暗くしたいときは-側に補正します。



ボタン





☑ (֎) ボタン コマンド ダイヤル



インフォ画面

80 FS.8	012 J	0.3	\$	80 FK0	9121 P	63	\$
-0.3段補正			+1	段補正	E		

🖉 調光補正の設定について

調光補正は、インフォ画面でも設定できます(ロ7)。



🖉 調光補正の解除について

調光補正を解除するには、補正値を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正値の設定 は解除されません。

🖉 別売スピードライト使用時の調光補正

- 別売のニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト (ロ247) 使用時も、調光補 正を行うことができます。
- カメラ側とスピードライト側で同時に調光補正を行う場合、両方の補正値を加算します。

97 P、S、A、Mモードで撮影する

白とびや黒つぶれを抑えて撮影する

<u>アクティブD-ライティング</u>

アクティブD-ライティングを使うと、暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の大きい景色を撮影するのに効果的です。ハイライト部(明るい部分)の白とびを抑え、シャドー部(暗い部分)の黒つぶれを軽減する効果があるため、目で見たコントラストに近い画像に仕上がります。アクティブD-ライティングを設定したときは、M以外の撮影モードで撮影するか、測光モードを [図](マルチパターン測光)に設定して撮影することをおすすめします(ロ93)。



アクティブD-ライティング [**0FF しない**]



アクティブD-ライティング [**暗Aオート**]

- **1** [アクティブD-ライティング] を選ぶ
 - •*i*ボタンを押します。



iボタン

インフォ画面

 マルチセレクターで [アクティブD-ライティン グ] を選んで@ボタンを押します。

2 設定したいアクティブ D- ライティングの効 果の度合いを選ぶ(□282)



▼ アクティブD-ライティングについてのご注意

- アクティブD-ライティングを設定して撮影をするとき、撮影シーンによっては、ノイズ(ざらつき、 むら、すじ)が強調される場合があります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- ISO感度がHi 0.3以上の場合、アクティブD-ライティングは機能しません。

【アクティブD-ライティング】と画像編集メニュー【D-ライティング】の違い 撮影前に【アクティブD-ライティング】を設定すると、撮影シーンに応じてハイライト部やシャドー

部および中間調を適切に調整して画像を記録します。一方、[**D-ライティング**] は、撮影した画像に対 してシャドー部を明るく補正します。

💋 オートブラケティング撮影

アクティブD-ライティングを行わない画像と行う画像を2枚続けて撮影できます(ロ112)。

HDR(ハイダイナミックレンジ)合成を行う

1回の撮影で露出が異なる画像を2コマ撮影して合成することにより、輝度範囲の広い シーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像を記録します。明暗差が著しい撮影シーンな どで、暗いところから明るいところまで幅広く再現された画像になります。HDR(ハイ ダイナミックレンジ)を設定したときは、測光モードを**回(マルチパターン測光)**に設 定して撮影することをおすすめします(¹¹93)。









HDRで合成された画像

- **1** [HDR (ハイダイナミックレンジ)] を選ぶ
 - •*i*ボタンを押します。
 - ・マルチセレクターで [HDR (ハイダイナミック レンジ)] を選んで@ボタンを押します。
- 2 HDRの効果の度合いを選ぶ
 - [AUTO オート]、[HIGH より強め]、[HIGH 強め]、 [NORM 標準]、[LOW 弱め]、[OFF しない] に設定で きます。
 - ・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<
 - [HDR (ハイダイナミックレンジ)] を [OFF しない] 以外に 設定すると、ファインダー内に**ドd**・が表示されます。









3 構図を決め、ピントを合わせて撮影する

- •シャッターボタンを全押しすると、2回連続してシャッターがきれます。
- 合成処理中は、ファインダー内に**しるとメイ**・が点滅します。 この表示が消えるまで次の撮影はできません。



•1回撮影すると、HDR撮影が解除されます。

✔ HDR撮影時のご注意

- RAWを含む画質モードの場合、HDR撮影はできません。
- 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく合成されないことがあります。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影がでたり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。また、HDRの効果が出にくい場合があります。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- 内蔵フラッシュは発光しません。
- レリーズモードを[9](低速連続撮影)または[9](高速連続撮影)に設定していても、連続 撮影はできません。
- P、S、A、M以外の撮影モードに変更すると、HDR撮影は解除されます。

101 P、S、A、Mモードで撮影する

多重露出撮影をする

多重露出撮影では、2~3コマまで重ねて写し込み、1つの画像として記録します。通常のアプリケーションソフトウェアなどで後から画像を合成する場合と比べ、階調特性に優れた画像になります。



- 2 [多重露出モード] を設定する
 ・「多重露出モード」を選んで▶を押します。
 - [**する**] を選んで**®**ボタンを押します。
- 3 [コマ数] (露光回数)を設定する
 - [**コマ数**] を選んで▶を押します。
 - ▲または▼を押して露光回数を設定し、∞ボタン を押します。





多重露出 「自動ゲイン補正」を選んで▶を押します。 多重露出モード **NN** コマ数 2 自動ゲイン補正 ON 自動ゲイン補正を設定し、のボタンを押します。 多重露出 自動ゲイン補正 しない 重ね合わせた画像の露出が適正になるように、露光回数に合わせて自動的に ゲイン (出力) を補正します

する	• 各コマのゲインは、「1÷露光回数」となります。たとえば、露光回数が 「2コマ」の場合は1/2、「3コマ」の場合は1/3になります。
しない	ゲインを補正せず、全ての露光結果をそのまま重ね合わせます。背景が暗い

- 5 1回目の撮影をする
- 6 2回目以降の撮影をする
 - 設定した回数分の撮影をすると、多重露出撮影が解除されます。









4 [自動ゲイン補正]を設定する

■多重露出撮影を中断するには

設定したコマ数分を撮影する前に多重露出撮影を中断するに は、多重露出モードを [**しない**] に設定します。多重露出撮影 を中断すると、その時点までの露光結果だけを重ね合わせた画 像が記録されます([**自動ゲイン補正**]を [**する**] にしていたと きは、露光回数に合わせてゲイン補正が行われます)。 この他、次の場合も、多重露出は中断されます。



- ツーボタンリセット(凹74)を行ったとき
- カメラの電源をOFFにしたとき
- バッテリーの残量がなくなったとき
- 多重露出中に撮影した画像を削除したとき
- P、S、A、M以外の撮影モードに変更したとき

🔽 多重露出撮影時のご注意

- 多重露出の撮影途中、画像の再生やメニュー画面の表示で液晶モニターを点灯した場合、液晶モニターが消灯してから操作のないまま30秒程度経過すると、画像が記録されて多重露出が解除されます。撮影間隔が長くなる場合は、カスタムメニュー c2 [パワーオフ時間]の[半押しタイマー](□194)を長めに設定すると、多重露出が解除されるまでの時間が延長されます。
- 多重露出撮影中は、ライブビュー撮影ができません。
- レリーズモードを[**い**](低速連続撮影)または[**い**](高速連続撮影)に設定している場合でも、
 多重露出撮影が終了した時点で撮影はいったん停止します。
- 多重露出の撮影データ(撮影日時、測光モード、シャッタースピード、絞り値、撮影モード、露出補 正値、焦点距離、縦横位置情報など)は、1コマ目の内容になります。

ホワイトバランスを合わせる

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

通常は、初期設定のAUTO(オート)で撮影してください。撮影した画像の色味を変えたいときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

AUTO	オート	カメラが自動的にホワイトバランスを調節します。ほとんどの撮影状況に 適しています。
*	電球	白熱電球下での撮影に適しています。
	蛍光灯	蛍光灯などの光源(□106)を使った撮影に適しています。
☀	晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
4	フラッシュ	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。
2	曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
₫⊾	晴天日陰	晴天の日陰での撮影に適しています。
PRE	プリセット マニュアル	撮影者が被写体や光源を基準にホワイトバランスを合わせたり、SDカード 内の画像と同じホワイトバランスで撮影したりできます(凹108)。

1 [ホワイトバランス] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。



iボタン

インフォ画面

マルチセレクターで [ホワイトバランス] を選んで®ボタンを押します。



2 設定したいホワイトバランスを選ぶ

・ ・
 ・
 ・
 ボタンを押して設定します。



🖉 撮影メニュー [ホワイトバランス]

ホワイトバランスは、メニュー操作でも設定できます(凹184)。撮影メ ニューで[**ホワイトバランス**]を選ぶと、ホワイトバランスを微調整した り(凹107)、ホワイトバランスを自分で取得する(凹108)ことができます。

撮影メニュー 日 読家オルダー段を 15% 「 読家オルダー段を 15% 「 読をすべ、 CO 16% ● AMEC泉 15% ● AMEC泉 15% ● 7.57.54CF4 - コントロール 15%

🖉 蛍光灯の種類について

撮影メニュー (印184) の [ホワイトバランス] で [※ 蛍光灯] を選ぶと、 細かく蛍光灯の種類を設定できます。

	蛍光	кл	
	藼1	ナトリウム灯混合光	
•	祟2	電球色蛍光灯	
0	祟3	温白色蛍光灯	
Ļ	藼4	白色蛍光灯	
	黨5	昼白色蛍光灯	
1	叢6	昼光色蛍光灯	
	黨7	高色温度の水銀灯	
		③調整	OK 決定

🖉 色温度について

光の色には、赤みを帯びたものや青みを帯びたものがあり、人間の主観で光の色を表すと、見る人に よって微妙に異なります。そこで、光の色を絶対温度(K:ケルビン)という客観的な数字で表したの が色温度です。色温度が低くなるほど赤みを帯びた光色になり、色温度が高くなるほど青みを帯びた 光色になります。



ホワイトバランスを微調整する

撮影メニューの [**ホワイトバランス**] では、選んだホワイトバランスをさらに微調整することができます。

- **1** 設定したいホワイトバランスを選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの [ホワイトバランス] を選んでマルチセレクターの▶を押します。



MENUボタン

・微調整したいホワイトバランスを選んで ▶ を押します。[※蛍光灯]の場合は、蛍光灯の種類を選んでから、▶を押します(□106)。

2 微調整値を設定する

- ・▲▼◀▶を押して、座標上のカーソルを動かします。
- A (アンバー)、B (ブルー)、G (グリーン)、M (マ ゼンタ)の4方向で、各方向6段まで微調整できます。





3 決定する

・ Wボタンを押して決定します。

🔽 ホワイトバランスの微調整について

- [PREプリセットマニュアル]の場合、微調整画面は表示されません。
- ・ホワイトバランスの微調整画面で表示されている色は、色温度方向の目安の色を表しています。微調 整画面で設定しても、設定したそのままの色の画像にはならない場合があります。たとえば、ホワイ トバランスを [♣](電球)に設定してB(ブルー)方向に微調整しても、青色が強い画像にはなり ません。
- 107 P、S、A、Mモードで撮影する

<u>プリセットマニュアルを使う</u>

特殊な照明の下で撮影するときなど、[**AUT0**](オート)や [余](電球)などの設定で は望ましい結果が得られない場合や、SDカード内の画像と同じホワイトバランスで撮 影したいときは、事前に取得したホワイトバランスを使うことができます。

プリセットマニュアルデータは次の方法で取得できます。

取得データ	カメラで取得したホワイトバランスを、プリセットマニュアルデータとして使 います(下記参照)。
	SDカード内の画像のホワイトバランスデータをプリセットマニュアルデータ
撮影データ	として使います(□111)。撮影済みの画像と同じホワイトバランスで撮影で
	きます。

■プリセットマニュアルデータをカメラで取得する

- 1 撮影時に使う照明と、無彩色(白またはグレー)の被写体を用意する
- 2 [PREプリセットマニュアル] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの [ホワイトバランス] で [PRE プリセットマニュアル] を 選んでマルチセレクターの▶を押します。





MENUボタン

3 [取得データ] を選ぶ

プリセットマニュアルの設定画面で [取得データ]
 を選んで▶を押します。



4 [はい] を選ぶ

• [はい] を選んで®ボタンを押します。



109 P、S、A、Mモードで撮影する

取得されます。

- プリセットマニュアルデータ取得モードに入ります。
- インフォ画面とファインダー内でPRE(P-F)が点滅し ます。

- らえて、シャッターボタンを全押しする ピントが合わなくてもシャッターがきれ、プリセットマニュアルデータが
 - •シャッターボタンを押しても、SDカードに画像は記録されません。
- 6 正常にプリセットマニュアルデータが取得されたこ とを確認する
 - データが取得されると、インフォ画面に [取得に成功しまし たこと表示されます。また、ファインダー内のシャッタース ピード表示部にころの文字が点滅します。
 - 約8秒間点滅後、撮影できる状態に戻ります。点滅中にシャッ ターボタンを半押しすれば、すぐに撮影できます。
 - インフォ画面に右のように表示された場合(ファインダー内) のシャッタースピード表示部/絞り値表示部にののしばのの文字 が点滅表示された場合)、データ取得は失敗です。原因とし て、被写体が明るすぎる、または暗すぎることが考えられま す。もう一度手順5からやり直してください。



9-8





▼ データ取得についてのご注意

- プリセットマニュアルデータとして保存できる [取得データ] は1つだけです。カメラでプリセット マニュアルデータを取得するたびに、以前保存した [取得データ] は、新しいデータに置き換えられ ます。
- ホワイトバランスを厳密に合わせたいときは、被写体をグレー(ホワイトバランス取得用の18%標準反射板)にしてプリセットマニュアルデータを取得してください。
- 無彩色(白またはグレー)の被写体を基準にプリセットマニュアルデータを取得するときは、カメラ が露出を通常よりも1段オーバーになるように自動的に調整します。撮影モードがMの場合は、露出 インジケーターを確認して、適正露出になるよう設定してください(ロ90)。

🔽 プリセットマニュアル取得モードの時間制限について

プリセットマニュアル取得モードは、何も操作しないままカスタムメニュー c2 [**パワーオフ時間**] (皿194)の[**半押しタイマー**]で設定した時間(初期設定では8秒)が過ぎると解除されます。

🖉 プリセットマニュアルデータのその他の取得方法

プリセットマニュアルデータは、メニュー操作で取得する他に次の方法で取得できます。

- □ 105 に記載されている方法で [ホワイトバランス] を [PRE] (プリセットマニュアル) にしてから、 ◎ ボタンを押し続けると、プリセットマニュアル取得モード (□ 109) になります。
- カスタムメニューf1 [Fnボタンの機能](□202)が [ホワイトバランス設定]になっているときに、 [ホワイトバランス]を [PRE](プリセットマニュアル)にしてからFnボタンを押し続けると、プリ セットマニュアル取得モード(□109)になります。

■SDカード内の画像のホワイトバランスデータを使う

ホワイトバランスのプリセットマニュアルデータは、SDカード内にある撮影済み画像 (撮影データ)からコピーすることもできます。

- **1** 「PREプリセットマニュアル」を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの「ホワイ トバランス] で [PREプリセットマニュアル] を 選んでマルチヤレクターの▶を押します。



MENUボタン

2 「撮影データ」を選ぶ

- プリセットマニュアルの設定画面で「撮影データ] を選んで▶を押します。
- **3** 「データを選択」を選ぶ
 - [データを選択] を選んで▶を押します。
 - [表示画像で設定] を選ぶと、前回設定した表示中 の画像のホワイトバランスデータがそのまま使え ます。
- 4 使いたい画像が保存されているフォルダーを 選ぶ
 - 使いたい画像が保存されているフォルダーを選ん で▶を押します。
- **5** ホワイトバランスデータをコピーしたい画像 を選ぶ
 - ▲▼◀▶を押して、黄色い枠を移動して画像を選び ます。
 - ・ 選んだ画像は、
 ・ マボタンを押している間、
 拡大して
 ・
 確認できます。
- 6 ホワイトバランスデータをコピーする









明るさ、ホワイトバランス、アクティブ D-ライティングを変えながら撮影する (オートブラケティング撮影)

明るさ(露出)、ホワイトバランス、またはアクティブD-ライティングの設定をカメラ が自動的に変えながら撮影します。画像の明るさの調整が難しい場合や複数の光源が混 在していてホワイトバランスを決めにくい場合の撮影に効果的です。

AE	AE ブラケティング	露出値を変えながら合計3	コマ撮影します。 - 側に補正	2011年1月1日 十側に補正
WR	WB	1回の撮影でホワイトバラン	ノス(WB)を変えた画像	を合計3コマ記録します。
nD	ブラケティング	• RAWを含む画質モードの場合、WBブラケティングは使用できません。		
6	ADL	アクティブD-ライティン:	グ(□198)を行わない画	画像とアクティブD-ライ
-8	ブラケティング	ティングを行う画像を2コ	マ続けて撮影します。	

1 オートブラケティングのセットを選ぶ

- MENUボタンを押して、カスタムメニュー e2
 [オートブラケティングのセット] を選んでマルチセレクターの▶を押します。
- オートブラケティングの種類を選び、
 ・
 ・
 ボタンを押して設定します。



MENUボタン



- 2 [オートブラケティング] を選ぶ
 - •*i*ボタンを押します。





iボタン

インフォ画面

- マルチセレクターで [オートブラケティング]
 を選んで®ボタンを押します。
- **3** オートブラケティングの設定を変える

AEブラケティング撮影の場合:

補正ステップを [AE0.3] ~ [AE2.0] から設定します。設定した数値が大きいほど、撮影ごとに露出が変わる度合いが大きくなります。

WBブラケティング撮影の場合:

補正ステップを [WB1] ~ [WB3] から設定します。設定した数値が大きいほど、ホワイトバランスが変わる度合いが大きくなります。

ADLブラケティング撮影の場合:

- [ADL] を選んでください。
- ・ GR ボタンを押して設定します。





4 構図を決めて撮影する

AEブラケティング撮影の場合:



- ・設定した補正ステップで「補正なし」→「-(マイナス)側に 補正」→「+(プラス)側に補正」の順に合計3コマ撮影します。
- シャッタースピードと絞り値は、補正された値が表示されます。

WBブラケティング撮影の場合:

 シャッターボタンを1回全押しすると、設定した補正ステップで「補正なし」→「A方 向(アンバーを強め)に補正」→「B方向(ブルーを強め)に補正」の順に撮影されます。

ADLブラケティング撮影の場合:

- •「補正なし」→「補正あり」の順に合計2コマ撮影します。
- 「補正あり」は、「アクティブD-ライティング」(ロ98)で設定している効果の度合い になります。「アクティブD-ライティング」が「しない」のときは、「オート」の設定 で撮影します。

🖉 ブラケティング表示について

- AEブラケティング撮影時には、撮影するたびに、インフォ画面のオート ブラケティングインジケーターから、コマ数を示す表示が消えます (-, , , + → -, º, + → - °, +)。
- ADL ブラケティング撮影時には、インフォ画面で次に撮影するアクティ ブD-ライティングの設定が下線表示されます。

🖉 オートブラケティング撮影をやめるには

手順3(ロ113)の画面で[OFF]を選ぶと、オートブラケティング撮影を解除します。

🖉 オートブラケティングについて

- レリーズモードを [**]**(低速連続撮影) または [**]**(高速連続撮影) に設定している場合でも、 オートブラケティング撮影が終了した時点で撮影はいったん停止します。
- 撮影中に電源をOFFにしても、再びONにすれば残りの撮影を再開できます。いったん電源をOFFにしてSDカードを交換したときも同様です。
- 撮影中にP、S、A、M以外の撮影モードに変更すると、オートブラケティング撮影は終了します。
- AEブラケティングに露出補正(ロ95)を組み合わせると、露出補正値を基準にしてオートブラケ ティング撮影ができます。

🖉 AEブラケティング

AEブラケティングでは、撮影モードによって補正される内容(シャッタースピード/絞り値)が異なります。

撮影モード	操作
P (プログラムオート)	シャッタースピードと絞り値
S(シャッター優先オート)	絞り値
A(絞り優先オート)	シャッタースピード
M (マニュアル)	シャッタースピード

 ・撮影メニュー[ISO感度設定]の[感度自動制御](□188)が[する]の場合、必要に応じてISO感 度も変わることがあります。

画像の仕上がりを設定したり、思い通りに 調整する (ピクチャーコントロール)

「ピクチャーコントロール(Picture Control)システム」とは、輪郭強調、コントラスト、明るさ、色の濃さ(彩度)、色合い(色相)などの画像調整の設定を、対応するカメラやソフトウェアで相互に利用できるニコン独自の画作りシステムです。

<u>ピクチャーコントロールを選ぶ</u>

被写体や撮影シーンに合わせて、次のピクチャーコントロールから選びます。

⊠SD	スタンダード	ほとんどの撮影状況に適しています。鮮やかでバランスの取れた標準的 な画像になります。
ßNL	ニュートラル	撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。素材性を 重視した自然な画像になります。
E۷I	ビビッド	青、赤、緑など、原色の色を強調したいときに適しています。メリハリ のある生き生きとした色鮮やかな画像になります。
⊠MC	モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
⊡PT	ポートレート	人物の肌がなめらかで自然な画像になります。
۳LS	風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。

1 [ピクチャーコントロール] を選ぶ

•*i*ボタンを押します。



iボタン

インフォ画面

- マルチセレクターで [ピクチャーコントロール]
 を選んで (Wボタンを押します。)
- **2** 設定したいピクチャーコントロールを選ぶ
 - ・
 ・
 ・
 ボタンを押して設定します。



<u>ピクチャーコントロールを調整する</u>

ピクチャーコントロールやカスタムピクチャーコントロール(0120)の設定は、撮影 目的や好みに合わせて調整できます。輪郭強調、コントラスト、色の濃さ(彩度)をバ ランス良く自動的に調整できる「クイック調整」や各項目を手動で細かく調整する「手 動調整」ができます。

- 1 調整したいピクチャーコントロールを選ぶ
 - MENU ボタンを押して、撮影メニューの [ピク チャーコントロール] を選んでマルチセレク ターの▶を押します。



MENUボタン

- 調整したいピクチャーコントロールを選んで ▶ を押します。
- 2 ピクチャーコントロールを調整する
 - ▲または▼で調整する項目(□118)を選んで、
 ◀または▶で値を設定します。
 - [**クイック調整**]を選ぶと、各項目のレベルを自動的 に調整します(ロ118)。
 - ・ 面ボタンを押すと初期設定の内容に戻せます。

3 決定する

- ・ Wボタンを押して決定します。
- ピクチャーコントロールを調整すると、アイコンにアスタリスク(*)が表示されます。

🖉 カスタムピクチャーコントロールについて

撮影メニューで [カスタムピクチャーコントロール]を選ぶと、調整したピクチャーコントロールに 名前を付けて登録したり (四120)、SDカードを使って、登録したピクチャーコントロールに対応する カメラやソフトウェアと共用する (四122) ことができます。





■ピクチャーコントロール調整時の設定項目



クイック調整 ^{※1}		輪郭強調、コントラスト、色の濃さ(彩度)のレベルを自動的に調 整します。	
手動調整	輪郭強調	輪郭の強弱を調整できます。[A](オート)を選ぶと、自動で調整 します。	
	コントラスト	画像のコントラストを調整できます。[A](オート)を選ぶと、自 動で調整します。	
	明るさ	白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。	
	色の濃さ(彩度)※2	画像の彩度(色の鮮やかさ)を調整できます。[A](オート)を選ぶと、自動で調整します。	
	色合い(色相)※2	画像の色合いを調整できます。	
	フィルター効果*3	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果 が得られます(印119)。	
	調色※3	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます (四119)。	

- ※1 [ニュートラル] と [モノクローム] はクイック調整できません。カスタムピクチャーコントロール (□120)の場合も、クイック調整できません。 手動調整した後にクイック調整を行うと、手動調整で設定した値は無効になります。
- ※2 [モノクローム] や [モノクローム] を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときは、表示さ れません。
- ※3 [モノクローム]や [モノクローム]を元にしたカスタムピクチャーコントロールのときのみ表示されます。

✓ [輪郭強調]、[コントラスト]、[色の濃さ(彩度)]の[A](オート)についてのご注意 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。

🖉 ピクチャーコントロール調整時のグリッド表示

- ピクチャーコントロール調整中に
 ペボタンを押している間、調整している ピクチャーコントロールのコントラストと彩度が座標で表示されます。
- [モノクローム] の場合、彩度のグリッド表示は表示されません。
- [コントラスト] または [色の濃さ (彩度)] に [A] (オート) が設定さ れたピクチャーコントロールは、グリッド表示時にアイコンが緑色にな り、各軸に平行な上下または左右の線が表示されます。

📈 ピクチャーコントロール調整時のアンダーバーについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示されるアンダーバーは、調 整する前の値を示しています。

🖉 [モノクローム] の [フィルター効果] について

[**フィルター効果**]には、次のような効果があります。

Y (黄*)	コントニフトを没調する効果がおり、肉茎提影でのの明るさを抑うたい埋合な
0 (オレンジ*)	コントンストを強調する効素がのり、風気撮影に主の明るさを抑えたい場合な どに使います $[\mathbf{V}] \rightarrow [0] \rightarrow [\mathbf{R}]$ の順にコントラストが強くなります
R (赤※)	
G (緑*)	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使い ます。

※市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。[フィルター効果]で得られる効果は、市販の白黒写 真用カラーフィルターよりも強くなります。

🖉 [モノクローム] の [調色] について

- 調色は [B&W]、[Sepia]、[Cyanotype]、[Red]、[Yellow]、[Green]、[Blue Green]、[Blue]、 [Purple Blue]、[Red Purple] から選べます。
- 「調色」の項目(「B&W」以外)を選んでマルチャレクターの▼を押す と、さらに色の濃淡を選べます。◀または▶を押して選んでください。

	检察研究	12 C
-		
l		
۲	明るさ	
ní.	フィルター効果	OFF YORG
-	調色	·Z
-	Sepia, 4	
	50910) 4	
?	🖾 グリッド 📾 りも	ット 033 決定







カスタムピクチャーコントロールを登録する

カメラに搭載された「ピクチャーコントロール」は、好みに合わせて調整して、「カス タムピクチャーコントロール として登録できます。

■カスタムピクチャーコントロールの登録方法

1 「カスタムピクチャーコントロール」を選ぶ • MFNUボタンを押して、撮影メニューの「カスタ **ムピクチャーコントロール**]を選び、マルチセ レクターの●を押します。

2 「編集と登録」を選ぶ

- 「編集と登録」を選んで●を押します。
- 3 元にするピクチャーコントロールを選ぶ
 - ピクチャーコントロールを選んで●を押します。
 - 調整を行わない場合はのボタンを押します(手順5) $\sim)_{\circ}$
- 4 ピクチャーコントロールを調整する
 - 「ピクチャーコントロールを調整する」(□117)に 記載されている方法でピクチャーコントロールを 調整してからのボタンを押します。
 - ・
 ・
 ボタンを押すと
 調整前の
 内容に
 戻ります。

5 登録先を選ぶ

 ●C-1~9(カスタム1~9)の中から登録先を選んで ▶を押します。

🖉 カスタム1~9で調整できる項目について

カスタム1~9を選んだ場合は、元になったピクチャーコントロールと同じ項目が調整できます。



1.00	撮影メニュー	
	撮影メニューのリセット	
	記録フォルダー設定	D5300
-	画質モード	NORM
1	画像サイズ	
	RAW記録	12-bit
	ホワイトバランス	AUTO
	ピクチャーコントロール	⊠SD
?	カスタムピクチャーコントロール	

MENUボタン



カスタムピクチャーコントロ







6 登録名を編集する

 初期状態では、「(元になったピクチャーコント ロール名)-XX」が名前エリアに入力されていま す。XXには自動的に数値が設定されます。登録 名を変更しない場合は、手順7へ進みます。



- ピクチャーコントロールの登録名は19文字まで 入力できます。
- ●名前エリアに新しい文字を入力する場合は、マルチセレクターを操作して入力する キーボードエリアの文字上にカーソルを移動させ、∞ボタンを押します。
- •名前エリアのカーソルを左右に移動する場合は、コマンドダイヤルを回します。
- 名前エリアからあふれた文字は削除されます。
- 登録名を1文字削除するには、コマンドダイヤルを回して削除する文字の上にカーソル を移動させ、面ボタンを押します。

7 登録名の編集を終了する

- 登録したピクチャーコントロールは、ピクチャーコントロールの一覧画面(ロ117)に表示されます。



元になった

濃さ(彩度) い(色相) のプリッド 同日

ニコンピクチャー コントロール ┃

🖉 登録名変更について

[カスタムピクチャーコントロール] で [登録名変更] を選ぶと、登録したカスタムピクチャーコント ロールの登録名を変更できます。

🖉 登録したピクチャーコントロールを削除するには

[カスタムピクチャーコントロール] で [削除] を選ぶと、登録したピクチャーコントロールを削除できます。

🖉 元になったピクチャーコントロールの表示について

カスタムピクチャーコントロールの調整画面では、元になったニコンピク チャーコントロールがアイコンで表示されます。

<u>SDカードを使ってピクチャーコントロール</u> <u>を対応ソフトウェアと共用する</u>

付属のViewNX 2や別売のCapture NX 2のピクチャーコントロールユーティリティー (Picture Control Utility) で作成したカスタムピクチャーコントロールを、SDカードか らカメラに読み込んで登録したり、カメラで作成したカスタムピクチャーコントロール をSDカードにコピーすることができます。また、SDカード内の不要なピクチャーコン トロールを削除することもできます。

1 [カスタムピクチャーコントロール] 画面で [メモリーカードを使用] を選ぶ

 [メモリーカードを使用]を選んでマルチセレク ターの▶を押します。

2 [カメラに登録]、[メモリーカードから削除] または [メモリーカードにコピー] を選ぶ 「カメラに登録]:



终纪夕亦百

SD カードにあるピクチャーコントロールをカメラ
 に登録できます。カメラに登録したいピクチャーコ
 ントロールと登録先(C-1~9(カスタム1~9))を選んで名前を付けると、選んだピクチャーコントロールがカメラに登録されます。

[メモリーカードから削除]:

•SDカードにあるピクチャーコントロールを選んで削除できます。

[メモリーカードにコピー]:

 SDカードにコピーしたいピクチャーコントロールとコピー先(1~99)を選んで ∞ボ タンを押すと、選んだピクチャーコントロールがSDカードにコピーされます。

🖉 SDカードへのコピー /SDカードからの削除について

- カメラに搭載されているピクチャーコントロールは、コピーや削除ができません。
- SDカードに保存できるピクチャーコントロールは、99個までです。

ライブビュー撮影

(液晶モニターを見ながら撮影する)

ライブビュー撮影する

1 ライブビュースイッチを回す

液晶モニターに被写体が表示されます。

2 フォーカスポイントを被写体に重ねる

- フォーカスポイントの形状は「AFエリアモード」によって異 なります (四126)。
- **3** シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる
 - 半押し時のフォーカスポイントは、オートフォーカス作動中は 緑色で点滅し、ピントが合うと緑色で点灯します。ピントが合 わないと赤色で点滅します。
 - ●習と③以外の撮影モードでは、鉛(○n)ボタンを押し続けている間、露出を固定(AE) ロック) できます。
- 4 シャッターボタンを全押しして撮影する
 - ●撮影時は液晶モニターが消灯します。
 - SDカードアクセスランプが点灯している間は、画像 を記録しています。SDカードやバッテリーを取り 出さないでください。
 - 撮影後は、撮影した画像が液晶モニターに数秒間表 示されます。
 - ライブビューを終了する場合は、ライブビュース イッチを回します。





ライブビュースイッチ

フォーカスポイント


<u>ライブビュー撮影時のピントの合わせ方を選ぶ</u> (フォーカスモード)

AF-S	シングルAFサーボ	静止している被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半 押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。
AF-F	常時AFサーボ*	動いている被写体の撮影に適しています。シャッターボタンを半 押しするまで、カメラは被写体の動きに合わせてピントを合わせ 続けます。半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロッ クされます。
MF	マニュアルフォーカス	手動でピントを合わせます(四131)。

※撮影モードが唸、息、峰のときは、選べません。

1 [フォーカスモード] を選ぶ

- ライブビュー表示中に*i*ボタンを押します。
- マルチセレクターで [フォーカスモード] を 選んで®ボタンを押します。
- 2 設定したいフォーカスモードを選ぶ
 ・ (のボタンを押して決定します。)



74-カスモード 常務AF9-ポ AF5 A53 AF で 配反る 四決定 マ 125 p.5.6 ○○100 (2.0)





<u>ライブビュー撮影時のフォーカスポイントの選び方を</u> 決める(AFエリアモード)

ライブビュー撮影時に、ピントを合わせるフォーカスポイントをカメラがどのように選ぶかを設定します。撮影モード留、3、 400場合は設定できません。

[9]	顏認識AF	記念写真など、人物の顔にピントを合わせたい場合に適しています。
C J WIDE	ワイドエリアAF	風景などを手持ちで撮影する場合に適しています。フォーカスポイ ントは任意の位置に移動できます。
[c] Norm	ノーマルエリアAF	画面の任意の位置にピンポイントでピントを合わせたい場合に適し ています。三脚の使用をおすすめします。
@	ターゲット追尾AF*	指定した被写体に追尾させてフォーカスポイントを動かしたい場合 に適しています。

※撮影モードが図、◎、恩、ダのときは、選べません。

1 [AFエリアモード] を選ぶ

ライブビュー表示中に*i*ボタンを押します。



 マルチセレクターで [AFエリアモード] を選 んで®ボタンを押します。

2 設定したいAFエリアモードを選ぶ

・ Wボタンを押して決定します。



3 フォーカスポイントを被写体に重ねる

• [AFエリアモード] が [顔認識AF] (□125)の場合は、カメ ラが人物の顔を自動的に認識し、フォーカスポイントが黄色 の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合(最大35人 まで)は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で 表示します。このとき、マルチセレクターの▲▼◀▶を押し て二重枠を移動して、他の顔を選ぶこともできます。途中で 顔が後ろを向くなどしてカメラが顔を認識できなくなると、 枠が消えます。



フォーカスポイント

- [ワイドエリア AF] または [ノーマルエリア AF] (□125)の場合は、▲▼◀▶を押してフォーカス ポイントをピントを合わせる被写体の位置に移動 させます。 ∞ ボタンを押すと、フォーカスポイン トは中央に移動します。
- [ターゲット追尾 AF] (□125)の場合は、フォーカスポイントを被写体に重ねて@ボタンを押すと、被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。もう一度∞ボタンを押すと、追尾を終了します。



フォーカスポイント



フォーカスポイント

■ ライブビュー撮影中の情報表示(説明のため、全ての表示を点灯させています)



1 撮影モードッイ アルビ連択中の撮影モニドを表示します。 37、85 2 動画記録禁止マーク 動画が撮影できない状態のときに表示します。 3 ライブビューが自動的に終了する30秒前から、ライブビュー残 り時間のカウントダウンを表示します。 印130 4 マイク感度設定 動画撮影時のマイク感度を表示します。 印135 5 音声レベル インジケーター 音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケー ターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示し ています。マイク感度を調節してください。 印135 6 風切り音低減 撮影メニュー〔動画の設定〕の〔風切り音低減〕が〔する〕の 場合に表示します。 印135 7 動画のマニュアル設定 撮影モードがMで、撮影メニュー「動画の設定]の〔動画のマ ニュアル設定〕が〔する〕のときに表示されます。 印136 8 フォーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 印136 9 新画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 印124 9 AFエリアモード ライブビュー撮影時のステレアモードを表示します。 印135 10 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 印135 12 フォーカスボイント かべりの被写体にピントが合います。フォーカスボイントの形状 は、選んだAFエリアモード(ロ125)により異なります。 印132 12 フォーカスボイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスボイントの形状 は、選んだAFエリアモードがMの場合のみり。 印30 13 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示れます(撮影モードがMの場合のみり。 印30	① 提影エード		□ 19、30、	
(2) 動画記録禁止マーク 動画が撮影できない状態のときに表示します。 ー (3) ライブビュー残り時間 ライブビューが自動的に終了する30秒前から、ライブビュー残り時間のカウントダウンを表示します。 印130 (4) マイク感度設定 動画撮影時のマイク感度を表示します。 印135 (5) 音声レベル インジケーター 音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケー ターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示し ています。マイク感度を調節してください。 印135 (6) 風切り音低減 撮影メニュー [動画の設定] の [風切り音低減] が [する] の 場合に表示します。 印135 (7) 動画のマニュアル設定 撮影モードがMで、撮影メニュー [動画の設定] の [動画のの ニュアル設定] が [する] のときに表示されます。 印136 (8) フォーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 印135 (9) 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 印135 (10) 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 印135 (12) フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状 は、選んだAFエリアモード (印125) により異なります。 印126 (13) 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示されます (撮影モードがMの場合のみ)。 印90	① 撮影モート	撮影モートタイ いかと迭折中の撮影モートを衣示します。	37、85	
③ ライブビュー残り時間 ライブビューが自動的に終了する30秒前から、ライブビュー残り時間のカウントダウンを表示します。 □□130 ④ マイク感度設定 動画撮影時のマイク感度を表示します。 □□135 ⑤ 音声レベル インジケーター 音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケー ターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示し ています。マイク感度を調節してください。 □□135 ⑥ 風切り音低減 撮影メニュー「動画の設定」の「風切り音低減」が「する」の 、、合に表示します。 □□135 ⑦ 動画のマニュアル設定 撮影モードがMで、撮影メニュー「動画の設定」の「動画のマニュアル設定」が「する」のときに表示されます。 □□136 ⑧ フォーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 □□125 ⑨ 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 □□135 10 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 □□126 10 素出インジケーター 白分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 □190	② 動画記録禁止マーク	動画が撮影できない状態のときに表示します。	—	
④ マイク感度設定 動画撮影時のマイク感度を表示します。 □135 ● 育声レベル インジケーター 音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケー ターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示し ています。マイク感度を調節してください。 □135 ● 風切り音低減 撮影メニュー [動画の設定]の [風切り音低減] が [する] の 場合に表示します。 □135 ⑦ 動画のマニュアル設定 撮影モードがMで、撮影メニュー [動画の設定] の [動画のマ ュアル設定] が [する] のときに表示されます。 □136 ⑧ オーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 □124 ⑨ AFエリアモード ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。 □135 10 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 □132 10 力画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 □132 11 かの被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状 は、選んだAFエリアモード(□125) により異なります。 □126 13 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 □90	③ ライブビュー残り時間	ライブビューが自動的に終了する30秒前から、ライブビュー残り時間のカウントダウンを表示します。	□ 130	
(1) マイン感疫設定 動画撮影時のマイク感疫をなかします。 (1) 135 (5) 音声レベル インジケーター 音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケー ターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示し ています。マイク感度を調節してください。 (1) 135 (6) 風切り音低減 撮影メニュー [動画の設定]の [風切り音低減] が [する] の 場合に表示します。 (1) 135 (7) 動画のマニュアル設定 撮影モードがMで、撮影メニュー [動画の設定] の [動画のマニュアル設定] が [する] のときに表示されます。 (1) 136 (8) フォーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 (1) 124 (9) AFエリアモード ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。 (1) 125 (10) 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 (1) 135 (10) 動画で記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 (1) 132 (2) フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状 は、選んだAFエリアモード ((1) 125) により異なります。 (1) 126 (3) 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 (1) 90	④ フノク成市沙宁	り时间のカラントラランで収入したす。	m135	
音声レベル インジケーター 音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケー ターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示し ています。マイク感度を調節してください。 □135 6 風切り音低減 撮影メニュー [動画の設定] の [風切り音低減] が [する] の 場合に表示します。 □135 7 動画のマニュアル設定 撮影モードがMで、撮影メニュー [動画の設定] の [動画のマ ュアル設定] が [する] のときに表示されます。 □136 8 フォーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 □124 9 AFエリアモード ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。 □125 10 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 □132 10 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 □132 12 フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状 は、選んだAFエリアモード (□125) により異なります。 □126 13 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示されます (撮影モードがMの場合のみ)。 □90	④マイジ感度設定	到回掫影时のマイン感受を衣小しより。		
(1) 日本の大が ターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示し □135 (2) 小ジケーター 「「動画の設定」の「風切り音低減」が「する」の □135 (3) 配のマニュアル設定 撮影モードがMで、撮影メニュー「動画の設定」の「動画のマニュアル設定」が「する」のときに表示されます。 □136 (3) 配のマニュアル設定 「イブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 □136 (3) 本手工リアモード ライブビュー撮影時のストエリアモードを表示します。 □124 (3) 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 □126	立主しべり	音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケー		
インジケーター ています。マイク感度を調節してください。 6 風切り音低減 撮影メニュー [動画の設定]の [風切り音低減] が [する] の 場合に表示します。 □135 7 動画のマニュアル設定 撮影モードがMで、撮影メニュー [動画の設定] の [動画のマニュアル設定] が [する] のときに表示されます。 □136 8 フォーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 □124 9 AFエリアモード ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。 □125 10 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 □132 10 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 □132 12 フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状 は、選んだAFエリアモード (□125) により異なります。 □126 13 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示されます (撮影モードがMの場合のみ)。 □90		ターの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示し	III 135	
6 風切り音低減 撮影メニュー [動画の設定] の [風切り音低減] が [する] の 場合に表示します。 □135 7 動画のマニュアル設定 コアル設定] が [する] のときに表示されます。 □136 8 フォーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 □124 9 AFエリアモード ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。 □125 10 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 □132 10 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 □132 12 フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状 は、選んだAFエリアモード(□125)により異なります。 □126 13 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 □90	インシケーター	ています。マイク感度を調節してください。		
(1) 風切り音低減 場合に表示します。 (1) 153 ⑦ 動画のマニュアル設定 撮影モードがMで、撮影メニュー〔動画の設定〕の〔動画のマニュアル設定〕が〔する〕のときに表示されます。 (1) 136 (2) うオーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 (1) 124 (3) AFエリアモード ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。 (1) 125 (1) 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 (1) 135 (1) 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 (1) 132 (2) フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状は、選んだAFエリアモード((1) 125)(こより異なります。 (1) 126 (3) 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表示はます。 (1) 90		撮影メニュー [動画の設定]の [風切り音低減] が [する] の		
⑦ 動画のマニュアル設定 撮影モードがMで、撮影メニュー (動画の設定)の (動画のマニュアル設定)が (する)のときに表示されます。 □136 ⑧ フォーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 □124 ⑨ AFエリアモード ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。 □125 ⑩ 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 □135 ⑪ 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 □132 ⑫ フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状は、選んだAFエリアモード(□125)により異なります。 □126 ⑬ 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 □90	⑥風切り首低減	場合に表示します。	135	
(1) 動画のマーコアル設定 ニュアル設定] が [する] のときに表示されます。 (1) 130 (8) フォーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 (1) 124 (9) AFエリアモード ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。 (1) 125 (10) 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 (1) 135 (10) 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 (1) 132 (12) フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状は、選んだAFエリアモード((1) 125) により異なります。 (1) 126 (13) 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 (1) 90		撮影モードがMで、撮影メニュー [動画の設定]の [動画のマ	m136	
⑧ フォーカスモード ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。 □124 ⑨ AFエリアモード ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。 □125 ⑩ 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 □135 ⑪ 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 □132 ⑫ フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状は、選んだAFエリアモード(□125)により異なります。 □126 ⑬ 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 □190	① 期回のマーユアル設定	ニュアル設定]が [する] のときに表示されます。		
⑨ AFエリアモード ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。 □125 ⑩ 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 □135 ⑪ 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 □132 ⑫ フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状は、選んだAFエリアモード(□125)により異なります。 □126 ⑬ 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 □190	⑧ フォーカスモード	ライブビュー撮影時のフォーカスモードを表示します。	m 124	
10 動画の画像サイズ 動画を記録するときの画像サイズを表示します。 □135 10 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 □132 12 フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状 は、選んだAFエリアモード(□125)により異なります。 □126 13 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 □90	⑨ AFエリアモード	ライブビュー撮影時のAFエリアモードを表示します。	m 125	
① 動画記録残り時間 動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。 □132 ② フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状は、選んだAFエリアモード(□125)により異なります。 □126 ③ 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 □190	⑩ 動画の画像サイズ	動画を記録するときの画像サイズを表示します。	四135	
10 フォーカスポイント 枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状 は、選んだAFエリアモード(ロ125)により異なります。 ロ126 13 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示されます(撮影モードがMの場合のみ)。 ロ90	① 動画記録残り時間	動画撮影時に、SDカードに記録できる残り時間を表示します。	m 132	
(2) フォーカス小イント は、選んだAFエリアモード(ロ125)により異なります。 (1) 126 (3) 露出インジケーター 自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 (1) 90		枠内の被写体にピントが合います。フォーカスポイントの形状	CT 1 26	
(3) 露出インジケーター 高力で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表 示されます(撮影モードがMの場合のみ)。	12 フォーカスホイント	は、選んだAFエリアモード(囗125)により異なります。	120	
(13) 露出インシケーター 示されます(撮影モードがMの場合のみ)。		自分で設定した露出値と、カメラが測光した露出値との差が表		
	(3) 露出インシケーター	示されます(撮影モードがMの場合のみ)。	LLI 90	

127 ライブビュー撮影(液晶モニターを見ながら撮影する)

🖉 ライブビュー表示中の情報表示について

ライブビュー表示中にIIIボタンを押すたびに、次のように画面の表示が切り 替わります。

「情報表示なし」、「格子線表示」、「静止画情報(シンプル表示)」時は、動画が記録される範囲を示すガイドが表示されます。「動画情報」時には、記録されない部分が薄暗く表示されます。撮影メニュー (動画の設定)の (画像サイズ/フレームレート) で、解像度が640 × 424 ピクセルの場合(□135)、ガイドは表示されません。



🖉 HDMI接続時の撮影について

- HDMI対応機器との接続時には、接続した機器とカメラのモニターに被写体が表示されます。
- HDMI-CEC対応機器との接続時にライブビュー撮影を行うには、セットアップメニューの [HDMI]
 の [機器制御] を [しない] に設定してください (ロ173)。

🚺 ライブビュー撮影時のご注意

- ライブビュー表示中は、液晶モニターの表示に次のような現象が発生することがありますが、実際に 記録される画像に影響はありません。
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪んで表示される
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪んで見える
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
 - 輝点が発生する
- ・ 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、ライブビュー表示中に画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」は、セットアップメニューの[フリッカー低減](ロ210)で低減できますが、設定しているシャッタースピードによっては、撮影した静止画に記録されることがあります。
- 液晶モニターを閉じると(テレビやハイビジョンテレビなどの外部モニターでの表示中は除く)、ラ イブビュー撮影を終了します。
- 長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、ライブビューの開始を制限したり自動的に終了したりすることがあります。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
 - 連続撮影を行った直後など

カメラが熱くなってライブビューを開始できない場合は、カメラ内部の温度が下がるまでライブ ビューを一時休止してください。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障で はありません。

 ライブビュー表示中は、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するお それがあります。

🖉 ライブビュー撮影時の露出について

- ファインダー撮影時とライブビュー撮影時では、シーンによっては、露出が異なる場合があります。
 ライブビュー撮影時は、ライブビュー表示に適した測光を行うため、液晶モニターに表示された明る さに近い露出で撮影されます。
- 露出補正を行った場合、画面で露出を確認できるのは±3段の範囲に限られます。
- 適正露出や画像に影響を与える接眼部からの逆入射光を防ぐため、シャッターボタンを押す前に付属のアイピースキャップを取り付けてください(ロ51)。

🖉 ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

自動的にライブビューを終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します (皿127)。

- カスタムメニュー c2 [パワーオフ時間](□194)の設定により終了する場合は、終了 30 秒前から 黒字で表示し、終了5秒前から赤字で表示します。
- カメラ内部の温度上昇により終了する場合は、終了30秒前から赤字で表示します。撮影条件によっては、ライブビュー開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。

▼ ライブビュー撮影時のオートフォーカスについてのご注意

- ライブビュー撮影時のオートフォーカスは、通常のオートフォーカスよりピント合わせに時間がかかります。また、次の被写体はピントが合わない場合がありますので、ご注意ください。
 - 画面の長辺側と平行な線の被写体
 - 明暗差の少ない被写体
 - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
 - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える場合
 - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
 - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
 - 連続した繰り返しパターンの被写体(ビルの窓やブラインドなど)
 - 動く被写体
- [ターゲット追尾AF] で次のような被写体を撮影する場合は、追尾動作が正常に行われないことがありますので、ご注意ください。
 - 色、明るさが背景と似ている場合
 - 大きさ、色、明るさが著しく変わる場合
 - 大きすぎる/小さすぎる/明るすぎる/暗すぎる場合
 - 動きが速すぎる場合
 - 隠れたり、画面から外れた場合
- •オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
- フォーカスポイントが緑色に点滅しているとき(オートフォーカス作動中)は、シャッターはきれません。ただし、赤色に点滅しているとき(ピントがあっていないとカメラが判断したとき)でもシャッターはきれます。
- ピントが合わなくてもピント表示(緑枠)が点灯する場合があります。

🖉 マニュアルフォーカスで撮影するときのピント合わせについて

マニュアルフォーカス(印59)で撮影するときは、次の方法で被写体にピントを合わせます。

- レンズのフォーカスリングを回して、被写体にピントを合わせます。
- **Q**ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、ピントの状態を細部まで確認できます(最大約8.3倍)。

- **Q**ボタンを押すごとに拡大率が上がり、**Q**☎(**?**)ボタンを押すごとに拡 大率が下がります。





拡大表示中は、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナ
 ビゲーションウィンドウ(グレーの枠)が表示されます。
 ライブビュー/動画撮影時の[AFエリアモード]が[ワイドエリアAF]
 または[ノーマルエリアAF]の場合、拡大表示中にマルチセレクター

の▲▼◀▶で画面をスクロールさせて見たい部分に移動できます。

ーー ナビゲーション ウィンドウ

動画の撮影と再生

動画を撮影する

ライブビューにすると、動画を撮影できます。

1 ライブビュースイッチを回す

•液晶モニターに被写体が表示されます。

2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

 動画撮影を開始する前に、「ライブビュー撮影する」の手順2 ~3(□123)と同じ手順で被写体にピントを合わせます(ピ ントの合わせ方については、四124~126をご覧ください)。

3 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- ●習と③以外の撮影モードでは、鉛(On)ボタンを押し続け ている間、露出を固定(AEロック)できます(凹94)。
- ・撮影モードP、S、A、図の場合、図(@)ボタンを押しながら
 コマンドダイヤルを回すと、1/3段ステップで±3段の範囲で 露出補正ができます(凹95)。
- ●録画中は録画中マークが液晶モニターに表示されます。SD カードに記録できる残り時間の目安も液晶モニターで確認で きます。

4 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する。

🖉 別売ステレオマイクロホンについて

別売ステレオマイクロホンを外部マイク入力端子に接続すると、動画撮影中にオートフォーカスでピ ント合わせをしたときに生じるレンズの振動ノイズが録音されるのを低減できます。







録画中マーク

残り時間

ライブビュースイッチ





🖉 動画撮影中の静止画撮影について

動画撮影中にシャッターがきれるまでシャッターボタンを全押しすると、動画撮影を終了して静止画 撮影し、ライブビュー表示に戻ります。

🖉 動画記録範囲について

ライブビュー表示中に動画が記録される範囲を示すガイドを表示するには、**闘**ボタンを押して情報表 示を「動画情報」、「情報表示なし」、「格子線表示」、または「静止画情報(シンプル表示)」に切り換 えます(ロ128)。ただし、撮影メニュー「**動画の設定**〕の「**画像サイズ/フレームレート**」で、解像 度が640×424ピクセルの場合(ロ135)は、ガイドは表示されません。

🖉 動画撮影に関する設定の変更について

ライブビュー表示中にIIIボタンを押して情報表示を「動画 情報」に切り換えてから**i**ボタンを押すと、次の動画撮影 に関する設定を変更できます。

- 動画のサイズ/画質(□135)
- 録音設定(□135)
- ホワイトバランス(CD105)
- ISO感度(□069)
- ピクチャーコントロール (印116)
- フォーカスモード (CD124)
- **AFエリアモード**(ロ125)
- 露出補正(□195)

🖉 動画撮影について

- 使用している SD カードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで撮影が自動的に終了 する場合があります(□254)。
- 動画撮影時は、[AFエリアモード]が [顔認識AF]の場合に認識できる人数が少なくなります。
- 動画撮影時は、内蔵フラッシュと別売のスピードライト(ロ247)は発光しません。
- 👿 (動画記録禁止) マーク (凹127) が表示されているときは、動画撮影できません。
- •1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- 動画撮影時の測光モードは [図] (マルチパターン測光) に固定され、カメラがシャッタースピード やISO感度を決めます([動画のマニュアル設定] が [する] のときに撮影モードをMにすると、自 分で設定したシャッタースピードとISO感度で動画撮影できます(□136))。
- 撮影モードがAまたはMの場合は、ライブビューを開始する前に絞り値を設定します(0289、90)。
- 被写体の明るさによっては、露出補正の効果が反映されないことがあります。

🖉 AV機器(HDMI対応機器含む)との接続時の撮影について

- HDMI対応機器との接続時には、接続した機器とカメラのモニターに被写体が表示されます。
- HDMI-CEC対応機器との接続時にライブビュー撮影を行うには、セットアップメニューの [HDMI]
 の [機器制御]を [しない] に設定してください (印173)。



iボタン

インフォ画面

🖉 ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

- 自動的に動画撮影を終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します (□127)。
- 撮影条件によっては、動画撮影を開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。
- 動画記録中にカウントダウンが始まった場合は、液晶モニターの右上に表示されている動画残り記録
 時間にかかわらず、ライブビュー残り時間のカウントダウン時間で動画撮影を自動的に終了します。

▶ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する(ロ210)
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光された場合、画面の一部が明るくなったり、明るい 横帯が発生する
- •次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達した場合(¹¹³⁵)
 - SDカードの残量がなくなった場合
 - 撮影モードダイヤルを回した場合
 - 液晶モニターを閉じた場合(テレビやハイビジョンテレビなどの外部モニターでの表示中は除く)
- 長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、カメラは自動的に動画撮影を終了することがあります。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
 - 連続撮影を行った直後など

カメラが熱くなってライブビューまたは動画撮影を開始できない場合は、カメラ内部の温度が下がる までライブビューおよび動画撮影を一時休止してください。このとき、カメラボディー表面が熱くな ることがありますが故障ではありません。

- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- •マイク(凹1)を指などでふさがないようにしてください。音声が記録できない場合があります。
- •次の場合は、レンズの動作音が録音されることがあります。
 - オートフォーカス作動中
 - VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)をONにした場合

動画の設定

[**画像サイズ/フレームレート**]では、動画を記録するときの画像サイズ(ピクセル)/ フレームレートを設定します。[**動画の画質**]では、動画の画質を高画質と標準から選 べます。

	画像サイズ/フ	最長記録時間	
	解像度(ピクセル)	フレームレート※1,2	 (「動画の画質」※3の設定: ★高画質/標準)※4
1080 P* / 1080 P	1920×1080	60p	10分/20分
1080 P*/1080 P	1920×1080	50p	10)]/20)]
1080 P* / 1080 P	1920×1080	30p	
1080 P* / 1080 P	1920×1080	25p	20슈/
1080 P* / 1080 P	1920×1080	24p	20月7
720 p* / 720 p	1280× 720	60p	2973 3949
720 pt / 720 p	1280× 720	50p	
$\frac{424}{50} \frac{P \star}{424} \frac{P}{50}$	640× 424	30p	29分59秒/
$\frac{\overline{424}}{\overline{ps}}/\overline{424}$	640× 424	25p	29分59秒

※1 60p:59.94コマ/秒(fps)、50p:50コマ/秒、30p:29.97コマ/秒、25p:25コマ/秒、24p:23.976コマ/秒
 ※2 60p/30pは、セットアップメニューの[ビデオ出力](四213)が[NTSC]の場合に選べます。50p/25pは、[ビデオ出力]が[PAL]の場合に選べます。

※3 [動画の画質] が高画質の場合は、アイコンに★が表示されます。

※4 瞬の場合、最長記録時間は3分です。

■録音設定

内蔵マイクまたは別売のステレオマイクロホン(凹253)の感度の程度を設定します。

マイク感度 オート	カメラが自動的にマイク感度を調整します。
マイク感度 マニュアル	マイク感度を手動調整します。[1] ~ [20] の調整ができます。数 字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。
録音しない	音声は記録しません。

■風切り音低減

[**する**]を選ぶと、ローカットフィルター機能により、内蔵マイク に吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以 外の音も聞こえにくくなることがあります。



- 別売のステレオマイクロホン(□253)をお使いの場合は、カメラ側で[風切り音低減]で[する]を選んでいても風切り音は 低減されません。
- 135 動画の撮影と再生

■動画のマニュアル設定(撮影モードMのみ)

[する]を選ぶと、撮影モードがMの場合に、動画撮影時のシャッタースピードとISO感度を変更できます。



 シャッタースピードおよびISO感度は、動画のフレームレート (□135)によって次の範囲に制限されます。ライブビュー開

始前の数値が次の範囲でない場合、ライブビュー開始後に自動的に次の範囲内に設定 が変更されます。変更後の数値は、ライブビューを終了しても保持されます。

フレームレート	シャッタースピード	ISO感度
24p、25p、30p	1/4000~1/30秒	
50p	1/4000~1/50秒	100∼12800、Hi 0.3∼Hi 1
60p	1/4000~1/60秒	-

●撮影メニューの [ISO感度設定] で [感度自動制御] (□188) を [する] に設定して
 も、自動制御は動作しません。

■動画の設定を変更する

- 1 [動画の設定] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、撮影メニューの「動画の設定」を選んでマルチセレクターの▶を押します。



MENUボタン

2 動画の設定項目を選ぶ

動画の設定項目を選んで▶を押します。



・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<



証像サイズ/フレームし

っアル設定

切り音低減

J A

OFF

動画を再生する

1コマ表示モード(CL141)で**県**マークが表示されている画像が動画です。 ®ボタンを 押して動画を再生します(プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます)。



■動画再生時の操作方法

一時停止する		マルチセレクターの▼を押すと、一時停止します。
再生を再開する		ー時停止中または早送り/巻き戻し中に®ボタンを押すと、動 画再生を再開します。
巻き戻しする/ 早送りする		 ・再生中に◀を押すと巻き戻し、▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、巻き戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。 ・◀を押し続けると、最初のコマに移動し、▶を押し続けると、最後のコマに移動します。 ・先頭フレームにはピアイコンが、最終フレームにはピアイコンが、画面右上に表示されます。
コマ戻しする/ コマ送りする		 一時停止中に または
10秒進める/ 10秒戻す		コマンドダイヤルを回すと、10秒前または後ろに移動します。
音量を調節する	⊕/ੴ≅ (?)	ペ ボタンを押すと音量が大きくなり、 ペ ペ (?)ボタンを押すと 小さくなります。
再生を終了する		▲または▶ボタンを押すと、1コマ表示モードに戻ります。

動画の編集

撮影した動画を編集できます。

Ľ.	始点/終点の設定	動画の前半、後半、または前後両端を切り取って、選択した範囲だけ を残します。
	選択フレームの保存	選択した1フレームを切り出して、JPEG画像として保存します。

<u>動画の必要な部分を残す</u>

- 1 1コマ表示モード(□141)で編集したい動画を表示する
- 2 切り取りたい位置で動画を一時停止する



プログレスバー



4 始点または終点を選ぶ

• [始点]を選んで ® ボタンを押すと、選んだ始点より後ろの部分が残ります。





• [終点]を選んで
・ ボタンを押すと、選んだ終点より前の部分が残ります。



139 動画の撮影と再生

5 切り取りたい位置を調整する

- ◀または▶を押して、切り取りたい位置を調整し ます。
- コマンドダイヤルを回すと、10 秒前または後ろに 移動します。
- 6 ▲を押して決定する

7 保存する動画を確認する

- ●[プレビュー]を選んで∞ボタンを押すと、編集後の動画のプレビューが再生されます。
- [キャンセル]を選んで®ボタンを押すと、手順5 の画面に戻ります。

8 動画ファイルの保存方法を選ぶ

• [新規保存] を選ぶと、編集前の動画とは別に、新 しい動画として保存します。[上書き保存] を選ぶ と、編集前の画像が上書きされます。

9 動画ファイルを保存する

・ ・
 ・
 ・
 ボタンを押して決定します。

🔽 動画編集時のご注意

- SDカードに充分な空き容量がない場合、動画編集できません。
- [始点/終点の設定] では、2秒未満の動画は編集できません。
- 動画編集で作成した動画の日時情報は、撮影時の日時になります。

🖉 動画の前後を切り取るには

手順5の画面で、 【(**○・・**)ボタンを押すと、 ■(始点) または ■(終点)を切り換えられ、一度の操作で動画の前 後を切り取ることができます。



鼪(の・・)ボタン











<u>動画の1フレームをJPEG画像として保存する</u>

- 1 保存したい位置で動画を一時停止する
 - 動画の再生中にマルチセレクターの ▼ を押すと、
 一時停止します。

- 2 [選択フレームの保存]を選ぶ
 - ・iボタンを押して、[選択フレームの保存]を選んで
 トを押します。



- 3 JPEG画像として保存したいフレームを 決める
 - ●保存したいフレームを選んで▲を押します。

4 JPEG画像を保存する

• [はい] を選んで @ ボタンを押すと、JPEGの画像 として保存します。



💋 [選択フレームの保存] で作成した画像について

- 画質モード [FINE] (□ 61) のJPEG画像を作成します。
- 動画から作成したJPEG画像に対して、画像編集することはできません。
- 再生時の画像情報で表示されない項目があります。

画像の再生と削除

画像を1コマずつ再生する (1コマ表示モード)

▶ボタンを押すと、最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます。



■1コマ表示モードでの操作方法 マルチヤレクターの◀を押すと前の画像が、▶を押す 前後の画像を見る と次の画像が表示されます。 画像情報の切り換え 画像情報の切り換えができます(□142)。 QBB (?) 複数画像を サムネイル表示モード(ロ148)に切り替わります。 一覧表示する 画像を拡大する € 表示中の画像を拡大表示します(凹150)。 画像を削除する 前 表示中の画像を削除します(ロ154)。 表示中の画像にプロテクト(保護)を設定します 画像を保護する $(\Box 151)_{\circ}$

ごボタン 1コマ表示モード、サムネイル表示モード(□148)、カレ ンダー表示モード(□149)で**i**ボタンを押すと、右の画面 が表示されます。選んだ画像に対して次の操作を行えます。 ・レーティング(重要度)(□152) 画像編集(静止画の場合)(□216)/動画編集(動画の 場合)(□138) Aマートデバイスへの送信指定/解除(□180)

141 画像の再生と削除

動画を再生する

<u>画像情報を表示する</u>

1コマ表示モードでは、画像についての詳しい情報を見ることができます。マルチセレ クターの▲または▼を押すと、次のように撮影情報の表示が切り替わります。



※1 再生メニュー [再生画面設定](□183)で設定している場合のみ表示します。
※2 撮影時に位置情報(□76)を記録した画像の場合のみ表示します。

■標準表示



1	プロテクト設定の有無		151
2	画像編集の有無		217
3	送信指定の有無		. 180
4	コマ番号/フォルダー内全画像数		
5	ファイル名		198
б	画質モード		61
7	画像サイズ		63
8	撮影時刻	13、	211
9	撮影日付	13、	211
10	フォルダー名		185
11	レーティング設定		152

■ハイライト表示※



※ハイライトとは、画像の中の非常に明るい部分です。露出補正などで画像の明るさを調整する際に、点 滅しているハイライト部分を目安にしてください。



🖉 拡大ヒストグラム表示について

RGBヒストグラム表示で^Qボタンを押すと、ヒストグラム表示のまま拡大 画面になります。拡大ヒストグラム表示では、拡大領域のヒストグラムを 表示することができます。また、拡大表示中にマルチセレクターの ▲▼◀▶を押すと画面をスクロールして見たい部分に移動できます。^Q^{EI} (?)ボタンを押すと画像を縮小表示します。



🖉 カメラのヒストグラム表示機能について

ヒストグラム表示は、画像加工アプリケーションで表示されるヒストグラムと異なることがあります。 目安としてお使いください。

🖉 ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、画像の明るさ(輝度)の分布を表すグラフのことです。横軸は明るさ、縦軸は明 るさごとのピクセル数を示しています。

- いろいろな明るさの被写体が写っている画像では、グラフの 山が全体的に分布したヒストグラムになります。
- 暗い画像はヒストグラムの分布が左側に寄った形になります。
- 明るい画像はヒストグラムの分布が右側に寄った形になります。



露出補正を+側にすれば山が右側に寄り、-側にすれば山が左側に寄ります。

屋外などで周りが明るすぎて液晶モニターでは画像の明るさが確認しにくいときでも、ヒストグラムから画像全体の露出傾向を確認することができます。

■撮影情報

撮影時の設定の詳細を表示します。



※1 感度自動制御した画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

※2 設定した機能、装着したレンズやアクセサリーにより表示されない場合があります。

※3 設定したピクチャーコントロールにより、表示される内容が異なります。



13 -	1 2 3 NIKO D5300 4 5 6 12 1.3 52 +1.0 4 COMMENT 2013/10/15 10:02:27 12 11 10 9 8	28 – 27 –	14 15 16 17 18 ⊠ P 1/125 F5.6 55100 =52 -1.3 552 +1.0 f ⁴ com SRGB ⊡SD 26 25 24 23	19 18mm 20 <u>18mm</u> 20 <u>18tiAUT0</u> 21 22
1	コマ番号/フォルダー内全画像数	16	シャッタースピード	
2	プロテクト設定の有無 151	17	絞り値	
3	カメラ名	18	ISO感度*1	
4	画像編集の有無	19	焦点距離	
5	送信指定の有無180	20	位置情報の有無	
6	画像のヒストグラム(□144)を表示します。	21	画像コメントの有無	
	横軸は明るさ、縦軸は明るさごとのピクセ	22	アクティブD-ライティング	
	ル数を表します。	23	ピクチャーコントロール	
7	画質モード	24	色空間	
8	画像サイズ	25	フラッシュモード	
9	ファイル名198	26	ホワイトバランス	
10	撮影時刻13、211		ホワイトバランス微調整	107
11	撮影日付13、211		プリセットマニュアル	
12	フォルダー名185	27	フラッシュ調光補正値	
13	レーティング設定152		コマンダーモードの有無* ²	
14	測光モード	28	露出補正値	
15	撮影モード			

※1 感度自動制御された画像の場合、ISO感度を赤く表示します。

※2 設定した機能や装着したアクセサリーにより表示されない場合があります。

■位置情報表示

撮影時に位置情報(ロ76)を記録した画像の場合に表示します*。



※動画の場合は、動画撮影開始時に取得した情報を表示します。

複数の画像を一覧表示する (サムネイル表示モード)

1コマ表示モードのときに**♀¤(?**)ボタンを押すと、複数の縮小画像(サムネイル画像) を表示する「サムネイル表示モード」に切り替わります。



1コマ表示 モード サムネイル表示モード (4、12、80コマ表示)



■サムネイル表示モードでの操作方法

表示コマ数 を増やす	q⊠ (?)	1コマ表示時にボタンを押すと4コマ表示に、4コマ表示時にボタンを押すと12コマ表示に、12コマ表示時にボタンを押すと80コマ表示に切り替わります。
表示コマ数 を減らす	æ	80コマ表示時にボタンを押すと12コマ表示に、12コマ表示時に ボタンを押すと4コマ表示に、4コマ表示時にボタンを押すと1コ マ表示に切り替わります。
画像を選ぶ		マルチセレクターの▲▼ ◆ を押して、黄色の枠(カーソル) を動かして画像を選びます。 マルチセレクターの代わりにコマンドダイヤルを使うこともで きます。
1コマ表示する		サムネイル表示モードを終了して、1コマ表示モードに戻ります。
画像を削除する	莭	選んだ画像を削除します(□154)。
画像を保護する	AF-L (O)	選んだ画像にプロテクト(保護)を設定します(凹151)。

撮影した日付ごとに画像を表示する (カレンダー表示モード)

80コマ表示時(□148)に**9**□(?)ボタンを押すと、撮影した日付ごとに縮小画像を 表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。



■カレンダー表示モードでの操作方法

=- +	qe (?)	 ・カレンダー表示時に Q☎(?)ボタンまたは ∞ボタンを押すと、黄 ●い枠が撮影日サムネイル表示に移動し、選択中の日付に撮影した
衣示で 切り換える		画像が選べます。
9)) (7) U		• 撮影日サムネイル表示時に ♀ (?) ボタンを押すと、カレンダー
80コマ表示に	•	●カレンター表示時は80コマ表示に切り替わります。
戻る/		 ●撮影日サムネイル表示時は、 ●ボタンを押している間、拡大表示を
画像を拡大する		します。
		• カレンダー表示時は、マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、黄
日付を選ぶ/		色の枠(カーソル)を動かして撮影した日付を選びます。
画像を選ぶ		・撮影日サムネイル表示時は、▲または▼を押して画像を選びます。
1コマ表示する		撮影日サムネイル表示時に®ボタンを押すと、選択した画像を1コ マ表示します。
		 カレンダー表示時にボタンを押すと、選んだ日付の画像を全て削除
両偽た判除する	Ť	します。
画像で削除9 る		 撮影日サムネイル表示時にボタンを押すと、選んだ画像を個別に削
		除します (四154)。
玉海ナク菜ナフ	AE-L (撮影日サムネイル表示時にボタンを押すと、選んだ画像を個別にプ
画隊を ほまする	98 AF-L (O-T)	ロテクトします(四151)。

画像を拡大表示する

画像の再生中に **Q** ボタンを押すと、拡大表示されます。拡大できる最大の大きさ(長 さ比)は、画像サイズが [**L**](サイズL)の場合は約33倍、[**M**](サイズM)では 約25倍、[**S**](サイズS)では約13倍です。拡大表示中に人物の顔を認識した場合、 最大35人までの顔を白枠で囲んで表示します。

■拡大表示中の操作方法

拡大率を上げる	æ	ボタンを押すごとに拡大率が 上がります。	拡大表示中に拡大率を操作する と、画面の右下にナビゲーショ
拡大率を下げる	qe (?)	ボタンを押すごとに拡大率が 下がります。	
画面をスクロール (移動)させる		画面をスクロールさせて、見た い部分に移動できます。マルチ セレクターを押し続けると、高 速で移動します。	ンウィンドウが表示され、拡大 表示中の部分が黄色い枠で囲ん で示されます。数秒すると消え ます。
人物の顔へ 移動させる/ 人物の顔の拡大率 を変更する	i	 iボタンを押すと、次の操作ができます。もう一度押すと、通常の拡大表示に戻ります。 マルチセレクターの▲▼▲▶ を押すたびに、認識した顔に順次移動します。 i 一般ボタンを押すと、人物の顔を拡大表示します。 	ば大表示中に人物の顔を認識すると、画面右下のナビゲーション ウィンドウに白い枠が表示されます。
前後の画像を 見る		コマンドダイヤルを回すと、そのままの拡大率と表示範囲で、前 後の画像を表示します(動画を選ぶと、拡大表示を終了します)。	
1コマ表示する		拡大表示を終了して、1コマ表示モードに戻ります。	
画像を保護する	AE-L (O-n)	表示中の画像にプロテクト(保護)を設定します(凹151)。	

画像を保護する (プロテクト)

大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト(保護)を設定できます。ただし、SDカードを初期化(フォーマット ロ206)すると、プロテクトを設定した画像も削除されますのでご注意ください。

1 プロテクトする画像を選ぶ

- 1コマ表示モード/拡大表示の場合は、プロテクトする画像を表示します。
- サムネイル表示モード/カレンダー表示モードの場合は、プロ テクトする画像を選びます。





2 點 (〇一) ボタンを押す

■アイコンが表示されます。



🖉 プロテクトを解除するには

解除する画像を表示(選択)して、

【

(Om)ボタンを押します。

🖉 プロテクトの一括解除について

画像の再生中に、【社(**Om**)ボタンと**を**ボタンを同時に2秒以上押し続けると、再生メニューの[**再生** フォルダー設定](凹183)で設定されているフォルダー内の全ての画像のプロテクトをまとめて解除 できます。

画像にレーティング(重要度)を設定する

選んだ画像にレーティングを設定できます。ただし、プロテクトした画像はレーティン グを設定できません。

<u>表示中の画像にレーティングを設定する</u>

1 レーティングを設定する画像を選ぶ

- •1コマ表示モードのときは、レーティングを設定する画像を表示します。
- サムネイル表示モードまたはカレンダー表示モードのときは、レーティングを設定する画像を選びます。

2 *i*ボタンを押す



iボタン

- 3 [レーティング] を選んで®ボタンを押す
- 4 レーティングを設定する
 ・マルチセレクターの◀または▶を押して、
 ★★★★★ ~★、早なし、 気(削除候補)から選





5 ◎ ボタンを押して決定する

びます。



複数の画像にレーティングを設定する

再生メニューの [**レーティング**] では、複数の画像にレーティングを設定できます。

1 [レーティング] を選ぶ

 MENUボタンを押して、再生メニューの[レー ティング]を選んでマルチセレクターの▶を押 します。



MENUボタン

2 画像を選んでレーティングを設定する

- ◆ または
 ▶ を押して、レーティングを設定したい画像を選びます。
- ▲または▼を押して、★5~★1、星なし、
 (削除 候補)から選びます。
- **q** ボタンを押している間は、選択中の画像が拡大表示 されます。
- 3 ®ボタンを押して決定する





画像を削除する

SDカードに記録された画像を削除します。削除した画像は元には戻せないのでご注意 ください。ただし、プロテクトを設定した画像は削除できません。

<u>表示中の画像を削除する</u>

1 削除する画像を選ぶ

- •1コマ表示モードのときは、削除する画像を表示します。
- サムネイル表示モードまたはカレンダー表示モードのときは、削除する画像を選びます。

2 面ボタンを押す

- 削除確認の画面が表示されます。
- ▶ボタンを押すと、画像の削除はキャンセルされます。





サムネイル表示モード



面ボタン

3 もう一度 面ボタンを押す

• 選択した画像が削除されます。



複数の画像をまとめて削除する

再生メニューの [**削除**] では、複数の画像をまとめて削除できます。たくさんの画像を 削除するときは、時間がかかることがあります。

	選択画像削除	選択した画像を削除します。				
DATE	日付選択	選択した日付に撮影した画像をまとめて削除します。				
ALL	全画像削除	[再生フォルダー設定](ロ183)で設定したフォルダー内の全ての画像を 削除します。				

∎選択画像削除

- 1 [削除] を選ぶ
 - MENUボタンを押して、再生メニューの [削除]
 を選んでマルチセレクターの▶を押します。



MENUボタン

9■(?)ボタン

2 [選択画像削除] を選ぶ

• [選択画像削除] を選んで▶を押します。



- ・▲▼◀▶を押して、画像を選びます。
- Q≅(?)ボタンを押して設定します。設定すると値アイコンが表示され、もう一度Q≅(?)ボタンを押すと解除されます。
- 削除する画像全てに設定してください。
- (ボタンを押すと、ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。)

4 設定を完了する

- 🕑 ボタンを押して、設定を完了します。
- ●確認画面で[はい]を選択し、 ◎ ボタンを押すと、 選択した画像が全て削除されます。



■日付選択

- **1** [削除] 画面で [日付選択] を選ぶ
 - ・
 [日付選択]を選んでマルチセレクターの
 ・
 を押します。

2 日付を選ぶ

- ●日付を選び、●を押してチェックボックスをオン図にします。もう一度●を押すと、チェックボックスがオフロになります。
- 削除する日付全てに設定してください。
- (☎) ボタンを押すと、選択している日付に撮影した画像をサムネイル表示して確認できます。もう一度 (☎) ボタンを押すと、日付選択画面に戻ります。
- サムネイル表示中に Q ボタンを押すと、ボタンを押している間、選んだ画像を拡大表示します。

3設定を完了する

- ● ボタンを押して、設定を完了します。
- 確認画面で [はい] を選択し、 ∞ ボタンを押すと、 選択した日付の画像が全て削除されます。





Q≥(?)ボタン



日付選択 □ 2013/10/15

部 選択画像制 ME 日付選択 ALL 全画像削留

スライドショーで再生する

再生メニューの [スライドショー] では、[再生フォルダー設定] (四183) で設定した フォルダー内の画像を記録された順番に1コマずつ連続再生できます。

1 [スライドショー] を選ぶ

• MENUボタンを押して、再生メニューの [スライ ドショー] を選んでマルチセレクターの▶を押 します。



再生メニュー	
削除	ធ័
再生フォルダー設定	D5300
,再生画面設定	
撮影直後の画像確認	ON
■ 縦位置自動回転	ON
スライドショー	
プリント指定(DPOF)	8
? レーティング	*

MENUボタン

2 スライドショーを開始する

• [開始] を選んで I ボタンを押すと、スライドショーが始まります。



•スライドショー再生時には次の操作を行えます。

1コマ進む/ 戻る		◀を押すと前の画像が、▶を押すと次の画像が表示されます。
画像情報の 切り換え		画像情報の切り換えができます(口142)。
一時停止/再開		スライドショーが一時停止します。もう一度 🞯 ボタンを押す と再開します。
動画の音量を 調節する	୍କ୍/ ବ୍≊ (?)	動画再生中に ९ ボタンを押すと音量が大きくなり、 ♀≈(?) ボタンを押すと小さくなります。
通常再生に戻る	Þ	スライドショーを中止して、1コマ表示モード(四141)、サ ムネイル表示モード(四148)またはカレンダー表示モード (四149)に戻ります。

再生が終わると、右のような画面が表示されます。[再開]を選んで

 ・ボタンを押すと、スライドショーが再開します。[終了]
 を選んで
 ・ボタンを押すと、スライドショーが終了します。



■再生画像の種類を設定する

[再生画像の種類]を選ぶと、スライドショーで再生する画像の種類を [静止画と動画]、 [静止画のみ]、 [動画のみ]、 [レーティングの選択] から選べます。

- [レーティングの選択]を選んでマルチセレクターの
 ▶を押すと、選んだレーティングを設定した画像だ けを再生できます。
- レーティング項目を選び、▶ を押してチェックボックスをオン♥にします。もう一度▶を押すと、チェックボックスがオフ●になります。



■1コマの静止画を表示する時間(インターバル)を設定する

[インターバル設定]を選ぶと、1 コマの静止画を表示する時間 を設定できます。





パソコン、プリンター、テレビ との接続

ViewNX 2をインストールする

付属のソフトウェアをインストールして、画像をパソコンに取り込めば、静止画や動画の表示、編集ができます。インストールを始める前に、お使いのパソコンの環境が印160の動作環境に合っているか確認してください。





159 パソコン、プリンター、テレビとの接続
🖉 ViewN)	く2の動作環境について	
	Windows	Mac OS
プロセッサー (CPU)	 静止画: Intel Celeron/Pentium4/Coreシリーズ1.6GHz以上 動画: 再生時: Pentium D 3.0GHz以上 編集時: Intel Core i5以上 1280×720ピクセル以上でフレームレート 30fps以上、または1920×1080ピクセル 以上で動画再生をする場合: Intel Core i5 以上を推奨 	 静止画: Intel Coreシリーズ/Xeonシリーズ 動画: 再生時: Core Duo 2GHz以上 編集時: Intel Core i5以上 1280×720ピクセル以上でフレームレート30fps以上、または1920×1080ピクセル以上で動画再生をする場合: Intel Core i5以上を推奨
OS	Windows 8、Windows 7、 Windows Vista、Windows XP • 全てプリインストールされているモデルに 対応 • 64ビット版Windows XP上では動作しま せん。	• OS X 10.8、10.7 • Mac OS X 10.6
実装メモリー (RAM)	 32 ビット版 Windows 8、Windows 7、 Windows Vista : 1 GB 以上 (2 GB 以上 推奨) 64 ビット版 Windows 8、Windows 7、 Windows Vista : 2 GB 以上 (4 GB 以上 推奨) Windows XP : 512 MB以上 (2 GB以上 推奨) 	 OS X 10.8、10.7:2 GB 以上(4 GB 以上推奨) Mac OS X 10.6:1 GB 以上(4 GB 以上推奨)
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が1GB以上(3C	B以上推奨)
モニター	解像度:1024×768ピクセル(XGA)以上 (1280×1024ピクセル以上推奨)、表示色 数:24ビットカラー以上	解像度:1024×768ピクセル(XGA) 以上(1280×1024ピクセル以上推奨)、 表示色数:1670万色以上
> ※ 対応OSに	数:24ビットカラー以上 関する最新情報は、当社ホームページのサポー	表示色数:1670万色以上 -ト情報(□xv)でご確認ください。

✓ 必ず最新バージョンのソフトウェアをお使いください ● お使いのカメラに対応していないバージョンのソフトウェアを使用すると、RAW 画像をカメラから

- パソコンへ正常に転送できないことがあります。必ず最新バージョンのViewNX 2をお使いください。 ・ 最新版のViewNX 2は、当社ホームページ(ロxv)からダウンロードしてインストールすることもで
- 最新版UVIEWINX 2は、当社ホームページ(↓↓XV)からダリンロートしてインストールすることもで きます。

🖉 ニコンホームページへのアクセスについて(Windowsのみ)

ViewNX 2をインストールした後、Windowsの [スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Link to Nikon] の順にクリックすると、当社のホームページにアクセスできます(インターネット に接続できる環境が必要です)。

ViewNX 2を使う

<u>パソコンに画像を取り込む</u>

1 パソコンに接続する

• SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパ ソコンを接続し、カメラの電源をONにする。



2 ViewNX 2のNikon Transfer 2が起動する

 ・起動するプログラム(ソフトウェア)を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、 Nikon Transfer 2を選びます。

3 画像をパソコンに取り込む

• [転送開始] をクリックすると、記録されている画像がパソコンに取り込まれます(ViewNX 2の初期設定)。



4 接続を解除する

• カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

🖉 Windows 7をお使いの場合

右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を 選びます。

- **1** [**画像とビデオのインポート**] で使用するプログラムに Nikon Transfer 2を選ぶ
 - 「画像とビデオのインポート」の「プログラムの変更」を クリックすると表示される画面で、「画像ファイルを取り 込む-Nikon Transfer 2使用]を選んで、「OK」をクリッ クします。
- 2 [画像ファイルを取り込む] をダブルクリックする



161 パソコン、プリンター、テレビとの接続

パソコン、プリンター、テレビとの接続 162

/iewNX 2ヘルプ(H) ノフトウェアのアップデート(U).. Capture NX 2無償試用ダウンロード(N)... Camera Control Pro 2無償試用ダウンロード(C)

画像を見る

画像の取り込みが終わると、ViewNX 2が自動的に起 動し、取り込んだ画像が表示されます。

■静止画を編集する

ViewNX 2のツールバーで「**エディット**」をクリックします。 階調の補正、シャープネスの調整、画像の切り抜き (クロップ) な どの編集ができます。

■動画を編集する

ViewNX 2のツールバーで「Movie Editor」をクリックします。 このカメラで撮影した動画の不要な部分を削除するなどの編集が できます。

■■画像をプリントする

ViewNX 2のツールバーで「印刷」をクリックします。 ダイアログが表示され、パソコンにつないだプリンターから、画 像をプリントできます。

■取得した位置情報をパソコンで地図上に表示する

ViewNX 2のツールバーで「地図] をクリックします。 画像に記録 した位置情報を地図上に表示したり、カメラで取得したログを 使って地図上に移動ルートを表示できます。

🖉 ViewNX 2を手動で起動するには

• Windows: デスクトップの [ViewNX 2] のショートカットアイコンをダブルクリックする

• Mac OS: Dockの [ViewNX 2] アイコンをクリックする

🖉 ViewNX 2の詳しい使い方は ViewNX 2のヘルプを参照してください。













▶ パソコンとの接続時のご注意

- カメラとパソコンが通信している間は、カメラの電源をOFFにしたり、USBケーブルを抜いたりしない でください。
- ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- カメラとパソコンを接続するときは、充分に充電されたバッテリーをお使いになることをおすすめします。

🔽 USBハブについて

USBハブを使ってカメラをパソコンやプリンターに接続すると、正しく動作しないことがあります。

🖉 端子カバーについて

使用しない場合は、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミなどが入ると、誤作動の原因となること があります。

プリンターで印刷する (ダイレクトプリント)

PictBridge (ピクトブリッジ ロ286) 対応プリンターをお使いの場合、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを付属のUSBケーブルで直接接続してSDカード内の画像を プリントできます(ダイレクトプリント)。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源をOFFにしてからプリンターの電源をONにする

2 カメラとプリンターを接続する

• USBケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。



- 3 カメラの電源をONにする
 - 正しく接続されると、液晶モニターに PictBridge のロゴが表示された後、撮影された 画像が表示されます。

<u>1コマだけプリントする</u>

- 1 プリントしたい画像を選ぶ
 - マルチセレクターの
 または
 を押してプリントしたい画像
 を選びます。



- •1コマ表示中に ♥ボタンを押すと、表示中の画像を拡大表示します(□150)。 ■ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。
- 9≅ (?) ボタンを押して8コマ表示に切り換えて、画像を選ぶことができます。 9 ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

2 プリント設定画面を表示する

• 🐨 ボタンを押すとプリント設定画面が表示されます。



🔽 ダイレクトプリントについてのご注意

- RAW画像(四61)はダイレクトプリントできません。RAW画像は画像編集メニューの [RAW現像] (ロ225) で作成したJPEG画像をプリントしてください。
- [**フチ設定**] と [範囲指定] は、接続したプリンターがそれぞれの機能に対応していない場合は、選 べません。なお、 [範囲指定] で狭い範囲を大きくプリントした場合は、画像が粗くプリントされる 場合があります。

▼ [デート写し込み設定] で日時を写し込んだ画像についてのご注意

カスタムメニュー d6 [デート写し込み設定](ロ199)で日時を写し込んだ画像をプリントするときは、次のことにご注意ください。

- [日付プリント] を [なし] に設定してください。[あり] にしてプリントすると、日付が二重にプリ ントされます。
- [**フチ設定**]を [**なし**] にしたときや、範囲指定の設定によっては、日時部分が用紙に収まらないこ とがあります。
- 165 パソコン、プリンター、テレビとの接続

3 プリント設定の項目を設定する

• ▼または▲を押して設定したい項目を選んで▶を押すと、それぞれの設定画面が表示 されます。

用紙設定	▼または▲を押して、プリントする用紙のサイズまたは [プリンターの設定] (プリンターの設定を優先)を選んで [®] ボタンを押します。プリンターが対応 する用紙サイズのみが表示されます。
枚数指定	▼または▲を押して、プリントする枚数(1~99枚)を設定して ⊗ ボタンを 押します。
フチ設定	▼または▲を押して、[プリンターの設定](プリンターの設定を優先)、[あ り](フチありプリント)または [なし](フチなしプリント)を選んで@ボ タンを押します。
日付 プリント	▼または▲を押して、[プリンターの設定](プリンターの設定を優先)、[あ り](日付を印刷する)または [なし](日付を印刷しない)を選んで@ボタ ンを押します。
範囲指定	 [する] を選んで、▶を押すと、[範囲指定] 画面が表示されます。黄色の枠は、プリントされる範囲を示しています。 ● (※ (?) ボタンを押すと枠が小さく(プリント範囲が狭く)なり、●(ボタンを押すと枠が大きく(プリント範囲が広く)なります。 ● マルチセレクターを操作すると、プリント範囲が移動します。 ● (※)ボタンを押すと、プリント範囲が決定します。

4 プリントを開始する

• [プリント実行] を選んで、 ® ボタンを押すとプリントが始ま ります。



 プリントを中断したいときは、もう一度 ® ボタンを押してく ださい。

🖉 プリンターの設定を優先してプリントしたいときは

[用紙設定]、[フチ設定]、[日付プリント]の設定について、プリンターの設定を優先したいときは、 それぞれの設定時に[プリンターの設定]を選んでください。

複数の画像をプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから(四164)、次の手順でプリント してください。

1 「カメラとプリンターを接続する」の手順3(□164) で、撮影した画像が表示されたら、MENUボタンを押す



MENUボタン

2 プリント方法を選んでマルチセレクターの▶を押す

プリント 画像選択	プリントする画像と枚数を選んでプリントします。
日付選択	指定した日付に撮影した画像を全てプリントします。
DPOF	再生メニューの [プリント指定 (DPOF)] (印169) で、事前に設定した画像を
プリント	プリントします。プリント指定した画像と枚数は、手順3の画面に反映されます。
INDEX プリント	SDカードの中のJPEG画像(凹61)を一覧できる「インデックス」をプリント します。 • インデックスプリントできるのは256コマまでです。SDカード内に257コマ以 上の画像がある場合は、印刷されない画像があります(確認画面が表示され ます)。

3 プリントする画像と枚数を設定する

[プリント画像選択] または [DPOF プリント] の場合:

- < または <>> を押してプリントする画像を選びます。
- ▲または▼を押して、プリント枚数 (99枚まで)を設定します。
- プリントされる画像には、
 4アイコンとプリント枚数が表示さ れます。枚数を0にすると、月アイコンが消え、その画像はプ リントされません。
- ペボタンを押している間は、選択中の画像が拡大表示されます。





€ボタン

167 パソコン、プリンター、テレビとの接続

[日付選択] の場合:

- ▲または▼を押してプリントする日付を選び、▶を押して設定します。
- プリントする枚数は設定できません。選択した日付の画像の全てが1枚ずつプリントされます。
- Q≅(?)ボタンを押すと、選択している日付に撮影した画像を サムネイル表示して確認できます。もう一度Q≊(?)ボタンを 押すと、日付選択画面に戻ります。
- サムネイル表示中に Qボタンを押すと、ボタンを押している間、 選んだ画像を拡大表示します。
- ●日付を設定したら、
 ●ボタンを押します。

[INDEXプリント]の場合:

● [INDEXプリント] 画面が表示されたら、 ∞ボタンを押します。

4 プリント設定の項目を設定する

- ▼または▲を押して設定したい項目を選んで▶を押すと、それぞれの設定画面が表示されます。
- 「1 コマだけプリントする」の手順3(□166)と同様に、[用 紙設定]、[フチ設定]、[日付プリント]を設定してください。
- [INDEX プリント] の場合、用紙サイズによっては、プリントできない場合があります (警告メッセージが表示されます)。

5 プリントを開始する

- ●[プリント実行]を選んで
 ・ 「ボタンを押すと、プリントが始まります。プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
 ・
- プリントを中断したいときは、もう一度
 ・ ボタンを押してく ださい。









プリントしたい画像を指定する (プリント指定)

SDカードをプリンターのカードスロットに挿入して印刷するときや、プリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼するとき、またはカメラとプリンターを直接接続して ダイレクトプリントするとき(ロ164)に、どの画像を何枚プリントするかをあらかじ め指定できます(プリンターやプリントサービス店がDPOF規格に対応している必要が あります)。プリント指定の方法は次の通りです。

- **1** [プリント指定(DPOF)]で[設定]を選ぶ
 - MENU ボタンを押して、再生メニューの[プリント指定(DPOF)]で[設定]を選びます。
 マルチセレクターの▶を押します。



MENUボタン

- 2 プリントする画像と枚数を設定する
 - ● くまたは を押してプリントする画像を選びます。
 - ▲または▼を押して、プリント枚数(99枚まで)を設定します。
 - 設定した画像には、

 ピアイコンとプリント枚数

 が表示されます。枚数を0にすると

 ピアイコン

 が消え、その画像はプリントされません。
 - ペボタンを押している間は、選択中の画像が拡 大表示されます。
 - 画像と枚数を設定したら、 のボタンを押します。





♥ボタン

- 3 プリント指定の項目を設定する
 - •撮影情報や日付を画像に写し込まない場合は、手順4へ進みます。
 - 指定した画像全てに撮影情報や日付をプリントしたい場合は、
 [撮影情報]または[日付]を選び、▶を押してチェックボックスをオン☑にします。



4 🞯 ボタンを押して、プリント指定を終了する



▼ プリント指定についてのご注意

- ダイレクトプリント時には、[プリント指定 (DPOF)]の[撮影情報]、[日付]の設定は無効になり ます。ダイレクトプリントで日付をプリントしたい場合は、ダイレクトプリントの[日付プリント] を [あり] にしてください。
- SDカードの残量が充分にないときは、プリント指定ができない場合があります。
- RAW 画像(ロ61)は、プリント指定ができません。RAW 画像は画像編集メニューの [RAW 現像] (ロ225)で作成したJPEG画像をプリントしてください。
- プリント指定を行ったSDカード内のデータを、このカメラ以外で削除しないでください。正しくプリントできなくなる場合があります。

🖉 設定したプリント指定をまとめて解除したいときは

前ページの手順1の画面で[**一括解除**]を選ぶと、プリント指定(DPOF)で設定した内容を全て解除します。

テレビで見る

カメラをテレビや録画機器などに接続して、撮影した画像をテレビ画面に表示したり、 録画したりできます。

AVケーブルを使ってテレビと接続する

カメラをテレビに接続する手順を説明します。接続には付属のオーディオビデオケーブ ルをお使いください。

- 1 セットアップメニューの [ビデオ出力] を、テレビに合わせる(□213)
 - •日本国内では [NTSC] にしてください。
- 2 カメラの電源をOFFにする
 - AVケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

3 カメラとテレビを接続する



4 テレビの入力をビデオ入力に切り換える

5 カメラの電源をONにして、 ▶ボタンを押す

• 撮影した画像がテレビの画面に表示されます。

🖉 画像がテレビに映らないとき

AVケーブルでカメラとテレビを正しくつないでも、画像がテレビに映らないときは、セットアップメ ニューの [**ビデオ出力**](□213)がお使いのテレビに合っているかを確認してください。

171 パソコン、プリンター、テレビとの接続

HDMIケーブルを使ってハイビジョンテレビと接続する

カメラをHDMI端子のあるハイビジョンテレビなどと接続できます。接続には市販の HDMIミニ端子用ケーブル(Type C)が必要です。別途お買い求めください。

1 カメラの電源をOFFにする

• HDMIケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

2 カメラとハイビジョンテレビを接続する



HDMI端子*(外部機器側)

※使用する外部機器の端子に合わせたケーブルをお使いください。

3 テレビの入力をHDMI入力に切り換える

4 カメラの電源をONにして、▶ボタンを押す

• 撮影した画像がテレビの画面に表示されます。

🖉 テレビでの画像の再生について

- 画像の再生方法は、液晶モニターで再生するときと同じです。
- テレビ画面では、画像の周辺部が一部ケラレて表示される場合があります。
- テレビでの再生などでカメラを長時間使うときは、ACアダプターをお使いになることをおすすめします。

🖉 動画の音声について

テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラでは音量調節できません。

■HDMI対応機器への出力解像度を変更する

セットアップメニュー(ロ205)の[**HDMI**]の[**出力解像度**]では、HDMI対応機器への出力解像度を設定できます。

• [出力解像度] が [オート] の場合、出力先の映像信号形式を自動的に検出します。

■HDMI-CEC対応テレビのリモコンを使って再生操作をする

セットアップメニュー(C2205)の[**HDMI**]の[機器制御]では、HDMI-CEC対応テ レビのリモコンを使って、1コマ表示とスライドショー再生のカメラ操作を行えます。

出力解像度

1 カメラとHDMI-CEC対応テレビを接続する

2 HDMI-CEC対応テレビとカメラの電源をONにする

- [機器制御] が [する] の場合、カメラのマルチセレクターや®ボタンの代わりにHDMI-CEC対応テレビのリモコンを使ってカメラを操作できるようになります。
- [機器制御] が [しない] の場合は、HDMI-CEC対応テレビのリモコンでカメラは動作 しません。ライブビュー撮影や動画撮影を行いたいときは、[しない] に設定してくだ さい。

🖉 HDMI-CECとは

「HDMI-CEC」とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での連携動作を可能にします。

🖉 HDMI-CEC対応テレビとの接続時の表示

HDMI-CEC対応テレビとの接続時には、ファインダーの記録可能コマ数表示部に[[[が表示されます。

🖉 HDMIケーブル接続時の動画の撮影と再生について

- HDMI対応機器に接続して、撮影メニュー [動画の設定]の [画像サイズ/フレームレート]を [1920 × 1080 60p] または [1920×1080 50p] に設定して動画を記録すると、HDMIの出力解 像度やフレームレートが変わることがあります。
- [画像サイズ/フレームレート] を [1920×1080 60p] または [1920×1080 50p] にして記録し た動画を再生する場合 (ロ137)、HDMI対応機器のモニターには再生中の動画のみが表示されます。

🔽 [HDMI] の [出力解像度] についてのご注意

このカメラでは、[**1920**×**1080 60p**] または [**1920**×**1080 50p**] でのHDMI出力はできません。 HDMI対応機器によっては、[**出力解像度**] を [**オート**] に設定すると、HDMI出力できないことがあ ります。その場合は、[**出力解像度**] を [**1080i** (インターレース)] に設定してください。

173 パソコン、プリンター、テレビとの接続

Wi-Fiを使う Wi-Fiを使ってできること

このカメラと専用ソフトウェアWireless Mobile Utilityをインストールしたスマートデ バイスを接続すると、スマートデバイスにカメラの撮影画面を表示し、カメラをリモー トで操作できます。また、リモートで撮影した画像やカメラのSDカードに保存されて いる画像をスマートデバイスに取り込んだり、スマートデバイスに取り込んだ画像をイ ンターネット経由で共有することができます。

画像を取り込み 画像を共有

リモート操作

詳しい操作方法については、Wireless Mobile Utility(ロ175)の使用説明書をご覧ください。

カメラとスマートデバイスを接続する

Wi-Fi (無線LAN)を使う前に、Android OS またはiOS のスマートデバイスに専用ソフトウェアWireless Mobile Utilityをインストールしてから、スマートデバイスとカメラを接続してください。スマートデバイスとカメラを接続する方法は、お使いのスマートデバイスの種類によって異なります。

	WPS プッシュボタン方式:スマートデバイスがWPS接続に対応し ている場合(スマートデバイスの [Wi-Fi設定] に [WPSボタン 接続] がある場合)、簡単な操作でカメラとスマートデバイスを接 続できます。	□176
Android OS	WPS PINコード方式:スマートデバイスがWPS接続に対応してい る場合、スマートデバイスのPINコードをカメラに入力すること で、カメラとスマートデバイスを接続できます。	山 177
	SSIDの表示:スマートデバイスがWPS接続に対応していなくて も、カメラに表示されるSSIDをスマートデバイス側で選ぶことで、 カメラとスマートデバイスを接続できます。	□178
iOS	SSIDの表示:カメラに表示されるSSIDをスマートデバイス側で選ぶことで、カメラとスマートデバイスを接続できます。	口 178

🖉 スマートデバイスにソフトウェアをインストールする

最初にスマートデバイスでGoogle PlayサービスやApp Storeなどに接続して「Wireless Mobile Utility」を検索し、スマートデバイスにインストールしてください。ソフトウェアの検索方法に ついては、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

- ソフトウェアの詳しい操作方法は、下記のホームページから使用説明書(PDF形式)をダウンロード してご覧ください。
 - Android OS : http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/
 - iOS : http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/

🖉 WPS について

「WPS (Wi-Fi Protected Setup)」とは、無線LAN 機器の接続とセキュリティーの設定を簡単に 実行するための規格です。スマートデバイスによって、設定方法や待ち受け時間が異なります。 [WPSプッシュボタン接続]の詳細については、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧くだ さい。

<u>WPSプッシュボタン接続でスマートデバイスと</u> 接続する(Android OSのみ)

- **1** Wi-Fiの [通信機能] を [有効] にする
 - MENUボタンを押して、セットアップメニューの [Wi-Fi] を選んでマルチセレクターの▶を押し ます。
 - [通信機能] を選んで ▶ を押し、[有効] を選ん で ☞ ボタンを押します (通信機能が有効になるまで、 数秒間かかります)。
- カメラ側とスマートデバイス側で同時にWPSボタン接続操作をする
 カメラ側:
 - 「接続設定」を選んで▶を押します。
 - [WPS プッシュボタン方式] を選んで ▶を押すと、 カメラが約2分間接続待機状態になります。
 - ・接続待機状態を延長するには、
 ・ ボタンを押して
 ください。
 - スマートデバイス側:
 - スマートデバイスの [Wi-Fi設定] から [WPSボタン接続] を選びます。
- **3** スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する
 - スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。





通信機能

有効



MFNUボタン

<u>スマートデバイスのPINコードをカメラに入力して</u> <u>接続する(Android OSのみ)</u>

1 Wi-Fiの [通信機能] を [有効] にする

• MENUボタンを押して、セットアップメニューの [Wi-Fi] を選んでマルチセレクターの▶を押し ます。



MENUボタン

• [通信機能] を選んで ▶ を押し、[有効] を選ん で ∞ ボタンを押します (通信機能が有効になるまで、 数秒間かかります)。



- ・[接続設定]を選んで
 ・を押します。
- [WPS PINコード方式] を選んで ▶を押します。
- 3 スマートデバイスのPINコードを入力する
 - ● ◆ または ▶ を押して桁を選び、 ▲ または ▼ を押して数値を設定し、 ◎ ボタンを押します。
- **4** スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

•スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。





<u>カメラのSSIDをスマートデバイスで選んで接続する</u> <u>(Android OS/iOS)</u>

1 Wi-Fiの [通信機能] を [有効] にする

• MENUボタンを押して、セットアップメニューの [Wi-Fi] を選んでマルチセレクターの▶を押し ます。



通信機能

有効

皿の

MENUボタン

- [通信機能] を選んで ▶ を押し、[有効] を選ん で ⁽¹⁾ ボタンを押します (通信機能が有効になるまで、 数秒間かかります)。
- 2 カメラのSSIDを表示する
 - ・[接続設定]を選んで▶を押します。
 - [**SSIDの表示**] を選んで▶を押します。
- 3 スマートデバイスのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選ぶ
 - •スマートデバイスのWi-Fi接続に関連する設定メニューで、カメラの液晶モニターに表示されているSSIDを選びます。

4 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

•スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。



■Wi-Fi接続設定をリセットするには

[Wi-Fi] の [接続設定] で [接続設定のリセット] を選んで▶を 押すと、確認画面が表示されます。[はい] を選んで ◎ ボタンを 押すと、接続先などの接続設定が、工場出荷時の設定にリセット されます。



🖉 Wi-Fi通信表示について

Wi-Fiの【**通信機能**】を【**有効**】にすると、インフォ画面で[®](Wi-Fi通信 表示)が点滅します。スマートデバイスとカメラの接続が完了し、Wireless Mobile Utilityで通信している間は、[®]が点灯します。



🔽 Wi-Fi接続についてのご注意

- ・Wi-Fi (無線LAN)をお使いの前に、「Wi-Fi (無線LAN)機能について」(□xviii)をお読みください。
- 電波の出力が禁止されている場所では、[Wi-Fi]の [通信機能]を [無効] にしてください。
- カメラのWi-Fi機能は、SDカードを挿入していないと使えません。USBケーブルまたはHDMIケーブ ルを接続しているときも使えません。
- スマートデバイスからWireless Mobile Utilityでカメラと通信している間は、半押しタイマーはオフになりません(通信を行わずに約5分経過すると、半押しタイマーがオフになります)。
- Wi-Fi接続中は、Eye-Fiカードでデータを送信できません。
- 操作中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いください。
- 次の場合に、Wi-Fiの通信機能が無効になります。
 - セットアップメニュー [Wi-Fi] の [通信機能] で [無効] を選んだとき
 - カメラの電源をOFFにしたとき
 - 動画撮影を開始したとき

スマートデバイスに取り込みたい画像を カメラで送信指定する

スマートデバイスに取り込みたい静止画をあらかじめカメラで選んで送信指定するこ とができます。動画は送信指定できません。

<u>表示中の画像を送信指定する</u>

1 送信指定する画像を選ぶ

- •1コマ表示モードのときは、送信指定する画像を表示します。
- サムネイル表示モードまたはカレンダー表示モードのときは、送信指定する画像を選びます。
- **2** *i*ボタンを押す



iボタン

3 [スマートデバイスへの送信指定/解除]を選んで® ボタンを押す

アイコンが表示されます。





✓ 送信指定を解除するには 解除したい画像を選んで、手順2と3を行います。

🖉 🖾 アイコンについて

スマートデバイスに画像を送信し終えると、画像情報から 🟧 アイコンが消えます。

複数の画像をまとめて送信指定する

再生メニューの [スマートデバイスへの送信指定] では、複数の画像をまとめて送信指 定できます。

1 [スマートデバイスへの送信指定]を選ぶ

MENUボタンを押して、再生メニューの [スマートデバイスへの送信指定] を選んでマルチセレクターの▶を押します。



MENUボタン

2 送信指定する画像を選ぶ

- ▲▼◀▶を押して、画像を選びます。
- Q≅(?)ボタンを押して設定します。設定する と
 ▼アイコンが表示され、もう一度 Q≅(?) ボタンを押すと解除されます。
- •送信指定する画像全てに設定してください。
- ・
 ペボタンを押すと、ボタンを押している間、 選んだ画像を拡大表示します。

3 設定を完了する

• 🞯 ボタンを押して、設定を完了します。



98 (?) ボタン





▶ 再生メニュー:再生で使える便利な機能

MENUボタンを押してタブの▶アイコンを選ぶと、再生メニューが表示されます。



MENUボタン

再生メニューの項目は、次の通りです。

メニュー項目		初期設定	m
削除		—	155
再生フォルダー設定		記録中のフォルダー	183
再生画面設定		—	183
撮影直後の画像確認		する	183
縦位置自動回転		する	183
スライドショー			
再生画像の種類		静止画と動画	157、
インターバル設定		2秒	158
プリント指定(DPOF)		—	169
レーティング		_	153
スマートデバイスへの送信指定		—	181

再生フォルダー設定

画像はSDカード内のフォルダーに保存されます。 画像の再生(凹141)時に表示するフォルダーを設定します。

記録中のフォルダー	画像の記録に実際に使われているフォルダーの画像を再生します。
全てのフォルダー	SDカード内の全てのフォルダーの画像を再生します。

▶ 再生フォルダー設定についてのご注意

「全てのフォルダー」にした後に撮影を行うと、自動的に「記録中のフォルダー」に変更されます。
 全てのフォルダーの画像を再生するには、改めて「全てのフォルダー」にしてください。
 ●画像を記録するフォルダーは撮影メニューの「記録フォルダー設定」(□185)で設定できます。

再生画面設定

1コマ表示時の画像情報に、画像のみ表示、ハイライト 表示、RGBヒストグラム表示、撮影情報表示、統合表 示を追加します。

- ・追加したい項目を選び、マルチセレクターの ▶ を押してチェックボックスをオン ☑ にします。もう一度
 ▶を押すと、チェックボックスがオフ□になります。
- 🞯 ボタンを押すと、設定を完了します。

撮影直後の画像確認

撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。

縱位置自動回転

[する]を選ぶと、縦位置で撮影した画像を自動的に回転して表示します。

🔽 縦位置自動回転についてのご注意

- ・セットアップメニューの [縦横位置情報の記録] (□212) を [しない] にして撮影した画像は、全て横位置で表示されます。
- 撮影直後の画像確認時は自動回転しません。

MENUボタン → ▶ 再生メニュー



MENUボタン → ▶ 再生メニュー

MENUボタン → ▶ 再生メニュ-

▲ 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能



MENUボタン

撮影メニューの項目は、次の通りです。

メニュー項目	初期設定	
撮影メニューのリセット	—	185
記録フォルダー設定	—	185
画質モード	NORMAL	61
画像サイズ	サイズL	63
RAW記録	12 ビット 記録	186
ホワイトバランス	オート	105
蛍光灯	白色蛍光灯	106
ピクチャーコントロール	スタンダード	116
カスタムピクチャー コントロール	_	120
自動ゆがみ補正	しない	186
色空間	sRGB	187
アクティブ D-ライティング	オート	98
HDR(ハイダイナミック レンジ)	しない	100
長秒時ノイズ低減	しない	187
高感度ノイズ低減	標準	188
ISO咸度設定		

らし恋皮		
撮影モードP、S、A、M	100	60
その他の撮影モード	オート	188
感度自動制御	しない	100

メニュー項目	初期設定	
レリーズモード		
撮影モード 💐 🤿	高速連続撮影	17
その他の撮影モード	1コマ撮影	47
多重露出		
多重露出モード	しない	
コマ数	2	102
自動ゲイン補正	する	
インターバルタイマー 撮影	設定解除	70
光学手ブレ補正※1	する	189
動画の設定		
画像サイズ/フレーム レート	— *2	135
動画の画質	標準	135
録音設定	マイク感度 オート	135
風切り音低減	しない	135
動画のマニュアル設定	しない	136

※1 このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

※2 販売地域によって異なります。

🖉 設定できない撮影メニュー項目について

撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目は グレーで表示されて選べません。

撮影メニューのリセット

撮影メニューをリセットして初期設定に戻します(□184)。

記録フォルダー設定

MENUボタン → 凸撮影メニュ-

画像を記録するフォルダー(画像が記録される場所)を選んだり、新しく作成すること ができます。

フォルダー名は3ケタの数字(フォルダー番号)と変更可能な5ケタの英数字(フォル ダーグループ名)で構成されています。



■記録フォルダー選択

[記録フォルダー選択]を選ぶと、次のような [記録フォルダー選択] 画面が表示され、 画像を記録するフォルダーグループを選ぶことができます。

フォルダー選択画面の見方は次の通りです。



※記録フォルダーに設定したフォルダーグループは、[空フォルダー削除] で削除したり、SDカードを 交換した場合でもそのまま表示されます。このフォルダーグループを選んだままで撮影を行うと、同 じ名称のフォルダーグループが、再び作成されます。

■新規作成

新しいフォルダーグループを作成します。[新規作成]を選ぶと、フォルダー名の編集 画面が表示されます。5文字までのフォルダーグループ名を入力し、**ペ**ボタンを押すと、 フォルダーグループが作成されます。

入力画面での文字の入力方法については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の手順6をご覧ください(ロ121)。

■フォルダー名変更

[フォルダー名変更]を選ぶと、フォルダーグループ名の一覧が表示されます。名称を 変更したいフォルダーグループを選ぶと、フォルダー名の編集画面が表示されます。5 文字までのグループ名を入力し、**ペ**ボタンを押すと、グループ名が変更され、同時にそ のグループ内の全てのフォルダーのフォルダー名が変更されます。ただし、フォルダー 番号は変更されません。

■空フォルダー削除

画像が1コマも記録されていないフォルダーが全て削除されます。

🔽 グループ内に複数のフォルダーがある場合のご注意

使用中のフォルダー内の画像ファイルが999コマに達するか、ファイル番号が9999に達したときに撮影を行うと、同じグループ名で番号が更新されたフォルダーが自動的に作成されます。 グループ内に複数のフォルダーがある場合、[記録フォルダー選択] でそのグループを選ぶと、グルー プ内でフォルダー番号が最大のフォルダーが選ばれます。たとえば、101D5300、102D5300というフォ ルダーがある場合、[記録フォルダー選択] で [D5300]を選ぶと、102D5300に画像が記録されます。

RAW記録

MENUボタン → 凸撮影メニュー

RAW画像の記録ビット数を設定します。

12-bit 12ビット記録	RAW画像を12ビットで記録します。
14-bit 14ビット記録	RAW画像を14ビットで記録します。[12ビット記録]の場合よりもさら に豊かな階調表現になります。画像のファイルサイズは [12ビット記録] よりも大きくなります。

自動ゆがみ補正

MENUボタン → 凸撮影メニュー

広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影したいときは、[**する**]を選びます。

- ゆがみを大きく補正するほど、画像周辺部は切り取られます。
- 自動ゆがみ補正を行う場合、シャッターをきってから、記録が始まるまで時間がかかることがあります。
- 動画撮影時は、自動ゆがみ補正の効果は適用されません。

🚺 自動ゆがみ補正の制限について

[自動ゆがみ補正]はGタイプ・Eタイプ・Dタイプレンズを装着した場合のみ機能します。ただし、PC レンズ、フィッシュアイレンズ、その他一部のレンズを装着した場合は機能しません。また、対応レ ンズ以外を装着した場合については、動作を保証しません。

色空間

記録する画像の色空間を指定します(色空間とは、モニターやプリンターで表現できる色の範囲のことです)。[sRGB] 色空間は、 再生やプリントなど、一般的な用途で画像を楽しむのに適してい ます。[Adobe RGB] 色空間は[sRGB] 色空間に比べて色域が 広いため、商業印刷などの業務用途に適しています。



🖉 Adobe RGB色空間について

適切な色再現には、カラーマネージメント機能に対応したアプリケーション、モニター、プリンター などの環境が必要です。

🔽 色空間についてのご注意

- 動画を撮影するときは、色空間を [sRGB] に設定することをおすすめします。
- ・付属のソフトウェアViewNX 2または別売のCapture NX 2をお使いになると、正しい色空間での処理 が自動的に行われます。他社製の画像閲覧用または画像編集用ソフトウェアを使うと、正しく色が表 示されないことがあります。

長秒時ノイズ低減

MENUボタン → 凸撮影メニュ-

低速シャッタースピードになったときに発生するノイズ(ざらつき、むら、輝点)を低減 します。

する	シャッタースピードが1秒より低速になった場合に、長秒時ノイズの低減処理を 行います。
しない	長秒時ノイズの低減処理を行いません。

長秒時ノイズ低減処理は、撮影後に行われます。処理中は、ファ インダー内に**」のb n**rが表示されます。この表示が消えるま で、撮影はできません。 dab ar (20)*

長秒時ノイズの低減処理を行う場合、画像を記録するまでの時間は、長秒時ノイズ低減 を行わない場合の約2倍になります。

▶ 長秒時ノイズ低減についてのご注意

処理中に電源をOFFにすると、長秒時ノイズ低減処理は行われません。

高感度ノイズ低減

MENUボタン → 凸撮影メニュ-

感度が高くなるほど発生しやすいノイズ(ざらつき、むら、すじ)を低減します。

強め	全てのISO感度で高感度ノイズの低減処理を行います。ISO感度が高くなるほど効果
標準	的です。
弱め	● ノイズ低減の効果は、強い順に[強め]、[標準]、[弱め]になります。
	ノイズが発生しやすい条件下でのみ、ノイズ低減処理を行います。この場合のノイ
しゆい	ズ低減効果は「弱め」よりもさらに弱くなります。

ISO感度設定

MENUボタン → 凸撮影メニュー

ISO感度(凹69)と感度自動制御を設定します。

1S0感度	100
感度自動制御	OFF

■感度自動制御

撮影モードP、S、A、Mで使えます。感度自動制御機能は、設定したISO感度で適正露出 が得られない場合に、カメラが自動的にISO感度を変更する機能です。

する	カメラが自動的にISO感度を変更します。 • 制御上限感度と低速限界設定を設定してください。	
しない	[ISO感度] (印69) で設定したISO感度に固定されます。	

• [する] にしたときは、ISO感度の制御条件を設定してください。

制御上限 感度	ISO感度が高くなると、低いときに比べて撮影した画像に多少ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生する場合があります。感度自動制御では、ISO感度が高くなりすぎないように上限感度 (200~Hi 1) を設定できます。ISO感度の下限は100になります。
低速限界 設定	撮影モードPまたはAで感度自動制御が働き始めるシャッタースピードを1/2000~1秒 から設定できます。また、[オート] に設定すると、レンズの焦点距離に応じてシャッ タースピードの低速限界をカメラが自動で設定します(CPUレンズ装着時のみ)。 • [オート] を選んでマルチセレクターの▶を押して、低速限界の補正を高速側または 低速側に調整できます。 • ISO 感度を上欄の [制御上限感度] まで上げても露出不足になる場合は、適正露出 を得るために、低速限界設定よりもさらにシャッタースピードが低速になります。

[**感度自動制御**] を [**する**] にすると、インフォ画面に**ISO-A**、 ファインダー内に**ISO-AUTO**が表示されます。

• ISO-AUTOマークが点灯している場合は、[ISO感度] で設定したISO感度で撮影されます。



✓ 感度自動制御についてのご注意

- ISO感度が高くなると、撮影した画像に多少ノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生する場合があります。
- [制御上限感度] で設定したISO感度よりも [ISO感度] (四69) で設定したISO感度が高い場合、[ISO 感度] で設定したISO感度を制御上限感度として撮影します。
- 内蔵フラッシュ撮影時または別売スピードライト(ロ247)の装着時にフラッシュモードをスローシャッターに設定していても、背景の明るさがより適正になるように感度自動制御が機能してISO感度が自動的に上がり、シャッタースピードが低速にならないことがあります。
- 内蔵フラッシュまたは別売スピードライトを使って、i-TTL 以外の発光方式でフラッシュ撮影する場合(□201、248)、[感度自動制御]を[する]にしていても、常に[ISO感度]で設定したISO感度で撮影します。

インフォ画面の制御上限感度と低速限界設定表示について [感度自動制御]が [する] の場合、インフォ画面のISO感度イメージに制御 上限感度が、シャッタースピードイメージに低速限界設定が表示されます。

低速限界設定



制御上限感度

光学手ブレ補正

MENUボタン → ●撮影メニュー

このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。[**する**]を選ぶと、 手ブレ補正機能がONになり、シャッターボタンを半押ししたときに手ブレを補正しま す(¹²⁸⁹)。[**しない**]を選ぶと手ブレ補正機能がOFFになります。







MENUボタンを押してタブの↓アイコンを選ぶと、カスタムメニューが表示されます。



MENUボタン

カメラの各種設定を撮影者の好みに合わせて変更 できます。カスタムメニュー画面は2つの階層で 構成されています。

<第2階層>

1

a オートフォーカス a1AF-Cモード時の優先 a2AF点数切り換え



カスタムメニューの項目は、次の通りです。

	カスタムメニュー項目	初期設定	m
	カスタムメニューのリセット		191
а	オートフォーカス		
	a1:AF-Cモード時の優先	フォーカス	192
	a2:AF点数切り換え	39点	192
	a3:内蔵AF補助光の照射設定	する	192
	a4:フォーカスエイドインジケーター	しない	193
b	露出		
	b1:露出設定ステップ幅	1/3段	193
С	AEロック・タイマー		
	c1:半押しAEロック	しない	194
	c2:パワーオフ時間	標準	194
	c3:セルフタイマー	時間:10秒、撮影コマ数:1コマ	195
	c4:リモコン待機時間 (ML-L3)	1分	195
d	撮影・記録・表示		
	d1:電子音設定	低音	196
	d2:ファインダー内格子線表示	しない	196
	d3:ISO感度表示	しない	196
	d4:連番モード	しない	197
	d5:露出ディレーモード	しない	198
	d6:デート写し込み設定	しない	199
e	フラッシュ・BKT撮影		
	e1:内蔵フラッシュ発光	TTLモード	201
	e2:オートブラケティングのセット	AEブラケティング	202
f	操作		
	f1:Fnボタンの機能	ISO感度設定	202
	f2:AE/AFロックボタンの機能	AE-L/AF-L	203
		露出補正の設定時:口、	
	f3:コマンドダイヤル回転方向の変更	シャッタースピード/	204
		絞り値の設定時:□	
	f4:カードなし時レリーズ	レリーズ禁止	204
	f5:インジケーターの+/-方向	–տեսներեր+	204

🖉 設定できないカスタムメニュー項目について

撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目は グレーで表示されて選べません。

カスタムメニューのリセット

MENUボタン → ◆ カスタムメニュー

カスタムメニューをリセットして初期設定に戻します。

a:オートフォーカス

a1:AF-Cモード時の優先

ファインダー撮影時のフォーカスモードが [**AF-C**] のとき(ロ53) にシャッターボタンを押した場合の動作を設定できます。

۲	レリーズ	シャッターボタンを押すと、ピント状態に関係なくシャッターをきることができます。
[::::]	フォーカス	シャッターボタンを押しても、ピントが合うまでシャッターをきること ができません。

a2:AF点数切り換え

手動で選べるフォーカスポイントの数を設定できます。

AF39 39点	39点全てのフォーカスポイントを選べます。	
AF11 11点	11 点のフォーカスポイントから選べます。 フォーカスポイントの位置をすばやく動か したいときに便利です。	

a3:内蔵AF補助光の照射設定 MENUボタン→ € カスタムメニュー

暗い場所でもAF補助光を自動的に照射させないように設定できます。

する	ファインダー撮影時にオートフォーカスでピントを 合わせる場合、被写体が暗いときに自動的にAF補助光 を照射します(撮影モードや設定によっては、AF補助 光を照射しないことがあります(印269))。	AF補助光ランプ
しない	AF補助光を照射しません。被写体が暗いときなどは、ス ント合わせができなくなる場合があります。	トートフォーカスでのピ

M以外の撮影モードでマニュアルフォーカスで撮影するときに、ピントのズレ具合を ファインダーで確認できます。

[**する**] に設定してフォーカスモードを [**MF**](マニュアルフォーカス)(ロ53、59) にすると、ファインダー内の露出インジケーターが、次のようなフォーカスエイドイン ジケーターに切り替わります。

インジケーター	意味	インジケーター	意味
0	フォーカスポイント内 の被写体にピントが 合っています。	0 Ⅲ ►	被写体の少し後方にピ ントが合っています。
0	被写体の少し前方にピ	0	被写体のかなり後方に
◀ Ⅲ	ントが合っています。	>	ピントが合っています。
0	被写体のかなり前方に	<	ピントエラー(ピント
<	ピントが合っています。		を合わせられません)

🖉 フォーカスエイドインジケーターについて

- 開放F値がF5.6以上明るいレンズで使えます。
- ライブビュー時には使えません。
- •オートフォーカスの苦手な被写体(印54)では、適切に作動しないことがあります。

b:露出

b1:露出設定ステップ幅

シャッタースピード、絞り値、オートブラケティング補正量、露 出補正量、および調光補正量のステップ幅を設定できます。



c:AEロック・タイマー

c1:半押しAEロック

シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行うかどうかを設定できます。

c2:パワーオフ時間

液晶モニターの表示時間、ライブビューの表示時間、および半押しタイマーがオフになるまでの時間を変更できます。インフォ画面の表示時間を変更したい場合は、[**半押し** タイマー]の設定を変えてください。

SHORT 短め	• [再生/メニュー表示]: SHORT 20秒、NORM 1分、 LONG 5分
NORM 標準	• [撮影直後の画像確認]: SHORT 4秒、 NORM 4秒、 LONG 20秒
	• [ライブビュー表示]: SHORT 5分、 NORM 10分、LONG 20分
LONG 長め	・[半押しタイマー]: SHORT 4秒、 NORM 8秒、 LONG 1分
	[再生/メニュー表示]、[撮影直後の画像確認]、[ライブビュー表示]、[半押
④∅ カスタマイズ	しタイマー]の各時間をそれぞれ設定できます。各項目の設定後、 ※ ボタン
	を押すと設定が有効になります。

🖉 パワーオフ時間について

•パワーオフ時間が長いほど、バッテリーの消耗が早くなります。

パソコンやPictBridge対応のプリンターを接続しているときは、「パワーオフ時間」の設定にかかわらず、ファインダー内表示や液晶モニターは消灯しません。

c3:セルフタイマー

/ 時間

c3セルフタイマ-

撮影コマ数

10

セルフタイマー撮影時(凹51)にシャッターボタンを全押しし てからシャッターがきれるまでの時間と、撮影するコマ数を変更 できます。



c4:リモコン待機時間(ML-L3) MENUボタン→

 クカスタムメニュー

ファインダー撮影時に、リモコンモード(ロ72)に設定してから、 カメラが別売のリモコンML-L3からの信号を待ち受ける時間を設 定します。

 リモコンモードにしてから、リモコン撮影をしないままで受信待 機時間が過ぎると、リモコンモードが解除されます。



• リモコン待機時間を長くすると、カメラのバッテリーの消耗が早くなります。
d:撮影・記録・表示

d1:電子音設定

🖉 電子音設定時の表示について

電子音を鳴るようにしたり、鳴らないようにしたりできます。

• [高音] または [低音] に設定すると、セルフタイマー撮影時、 リモコン撮影時、オートフォーカスでピントが合ったときに電 子音が鳴ります。

のときは②マークが表示されます。

[高音] または [低音] のときはインフォ画面に♪マークが、[電子音なし]



ファインダー内に構図用格子線(004)を表示するかしないかを設定できます。

d3:ISO感度表示

ファインダー内の記録可能コマ数表示部に、ISO感度を表示するかどうかを設定できます。





d4:連番モード

ファイル名に使われるファイル番号の連番について設定できます。

する	SDカードを交換したり、画像を記録するフォルダーを変更しても、以前からの続 きの連番でファイル番号が付きます。複数のSDカードを使って撮影してもファイ ル番号が重複しないため、撮影後の画像ファイルを管理しやすくなります。
しない	SDカードや画像を記録するフォルダーを変更するたびに、ファイル番号が「0001」 に戻ります。画像を記録するフォルダー内にすでに画像ファイルがある場合は、次 の番号からファイル番号が付きます。 ・連番モードを【する】から【しない】に変更しても、カメラはファイル番号を記 憶しています。次に【する】に切り換えたときは、以前記憶した番号からの連番 でファイル番号が付きます。
リセット	連番モードを [する] に設定したときのファイル番号をリセットします。リセット した後に撮影を行うと、新しいフォルダーが作成され、「0001」からの連番でファ イル番号が付きます。

🖉 フォルダーの自動作成について

- 撮影中に記録フォルダー内に999個のファイルが記録された場合、SDカード内に存在する最大フォルダー番号+1という番号のフォルダーが自動的に作成され、記録フォルダーとしてそのフォルダーが選ばれます。
- 撮影中にファイル番号が9999となった場合、SDカード内に存在する最大フォルダー番号+1の番号のフォルダーが自動的に作成され、記録フォルダーとしてそのフォルダーが選ばれます。

🖉 ファイル番号について

- •ファイル番号が9999に達したときに撮影を行うと、自動的に新規フォルダーが作成され、ファイル 番号が0001番に戻ります。
- フォルダー番号が999に達しているときにファイル番号が9999に達するか、ファイル数が999個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は「連番モード」を「リセット」した後、SDカードを初期化するか交換してください。

🖉 ファイル名について

- このカメラで撮影した画像には、DSC_nnnn.xxx という名前が付けられます。nnnn には撮影順に 0001~9999までの数字が入ります。xxxにはファイルの種類によって、次の拡張子が入ります。
 - NEF: 画質モードがRAWの場合
 - JPG:画質モードがFINE/NORMAL/BASICの場合
 - MOV : 動画の場合
 - NDF:イメージダストオフデータの場合(ロ209)
- [動画編集] (□138) で作成した画像のファイル名は「DSC_nnnn.MOV」になります。
- [画像合成] および [動画編集] 以外の画像編集メニュー (□216) で作成した静止画のファイル名は「CSC_nnnn.JPG」になります。
- 撮影メニューの [色空間] (□187) を [Adobe RGB] にした場合は、ファイル名が [_DSCnnnn.xxx] (または [_CSCnnnn.xxx] となります。

d5:露出ディレーモード

露出ディレーモードにするかどうかを設定できます。

する	シャッターボタンを押すと最初にミラーが作動し、約1秒後にシャッ ターがきれます。顕微鏡撮影時などのカメラブレを最小限に抑えるこ とができます。
しない	シャッターボタンを押すと同時にシャッターがきれます。

d6:デート写し込み設定

撮影する画像に直接日時を写し込みます。 写し込まれた日時を画像から消したり、撮影 した後で日時を写し込んだりすることはできません。

	しない	日付、時刻のどちらも写し込みません。		
DATE	年・月・日	撮影した画像の右下に、日付を写し込みます。	2013.10.15	
DATE⊕	年・月・日・時刻	撮影した画像の右下に、日付と時刻を写し込 みます。	2018.10.15 10:02	
123	誕生日カウンター (□200)	撮影した画像の右下に、撮影した日付と(誕生 での日数を写し込みます。	E日など)登録した日ま	

デート写し込み設定をすると、インフォ画面にDATEが表示されます。



▶ デート写し込みについてのご注意

- •年月日の並びは、[地域と日時](□211)での設定と同じになります。
- RAWを含む画質モード(印61)の場合、日時を写し込みできません。
- 日時を写し込んだ画像を編集する場合(□216)、画像編集機能の種類によっては、写し込んだ日時 が切れたり、きれいに表示されないことがあります。

■誕生日カウンターの使い方

誕生日や結婚式など記念日までの日数をカウントダウン形式で入 れたり、お子様が産まれた日からの経過日数を入れたりするとき などに使います。日付は3種類まで登録できます。

1 最初の日付を登録する

- 「誕生日カウンター」を選んでマルチセレクターの●を押します。
- マルチセレクターで日付を設定してから∞ボタンを押すと、日 付が登録されます。

2 日付を追加する

- 最初の日付を登録すると、「日付の登録」画面が表示されます。
- ●日付を登録したい番号を選んで●を押すと、「誕生日設定」画面 が表示され、続けて日付を登録できます。
- ●[日付の登録] 画面で番号を選んで ボタンを押すと、選んだ番 号の日付を撮影に使います。

3 日付の表示順を選ぶ

- 「表示の選択」を選んで●を押します。
- 日数の表示形式を選び、のボタンを押します。

・ ぶボタンを押して設定を完了する 4

誕生日カウンターを使って撮影した画像には、次のように日付が写し込まれます。









-ト写し込み設定 表示の選択

年・日 年・日・日



- ト写し込み設定 誕生日設定

> 月日 2013. 10. 17



e:フラッシュ・BKT撮影

e1:内蔵フラッシュ発光

MENUボタン → 🖌 カスタムメニュー

25 658

1.201

撮影モードP、S、A、Mで使えます。内蔵フラッシュの発光方式を設定できます。

TTL\$	TTLモード	内蔵フラッシュの光量は、撮影状況に応じて自動的	に調節されます。
M≄	マニュアル 発光モード	選んだ発光量でフラッシュが発光します。 • [Full](フル発光)に設定した場合、 内蔵フラッシュのガイドナンバーは約13 (ISO 100・m、20℃)となります。	 ○ 内蔵フラッシュ発光 マニュアル発光モード マニュアル発光モード ドロー 1/2 1/4 1/8 1/16 1/32

フラッシュ調光補正マークの表示について [マニュアル発光モード]にすると、フラッシュ使用時にインフォ画面に
 四マークが、ファインダー内に
 四マークが点滅します。



別売スピードライトSB-400またはSB-300を装着してスピードライトの電源をONにすると、カスタム メニュー e1 [内蔵フラッシュ発光] がe1 [外付けフラッシュ発光] に切り替わり、SB-400または SB-300の発光方式を [TTLモード] または [マニュアル発光モード] に設定できます。

🖉 TTLモードについて

CPUレンズをお使いの場合、内蔵フラッシュの発光量は、次の2種類の制御方式のどちらかで決定されます。通常はi-TTL-BL調光ですが、測光モード(□193)を [□](スポット測光)にした場合は、スタンダードi-TTL調光になります。

: 〒1 日 田平	2016分割RGBセンサーによる測光情報を元に、メインの被写体と背景の
I-IIL-DL詞兀	バランスを考慮して発光量を決定します。
フクンガード; TTI 調坐	背景の明るさを考慮せず、メインの被写体を基準にして発光量を決定し
スタフタードFIIL調元	ます。

オートブラケティングの種類を、[AEブラケティング]、[WBブラケティング]、[ADLブ ラケティング]から選べます。[オートブラケティングのセット]で設定できる項目に ついては、「明るさ、ホワイトバランス、アクティブD-ライティングを変えながら撮影 する(オートブラケティング撮影)」をご覧ください(ロ112)。

f:操作

f1:Fnボタンの機能

Fnボタンを押したときの機能を設定できます。



Fnボタン

qual	画質モード/ 画像サイズ設定	Fnボタンを押しながらコマンドタイヤルを回すと、画質モード(□61)と画像サイズ(□63)の組み合わせが切り替わります。
IS0	ISO感度設定	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ISO感度 (凹69)が切り替わります。
WB	ホワイトバランス設定	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバ ランス (ロ105) が切り替わります (撮影モードP、S、A、Mのみ)。
ET.	アクティブD-ライティング 設定	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すとアクティ ブD-ライティング(凹98)が切り替わります(撮影モード P、S、A、Mのみ)。
HDR	HDR設定	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すとHDR(ハイ ダイナミックレンジ)(ロ100)が切り替わります(撮影モー ドP、S、A、Mのみ)。
+ <u>RAW</u>	プラスRAW記録	画質モードがJPEG (FINE)、JPEG (NORMAL)、JPEG (BASIC) の場合、Fnボタンを押してから、1回の撮影のみRAW画像を 同時記録します。シャッターをきるか、もう一度Fnボタンを 押すと、[プラスRAW記録]を解除します。撮影モードが 図、◎、息、◎、ダ、桌のときは、Fnボタンを押してもプ ラスRAW記録は設定できません。

BKT	オートブラケティング	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、現在選択 されているオートブラケティングの内容を設定します。カス タムメニュー e2 [オートブラケティングのセット] が [AE ブラケティング] または [WBブラケティング] の場合は補 正ステップを設定できます。[ADLブラケティング] の場合 はON/OFFを設定できます (M112) (撮影モードP \$ A M
		のみ)。
(+)	AFエリアモード設定	Fnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、AFエリ アモード(□ 55、125)が切り替わります。
⊞	ファインダー内格子線 表示	Fnボタンを1回押すと、ファインダー に格子線を表示します。もう一度Fn ボタンを押すと、格子線表示を終了 します。
٣T»	Wi-Fi	Fnボタンを押すと、セットアップメニューの [Wi-Fi] 画面 (印176)を表示します。

f2:AE/AFロックボタンの機能 MENUボタン→ ♪カスタムメニュー

船(On)ボタンを押したときの機能を設定できます。



(Cm) ボタン

品	AE-L/AF-L	【】(O┓)ボタンを押すと、AEロック(□194)とフォーカスロック(□157)
ÂF		が同時に行われます。
Â	AE-L	【計(O┓)ボタンを押すと、AEロックだけが行われます。
ā:	AE-L (ホールド)	(On)ボタンを押すと、カメラの半押しタイマーがオフになるか、も
		う一度】(On)ボタンを押すまで、AEロックが維持されます。シャッ
		ターをきってもAEロックは解除されません。
ĀF	AF-L	灯 (On) ボタンを押すと、フォーカスロックだけが行われます。
AF-ON	AF-ON	(Om)ボタンを押すと、オートフォーカスが作動します。この場合、
		シャッターボタンの半押しではオートフォーカスは作動しません。

f3:コマンドダイヤル回転方向の変更 MENUボタン→ ● カスタムメニュー

露出補正や調光補正の設定時([**露出補正の設定時**])、シャッタースピードや絞り値の 設定時([**シャッタースピード/絞り値の設定時**])にコマンドダイヤルを操作するとき の回転方向を逆方向に変更できます。

 ・[露出補正の設定時] または [シャッタースピード/絞り値の設 定時] を選び、マルチセレクターの▶を押してチェックボック スをオン☑にします。もう一度▶を押すと、チェックボックス がオフ□になります。



• 🞯 ボタンを押すと、設定を完了します。

f4:カードなし時レリーズ MENUボタン→ *●*カスタムメニュー

カメラにSDカードを入れていないときのレリーズ操作を設定できます。

LOCK レリーズ禁止	SDカードを入れていないときは、シャッターはきれません。
OK レリーズ許可	SDカードを入れていないときでも、シャッターがきれます。ただし、SD カードが入っていないときに撮影した画像は液晶モニターに表示されます が、画像上に[デモモード]と表示され、プリントやSDカードへの保存は できませんのでご注意ください。

f5:インジケーターの+/一方向 MENUボタン→
 カスタムメニュー

ファインダー内表示、インフォ画面での露出、露出補正、オート ブラケティングの+と-方向を入れ換えることができます。



+0-	+	インジケーターの+側を左に、-側を右に表示します。
-0+	− •!ใ! . +	インジケーターの-側を左に、+側を右に表示します。

MENUボタンを押してタブの♥アイコンを選ぶと、セットアップメニューが表示されます。



MENUボタン

セットアップメニューの項目は次の通りです。

項目	初期設定		項目	初期設定	
カードの初期化		206	画像コメント	—	213
(フォーマット)		200	位置情報		
液晶モニターの明るさ	0	206	位置情報記録	しない	76
インフォ画面デザイン			GPS設定	_	82
AUTO/SCENE/	グラフィック		ログ取得	_	78
EFFECTSモード	デザイン	206	ログリスト	_	81
P/S/A/Mモード	グラフィック	200	ビデオ出力*2	_	213
	デサイン		HDMI		
インフォ画面の 白動圭一	自動表示する	209	出力解像度	オート	172
日期衣小	_ーヽノバ		機器制御	する	1/5
1×-9629-29-	- ノノ 電流 ON と		リモート操作		
電源スイッチに連動	電源ONC OFFで実行	257	リモート撮影	静止画撮影	214
クリーニングミラー アップ※1	_	259	Fnボタンの機能	カメラの 出 ボタンと同じ	214
イメージダスト			Wi-Fi		
オフデータ取得	—	209	通信機能	無効	176
フリッカー低減	オート	210	接続設定	_	176
地域と日時※2			Eye-Fi送信機能*3	有効	214
夏時間の設定	しない	211	認証マークの表示	—	215
言語 (Language) *2	_	211	ファームウェア	_	215
縦横位置情報の記録	する	212	ハーショノ		

※1 バッテリー残量表示が CI以下のときは選べません。

※2販売地域によって異なります。

※3 この機能に対応したEye-Fiカードを挿入したときのみ表示されます。

🖉 設定できないセットアップメニュー項目について

カメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示 されて選べません。

カードの初期化(フォーマット) MENUボタン→ Yセットアップメニュー

このカメラに他の機器で使ったSDカードを初めて入れたときは、必ずこのカメラで初 期化してからお使いください。SDカードを初期化すると、カード内のデータは全て削 除されます。必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してくだ さい(□161)。

- 1 [カードの初期化(フォーマット)] 画面で [はい] を選ぶ
 - •初期化をキャンセルするには、[**いいえ**]を選びます。

2 ®ボタンを押す

 初期化が完了してセットアップメニュー画面に戻る まで、電源をOFFにしたり、バッテリーやSDカード を取り出したりしないでください。

液晶モニターの明るさ

液晶モニターの明るさを、マルチセレクターの▲または▼を押し て調整できます。+にすると明るく、-にすると暗くなります。

インフォ画面デザイン

インフォ画面(凹6)のデザインを、次のような「クラシックデザイン」、「グラフィック デザイン」の2種類から選べます。インフォ画面デザインは、[AUTO/SCENE/EFFECTS モード] と [P/S/A/Mモード] でそれぞれ設定できます。



クラシックデザイン(🖽 208)



グラフィックデザイン(006)





MENUボタン → ¥セットアップメニュー

■インフォ画面デザインの設定方法

- 1 撮影モードを選ぶ
 - インフォ画面デザインを変更したい撮影モードを、 [AUTO/SCENE/EFFECTSモード] と [P/S/A/M モード] から選んでマルチセレクターの▶を押し ます。
- **2** 背景色を選ぶ
 - ▲▼◀▶を押して、設定したい画面デザインを選びます。



ンフォ画面デザイン

AUTO/SCENE/EFFECTSE-F

P/S/A/ME-F

Ŷ

(ок)

3 ®ボタンを押して設定を完了する



■クラシックデザインについて

4

5

7

g

③ (発光禁止オート) で

シーンに合わせて撮影する

特殊効果をつけて撮影する

撮影モードP、S、A、Mを使う

撮影する......19

[クラシックデザイン] の表示内容は次の通りです(説明のため、全ての表示を点灯させ ています)。



22 レリーズモード......47

3D-トラッキング設定マーク

24 画質モード.....61

25

フォーカスポイント......57

画像サイズ......63

23 オートエリアAF設定マーク

↓セットアップメニュー:カメラを使いやすくする基本設定 208

インフォ画面の自動表示

MENUボタン → ♥セットアップメニュー

- [自動表示する] の場合、シャッターボタンを半押しして指を放すだけで、液晶モニ ターにインフォ画面を表示できます。
- [自動表示しない]の場合、インフォ画面を表示するには、 M ボタンを押してください。

イメージダストオフデータ取得 MENUボタン→ Yセットアップメニュー

別売のCapture NX 2(ロ252)の「イメージダストオフ機能」を使うためのデータを 取得します。イメージダストオフとは、カメラの撮像素子前面に付いたゴミの写り込み をRAW画像から取り除く機能です。イメージダストオフ機能については、Capture NX 2 の使用説明書をご覧ください。

■イメージダストオフデータ取得の手順

- 1 イメージダストオフデータの取得方法を選ぶ
 - [開始] を選んで (のボタンを押すと、[イメージダス トオフデータ取得] 画面が表示されます。
 - [イメージセンサークリーニング後開始]を選んで
 ※ボタンを押すと、すぐにイメージセンサークリーニングを 実行します。イメージセンサークリーニングの実行後に、「イ メージダストオフデータ取得]画面が表示されます。
 - •ファインダー内に、右のように表示されます。
 - データ取得を取り消したいときは、MENU ボタンを押してください。
- 2 レンズ先端から10cm程度離れた、明るく白い無地の被写体を画面いっぱいにとらえ、シャッターボタンを半押しする
 - •オートフォーカスのときは、カメラが自動的に無限遠にピントを合わせます。
 - •マニュアルフォーカスのときは、手動で無限遠に合わせてください。



3 シャッターボタンを全押しして撮影する

・被写体が明るすぎ、または暗すぎたために、データが取得できなかった場合は、液晶モニターに右の画面が表示され、手順1の状態に戻ります。被写体の明るさを変えて、もう一度撮影してください。

🚺 イメージセンサークリーニングについてのご注意

イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフデータは、クリーニング 実行後に撮影した画像とゴミの位置が一致しなくなるため、Capture NX 2のイメージダストオフ機能 を使用できません。イメージセンサークリーニング機能とイメージダストオフ機能を併用する場合は、 [イメージセンサークリーニング後開始]を選択後に撮影することをおすすめします。

🔽 イメージダストオフデータ取得についてのご注意

- 非CPUレンズをお使いの場合は、[イメージダストオフデータ取得]を選べません。
- お使いになるCPUレンズは、焦点距離が50mm以上のものをおすすめします(ロ241)。
- ズームレンズは望遠側にしてください。
- 取得したイメージダストオフデータは、データ取得後にレンズや絞り値 を変更して撮影した画像にも適用できます。
- イメージダストオフデータは画像処理ソフトウェアなどで開けません。
- イメージダストオフデータをカメラで再生すると、右の画面が表示されます。

フリッカー低減

蛍光灯や水銀灯などの光源下で、ライブビュー表示中(□123) や動画撮影時(□132)に画面にちらつきや横縞が生じる「フ リッカー現象」を低減できます。通常はカメラが自動的に電源周 波数を選ぶ [オート]をお使いください。[オート]でフリッカー 低減効果が得られない場合は、お使いの地域の電源周波数に応じ て、[50 Hz] と [60 Hz] から選びます。



MENUボタン → ¥セットアップメニュー

🖉 フリッカー低減についてのご注意

- [オート] でもフリッカー低減効果が得られない場合や電源周波数がわからない場合は、設定を切り 換えて試し撮りをすることをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。撮影モードAまたは
 Mで、ライブビュー開始前に絞りを絞り込んで(より大きい数値にして)ください。
- 撮影メニュー [動画の設定]の [動画のマニュアル設定]が [する] で、撮影モードがMの場合、フ リッカー低減は機能しません (□136)。

キ イメージダストオファータ取得



地域と日時

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

現在地と日時、年月日の表示順を設定します。



現在地の設定	現在地のタイムゾーンを選びます。現在地のタイム ゾーンを変更すると、[日時の設定]で設定された日 時が、時差に合わせて自動的に更新されます。	現在地の設定 Tokyo, Secul UTC-9 2013/10/15 10:00.00 03 決定
日時の設定	[現在地の設定] で選ばれているタイムゾーンの時刻 を設定します。	 地域と日時 日時の設定 年月日時分秒 2018 100 105 100 :00 :00 00 :00 :00
日付の表示順	液晶モニターに表示される日付の年、月、日の表示順 を、[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年]から選びます。	地域と日時 日付の表示順 「いい」年/月/日 「いい」年/月/日 「いい」「月/日/年 「いい」「月/月/年
夏時間の設定	現在地で夏時間(サマータイム制)が実施されている 場合は [する] に、そうでない場合は [しない] に設 定します。[する] にすると、時刻が1時間進みます。	 □ 地域と日時 ○ 夏時間の設定 ▲ ■ ■

言語 (Language)

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

メニュー画面やメッセージの表示言語を選びます。

縦横位置情報の記録

撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。



✓ 縦横位置情報記録についてのご注意

カメラを上向きまたは下向きにして撮影したり流し撮りすると、縦横位置情報が正しく得られない場 合があります。

🖉 再生メニュー[縦位置自動回転]

再生メニューの [**縦位置自動回転**](口183)では、[**縦横位置情報の記録**]を [**する**] に設定して縦 位置で撮影された画像を、液晶モニターに縦位置で表示するように変更できます。

画像コメント

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

あらかじめコメントを登録しておき、撮影する画像に添付できます。添付されたコメントは、付属の ViewNX 2 や別売の Capture NX 2 (ロ252)のメタデータで確認できます。

	画修	ミコメント		
0 🗸 🖸	V	コメント添	付	
			./]	
			◎選択	∞3設定終了

■コメント入力

36文字までのコメントを登録できます。[コメント入力]を選んでマルチセレクターの ▶を押すと表示される入力画面でコメントを入力します。入力画面での文字の入力方法 については、「カスタムピクチャーコントロールを登録する」の手順6をご覧ください (□121)。

■コメント添付

登録したコメントを画像に添付したいときは、[コメント添付]を選び、マルチセレク ターの▶を押してチェックボックスをオン☑にします。 ∞ボタンを押すと、その後撮 影した画像には全てコメントが添付されます。

🖉 画像情報に表示される画像コメントについて

添付された画像コメントは、「撮影情報」の「画像コメント」に表示されます(□145)。

ビデオ出力

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

テレビやビデオなどに接続する場合のビデオ出力方式を設定します。

NTSC	NTSC方式のテレビやビデオに接続する場合に使います。通常、日本国内でお使いの 場合は、こちらを選びます。
PAL	PAL方式のテレビやビデオに接続する場合に使います。

リモート操作

■リモート撮影

別売のリモートコードまたはワイヤレスリモートコントローラー(CL252、253)の シャッターボタンを押したときの動作を設定できます。

۵	静止画撮影	ワイヤレスリモートコントローラーまたはリモートコードのシャッターボタ ンを全押しすると、静止画を撮影します。
塛	動画撮影	 ワイヤレスリモートコントローラーまたはリモートコードのシャッターボタンを押して、次の操作を行います: シャッターボタンを半押しする:ライブビューを開始します。フォーカスモードが [AF-S] または [AF-F] の場合、ライブビュー中にシャッターボタンを半押しするとピント合わせを行います。 シャッターボタンを全押しする:動画撮影を開始します。もう一度全押しすると、動画撮影を終了します。 ライブビューを終了するには、カメラのライブビュースイッチを回してください(ロ123)。

■Fnボタンの機能

ワイヤレスリモートコントローラーのFnボタンを押したときの機能を設定できます。

=Æ	カメラの ^翻 ボタン と同じ	カメラの】(🖛)ボタンと同じ機能になります(따 203)。
Lv	ライブビュー	ワイヤレスリモートコントローラーのFnボタンを押すとライブビューを開始し、もう一度Fnボタンを押すとライブビューを終了します。

Eye-Fi送信機能

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

このメニューは、市販のEye-Fiカードをカメラに挿入したときのみ、表示されます。

有効	カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
無効	Eye-Fi送信機能を使用しません。

• 電波の状態が悪い場合、[有効] に設定していても送信できないことがあります。

• 電波の出力が禁止されている場所では、設定を [無効] にしてください。

🖉 Eye-Fi送信機能が無効のときの警告表示について

[無効] に設定しているときでも、カードにエラーが生じた場合などに電波が出力される場合があります。液晶モニターに警告表示(□276)が表示された場合は、カメラの電源をOFFにしてカードを取り出してください。

🖉 Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内のEye-Fiカードの通信状態は、インフォ画面のEye-Fi通信マーク で確認できます。

- **家**: [Eye-Fi送信機能] が [無効] に設定されています。
- 🛜 (点滅): 画像の送信中です。
- 중:未送信の画像はありません。
- ・

 :
 エラーが発生しました。

🖉 アドホックモードの接続について

アドホックモードを使う場合は、通信の手続きに時間がかかることがあるため、セットアップメニュー [**パワーオフ時間**]の[半押しタイマー]を長めに設定してください(ロ194)。

🔽 Eye-Fiカードを使用するときのご注意

- Eye-Fi カードの使用方法は Eye-Fi カードの使用説明書をご覧ください。カードに関する不具合は、 カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラにはEye-Fiカードの通信機能をON/OFFする機能がありますが、Eye-Fiカードの全ての機能を保障するものではありません。
- Eye-Fiカードは、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使い ください。
- Eye-Fiカードの販売の有無は地域によって異なりますので、カードメーカーにお問い合わせください。
- Eye-Fiカードのファームウェアを最新版にバージョンアップしてお使いください。

認証マークの表示

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

このカメラが取得している認証マークの一部を表示します。

ファームウェアバージョン

MENUボタン → ¥セットアップメニュー

カメラを制御する「ファームウェア」のバージョンを表示します。

215 ਊセットアップメニュー:カメラを使いやすくする基本設定



□ 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能

MENUボタンを押してタブの「Aアイコンを選ぶと、画像編集メニューが表示されます。



MENUボタン

画像編集メニューでは、SDカード内の撮影済み画像を編集することができます。編集 された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてSDカードに記録されます。画像 編集メニューの項目は次の通りです。

カメラに SD カードが入っていない場合や SD カードに画像が記録されていない場合は、画像編集メニューはグレーで表示されて選べません。

メニュー項目		メニュー項目	
D-ライティング	218	┣━ 傾き補正	228
● 赤目補正	219	●● ゆがみ補正	229
₩ トリミング	219	日 魚眼効果	229
□ モノトーン	220	√√ 塗り絵	230
フィルター効果	221	🔯 カラースケッチ	230
 @₿ Ø カラーカスタマイズ	222	▲ アオリ効果	231
一 画像合成	223	● ミニチュア効果	232
Rew 現像	225	🖋 セレクトカラー	233
▶ リサイズ	226	[]。動画編集	138
□○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	228	■・ロ 編集前後の画像表示※	235

※編集前または編集後の画像を1コマ表示して**i**ボタンを押して、[**画像編集**]を選んだときのみ表示されます。

画像編集の操作方法

- 1 画像編集メニューでメニュー項目を選ぶ
 - マルチセレクターの▲または▼でメニュー項目を 選び、▶を押します。

画像を選ぶ

- ▲▼◀▶ を押して画像を選び、 GR ボタンを押し ます。
- ●ボタンを押している間は、選択中の画像が拡大表 示されます。

3 画像を編集する

- 画像の編集方法については、各項目の説明をご覧く ださい。
- 画像編集を途中でやめるには、MENUボタンを押して ください。画像編集メニューに戻ります。

4 編集した画像を記録する

- ●画像編集した画像には一が付きます。ただし、1コ マ表示モードで [画像のみ表示] (□142) にして いる場合は、一は表示されません。

🖉 1コマ表示モードで選んだ画像を編集する

1コマ表示モード(ロ141)で静止画を選んでからもボタンを押して「画像編集」を選ぶと、画像編集 メニューが表示され、選んだ画像を編集できます([画像合成]を除く)。

🚺 画像編集についてのご注意

このカメラ以外で撮影または編集した画像やパソコンで編集した画像は、このカメラでは再生または 編集できないことがあります。

🦉 画質モードについて

- ・ 元画像がRAWを含む画質モードで撮影された画像の場合、「画質モード](□61)が[FINE]のJPEG 画像になります。
- 元画像が JPFGの場合は、元画像と同じ画質モードになります。
- RAWとJPFGを同時に記録した場合(□061)は、RAW画像が画像編集の対象になります。

217 → 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能











🖉 画像サイズについて

- ・元画像がRAWを含む画質モードで撮影された画像の場合、
 「画像サイズ」(□63)が
 [□](サイズL)のJPEG画像になります。
- 元画像がJPEGの場合は、元画像と同じ画像サイズになります([トリミング]と[リサイズ]を除く)。

🔽 繰り返し画像編集する場合のご注意

- ・画像編集によって作成した画像に、さらに画像編集を行うこともできますが、画像が粗くなったり、 退色したりする場合があります。
- 同じ画像編集を繰り返し行うことはできません([**画像合成**]、[**動画編集**]の[**始点/終点の設定**]を 除く)。
- 画像編集の組み合わせによっては、繰り返し編集できないものもあります。
- 選択中の画像に使用できない画像編集項目は、画像編集メニューでグレーで表示されて選べません。

D-ライティング

MENUボタン → ▲ 画像編集メニュー

D-ライティングでは、画像の暗い部分を明るく補正できます。逆光で撮影したために顔の 部分だけが暗くなった画像や、フラッシュの光量不足で暗くなった画像などに効果的です。



D-ライティング前



D-ライティング後



D-ライティング後 (人物優先あり)

- •編集画面では、D-ライティング効果の適用前と適用後のプレビュー画像を表示します。
- ・マルチセレクターの◀または▶を押して、効果の度合いを選びます。
- ●ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

■人物優先

背景の明るさはそのままに、人物のみを補正することもできます。

• [人物優先]を選び、▶を押してチェックボックスをオン図にしてください。

🖉 [人物優先] について

- カメラが自動的に認識した人物に対して補正します。
- ポーズや絵柄によっては、望ましい効果が得られない場合があります。そのときは、[人物優先]の チェックボックスをオフロにしてください。
- •最大3人まで補正できます。
- ・セットアップメニュー [縦横位置情報の記録] (□212) を [しない] にして撮影した画像の場合は、
 [人物優先] を設定できません。

赤目補正

フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって人物の瞳の部分が赤くなってしまった画像を 補正できます。

- •フラッシュを発光しないで撮影した画像は選べません。
- カメラが赤目現象を検出できない画像は補正されません。
- 欧ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

▶ 赤目補正についてのご注意

赤目補正を行う場合は、次のことにご注意ください。

- 画像によっては、望ましい結果が得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。
- 赤目補正を行う場合は、画像を保存する前に、プレビュー画像で効果をよく確認してください。

トリミング

MENUボタン → ▲ 画像編集メニュー

画像の必要な部分だけを切り抜きます。

編集画面では、トリミング範囲の黄色い枠が表示され、次の操作 ができます。



切り抜く範囲を 狭くする	qe (?)	9≅(?)ボタンを押すごとにトリミングで切り抜かれ る範囲が狭くなります。
切り抜く範囲を 広くする	€	9 ボタンを押すごとにトリミングで切り抜かれる範囲 が広くなります。
画像のアスペクト比 (縦横比)を変更する		コマンドダイヤルを回すと、アスペクト比を3:2、4:3、 5:4、1:1、16:9に変更できます。
切り抜く範囲を 移動する		トリミングで切り抜く範囲を移動します。
トリミングを実行して 画像を保存する		トリミングした画像が記録されます。

🔽 トリミングした画像についてのご注意

- 拡大表示できないことがあります。
- トリミングした画像の画像サイズは編集画面の左上に表示されます(トリミング時の拡大率とアスペクト比により変わります)。

モノトーン

MENUボタン → 」 J 画像編集メニュー

モノトーンの画像(1種類の色の明暗のみで構成される画像)を 作成します。

[モノトーン]を選ぶと、右のメニューが表示され、色調を選ぶ ことができます。

白黒	モノクロになります。
セピア	セピア色(褐色)のモノトーンになります。
クール	ブルー系のモノトーンになります。

 [セピア] または [クール] を選んだ場合は、マルチ セレクターで色の濃さを調整できます。▲を押すと 色が濃くなり、▼を押すと色が薄くなります。調整 した色の濃さはプレビュー画像に反映されます。





• 🐨 ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

フィルター効果

MENUボタン → → 画像編集メニュー

スカイ ライト	スカイライトフィルターのように、画 像の青みを抑える効果があります。			
ウォーム トーン	画像を暖色にする効果があります。	ロキャンセルの3保存		
赤強調	赤色が強調されます。	BIREN		
緑強調	緑色が強調されます。	○○○へ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		
青強調	青色が強調されます。	マルチセレクターで強調の度合い(色の濃 さ)を調整できます。▲を押すと色が濃く なり、▼を押すと色が薄くなります。		
クロス スクリーン	クロスフィルターのように、太陽の反 射や街灯などの光源から、放射状に光 のすじが伸びる効果があります。 • [光線の本数]:光線の本数を、3種類 から選べます。 • [クロスの量]:クロスフィルターがか かる光源の量を3段階から選べます。 • [光線の傾き]:光線の傾きを3段階か ら選べます。 • [光線の長さ]:放射状に伸びる光の 長さを3段階から選べます。	70337リン *##の*数 ***********************************		
ソフト	ソフトフィルターのように、画像をソ フトな雰囲気に仕上げます。	^{ソフト}		

• ●ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

カラーカスタマイズ

MENUボタン → 」 J 画像編集メニュ-

右のような画面が表示され、マルチセレクター で画像全体の色調を調整できます。▲▼◀▶を 押すたびに、画面全体の色調が次のように変わ ります。





色調を操作すると、プレビュー画像と画面右 側のRGBヒストグラム(色の分布図 ^{[1143}) に反映されます。

• ●ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

🖉 プレビュー画像の拡大表示について

調整画面で Q ボタンを押すと、プレビュー画像を拡大表示し、拡大領域の ヒストグラムを表示することができます。拡大表示中に L (On)ボタン を押すと、色調の調整と拡大表示の操作を切り換えられます。拡大表示中 に▲▼◀▶を押すと画面をスクロールして、見たい部分に移動できます。 Q (?) ボタンを押すと画像を縮小表示します。



画像合成

SDカードに記録されているRAW画像2コマを重ね合わせて1コマの画像に合成できます。RAWデータを使用して合成するため、通常のアプリケーションソフトウェアなどで画像を合成する場合と比べ、階調特性に優れた画像になります。



- 1 画像編集メニュー画面で [画像合成] を選ぶ
 - [画像合成] を選んでマルチセレクターの ▶ を押します。

2 [画像1] を選ぶ

- [**画像1**]を選んで**®**ボタンを押すと、RAW画像が サムネイル表示されます。
- 3 合成する画像の1コマ目を選ぶ
 - マルチセレクターを操作して、1 コマ目の画像を選びます。
 - ・
 ペ、ボタンを押している間、選択画像を拡大表示できます。
- 4 1コマ目の画像を決定する
 - ●ボタンを押すと、選んだ画像が1コマ目に設定され、[画像1]欄にプレビューが表示されます。

5 2コマ目の画像を選ぶ

●を押して [画像2] を選び、手順2~4と同じ手順で2コマ目の画像を選びます。





面像

RAW





6 ゲインを調節する

 ・プレビュー欄に [画像1] と [画像2] を合成した画 像が表示されます。プレビュー欄で確認しながら、合 成した画像の明るさが適正になるように、 [画像1] または [画像2] を選んでから▲または▼を押して ゲイン(出力)を設定します。



- ・ゲインは0.1~2.0の範囲で、0.1ステップで設定できます。
- 各数値は初期設定の1.0(補正なし)を基準にした比率です。たとえば0.5にするとゲインは約半分になります。

7 プレビュー欄に移動する

- ◀または ▶を押して、プレビュー欄に移動します。
- ●画像合成結果を確認せずに画像を保存したいときは、[保存]を選んで∞ボタンを押してください。

8 合成した画像を確認する

- ・設定をやり直したいときは、Q∞(?)ボタンを押してください。手順6の画面に戻ります。

9 合成した画像を保存する

もう一度 Wボタンを押すと、合成した画像が保存されます。

🔽 画像合成についてのご注意

- ・合成できる画像は、このカメラで撮影したRAW画像だけです。機種の異なるカメラやRAW以外の画 質モードで撮影した画像は選べません。
- ・合成した画像の画質モード(凹61)と画像サイズ(凹63)は、カメラで設定している画質モードと 画像サイズになります。画像合成を行う前に、これらの設定をご確認ください。
- 合成した画像をさらに別の画像と合成したいときは、カメラの画質モードをRAWに設定してください。
- [**RAW記録**] (¹¹⁸⁴) が同じ設定のRAW画像のみ合成できます。
- 合成した画像の撮影データなどは、画像1で選んだ画像の内容を引き継ぎます。





RAW 現像 (パソコンを使わずに RAW画像をJPEG画像に変換する)

1 画像編集メニュー画面で [RAW現像] を選ぶ

• [**RAW 現像**]を選んでマルチセレクターの ▶ を押す と、RAW画像がサムネイル表示されます。

2 RAW現像する画像を選ぶ

- ▲▼◀▶で画像を選んで
 ●ボタンを押します。
- ・
 ペ ボタンを押している間、選択画像を拡大表示できます。
- 3 表示されている各項目をそれぞれ設定する



4 RAW現像する

● [現像] を選んで ⁽¹⁾ ボタンを押すと、JPEG 画像を保存します。



キャンセルして画像編集メニューに戻るときは、
 MENUボタンを押してください。







🔽 RAW現像についてのご注意

- RAW現像できる画像は、このカメラで撮影したRAW画像だけです。機種の異なるカメラで撮影した RAW画像やRAW以外の画質モードで撮影した画像は選べません。
- 多重露出撮影した画像や [画像合成] で編集した画像の場合、 [ホワイトバランス] を選べません。
- 露出補正で設定できる明るさは目安です。撮影時の露出補正とは効果が異なる場合があります。

リサイズ

MENUボタン→」 ★画像編集メニュー

■複数の画像を選んで同時にリサイズする

MENUボタンを押して画像編集メニューを選んだ場合、複数の画像を同時にリサイズして 保存できます。



2 [画像サイズの設定]を設定する

- ・
 [画像サイズの設定]を選んで
 を押します。
- ▲または▼で画像サイズを選び、®ボタンを押します。
- 3 [画像選択] を選ぶ
 - ●[画像選択] を選んで ▶を押します。



画像選択 画像サイズの設定

画像サイズの設定



4 リサイズしたい画像を選ぶ

 マルチセレクターを操作して、リサイズしたい画像 を選びます。



5 設定する

• **9**≅(?) ボタンを押して設定します。設定す ると■が表示されます。もう一度9四(?)ボ タンを押すと、

「が消えます。



• 確認画面で「**はい**]を選び、 (R) ボタンを押すと、



ンを押します。



▼ リサイズした画像についてのご注意

リサイズ画像が保存されます。

6 リサイズした画像を作成する

拡大表示できないことがあります。

簡単レタッチ

カメラがD-ライティングの機能を使って、画像の暗い部分を明 るく補正したり、コントラストと彩度(色の鮮やかさ)を高めた りします。

- マルチセレクターの◀または▶を押して、効果の度合いを選びます。
- ●ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。

傾き補正

画像の傾きを±5ºの範囲(約0.25ºステップ)で補正できます。

補正する傾きが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。



MENUボタン → → 画像編集メニュー





傾き補正

MENUボタン→」 ★ 画像編集メニュー

ゆがみ補正

MENUボタン → ▲画像編集メニュー

広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正できます。[オート]を選ぶと選択した画像のゆがみを自動的に判別して補正しますが、好みに応じて微調整することもできます。[マニュアル]を選ぶと自分でゆがみを補正できます。



- [オート] はGタイプ・Eタイプ・Dタイプレンズで撮影した画像のみ機能します。ただし、PCレンズ、フィッシュアイレンズ、その他一部のレンズを装着して撮影した画像の場合は機能しません。また、対応レンズ以外で撮影した画像については、動作を保証しません。
- [自動ゆがみ補正](□186)を行った画像の場合、[マニュアル]のみ選べます。
- 補正するゆがみが大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。



魚眼効果

```
MENUボタン → ▲画像編集メニュー
```

フィッシュアイ(魚眼)レンズで撮影したような画像になります。 • 魚眼効果が大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。





塗り絵

輪郭を抽出して塗り絵の原画風の画像を作成できます。

● ● ボタンを押すと、編集した画像が記録されます。





塗り絵処理前

カラースケッチ



塗り絵処理後



MENUボタン→」 ★ 画像編集メニュー

輪郭を抽出して色をつけることで、スケッチ風の画像を作成で きます。



色の濃さを変える	マルチセレクターの▲または▼で [色の濃さ]を選んだ後、 ▶を押すと色が濃くなり、 ▲ を押すと薄くなります。
線の濃さを変える	▲または▼で[線の濃さ]を選んだ後、▶を押すと線が濃 くなり、◀を押すと薄くなります。[線の濃さ]を濃くする と、画像全体の色も濃くなります。
カラースケッチ画像 を保存する	カラースケッチ画像が記録されます。

アオリ効果

MENUボタン → → 画像編集メニュ-

高層ビルを見上げて撮影したときなどに生じる、遠近感による被 写体のゆがみを補正します。

•アオリ効果が大きくなるほど、画像周辺部は切り取られます。







アオリ効果処理前



アオリ効果処理後
ミニチュア効果

MENUボタン → ▲画像編集メニュ-

ミニチュア(模型)を接写したように加工します。ミニチュア効果には、高いところか ら見下ろして撮影した画像が適しています。

• [ミニチュア効果]を選ぶと、黄色い枠(ぼかさない範囲)が表示されます。

効果をかける方向を 変える	qe (?)	♀≅(?) ボタンを押すと、効果をかける方向を縦と横から選 べます。
ぼかさない範囲を		横方向に効果をかける場合、マルチセ レクターの▲または▼を押して枠を 動かし、ぼかさないではっきりと見せ る範囲を選びます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
決める		縦方向に効果をかける場合、◀または ▶を押して枠を動かし、ぼかさないではっきりと見せる範囲を選びます。 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
効果をかける幅を		横方向に効果をかける場合、◀または▶で効果をかける幅の 広さを選びます。
変える		縦方向に効果をかける場合、▲または▼で効果をかける幅の 広さを選びます。
ミニチュア効果を 実行して画像を 保存する		ミニチュア効果の画像が記録されます。

を選ぶ

[セレクトカラー]を選んでマルチセレクターの ▶
 を押します。

画像編集メニュー画面で [セレクトカラー]

選択した色のみを残し、それ以外の色をモノトーン(白黒)に加工します。

2 加工する画像を選ぶ

1

- ・
 ペボタンを押している間、選択画像を拡大表示できます。

3 残したい色を抽出する

- ▲▼◀▶ を押して、色取得の枠を画像上の残 したい色に重ねます。
- ペボタンを押すと拡大表示され、残したい色を 細部まで確認できます。 9≅(?)ボタンを押 すと縮小表示します。
- 】(On)ボタンを押すと、色の枠に抽出した 色が表示されます。

4 色の感度の枠を選ぶ

- コマンドダイヤルを回して、色の感度の枠を選びます。
- 抽出した色以外の色は、モノトーンで表示されます。

5 抽出する色の感度を設定する

▲または▼を押して、抽出する色の感度を[1]~
 [7]から設定します。数値が大きいほど抽出する色の色相が広くなり、小さいほど狭くなります。

₹*21*/2*1*/3*7*-



色の感度







6 抽出する色を追加する

コマンドダイヤルを回して、別の色の枠と感度の枠を選び、手順3~5と同じ手順で色を抽出し、色の感度を設定します。



13/1

- •最大3色まで設定できます。
- 抽出した色の枠を選んで面ボタンを押すと、抽出した色をリセットします。

7 決定する

・ (W) ボタンを押すと、セレクトカラー画像が保存され、1コマ表示になります。



🔽 セレクトカラー設定時のご注意

- 残したい色の彩度によっては、抽出しにくい場合があります。彩度の高い色の抽出をおすすめします。
- 色の感度を高く設定しすぎると、選択した色に近い色相の色も抽出されます。

編集前後の画像表示

画像編集を行った画像を、元画像と並べて表示して、画像編集の効果を確認できます。 このメニュー項目は、編集元または編集後の画像を1コマ表示してから**i**ボタンを押し て、[**画像編集**]を選んだときのみ表示されます。

■編集前後の画像表示方法

- 1 1コマ表示モードで画像を選ぶ
 - ●画像編集で作成した画像(」が表示されている画像)または画像編集の元画像を選びます。



- 2 [画像編集] を選ぶ
 - *i*ボタンを押し、[**画像編集**]を選んで**®**ボタン を押します。



- 3 [編集前後の画像表示] を選ぶ
 - ・[編集前後の画像表示]を選んで
 ・ボタンを押すと、
 [編集前後の画像表示] 画面を表示します。



4 編集前と編集後の画像を比較する

- •編集前の画像を左側、編集後の画像を右側に表示します。
- •画像編集の内容は、2つの画像の上に表示されます。
- マルチセレクターの◀または▶で、編集前/編集後の 画像を切り換えられます。
- ●画像合成の元画像の場合、▲または▼で2枚の元画像 を切り換えられます。
- •1枚の元画像から複数の画像編集を行った場合、▲または▼で編集後の画像を切り換 えられます。

画像編集の内容

編集後

の画像

編集前

の画像

- (ボタンを押している間、選択中の画像を拡大表示します。)
- ●ボタンを押すと、黄色の枠で選択中の画像を1コマ表示モードで再生します。

🔽 編集前後の画像表示についてのご注意

編集時の元画像にプロテクト(□151)が設定されている場合や、元画像を削除した場合、編集前の 画像は表示されません。

🗐 最近設定した項目/🗟 マイメニュー

MENUボタンを押してタブの 「アイコンを選ぶと、 [最近設定した項目] 画面が表示されます。



MENUボタン

[このタブの機能変更]でタブの機能を変更することにより、最近設定したメニューと 自分で登録したマイメニューの表示を切り換えられます。

1	最近設定した項目	最後に設定したメニュー項目から順番に20項目が自動的に表示されます。
9	マイメニュー	各メニューから、よく使う項目だけを選んで、20項目までマイメニューに
		登録できます。

■「最近設定した項目」をマイメニューに変更する

[最近設定した項目]は、[このタブの機能変更]からマイメニューに変更することもできます。

- [最近設定した項目] 画面で [このタブの機能 変更] を選ぶ
 - [このタブの機能変更]を選んでマルチセレクターの
- 2 [マイメニュー]を選ぶ
 - •[このタブの機能変更]画面で[マイメニュー]を 選び、®ボタンを押します。
 - [最近設定した項目] が [マイメニュー] に切り替わります。
 - ●マイメニューの操作方法は、□238をご覧ください。



🗐 最近設定したメニューをたどる (最近設定した項目)

最後に設定したメニュー項目から順番に最新の20項目が自動的 に表示されます。マルチセレクターで設定したいメニュー項目を 選んで▶を押すと、選択した項目の設定画面が表示されます。



🖉 最近設定した項目を削除するには

[**最近設定した項目**] 画面で削除したい項目を選んで**6**ボタンを押すと、確認画面が表示されます。 もう一度面ボタンを押すと、選択した項目を削除します。

🗏 よく使うメニューを登録する(マイメニュー)

再生、撮影、カスタム、セットアップ、画像編集の各メニューから、よく使う項目だけ を選んで、20項目までマイメニューに登録できます。登録した項目は、削除したり、表 示順序を変えたりできます。

■マイメニューを登録する

- 1 [マイメニュー] 画面で [マイメニュー登録] を選ぶ
 - 「マイメニュー登録]を選んで▶を押します。

2 登録したいメニューを選ぶ

- ●登録したいメニューを選んで●を押すと、選んだメ ニューが一覧表示されます。
- 3 マイメニューに登録する項目を選ぶ
 - マイメニューに登録する項目を選んで
 の ボタンを
 押します。

4 登録する項目の表示位置を選ぶ

- ▲または▼で登録する項目の表示位置を選んで
 のボ
 タンを押します。
- 画像サイズ AF-Cモード時の優好 ок
- 手順1~4を繰り返して、マイメニューに表示したい 全ての項目を登録してください。









影メニューのリセット

2録フォルダー設定

🖉 マイメニュー登録について

- ✔が表示されている項目は、すでにマイメニューに登録済みです。
- 左横に∑が表示されている項目は、マイメニューに登録できません。

マイメニュー登録 撮影メニュー 撮影メニューのリセット 武振フォルダー設定 マーム 電野モード マー酸現モード マー酸ダイズ マー酸ダイズ アムに行き ホウイトバランス 〇3次定

■登録した項目を削除する

- 1 [マイメニュー] 画面で [登録項目の削除] を選ぶ
 - [登録項目の削除] を選んでマルチセレクターの▶を押します。
- 2 削除したいメニュー項目を選ぶ
 - ・削除したいメニュー項目を選び、▶を押してチェックボックスをオン
 クボックスをオン
 ✓にします。もう一度
 ▶を押すと、チェックボックスがオフ
 □になります。
 - 削除したい全ての項目に ✔ を入れます。

3 選んだ項目を削除する

● ●ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度 ●ボタンを押すと、選択した項目が削除されます。



画像サイズ AE-Cモード時の停失

∩ 選択 ጠ沖会

目最近設定した項目/同マイメニュー 240

■登録した項目の表示順序を変える

- 1 「マイメニュー」画面で「登録項目の順序変更」を選ぶ
 - 「登録項目の順序変更」を選んでマルチャレクターの●を押します。

2 順番を変えたい項目を選ぶ

順番を変えたい項目を選んでのボタンを押します。

- 3 選んだ項目を移動したい位置を選ぶ
 - ▲または▼で移動したい位置を選んで ®ボタンを押 すと、マイメニューの中で位置が変わります。
 - 必要に応じて手順2~3を繰り返します。
- 4 [マイメニュー] 画面に戻る
 - MENUボタンを押すと、「マイメニュー] 画面に 戻ります。

	マイメニュー	
	al AF-Cモード時の優先	[::::]
A	RAW記録	12-bit
	画質モード	NORM
	📕 画像サイズ	
	🧾 マイメニュー登録	
	📵 登録項目の削除	
	登録項目の順序変更	
_	 このタブの機能変更 	12

MENUボタン



(3)移動 (13)決定



RAW記錄 南留于

このカメラで使えるアクセサリーやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ 情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示さ れたときの対処方法についても説明しています。

使用できるレンズ

このカメラでオートフォーカスでピントを合わせるには、AF-S、AF-P、AF-Iのいずれ かのレンズが必要です。AF-S、AF-P、AF-Iは、レンズ名の次の部分に明示されています。

AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II

レンズ名のこの部分がAF-S、AF-P、またはAF-Iであることをご確認ください。 このカメラで使用できるCPUレンズとレンズの仕様によるファインダー撮影時の制限 は次の通りです。

⊣ -Э	フォーカスモード			撮影モード		測光モード			
	AF (オート	AF (オート エイド		м	M以外	マルチパターン 測光		中央部重点 測光/	
レンズ	フォーカス)		フォーカス)			3D-RGB	RGB	スポット測光	
AF-Sレンズ、AF-Pレンズ、AF-Iレンズ	0	0	0	0	0	0	×	○*1	
Gタイプレンズ、DタイプのAFレンズ	×	0	0	0	0	0	х	○*1	
PC-E NIKKORシリーズ** ^{2,3}	×	○*4	0	0	0	0	×	O*1	
PCマイクロ 85mm F2.8D*5	×	○*4	0	0	×	0	×	○*1	
AF-S/AF-Iテレコンバーター	○*6	○*6	0	0	0	0	х	○*1	
Gタイプ、Dタイプ以外のAFレンズ (F3AF用を除く)	×	○*7	0	0	0	×	0	○*1	
AI-Pニッコール	×	○*8	0	0	0	×	0	○*1	

※1 フォーカスポイントの選択によりスポット測光エリアの移動が可能(□93)。

※2 PC-E NIKKOR 24mm f/3.5D EDの装着時にアオリ操作をすると、レンズとカメラボディーが接触してキズが 付いたり、ケガをする可能性があります。充分ご注意の上、お使いください。

※3 アオリ操作をしているときは適正露出になりません。

※4 アオリ操作をしていない場合のみ可能。

※5 アオリ操作をしているとき、または開放絞り以外のときは適正露出になりません。

※6 合成絞り値がF5.6以上明るい場合に使用可能。

※7 AF80-200mm f/2.85、AF35-70mm f/2.85、AF28-85mm f/3.5-4.55 (New)、AF28-85mm f/3.5-4.55 レンズを使用し、ズームの望遠側かつ至近距離で撮影した場合、ファインダースクリーンのマット面の像とフォーカスエイドのピント表示が合致しない場合があります。このような場合は、ファインダースクリーンのマット面を利用してピントを合わせて撮影してください。

※8 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。

高感度で動画撮影を行う場合、オートフォーカスの作動中にノイズ(すじ)が発生することがあります。この場合は、マニュアルフォーカスまたはフォーカスロックを利用して撮影してください。

▶ 使用できるレンズについてのご注意

AF-S、AF-P、AF-I以外のオートフォーカス(AF)レンズを装着しても、このカメラではオートフォー カス撮影できません。また、IXニッコールレンズは装着できません。

🜌 CPUレンズ、Gタイプレンズ、Eタイプレンズ、Dタイプレンズの見分け方

CPUレンズにはCPU信号接点があります。Gタイプレンズには「G」マークが、Eタイプレンズには 「E」マークが、Dタイプレンズには「D」マークが付いています。GタイプレンズとEタイプレンズに は、絞りリングがありません。



 ・
 絞りリングのある CPU レンズを取り付ける場合は、最小絞り(一番大きい数値)にして、ロックしてください。

🖉 マルチパターン測光について

このカメラは2016分割RGBセンサーを搭載しています。Gタイプ、EタイプまたはDタイプレンズ (ロ242)使用時は、このセンサーから得られるさまざまな情報を最大限に利用できる「3D-RGBマル チパターン測光II」という測光方式になります。その他のCPUレンズをお使いのときは、距離情報を 考慮しない「RGBマルチパターン測光II」という測光方式になります。

🖉 レンズの画角と焦点距離について

D5300ではさまざまなニコンー眼レフカメラ用レンズが使えます。ただし、これらのレンズをD5300 に装着したときの画角は、レンズに表記されている焦点距離の1.5倍のレンズに相当する画角になりま す。これは35mm判カメラの撮影画面サイズ(36×24mm)に対して、D5300の撮影画面(23.5× 15.6mm)が小さいためです。

例: D5300に24mmのレンズを装着した場合の画角は、35mm判力メラ換算でおおよそ36mmの焦点 距離となります。



🔽 赤目軽減モードについてのご注意

レンズの種類によっては、赤目軽減ランプの光がさえぎられ、フラッシュ撮影時に充分な赤目軽減効 果が得られない場合があります。

▼ AF補助光撮影(□54)に制限のあるレンズについてのご注意

使用できるAFレンズの焦点距離は18~200mm、AF補助光が届く距離範囲の目安は約0.5mから3mです。AF補助光使用時は、レンズフードを取り外してください。

AF補助光を使ってオートフォーカス撮影ができないレンズ

- AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED
- AF-S NIKKOR 28-300mm f/3.5-5.6G ED VR
- AF-S DX NIKKOR 55-300mm f/4.5-5.6G ED VR
- AF-S VR Zoom-Nikkor 70–200mm f/2.8G IF-ED
- AF-S NIKKOR 70-200mm f/2.8G ED VR II
- AF-S Zoom-Nikkor 80–200mm f/2.8D IF-ED
- AF-S NIKKOR 80-400mm f/4.5-5.6G ED VR
- AF-S VR Nikkor 200mm f/2G IF-ED
- AF-S NIKKOR 200mm f/2G ED VR II
- AF-S VR Zoom-Nikkor 200–400mm f/4G IF-ED
- AF-S NIKKOR 200-400mm f/4G ED VR II

次のレンズでは、撮影距離1m以内でAF補助光がレンズによってさえぎられる場合があります。 この場合、AF補助光を使ったオートフォーカス撮影はできません。

- AF-S DX NIKKOR 10-24mm f/3.5-4.5G ED
- AF-S NIKKOR 16-35mm f/4G ED VR
- AF-S Zoom-Nikkor 17–35mm f/2.8D IF-ED
- AF-S DX Zoom-Nikkor 17–55mm f/2.8G IF-ED
- AF-S NIKKOR 18-35mm f/3.5-4.5G ED
- AF-S DX NIKKOR 18-105mm f/3.5-5.6G ED VR
- AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18–200mm f/3.5–5.6G IF-ED
- AF-S DX NIKKOR 18-200mm f/3.5-5.6G ED VR II
- AF-S DX NIKKOR 18-300mm f/3.5-5.6G ED VR
- AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED
- AF-S VR Zoom-Nikkor 24–120mm f/3.5–5.6G IF-ED
- AF-S NIKKOR 24-120mm f/4G ED VR
- AF-S NIKKOR 28mm f/1.8G
- AF-S Zoom-Nikkor 28–70mm f/2.8D IF-ED
- AF-S NIKKOR 35mm f/1.4G
- AF-S NIKKOR 70-200mm f/4G ED
- AF-S NIKKOR 70-200mm f/4G ED VR
- AF-S NIKKOR 85mm f/1.4G
- AF-S VR Micro-Nikkor 105mm f/2.8G IF-ED

🔽 内蔵フラッシュ撮影に制限のあるレンズについてのご注意

内蔵フラッシュ撮影には、焦点距離が18mmから300mmまでのレンズが使えます。

- ケラレ*を防止するため、レンズフードは取り外して使用してください。
- ※ケラレとは、内蔵フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に映り込む現象 です。



• 撮影距離0.6m未満では使用できません。

• マクロ付きズームレンズはマクロ領域では使用できません。

•次のCPUレンズではフラッシュの光がさえぎられるため、焦点距離や撮影距離に制限があります。

レンズ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
AF-S DX NIKKOR 10–24mm f/3.5–4.5G ED	 ・焦点距離24mmでは撮影距離1.5m以上
AF-S DX Zoom-Nikkor 12–24mm f/4G IF-ED	• 焦点距離24mmでは撮影距離1m以上
AF-S NIKKOR 16–35mm f/4G ED VR	• 焦点距離35mmでは撮影距離1m以上
AF-S DX NIKKOR 16–85mm f/3.5–5.6G ED VR	• 焦点距離24mm以上は制約なし
AF-S Zoom-Nikkor 17–35mm f/2.8D IF-ED	• 焦点距離28mmでは撮影距離1m以上 • 焦点距離35mmでは制約なし
AF-S DX Zoom-Nikkor 17–55mm f/2.8G IF-ED	 ・焦点距離28mmでは撮影距離1.5m以上 ・焦点距離35mmでは撮影距離1m以上 ・焦点距離45mm以上は制約なし
AF-S NIKKOR 18–35mm f/3.5–4.5G ED	 ・焦点距離24mmでは撮影距離1.5m以上 ・焦点距離28mmでは撮影距離1m以上 ・焦点距離35mmでは制約なし
AF Zoom-Nikkor 18–35mm f/3.5–4.5D IF-ED	 ・焦点距離24mmでは撮影距離1m以上 ・焦点距離28mm以上は制約なし
AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR	 焦点距離18mmでは撮影距離1m以上
AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G	• 焦点距離24mm以上は制約なし
AF-S DX Zoom-Nikkor 18–70mm f/3.5–4.5G IF-ED	 ・焦点距離18mmでは撮影距離1m以上 ・焦点距離24mm以上は制約なし
AF-S DX NIKKOR 18–105mm f/3.5–5.6G ED VR	 ・焦点距離18mmでは撮影距離2.5m以上 ・焦点距離24mmでは撮影距離1m以上
AF-S DX Zoom-Nikkor 18–135mm f/3.5–5.6G IF-ED	 ・焦点距離18mmでは撮影距離2m以上 ・焦点距離24mm以上は制約なし
AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VR	 ・焦点距離24mmでは撮影距離1m以上 ・焦点距離35mm以上は制約なし
AF-S DX VR Zoom-Nikkor 18–200mm f/3.5–5.6G IF-ED AF-S DX NIKKOR 18–200mm f/3.5–5.6G ED VR II	 ・ 焦点距離24mmでは撮影距離1m以上 ・ 焦点距離35mm以上は制約なし
AF-S DX NIKKOR 18–300mm f/3.5–5.6G ED VR	• 焦点距離35mm以上では撮影距離1m以上
AF Zoom-Nikkor 20–35mm f/2.8D IF	 ・焦点距離24mmでは撮影距離2.5m以上 ・焦点距離28mmでは撮影距離1m以上 ・焦点距離35mmでは制約なし
AF-S NIKKOR 24mm f/1.4G ED	● 撮影距離1m以上

レンズ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離					
AF-S NIKKOR 24–70mm f/2.8G ED	 ・ 焦点距離35mmでは撮影距離1.5m以上 ・ 焦点距離50mm以上は制約なし 					
AF-S VR Zoom-Nikkor 24–120mm f/3.5–5.6G IF-ED	 ・ 焦点距離24mmでは撮影距離1m以上 ・ 焦点距離28mm以上は制約なし 					
AF-S NIKKOR 24–120mm f/4G ED VR	 焦点距離24mmでは撮影距離1.5m以上 					
AF-S Zoom-Nikkor 28–70mm f/2.8D IF-ED	 ・焦点距離35mmでは撮影距離1.5m以上 ・焦点距離50mm以上は制約なし 					
AF-S NIKKOR 28–300mm f/3.5–5.6G ED VR	 ・焦点距離28mmでは撮影距離1.5m以上 ・焦点距離35mmでは撮影距離1m以上 					
AF-S VR Zoom-Nikkor 200–400mm f/4G IF-ED	 ・ 焦点距離250mmでは撮影距離2.5m以上 ・ 焦点距離350mmでは撮影距離2m以上 					
AF-S NIKKOR 200–400mm f/4G ED VR II	 ・焦点距離200mmでは撮影距離5m以上 ・焦点距離250mmでは撮影距離3m以上 ・焦点距離300mm以上は制約なし 					
PC-E NIKKOR 24mm f/3.5D ED	 アオリ操作をしていない状態で撮影距離 3m以上 					
● AF-S NIKKOR 14–24mm f/2.8G ED使用時は、全ての撮影距離でケラレが発生します。						

使用できる非CPUレンズ※1

₹-ド		撮影モード			
געע	AF (オートフォーカス)	フォーカスエイド	MF (マニュアルフォーカス)	М	M以外
AI-S、AI、シリーズEレンズ、 AI改造レンズ	×	○*2	0	○*3	×
メディカル120mm f/4	×	0	0	○*4	×
レフレックスレンズ	×	×	0	○*3	×
PCニッコール	×	○*5	0	○*3	×
AI-S、AIテレコンバーター	×	○*6	0	○*3	×
ベローズアタッチメントPB-6 *7	×	○*2	0	○*3	×
オート接写リング (PK-11A、12、 13、PN-11)	×	○*2	0	○*3	×

※1 一部装着不可能なレンズがあります(下記参照)。

※2 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。

※3 露出インジケーターは使用不可。

※4 フラッシュ同調シャッタースピードより1段以上低速のシャッタースピードで使用可。露出インジ ケーターは使用不可。

- ※5アオリ操作をしていない場合のみ可能。
- ※6 合成絞り値がF5.6以上明るい場合に使用可能。

※7 縦位置にして装着してください(装着後、横位置に戻すことは可能です)。

V 非CPUレンズについてのご注意

- 非CPUレンズ装着時は、撮影モードMで撮影してください。M以外の撮影モードでは、シャッターが きれません。
- 絞り値の設定や確認はレンズの絞りリングで行ってください。
- カメラの露出計は使えません。
- 測光モードは設定できません。
- i-TTI モードでのフラッシュ撮影などの機能は使えません。

✓ 使用できない非CPUレンズ

次の非CPUレンズは使用できません。無理に装着しようとすると、カメラやレンズを破損しますので ご注意ください。

- AFテレコンバーター TC-16AS
- AI改造をしていないレンズ (AI方式以前の連動爪を使用するタイプ)
- フォーカシングユニットAU-1を必要とするレンズ f/3.5、テレコンバーター TC-16S) (400mm f/4.5, 600mm f/5.6, 800mm f/8, 1200 mm f/11
- フィッシュアイ(6mm f/56、75mm f/56、 8mm f/8, OP10mm f/5.6)
- 21cm f/4
- K2リング
- ED180-600mm f/8(製品No.174041~174180) レフレックス2000mm f/11
- FD360-1200mm f/11 (製品No.174031~174127)

- 200–600mm f/9.5 (製品No.280001~300490)
- F3AF用(AF80mm f/2 8、AF FD200mm
- PC28mm f/4(製品No.180900以前の製品)
- PC35mm f/2.8 (製品No.851001~906200)
- IEPC35mm f/3.5
- 旧レフレックス1000mm f/6.3
- レフレックス1000mm f/11 (製品No.142361~143000)
- (製品No.200111~200310)

外付けのスピードライトについて (別売フラッシュ)

このカメラは、ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組 み合わせで、さまざまな機能が利用できます。なお、別売スピードライト装着時は、内 蔵フラッシュは発光しません。

<u>ニコンクリエイティブライティングシステム対応</u> <u>スピードライトについて</u>

	ガイドナンバー(ISO 100・m/ISO 200・m、20℃)				
SB-910*1	34/48(照射角35mm、スタンダード配光時)				
SB-900*1	34/48(照射角35mm、スタンダード配光時)				
SB-800	38/53(照射角35mm時)				
SB-700 ^{*1}	28/39(照射角35mm、スタンダード配光時)				
SB-600	30/42(照射角35mm時)				
SB-400 ^{*2}	21/30				
SB-300*2	18/25				
SB-R200*3	10/14				

※1 カメラのホワイトバランスを AUTO(オート)または \$ (フラッシュ)に設定し、SB-910、SB-900、または SB-700 用カラーフィルターを装着して撮影すると、カメラが自動的にフィルターを識別し、最適なホワイトバランスを設定します。

※2 ワイヤレス機能はありません。

※3 リモート発光用スピードライトSB-R200を使用するには、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、またはワイ ヤレススピードライトコマンダー SU-800が必要です。

■SU-800について

ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800は、ニコンクリエイティブライティングシステム対応カメラに装着すると、ワイヤレスでSB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-R200を制御するコマンダーです。スピードライトを3つのグループに分けて制御できます。SU-800には発光機能はありません。

🖉 ニコンクリエイティブライティングシステム(CLS)について

ニコンクリエイティブライティングシステム(CLS)は、ニコンのスピードライトとカメラのデータ通 信方式を改良したシステムで、スピードライト撮影に新たな可能性を開く、さまざまな機能を提供し ます。詳細はお使いになる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。

🖉 ガイドナンバーとは

フラッシュの光量を示す値で、大きいほど光が遠くまで届きます。「ガイドナンバー = 絞り値×撮影距離(m)」(ISO感度が100の場合)という関係があります。SB-800はガイドナンバーが38(照射角35mm、ISO感度100、20℃)なので、ISO感度が100で絞り値がF5.6なら、38÷5.6 = 約6.8mまでフラッシュの光が届くことになります。また、実効ガイドナンバーはISO感度が2倍になると約1.4倍(√2倍)になります。たとえば、このカメラでISO感度200でSB-800を使用すると、絞り値がF5.6なら38÷5.6×1.4 = 約9.5mまで光が届きます。

<u>ニコンクリエイティブライティングシステム対応</u> スピードライトとの組み合わせで使用できる機能

				ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト							۲ ト	
				0 0	0	0	0	SU-	800	8	0	0
				SB-91 SB-90	SB-80	SB-70	SB-6(コマンダー 撮影	クローズ アップ撮影	SB-R2	SB-40	SB-30
		i.TTI	i-TTL-BL調光※1	0	0	0	0	—	—	—	0	0
		FIL	スタンダードi-TTL調光	○*2	○*2	0	○*2	—	—	—	0	0
		AA	絞り連動外部自動調光	○*3	○*3	—	-	—	—	—	-	—
Ę	2	Α	外部自動調光	○*3	○*3	_	-	—	—	_	-	—
		GN	距離優先マニュアル発光	0	0	0	-	—	—	—	-	—
		М	マニュアル発光	0	0	0	0	—	—	—	○*4	○*4
		RPT	リピーティングフラッシュ	0	0	_	-	—	—	_	-	—
		リモー	トフラッシュへの発光指示	0	0	0	-	0	0	—	-	—
		i-TTL	i-TTL 調光	0	0	0	-	—	—	—	-	—
ティング	_	[A:B]	クイックワイヤレス コントロール	_	_	0	-	_	0	_	_	_
	嶣	AA	絞り連動外部自動調光	○*5	○*5	_	-	_	_	_	_	_
ž		Α	外部自動調光	0	0	_	-	_	—	_	-	—
Ķ		М	マニュアル発光	0	0	0	-	—	_	_	-	—
14		RPT	リピーティングフラッシュ	0	0	—	-	—	—	—	-	—
5		i-TTL	i-TTL 調光	0	0	0	0	_	_	0	-	—
ススト		[A:B]	クイックワイヤレス コントロール	0	0	0	0	_	_	0	_	_
ž	型	AA	絞り連動外部自動調光	○*5	○*5	_	—	_	_	_	—	—
R	補	Α	外部自動調光	0	0	_	-	—	—	_	-	—
		М	マニュアル発光	0	0	0	0	—	—	0	-	—
		RPT	リピーティングフラッシュ	0	0	0	0	—	—	_	-	—
予光色温度情報伝達 2011年1月1日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日		0	0	0	0	_	_	_	0	0		
<u>ک</u> ا	レチァ	ポイント	~AF補助光	0	0	0	0	0	—	—	-	—
赤目	目軽	減発光		0	0	0	0	—	—	—	0	—
カン	メラア	からの発	後光モード設定	-	—	_	—	—	—	_	0	0
カメラからのスピードライトファームアップ			0	—	0	-	—	—	_	-	0	

※1 スポット測光時は設定できません。

※2 スピードライト側でも設定できます。

※3 AAモードとAモードの選択は、スピードライトのカスタム設定で行います。また、非CPUレンズを装着した場合はAモードになります。

※4 カメラ側でのみ設定できます(□201)。

※5 スピードライトのカスタム設定にかかわらず、非CPUレンズを装着した場合はAモードになります。

🖉 ホットシューアダプター AS-15

別売のホットシューアダプター AS-15を装着すると、シンクロターミナルが利用できます。

🔽 その他のスピードライトとの組み合わせで利用できる機能

- 撮影モードをSまたはMにして1/200秒より遅いシャッタースピードに設定してから撮影してください。
- 次のスピードライトを使用する場合、外部自動調光(A)あるいはマニュアル発光撮影となります。
 装着レンズによって機能が変わることはありません。

	スピードライト		SB-80DX/ SB-28DX	SB-50DX*1	SB-28/SB-26/ SB-25/SB-24	SB-30/SB-27**2 SB-22S/SB-22/ SB-20/SB-16B/ SB-15	SB-23/SB-29*3/ SB-21B*3/ SB-29S*3	
	Α	外部自動調光	0	—	0	0	_	
尔	М	マニュアル発光	0	0	0	0	0	
\mathbb{X}	555	マルチフラッシュ	0	—	0	—	_	
	REAR*4	後幕シンクロ	0	0	0	0	0	

※1 撮影モードをP、S、A、Mに設定し、内蔵フラッシュを収納した状態にして内蔵フラッシュが光らないようにしてください。内蔵フラッシュが自動的に上がって光ることがあるため、その他の撮影モードは使用しないでください。

※2 このカメラと SB-27 を組み合わせると自動的に TTL モードになりますが、TTL モードでは使えません。 SB-27をAモードに設定し直してください。

※3 SB-29・21B・29Sでオートフォーカスができるレンズは、AF-S VR Micro-Nikkor 105mm f/2.8G IF-EDと AF-S Micro NIKKOR 60mm F2.8G EDのみです。

※4 カメラ側のフラッシュモードで設定してください。

🔽 スピードライト使用時のご注意

• 詳細はお使いになる各スピードライトの使用説明書をご覧ください。

- ニコンクリエイティブライティングシステム対応のスピードライトの使用説明書にカメラ分類表が 記載されている場合は、ニコンクリエイティブライティングシステム対応デジタルー眼レフに該当す る箇所をお読みください。なお、このカメラはSB-80DX、SB-28DX、SB-50DXの使用説明書に記載 のデジタルー眼レフカメラには該当しません。
- スピードライト装着時は、内蔵フラッシュは発光しません。
- ・フラッシュモード(□□64)の AUTO(オート:自動発光)機能は解除され、常に外付けのスピード ライトが発光します。
- スピードライトを使うと③、☑、 ダ、 📮を除く全ての撮影モードでフラッシュ撮影できます。
- スピードライトSB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、またはワイヤレススピードライトコマンダーSU-800装着時に外付けスピードライト側で調光補正をしたときは、インフォ画面に登望マークが点灯します。
- ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライト使用時には、i-TTLや外部自動調光 モードにおいて、フル発光でも露出不足になる可能性のある場合に、発光直後にレディーライトなが 約3秒間点滅して露出アンダー警告を行います。その他のスピードライトの場合、充電完了表示と露 出アンダー警告は、スピードライト側で確認してください。詳細はお使いになる各スピードライトの 使用説明書をご覧ください。

- i-TTLモード時のISO感度連動範囲はISO 100~12800相当です。
- ISO感度を12800よりも増感した場合には、距離や絞り値によっては適正な発光量にならない場合が あります。
- スピードライトSB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、SB-400の使用時に、フラッシュモードが赤目軽減、赤目軽減スローシャッターの場合は、スピードライト側で赤目軽減発光が行われます。
- スピードライトSB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800の使用時に、AF補助光の発光条件が満たされると、スピードライト側のAF補助光を自動的 に照射します。
- スピードライトSB-910、SB-900のAF補助光は、17~135mmまでのAFレンズに対応しています。各 焦点距離でオートフォーカス可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです。

AFレンズの焦点距離が	AFレンズの焦点距離が	AFレンズの焦点距離が
17mmから19mmの場合	20mmから105mmの場合	106mmから135mmの場合

スピードライトSB-800、SB-600、ワイヤレススピードライトコマンダー SU-800のAF補助光は、
 24~105mmまでのAFレンズに対応しています。各焦点距離でオートフォーカス可能なフォーカス
 ポイントは、次の図の通りです。

AFレンズの焦点距離が	AFレンズの焦点距離が	AFレンズの焦点距離が		
24mmから34mmの場合	35mmから49mmの場合	50mmから105mmの場合		

スピードライトSB-700のAF補助光は、24~135mmまでのAFレンズに対応しています。各焦点距離でオートフォーカス可能なフォーカスポイントは、次の図の通りです。



- i-TTLモード時に、調光コードSC-17、SC-28、SC-29を使用してカメラからスピードライトを離して 撮影する場合、スタンダードi-TTL調光以外では適正露出を得られない場合があります。この場合は、 スタンダードi-TTL調光に切り換えて撮影してください。また、あらかじめテスト撮影を行ってくだ さい。
- i-TTLモード時に、発光面に内蔵パネルまたは付属のバウンスアダプター以外の部材(拡散板など)を 装着しないでください。カメラ内の演算に誤差が生じ、適正露出とならない場合があります。

✓ 他社製フラッシュについてのご注意

他社製のフラッシュ(カメラのX接点に250V以上の電圧がかかるものや、アクセサリーシュー部の接 点をショートさせてしまうもの)を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけ でなく、カメラおよびフラッシュのシンクロ回路を破損することがあります。

使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意されています。詳しく は最新のカタログや当社のホームページなどでご確認ください。

	•Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a (印11)		
	ニコンデジタルカメラD5300用のバッテリーです。		
	- EN-EL14aの代わりにEN-EL14も使えます。		
	 ・バッテリーチャージャー MH-24^{※1} (□11) 		
	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14aおよびEN-EL14用のチャージャーです。		
	• パワーコネクター EP-5A、ACアダプター EH-5b ^{※2}		
	ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給で		
	きます。		
電源	- このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクター EP-5A		
	が必要です。カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する方法については、		
	「カメラとパワーコネクター、ACアダプターの接続方法」(印255)をご覧ください。		
	- EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。		
	※1 家庭用電源のAC 100~240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に		
	応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプ		
	ターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。		
	※2日本国内専用電源コード(AC 100V対応)付属。日本国外でお使いになるには、別		
	売の電源コードが必要です。		
	 ・ノイルダーをレノ人保護のために常用する場合は、NLノイルダーをお使いくたさい。 		
	●カメフ測光糸の特性上、従来の偏光ノイルター(Polar)は使用でさません。円偏光		
	 ● 逆光撮影や、輝度の局い光源を回面に入れて撮影する場合は、ノイルターによって回 ● とにず、ストレジンのもいたります。スのトンを得るは、フィルターによって回 		
フィルター	- C版影9るにCをの99のしま9。 		
21/09-	 ・ 諸出信致のかかるノイルダー(144、148、152、US6、R0U、XU、XI、C-PL(円偏) ・ ソフィルター) ND25 ND45 ND4 ND95 ND400 A2 A12 D2 D9 		
	- 元ノイルターノ、ND25、ND45、ND4、ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、 P12) た体田する担合 「測光エード」(MD02) た「同](中中部手占測光)(「して提		
	」 D12/ を使用する場合、「刷ルモート」(叫93/ を「図」(中天印里京測ル)にして御 「 影することをおすすめ」ます、「図](フルチパターン測光)でけ、充分が効果が得ら		
	おりるここでのりりのしなり。[19] (イルノハリーノ利ル) ては、ルガな効素が待り れない提合があります 詳しくは フィルターの使田道阳書をご覧ください		
	・ 特殊フィルター などを 体田する 提合け、 オートフォーカフやフォーカフエイドが 行う		
	ないことがありますのでで注音ください。		
USB/	• USBケーブル UC-E17、UC-E6 (□161)		
オーディオ	USBケーブルUC-E17は、単体では販売しておりません。UC-E6をお買い求めくだ		
ビデオ出力	さい。		
端子	• オーディオビデオケーブル EG-CP16		
	・ボディーキャップBF-1B、BF-1A		
ボディー	レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、ミラーや撮像素子、		
キャップ	ファインダースクリーンなどへのゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護し		
	ます。		

	Capture NX 2
	画像を詳細に編集できる、画像編集用ソフトウェアです。ホワイトバランス調整やカ
	ラーコントロールポイントなどさまざまな機能を備えています。
ーコンデジタル	Camera Control Pro 2
コンテンテル	パソコンからカメラを操作して静止画や動画を撮影したり、撮影した画像を直接ハー
バフトウェア フトウェア	ドディスクなどへ保存したりできる、カメラコントロール用ソフトウェアです。
))) <u> </u>)	 ソフトウェアは、必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。お使いのパソ
	コンがインターネットに接続されていれば、ソフトウェアの起動時にニコンメッセー
	ジセンター 2(Nikon Message Center 2)が自動的に更新情報をチェックします。
	• 対応OSについては、当社ホームページのサポート情報(ロxv)でご確認ください。
	遠視、近視の方のための補助レンズで、接眼部に差し込むだけで簡単に取り換えるこ
	とかできます。-5、-4、-3、-2、0、+0.5、+1、+2、+3m ⁻¹ の9種類が用
	息されていますか、いずれもこのカメフの視度調即ダイヤルか基準位直(- M ⁻)
	の場合の値です。視度補止は個人差か大さいので活頭で美除に取り付けての選びくた
	こい。このガメブには倪皮調即機能が付いています(-1./~+1.UM-1)ので、この 範囲はの視度構正が必要なたまにお使いください。ため、接阻構動しいでを使用して
ファノング一田	戦団外の祝良補止が必要なこさにの使いくたさい。なの、按岐補助レノスを使用して いろ増合け、接阻日光では使用できません
ファイフター用	
19699-	◆ ◆ ノーノアイ ドー DG-2 ファインダー中央部の像を拡大します。上り厳密なピント会わせが必要なときに使用。
	クティンク 千天即の隊を拡大しるす。より敵击なこクトロクセル必要なことに使用 します。
	• アイピースアダプター DK-22※1
	ト記DG-2を取り付けるためのアダプターです。
	 ● 角窓用変倍アングルファインダー DR-6^{※1}
	カメラの接眼部に取り付けると、撮影レンズと直角の方向(水平方向に向けたカメラ
	の真上など)からファインダー内の画像を確認できます。
	アクセサリーターミナルに次のアクセサリーを接続することができます。
	 ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10*2 (ロ253)
	• ワイヤレスリモートコントローラー WR-1 (印253)
	•リモートコードMC-DC2 (皿91、214)
	• GPSユニットGP-1/GP-1A(ロ84)
アクセサリー	図のようにアクセサリーターミナルの▷マークとコネク
ターミナル	ターのママークを合わせて、コネクターをアクセサリー
	ターミナルに接続します。
	使用しないときは、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミ等が入ると、誤作動の原因
	となることがあります。

※1 装着時には、カメラの液晶モニターを回転できません。

※2 ワイヤレスリモートコントローラーは、ステレオマイクロホンME-1と同時に装着できません。無理 に取り付けようとすると、カメラやアクセサリーの破損や故障の原因となります。



※ ワイヤレスリモートコントローラー は、ステレオマイクロホンME-1と同時に装着できません。 無理に 取り付けようとすると、カメラやアクセサリーの破損や故障の原因となります。

🖉 使用できるアクセサリーについて

• 国または地域によって、販売していない場合があります。

• アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

<u>SDカード</u>

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードが使用できます。
- UHS-Iに対応しています。



- 動画の撮影には、SDスピードクラス6以上のカードをおすすめします。
 転送速度が遅いカードでは、動画の記録が途中で終了することがあります。
- カードリーダーなどをお使いの場合は、お使いのメモリーカードに対応していること をご確認ください。
- メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーに お問い合わせください。

カバー(2)を開ける

にしてください。

2 パワーコネクター EP-5Aを入れる

パワーコネクターは、接点の向きに注意しながら入れてください。

1 カメラのバッテリー室カバー(①)とパワーコネクター

カメラとパワーコネクター、ACアダプターの接続方法 カメラとパワーコネクター、ACアダプターを接続する前に、カメラ本体の電源をOFF

- オレンジ色のバッテリーロックレバーをパワーコネクター側 面で押しながら、パワーコネクターを奥まで入れてください。
- 3 カメラのバッテリー室カバーを閉じる
 - パワーコネクターのコードがパワーコネクターカバーを開け た部分から出るように注意して、バッテリー室カバーを閉じ ます。

4 パワーコネクターとACアダプターを接続する

- •電源コードのACプラグを、ACアダプターのACプラグ差し込み口に差し込みます(③)。
- パワーコネクターのDCプラグコネクターにACアダプターのDCプラグを差し込みます(④)。
- •パワーコネクターとACアダプターの使用時には、液晶モニター上のバッテリー残量表示が-**モ**に変わります。









カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。 カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- ・温度が50℃以上、または-10℃以下の場所

<u>クリーニングについて</u>

カメラ本体	ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺で カメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾か します。
	ご注意 : カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。 この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
	ガラスは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払います。スプレー缶
レンズ・	タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いください(中の液体が気化されずに吹
ミラー・	き出し、レンズ・ミラー・ファインダーを傷つけることがあります)。指紋や油脂
ファインダー	などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、ガラスを傷つけな
	いように注意して拭きます。
海日エーター	ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らか
液晶モーター	がありますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

🔽 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1~2年に1度は定期点検を、3~5年に1度はオーバーホールすることを おすすめします(有料)。

- •特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども併せて点検依頼される ことをおすすめします。

カメラ内部のお手入れについて

レンズを取り付けるときなどに、撮像素子前面にゴミやほこりが付くと、画像に影が写 り込むことがあります。イメージセンサークリーニングを作動させると、撮像素子前面 のゴミをふるい落とすことができます。

イメージセンサークリーニングは、メニューから操作する方法と、電源のON/OFF時に 自動的に行う方法があります。

■セットアップメニューの [イメージセンサークリーニング] か ら操作する

- 1 カメラを右図のように正位置に置く
 - 効果的にゴミをふるい落とせるように、正位置(カメラを横位 置で構えるときの向き)にしてイメージセンサークリーニング を行ってください。
- **2** [イメージセンサークリーニング] を 選ぶ
 - MENU ボタンを押して、セットアップメニューの[イメージセンサークリーニング]を選んでマルチセレクターの▶を押します。



MENUボタン





- 3 [実行] を選ぶ



右の画面が表示されている間は、カメラの操作はできません。バッテリーやACアダプターを取り外さないでください。

■電源 ON/OFF のタイミングでイメージセンサークリーニング する

- **1** [イメージセンサークリーニング] の [電源ス イッチに連動] を選ぶ
 - [電源スイッチに連動] を選んでマルチセレクターの▶を押します。
- イメージセンサークリーニング
 実行
 電話スイッチに連動
 (*)
- 2 イメージセンサークリーニングの方法を選ぶ
 - 「電源ONで実行」、「電源OFFで実行」、「電源ONと OFFで実行」のいずれかを選ぶと、電源のON/OFF のタイミングでイメージセンサークリーニングが 作動します。



・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<

🔽 イメージセンサークリーニングについてのご注意

- 完全にゴミを取り除けないことがあります。そのときは、撮像素子前面を市販のブロアーで掃除する (ロ259)か、ニコンサービス機関にご相談ください。
- 電源スイッチに連動してイメージセンサークリーニングが作動しているときにカメラを操作すると、
 イメージセンサークリーニングは中断します。
- イメージセンサークリーニングを連続して行うと、内部の回路を保護するため、一時的に作動しなく なる場合があります。少し時間をおくと再び作動するようになります。

■撮像素子前面をブロアーで掃除する

イメージセンサークリーニング(CD257)でゴミやほこりを取りきれないときは、撮像 素子前面を次の手順でクリーニングできます。ただし、カメラ内部の撮像素子は非常に 傷つきやすいため、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをお すすめします。

クリーニング中のバッテリー切れを防ぐため、充分に充電されたバッテリーをお使いく ださい。

- 1 カメラの電源をOFFにしてからレンズを取り外す
 - •レンズを取り外したら、カメラの電源をONにしてください。
- 2 [クリーニングミラーアップ] ※を選ぶ
 - MENU ボタンを押して、セットアップメニューの[クリーニングミラーアップ]を選んで、マルチセレクターの▶を押します。
 - ※バッテリー残量が⊂■以下の場合、このメニュー項 M 目は操作できません。



MENUボタン

3 ®ボタンを押す

- 右のようなメッセージが表示され、クリーニングミラーアップ の待機状態になります。
- 4 シャッターボタンを全押しする
 - ミラーが上がり、シャッターが開いた状態になります。
- 5 カメラの内部に光が当たるようにカメラを持ち、ゴミや ほこりが付いていないかどうかを点検する
 - •ゴミやほこりが付いていない場合は、手順7にお進みください。





6 撮像素子前面に付いたゴミやほこりをブロアーで払う

- ブラシの付いていないブロアーをお使いください。ブラシで撮 像素子の表面に傷が付くことがあります。
- ブロアーで取り除けない汚れがある場合は、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けください。絶対に、手でこすったり、布で拭き取ったりしないでください。



7 カメラの電源をOFFにし、付属のボディーキャップを付ける

ミラーがダウンしてシャッター幕が閉じます。

🚺 クリーニング中のシャッター幕の破損を防ぐために

カメラのシャッター幕は非常に破損しやすい部品です。シャッター幕はカメラに電源の供給がなくなると、自動的に閉じる構造になっています。クリーニング中に不意にシャッター幕が閉じて破損する ことを防ぐために、次の点にご注意ください。

- クリーニング中に電源をOFFにしないでください。
- クリーニング中にバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。
- ミラーアップ中にバッテリー残量が少なくなった場合、電子音が鳴り、セルフタイマーランプが点滅してお知らせします。約2分経過するとシャッター幕が閉じてミラーがダウンするので、ただちにクリーニング作業を終了してください。

🔽 撮像素子前面のゴミ付着について

撮像素子前面には、カメラからレンズまたはボディーキャップを取り外した際に外部からカメラ内に 入ったゴミや、まれにカメラ内部の潤滑剤や細粉などが付着することがあり、撮影条件によっては撮 像素子前面に付着したゴミや潤滑剤、細粉などが撮影画像に写り込む場合があります。カメラ内への ゴミの侵入を防止するため、ほこりの多い場所でのレンズ交換やボディーキャップの着脱は避け、カ メラ本体のマウント部およびレンズのマウント部、ボディーキャップのゴミを除去してからカメラに 取り付けてください。レンズを外してカメラを保管するときは、必ず付属のボディーキャップを装着 してください。撮像素子前面に付着したゴミなどをイメージセンサークリーニング(ロ257)で取り 除ききれないときは、259ページの手順でクリーニングしていただくか、ニコンサービス機関にクリー ニングをお申し付けください。なお、ゴミの写り込みは、画像加工アプリケーションなどで修正でき ます。

カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしない ようにご注意ください。強い衝撃や振動を加える と、破損したり精密に調整された部分に悪影響を 及ぼします。

● 水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。 カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がさびつ いてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修 理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込む と、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となり ます。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、 周囲の温度になじませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲 や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅し たり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常 に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しない 太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影 したり、放置したりしないでください。過度の光 照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれ があります。また、その際撮影された画像に、真っ 白くにじみが生じることがあります。

● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミや ほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布 で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、 真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭 き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾 かしてください。

● ミラーやレンズの手入れ方法について

ミラーやレンズは傷が付きやすいので、ゴミやほ こりが付いているときは、プロアーで軽く吹き払 う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプ のブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使い ください(中の液体が気化されずに吹き出し、ミ ラーやレンズを傷つける場合があります)。レンズ に万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らか い清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿ら せて、軽く拭き取ってください。

● 撮像素子前面の手入れ方法について

撮像素子前面のクリーニングの方法については □□257をご覧ください。

● シャッター幕に触れない

シャッター幕は非常に薄いため、押さえたり、突 いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対に しないでください。傷や変形、破損などの原因と なります。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥し た場所を選んでカメラを保管してください。防虫 剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高 温となる夏季の車内、使用しているストーブの前 などにカメラを置かないでください。故障の原因 になります。

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの 液もれなどからカメラを保護するために、必ずカ メラからバッテリーを取り出しておいてくださ い。保管する際は、カメラをポリエチレン袋など に乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。た だし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質す ることがありますので避けてください。バッテ リーは高温、多湿となる場所を避けて保管してく ださい。乾燥剤(シリカゲル)は湿気を吸うと効 力がなくなるので、ときどき交換してください。カ メラを長期間使用しないまま放置しておくと、カ ビや故障の原因となることがあるので、月に一度 を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作するこ とをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出 したり、ACアダプターを取り外すと、故障の原因 となります。特に撮影中や記録データの削除中に 前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて

- ・モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- •屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えに くい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押した りしないでください。液晶モニターの故障やトラ ブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付 着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。 汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で 軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが 破損した場合、ガラスの破片などでケガをするお それがあるので充分ご注意ください。中の液晶が 皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよ う、充分ご注意ください。

● モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干 渉して起きる現象で、連続するパターンのある画 像(建物の格子や格子模様、格子状に並んだビル の窓など)や、規則的に繰り返す細かい模様を持 つ被写体(カーテンレースの網目や衣類など)を 撮影したときに発生することがあります。

モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、 撮影距離を変える、ズームレンズをご使用の場合 はズーミングして焦点距離を変える、被写体に対 する角度を変えて撮影する、などの方法をおすす めします。

バッテリーの取り扱いについて

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
 - バッテリーはカメラの電源を OFF にしてから 入れる。
 - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリー が発熱していることがあるので注意する。
 - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
 - 必ず指定のバッテリーを使う。
 - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
 - カメラやチャージャーから取り外したバッテ リーには、必ず端子カバーを付ける。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを 使い切った状態で涼しいところで保管してくだ さい。周囲の温度が15℃~25℃くらいの乾燥し たところをおすすめします。暑いところや極端に 寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや チャージャーから取り外してください。付けた ままにしておくと、電源が切れていても微少電 流が流れていますので、過放電になり使えなく なるおそれがあります。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する 撮影前にバッテリーを充電してください。付属の バッテリーは、ご購入時にはフル充電されていま せん。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用 意ください。特に、海外の地域によってはバッテ リーの入手が困難な場合があるので、ご注意くだ さい。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメ ラが作動しないことがあります。低温時にはフル 充電したバッテリーを使用し、保温した予備の バッテリーを用意して暖めながら交互に使用して ください。低温のために一時的に性能が低下して 使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使え ることがあります。

● バッテリーの残量について

- 電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。電池残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。
- 充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリーEN-EL14aをお求めください。
- 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、 貴重な資源を守るために、廃 棄しないで充電式電池リサ イクル協力店へお持ちくだ さい。



ね、電池にる 異なります。

撮影モード別:設定できる機能一覧

それぞれの撮影モードごとに、設定できる機能とできない機能をまとめています。表の 見方は次の通りです。

- ●:設定できます。ツーボタンリセット(□74)で初期設定に戻ります。
- △ : 設定できます。撮影メニュー [**撮影メニューのリセット**] (□185) で初期設定 に戻ります。
- : 設定できます。撮影モードを切り換えると、初期設定に戻ります。
- ◎:設定できます。カスタムメニュー [**カスタムメニューのリセット**](□191)で 初期設定に戻ります。
- : 設定できません。

Ⅲ撮影モード習、③、P、S、A、M、図、◎、急、崎、グ、盆、圖、**圖、**真

		AUTO 🔇	P、S、A、M	27、 113、 113、 113、 113、 113、 113、 113、 11
撮影メニュー	画質モード	$\bullet/ riangle$	$\bullet/ riangle$	
	画像サイズ	$\bullet/ riangle$	$\bullet/ riangle$	
	ホワイトバランス	_	$\bullet/ riangle$	-
	ピクチャーコントロール	_	$\bullet/ riangle$	-
	自動ゆがみ補正	\bigtriangleup	\bigtriangleup	
	色空間	\bigtriangleup	\bigtriangleup	
	アクティブD-ライティング	_	$\bullet/ riangle$	-
	HDR (ハイダイナミックレンジ)	—	$\bullet/ riangle$	-
	長秒時ノイズ低減	\bigtriangleup	\bigtriangleup	△ (歴 のみ設定できません)
	高感度ノイズ低減	\bigtriangleup	Δ	△ (図 のみ設定できません)
	ISO感度設定*1	-	$\bullet/ riangle$	●/△ (圏のみ設定できません)
	レリーズモード	$\bullet/0/ riangle$	$\bullet/ riangle$	●/0/△
	多重露出**2	—	$\bullet/ riangle$	—
	インターバルタイマー撮影	\bigtriangleup	\bigtriangleup	△ (賞 のみ設定できません)
	動画の設定	\bigtriangleup	\bigtriangleup	
撮影関連の設定	ファインダー撮影時の フォーカスモード	•	•	● (図 のみ設定できません)
	ファインダー撮影時の AFエリアモード	●/○	•	●/○ (図と蹲では設定できません)
	ライブビュー /動画撮影時の フォーカスモード	•	•	•
	ライブビュー /動画撮影時の AFエリアモード	_	۲	●/○ (隣のみ設定できません)
	AE/AFロックボタンのホールド 状態	_	۲	•0

		ÅUTO, 🕃	P、S、A、M	☑、☜、息、崎、≯、 ∡、▥、๒、⇔
撮影関連の設定	プログラムシフト	_	● (S、A、Mでは 設定できません)	_
	測光モード	_	•	_
	露出補正	_	•	●/○ (曖、息、罅、♪、益、闘、 圓、賞では設定できません)
	オートブラケティング	—	•	_
	フラッシュモード	●/○ (③ のみ設定 できません)	•	●/○ (四、頌、蒼、蓋、圖、圖、 賞では設定できません)
	調光補正	—	•	_
	a1:AF-Cモード時の優先	O	O	O
	a2:AF点数切り換え	O	O	O
	a3:内蔵AF補助光の照射設定	O	Ø	◎ (図と噂では設定できません)
	a4:フォーカスエイド インジケーター	O	O	O
	b1:露出設定ステップ幅	O	O	O
	c1:半押しAEロック	O	O	O
	c2:パワーオフ時間	O	O	O
	c3:セルフタイマー	O	O	O
	c4:リモコン待機時間(ML-L3)	O	O	O
Ч	d1:電子音設定	O	O	O
ΞĹ	d2:ファインダー内格子線表示	O	O	O
X	d3:ISO感度表示	O	O	O
16	d4:連番モード	O	O	O
Ч	d5:露出ディレーモード	O	O	O
12	d6:デート写し込み設定	O	O	O
	e1:内蔵フラッシュ発光/	_	0	_
	外付けフラッシュ発光		0	
	e2:オートブラケティングの セット	_	O	_
	f1:Fnボタンの機能	0	0	0
	f2:AE/AFロックボタンの機能	0	0	0
	f3:コマンドダイヤル回転方向 の変更	O	O	O
	f4:カードなし時レリーズ	0	0	0
	f5:インジケーターの+/-方向	0	0	0

※1 [ISO感度設定]の[ISO感度]を[AUTO]にしてから撮影モードをP、S、A、Mのいずれかに切り 換えた場合は、以前に設定したISO感度に戻ります。

※2 ツーボタンリセット時は、多重露出モードが解除されます。その他の設定はリセットされません。

■撮影モード<u>え、</u>■、<u>冬、</u>マ、**心**、四、<u></u>■、淡、‱、 ≧、 富、 , γ、 4、 ゆ、ゆ、¶

		ź、 🛋 、 砻、 🕆 、 🗳 、 🖾 、 🛣 、 💥 、
		18、 🛎 、 🚔 、 🗐 、 🔍 🔍 🔍 🐂
	画質モード	\bullet/\triangle
	画像サイズ	\bullet/\triangle
	ホワイトバランス	-
	ピクチャーコントロール	-
	自動ゆがみ補正	
	色空間	
	アクティブD-ライティング	-
	HDR (ハイダイナミックレンジ)	_
影	長秒時ノイズ低減	
പ	高感度ノイズ低減	
	ISO感度設定	\bullet/ \triangle
	レリーズモード	●/○/△
	多重露出	-
	インターバルタイマー撮影	
	動画の設定	
	ファインダー撮影時のフォーカスモード	•
	ファインダー撮影時のAFエリアモード	●/○
	ライブビュー /動画撮影時のフォーカスモード	•
	ライブビュー /動画撮影時のAFエリアモード	●/○
盟	AE/AFロックボタンのホールド状態	●/○
6	プログラムシフト	
運調	測光モード	_
影	露出補正	_
搏	オートブラケティング	
	フラッシュモード	●/○ (冨、弐、國、鵞、當、富、含、�、♥、11 では設定できません)
	調光補正	-

		え、圖、叠、文、〇、圖、圖、 溪、
		18、 🛎、 🚔、 🛠、 🍳、 🤍、 👖
	a1:AF-Cモード時の優先	0
	a2:AF点数切り換え	0
	a3:内蔵AF補助光の照射設定	◎ (冨、弐、圖、鵡、当、富、号では 設定できません)
	a4:フォーカスエイドインジケーター	0
	b1:露出設定ステップ幅	0
	c1:半押しAEロック	0
	c2:パワーオフ時間	0
ī	c3:セルフタイマー	O
Ч	c4:リモコン待機時間(ML-L3)	O
 ×	d1:電子音設定	O
4	d2:ファインダー内格子線表示	0
K V	d3:ISO感度表示	0
R	d4:連番モード	0
	d5:露出ディレーモード	0
	d6:デート写し込み設定	0
	e1:内蔵フラッシュ発光/外付けフラッシュ発光	-
	e2:オートブラケティングのセット	_
	f1:Fnボタンの機能	0
	f2:AE/AFロックボタンの機能	0
	f3:コマンドダイヤル回転方向の変更	0
	f4:カードなし時レリーズ	0
	f5:インジケーターの+/-方向	0
困ったときは

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる 前に、次の項目をご確認ください。

電源・表示関連

● 電源ONの状態で、カメラの操作ができない

- 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
- 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
 電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
 ACアダプター使用時は付け直してください。
 -記録中であったデータは保存されません。
 - -保存済みのデータはバッテリーやACアダプターの取り外しでは失われません。
- ファインダー内がはっきり見えない
 - •ファインダー内の見え方は、視度調節ダイヤルを回して調節できます(□14)。
 - ・視度調節しても被写体がはっきり見えない場合は、フォーカスモード(ロ53)を[AF-S]、AF エリアモード(ロ55)を[[ロ]](シングルポイントAF)に設定します。次に、中央のフォー カスポイントを選んで、コントラストの高い被写体にオートフォーカスでピントを合わせま す。その状態で被写体が最もはっきり見えるように調節してください。
 - 視度調節ダイヤルの範囲を超える補正が必要な場合は、別売の接眼補助レンズをお使いになる ことをおすすめします(ロ252)。
- ファインダー内や液晶モニターの表示が、すぐに消えてしまう カスタムメニューc2 [パワーオフ時間] で、表示が消えるまでの時間を設定できます(□194)。

● インフォ画面が表示されない

- シャッターボタンの半押し中はインフォ画面は表示されません。
- シャッターボタンを半押しして指を放してください。それでもインフォ画面が表示されない場合は:
 - セットアップメニューの [インフォ画面の自動表示] が [自動表示しない] になっています (ロ209)。
 - バッテリー残量がありません (□11、16)。

● ファインダー内の表示が薄い、表示が遅い

低温や高温のときは液晶表示の濃度が変わったり、応答速度が遅くなることがあります。

撮影関連(全撮影モード共通)

● 電源をONにしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる

SDカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合が あります。

● シャッターがきれない

- 残量のあるSDカードが入っていますか? (凹11、14)
- SDカードがロックされていませんか? (□17)
- •内蔵フラッシュの充電中はシャッターがきれません(凹23)。
- ・ピント表示(●)は点灯していますか?(□21)
- •レンズの絞りリングは最小絞り(最も大きい値)になっていますか?(²²²)
- CPUレンズが装着されていますか?非CPUレンズは撮影モードM以外ではお使いになれません (ロ246)。
- カスタムメニューf4[カードなし時レリーズ]が[レリーズ禁止]になっていませんか?(ロ204)

● 連続撮影できない

内蔵フラッシュが発光する場合は、連続撮影できません(凹68)。

● ファインダーで見た視野と、撮影される画像の範囲が違う

このカメラのファインダー視野率は上下左右とも約95%です。このため、ファインダーで見た視 野よりも、やや広い範囲が撮影されます(ロ280)。

● ピントが合わない

- AF-Sレンズ、AF-Pレンズ、AF-Iレンズ以外の場合、オートフォーカス撮影はできません。
- 次のような被写体では、オートフォーカスではピントが合わせづらい場合があります。マニュアルフォーカス、フォーカスロックを利用して撮影してください(ロ57、59)。
 明暗差がはっきりしない/遠くのものと近くのものが混在する/連続した繰り返しパターン/輝度差が著しく異なる/背景に対して主要被写体が小さい/絵柄が細かい
- フォーカスモードが [MF] (マニュアルフォーカス) になっていませんか? (□53、124)

● シャッターボタンを半押ししても、フォーカスロックされない ファインダー撮影時の [フォーカスモード] が [AF-C] のとき、または [AF-A] で自動的に [AF-C] が選ばれたときは、粃 (Om) ボタンでフォーカスをロックしてください (□53、57)。

- フォーカスポイントを選べない
 - [AFエリアモード] が [II] (オートエリアAF) のときは、選べません (ロ55)。
 - 半押しタイマーがオフになっていませんか?フォーカスポイントを選ぶには、シャッターボタンを半押しして半押しタイマーをオンにしてください(ロ23)。
- AFエリアモードを変更できない

フォーカスモードが [MF] (マニュアルフォーカス) になっていませんか? (^{CD}53、124)

● AF補助光ランプが光らない

- •次の場合、AF補助光を照射しません。
- ファインダー撮影時の [フォーカスモード] が [AF-C] または [AF-A] で自動的に [AF-C] が選ばれたとき (ロ53)
- ライブビュー /動画撮影時
- [AFエリアモード] が [[3D] (3D-トラッキング)の場合(ロ55)
- [**一**] (オートエリアAF) と [**I3D**] (3D-トラッキング) 以外のAFエリアモードで中央以外 のフォーカスポイントが選択された場合(ロ55、57)
- カスタムメニューa3 [内蔵AF補助光の照射設定] が [しない] になっていませんか?(四192)
- AF補助光ランプを連続して使うと、保護機能が働いて一時的に照射が制限されます。少し時間 をおくと再び照射するようになります。また、短時間に何回も使うと、AF補助光ランプが熱く なることがあるのでご注意ください。
- AF補助光が光らない撮影モードです(□264)。

● 画像サイズを変更できない

[画質モード] がRAWを含む画質モードのときは、画像サイズを変更できません(ロ62)。

画像の記録に時間がかかる

- ●連続撮影が終了しても、SDカードの性能や撮影条件によっては、最大で1分間程度、SDカード アクセスランプが点灯し続ける場合があります(□□21)。
- •撮影メニュー [長秒時ノイズ低減] が [する] になっていませんか? (□187)

● 画像がざらつく

- ISO感度が高くなっていませんか?撮影メニュー [高感度ノイズ低減] を [強め]、[標準]、[弱め] のいずれかに設定すると、ざらつきを低減できます (印188)。
- シャッタースピードが1秒より低速な場合は、ざらつきが発生しやすくなります。撮影メニュー [長秒時ノイズ低減]を[する]にして撮影すると、ざらつきを低減できます(□187)。
- アクティブD-ライティングを設定していませんか?撮影シーンによっては、ざらつきが強調される場合があります(四98)。

● リモコンの送信ボタンを押しても撮影できない

- リモコンの電池残量はありますか?(□253)
- リモコンモードに設定されていますか?(ロ72)
- •フラッシュの充電中は、シャッターがきれません(四73)。
- 送信ボタンを押す前にカスタムメニュー c4 [リモコン待機時間(ML-L3)]を過ぎると、リモコンモードはリセットされます(ロ195)。
- ●極端な逆光状態などでは、別売のリモコンML-L3でのリモコン撮影ができない場合があります。

● 電子音が鳴らない

- カスタムメニュー d1 [電子音設定] が [電子音なし] になっていませんか? (四196)
- レリーズモードが [回] (静音撮影) になっていませんか? (四50)
- ファインダー撮影時のフォーカスモードが [AF-C] のとき、または [AF-A] で自動的に [AF-C] が選ばれたとき、[MF] (マニュアルフォーカス)のときは電子音は鳴りません (□53)。
- 動画撮影中は電子音は鳴りません (凹132)。

● 画像にゴミが写り込む

- •レンズの前面または背面(マウント側)が汚れていませんか?
- 撮像素子前面にゴミが付着していませんか?イメージセンサークリーニングを行ってください(ロ257)。
- デート写し込みができない

RAWを含む画質モードに設定されていませんか?(061、199)

● 動画に音声が録音されない

撮影メニュー [**動画の設定**] の [録音設定] が [録音しない] になっていませんか?(四135)

● ライブビュー表示中や動画撮影時に画面にちらつきや横縞が生じる

セットアップメニュー [**フリッカー低減**]の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に 合わせてください(¹²10)。

● 選択または設定できないメニュー項目がある

撮影モードによっては、設定できない機能があります。この場合、その項目は選べません (^①264)。

<u>撮影関連(撮影モードP、S、A、M)</u>

● シャッターがきれない

- CPUレンズが装着されていますか?非CPUレンズは撮影モードM以外ではお使いになれません (ロ246)。
- 撮影モードMでシャッタースピードをBulbまたはTimeに設定し、そのまま撮影モードをSに変更した場合は、シャッタースピードを再設定してから撮影してください(印88)。
- WBブラケティング撮影時に撮影コマ数が記録可能コマ数より多い場合、ファインダー内の記録可能コマ数表示が点滅し、シャッターがきれません。新しいSDカードに交換してください。

● 設定できるシャッタースピードの範囲が狭い

- •フラッシュ撮影時は、シャッタースピードが制限されます(凹68)。
- •撮影メニュー [動画の設定]の [動画のマニュアル設定]が [する] のときは、フレームレートによってシャッタースピードは制限されます (ロ136)。
- 設定したい絞り値が選べない
 - 設定できる最小絞り、開放絞りはレンズによって異なります。

● 画像の色合いがおかしい

- •ホワイトバランスは正しく設定されていますか? (凹105)
- [ピクチャーコントロール] は正しく設定されていますか? (四116)

● ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータが取得できない

被写体が明るすぎるか、暗すぎます(□109)。

● ホワイトバランスのプリセットマニュアルのデータとして設定できない画像がある この機種以外のカメラで撮影した画像は、プリセットマニュアルデータとして設定することはで きません(□111)。

● [ピクチャーコントロール] の効果が安定しない

[ビクチャーコントロール]、[カスタムピクチャーコントロール]の調整画面で、[輪郭強調]、 [コントラスト]、[色の濃さ(彩度)]のいずれかが[A](オート)に設定されています。ピク チャーコントロールの効果を一定にするには、これらの項目を[A](オート)以外に設定して ください(四118)。

● 測光モードが変更できない

AEロック中は測光モードを変更できません(0094)。

● 露出補正ができない

撮影モードがMの場合、露出補正を行っても、露出インジケーターの基準値が変わるだけで、 シャッタースピードと絞り値は変化しません(ロ96)。

● 画像の一部が赤っぽくなる

シャッタースピードをBulbまたはTimeにした場合など、長時間露出で撮影すると、画像の一部 が赤っぽくなることがあります。この現象は、撮影メニュー[長秒時ノイズ低減]を[する]に 設定することで低減できます(□187)。



● RAW画像が表示されない

[**画質モード**] を [**RAW + FINE**]、[**RAW + NORMAL**]、[**RAW + BASIC**] にして撮影した画 像は、JPEG画像しか再生されません(^{CL}62)。

● 全ての画像が表示されない

再生メニュー [**再生フォルダー設定**]を [全てのフォルダー] にしてください。なお、[全ての フォルダー] にした後に撮影すると、[**再生フォルダー設定**] は自動的に [記録中のフォルダー] に変更されます (印183)。

● 画像の縦位置・横位置が正しく表示されない

- 再生メニュー [縦位置自動回転] が [しない] になっていませんか? (四183)
- セットアップメニュー [縦横位置情報の記録] が [しない] になっていませんか? (□212)
- 撮影直後の画像確認時は、自動回転しません(ロ183)。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります (ロ212)。

● 画像を削除できない

- SDカードがロックされていませんか? (凹17)
- 画像にプロテクトが設定されていませんか? (□151)

● 画像が編集できない

このカメラでは編集できない画像です(凹217)。

- プリント指定ができない
 - SDカードがロックされていませんか? (凹17)
 - SDカードの空き容量が不足していませんか? (□14)

● RAW画像をプリントできない

- ・画像編集メニューの[RAW現像] などでRAW画像からJPEG画像を作成してからプリントして ください(¹¹²²⁵)。
- RAW 画像はパソコンに転送してから、付属ソフトウェアや別売のCapture NX 2などのソフト ウェアを使ってプリントしてください(ロ161)。

● 画像がテレビに映らない

セットアップメニュー [ビデオ出力] が正しく設定されていますか? (ロ213)

● 画像がHDMI機器で再生できない

市販のHDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください(CI172)。

● HDMI-CEC対応機器のリモコンから制御できない

- セットアップメニューの [HDMI] の [機器制御] が [する] になっているか確認してください(四173)。
- •テレビ側のHDMI-CECの設定については、テレビの使用説明書などをご覧ください。

● 画像をパソコンに転送できない

お使いのパソコンのOSによっては、カメラをパソコンに接続して画像を転送できないことがあります(□160)。カードリーダーなどの機器を使って、SDカードの画像をパソコンに保存してください。

● Capture NX 2で画像が表示されない

ソフトウェアのバージョンが最新になっていますか?(ロ252)

● Capture NX 2でイメージダストオフ機能が動作しない

次の場合は、イメージセンサークリーニングにより、撮像素子前面のゴミの位置が変わってしまうため、イメージダストオフ機能を使用できません(¹¹210)。

- イメージセンサークリーニングを実行する前に撮影した画像に対して、クリーニング後に取得したイメージダストオフデータを使ってゴミの写り込みを取り除こうとしたとき
- イメージセンサークリーニングを実行する前に取得したイメージダストオフデータを使って、 クリーニング後に撮影した画像に対してゴミの写り込みを取り除こうとしたとき

位置情報関連

● 測位できない、測位に時間がかかる

- 撮影する環境によって、測位できないことがあります。位置情報機能を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。
- 初めて測位したときや、測位できない状態が長時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときは、測位情報を取得するまで時間がかかります。
- A-GPSデータを更新してください(凹82)。

● 撮影した画像に位置情報が記録されない

撮影前に衛星受信状態マークを確認してください(□77)。位置情報が記録されるのは、イン フォ画面に**↓**≪か表示されているときだけです。

● 撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある

撮影する環境によって、測位に誤差が生じることがあります。航法衛星からの電波の誤差が大き いと、最大で数百メートルの誤差を生じる場合があります。

● A-GPSデータが更新できない

- 次のことを確認してください。
 - SDカードが入っているか
 - SDカード内の正しいフォルダーにA-GPSファイルが入っているか(凹82)
- A-GPSファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください。
- •カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください(0282、211)。

ログを取得できない

- カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください(ロ82、211)。
- ログ取得中です。新しくログを取得するときは、「位置情報」→「ログ取得」→「終了」を選び、取得中のログを終了してください。
- 残量のあるSDカードが入っていますか? (□11、14)
- SDカードがロックされていませんか? (ロ17)
- 新しいSDカードに交換するか、不要なログファイルを削除してください。1枚のSDカードには ログファイルを最大100個保存できます。ただし、一日に保存できるログファイルは最大36個 です。

<u>Wi-Fi(無線LAN)関連</u>

● スマートデバイスにカメラのSSID (ネットワーク名) が表示されない

- ・セットアップメニュー [Wi-Fi] の [通信機能] が [有効] になっていることを確認してください (□178)。
- •スマートデバイスのWi-Fi機能をOFFにしてからONにし直してみてください。

<u>その他</u>

● 撮影日時が正しく表示されない

カメラの内蔵時計は合っていますか?カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度 は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします(四13、211)。

● 表示されているメニュー項目が選択できない

- SDカードをカメラに挿入していないときは、選択できない項目があります(凹11、216)。
- 一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選択できない場合があります(□10、264)。

警告メッセージ

液晶モニターとファインダーに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

🖉 警告表示について

液晶モニターに ②、またはファインダー内に ②が点滅している場合に Q∞(?) ボタンを押すと、警告の内容を確認することができます。

こんなとき			
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	ш
レンズの絞りリングを 最小絞り(一番大きい 数字)にしてください。	FE E (点滅)	レンズの絞りリングを最小絞り(最も大きい値)に してください。	242
レンズ未装着	F/? (点滅)	 レンズを装着してください。 非CPUレンズを装着しているときは、撮影モード Mで撮影してください。 	12 246
撮影するには ズームリングを 回してレンズを 繰り出して ください。	F (点滅)	レンズが収納されています。ズームリングボタンを 押しながらズームリングを回して、ロックを解除し てください。	13
撮影できません。 バッテリーを交換 してください。	≖/? (点滅)	残量のあるバッテリーに交換してください。	11
このバッテリーは 使用できません。 専用バッテリーに 交換してください。	€ ⊐● (点滅)	専用バッテリーに交換してください。	251
起動エラーが発生 しました。復旧には 電源スイッチをOFFに して再度ONにして ください。	□■/[ξィィ] (点滅)	電源を一度OFFにしてから、バッテリーを入れ直 し、もう一度電源をONにしてください。	2、11
バッテリーが 残り少なくなりました。 ただちに作業を終了し、 電源スイッチをOFFに してください。		クリーニングを中止し、電源をOFFにしてください。	260
日時未設定	—	日時を設定してください。	13、211
メモリーカード未挿入	[- E -]/? (点滅)	SDカードを正しく入れてください。	11

こんなとき			
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	Ē
メモリーカードが書き込み 禁止になっています。	〔 d (点滅)	SDカードのロックを解除してください。	17
Eye-Fiカードは 書き込み禁止の状態 では使用できません。	〔 d /【 E ィ r 〕 (点滅)	Eye-Fiカードのロックを解除してください。	17
		 このカメラで使用できる SD カードであるかどう かを確認してください。 	11、254
このメモリーカードは		• SDカードを初期化し直してください。状況が改善 しない場合は、SDカードが壊れている可能性があ ります。ニコンサービス機関にご相談ください。	206. 311
ため、使用できません。	【d/[Eァァ 〕 (点滅)	 新規フォルダー作成時にこのメッセージが表示された場合は、不要な画像を削除してください。 	154
ください。		●新しいSDカードに交換してください。	11、254
		• セットアップメニューの [Eye-Fi送信機能] を [無	214
		効]にしても、電波が出力される場合があります。	
		カメラの電源をOFFにしてからEye-Fiカードを取	
		り出し、SDカードに父換してくたさい。	201
このメモリーカートは 初期化(フォーマット)	(Eac)	 SDリートをリメブで初期化してくたさい。 電源たってにに、ていて、エレイ初期化された CD 	206
されていません。	(占減)	● 電源を OFF にしてから、止しく初期化された SD	11
フォーマットしてください。	(/11/////		
		•SD カードに記録されている画像を削除して、SD	154、
くエニーナー ど	E! /[]/2	カードに画像ファイルが保存可能な状態にしてく	161
クトリーカート	,00,0,0	ださい。必要な画像はパソコンなどに転送して	
		バックアップしてください。	
		●新しいSDカードに交換してください。	11
_	•	構図を変えるか、マニュアル(手動)でピントを合	21、54、
	(点滅)	わせてください。	59
		● ISO感度を低くしてください。	69
		 シャッタースピードをより高速側にセットしてく 	
	R		
被写体が明るすぎます	じ (上述)	 ● 殺りを殺り込んで(より大きい数値にして)くだ ☆い) 	89、90
	(黒滅)	○ い。 ● 市販のND(光量調節田) フィルターをお使いくだ	251
		さい。	231
		 ●四の場合は、撮影モードを切り換えてください。 	3

こんなとき			
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	ш
被写体が暗すぎます	? (点滅)	 ISO感度を高くしてください。 フラッシュをお使いください。 シャッタースピードをより低速側にセットしてください。 絞りを開いて(より小さい数値にして)ください。 	69 64 88、90 89、90
Sモード時Bulb制御不可	ರ್ಶ ಓರಿ (点滅)	 シャッタースピードを変えてください。 	88
Sモード時Time制御不可	 (点滅)	●撮影モードMで撮影してください。	90
HDRモード時 Bulb制御不可 HDRモード時 Time制御不可	buib (点滅) (点滅)	 シャッタースピードを変えてください。 HDR (ハイダイナミックレンジ)を [OFF しない] にしてください。 	90、91 100
インターバル撮影中	_	インターバルタイマー撮影中は、メニュー操作や画像の再生を行うことはできません。インターバルタ イマー撮影を中止するには、電源をOFFにしてくだ さい。	
_	\$ (点滅)	フラッシュがフル発光しました。撮影に必要な光量が 不足している可能性があります。撮影距離、絞り、フ ラッシュ調光範囲、ISO感度などをご確認ください。	_
	\$/ 2 (点滅)	 フラッシュをお使いください。 撮影距離、絞り値、調光範囲、ISO感度などを確認してください。 別売スピードライトSB-400またはSB-300をお使いの場合に、装着したSB-400、SB-300の位置がバウンス位置になっていると、この警告表示になります。バウンスで撮影するときは、そのまま撮影を続けてください。 レンズの焦点距離が18mmより広角になっています。焦点距離を18mm以上にしてください。 別売スピードライトSB-400またはSB-300をお使いの場合に、レンズの焦点距離が短すぎると、この警告表示になり、画像の周辺が暗くなることを警告します。この場合、レンズの焦点距離を長くしてください。 	64 68、69、 89 —
スピードライトエラー	? (点滅)	接続中のスピードライトはバージョンアップに失敗しているため使用できません。ニコンサービス機関にご相談ください。	311

こんなとき			
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	Ш
何らかの異常を 検出しました。 復旧にはシャッター ボタンをもう一度 押してください。	Eァァ (点滅)	もう一度シャッターボタンを押してください。警告 表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示され る場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。	311
起動エラーが 発生しました。 サービス機関に お問い合わせください。	Eィィ (点滅)	ニコンサービス機関にご相談ください。	311
測光機能エラー	Eィィ (点滅)	ニコンサービス機関にご相談ください。	311
ライブビューを 開始できません。 カメラ内部の温度が 下がるまで しばらくお待ちください。		カメラ内部の温度が下がるまで、ライブビュー撮影 または動画撮影を一時休止してください。	129 、 134
撮影画像がありません。	_	 ・画像が記録されているSDカードを入れてください。 ・再生メニューの[再生フォルダー設定]を[記録中のフォルダー]にした後、SDカードを交換してから、撮影を行わずに画像を再生しました。[再生フォルダー設定]を[全てのフォルダー]にすると、SDカード内の画像を再生できます。 	11 183
このファイルは 表示できません。	_	 パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像 ファイルではないため、再生できません。 画像ファイルに異常があるため再生できません。 	_
このファイルは 選択できません。		このカメラで撮影または編集した画像しか画像編 集できません。	217
処理できる画像が ありません。		[RAW現像] で画像編集できるのはRAW画像だけ です。	225
複数の接続先を検出した ため接続を中止しました。 しばらくしてから、接続 をやり直してください。	_	スマートデバイスからの通信信号を受信中、複数の 接続先を検出したため接続を中止しました。 しばらくしてから、接続をやり直してください。	_
エラーが発生しました。		セットアップメニュー[Wi-Fi]の[通信機能]を [無効]にしてから、もう一度[有効]にしてくだ さい。	176

こんなとき			
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法	ш
カメラの温度が下がるま で通信機能は使えません。		カメラの電源をOFFにして、カメラ内部の温度が下 がるまでしばらく待ってから接続をやり直してく ださい。	_
プリンターの状態を 確認してください。*		インク交換してください。インクに残量がある場合は、プリンターの状態を確認してください。	—
用紙を確認して ください。*		指定したサイズの用紙がセットされていません。指 定したサイズの用紙をセットした後、[継続]を選ん で®ボタンを押して、プリントを再開してください。	_
紙詰まりです。*		用紙が詰まりました。詰まった用紙を取り除いた 後、[継続]を選んで ∞ ボタンを押して、プリント を再開してください。	_
用紙がありません。※		用紙がセットされていません。指定したサイズの用 紙をセットした後、 [継続] を選んで ∞ボタンを押 して、プリントを再開してください。	_
インクを確認して ください。*		インクに異常があります。インクを確認した後、[継 続]を選んで [®] ボタンを押して、プリントを再開し てください。	_
インクがありません。*		インクがなくなりました。インクを交換した後、[継 続] を選んで [®] ボタンを押して、プリントを再開し てください。	_

※プリンターの使用説明書も併せてご覧ください。

主な仕様

■ニコンデジタルカメラD5300

型式	
型式	レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ
レンズマウント	ニコンFマウント(AF接点付)
宝悍影而岛	ニコンDXフォーマット、焦点距離が約1.5倍のレンズのFXフォーマットでの画
天旗彩画月	角に相当
有効画素数	
有効画素数	2416万画素
撮像素子	
方式	23.5×15.6 mmサイズCMOSセンサー
総画素数	2478万画素
ガフトに試機能	イメージセンサークリーニング、
シスト低減機能	イメージダストオフデータ取得(別売Capture NX 2必要)
記録形式	
	• 6000×4000ピクセル(サイズL)
記録画素数	● 4496×3000ピクセル(サイズM)
	• 2992×2000ピクセル(サイズS)
	• RAW 12ビット/14ビット(圧縮)
画質モード	● JPEG-Baseline準拠、圧縮率(約):FINE (1/4)、NORMAI (1/8)、BASIC (1/16)
	 RAWと IPFGの同時記録可能
ピクチャー	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、
コントロールシステム	いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード(SDHCメモ
記録媒体	リーカード、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応)
	DCE 2.0 (Design rule for Camera File system).
	DPOE (Digital Print Order Format).
対応規格	Evif 2.3 (Exchangeable image file format for digital still cameras)
	PictBridge
ファインダー	
ファインダー	アイレベル式ペンタミラー使用一眼レフレックス式ファインダー
相野家	ト下たちとも約05% (対実両面)
住家	$_{1}$ (小人間) (小人間面) (小人間) (小人面) (小) (小) (小) (小) (小) (小) (小) (小) (小) (小
ロギ アイポイント	培明レンズ面中中から18mm(-10m-1のとき)
相座調節範囲	-17~+10m-1
ファインダー	
スクリーン	B型クリアマットスクリーン VII
27-	クイックリターン式
レンズ絞り	瞬間復元式、電子制御式

レンズ	
	• オートフォーカス可能レンズ: AF-S、AF-P、AF-Iレンズ
	• オートフォーカス不可レンズ: AF-S、AF-P、AF-I以外のGまたはDタイプレン
古梅しいブ	ズ、GまたはDタイプ以外のAFレンズ(IX用レンズ、F3AF用レンズは使用不
交換レンス	可)、Pタイプレンズ、非CPUレンズ(撮影モードM(マニュアル)で使用可
	能、ただしカメラで測光は不可)
	※開放F値がF5.6以上明るいレンズでフォーカスエイド可能
シャッター	
型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード	1/4000~30秒(1/3ステップ、1/2ステップに変更可能)、Bulb、Time
フラッシュ同調	
シャッタースピード	X=1/200秒以下の低速シャッタースヒートで同調
レリーズ機能	
	● S : 1 コマ撮影、 SL : 低速連続撮影、 SH : 高速連続撮影、 ◎ : 静音撮影、
レリーズモード	
	 インターバルタイマー撮影可能
	 ● UL:最高約3コマ/秒※
	 ● □····································
	 ・一部: 取高がりコマノ秒()12ビットのRAW(画像場影時) ・
連続撮影速度	$×$ フォーカフモードが ΔE_C で、カフタムメニュー 21 [ΔE_C モード時の優失]
カルフタノフ	
路山利御 御坐七士	
測元力式	2010万割RGB ビノリーによる11L用 成別 元 万式
測光モード	 ・ ・ ・
	• スポット測光: \$\phi.5 mm相当(全画面の約2.5%)を測光、フォーカスポイン
	トに連動して測光位置可動
測光範囲	 マルチパターン測光、中央部重点測光:0~20 EV
	• スポット測光: 2~20 EV(ISO 100、f/1.4レンズ使用時、常温20℃)
露出計連動	
	CALL ALE ALE ALE ALE ALE ALE ALE ALE ALE
	ノトリ能)、S:シャッター優先オート、A: 絞り優先オート、M:マニュアル
	 シーンモード: 2: ボートレート、 ニニビもスナップ、
	マ:スポーツ、♥:クローズアップ、図:夜景ポートレート、■:夜景、
撮影モード	※:パーティー、論:海・雪、書:夕焼け、富:トワイライト、♀:ペット、
	♀ :キャンドルライト、♀:桜、♥:紅葉、¶:料理
	 ・スペシャルエフェクトモード: 図:ナイトビジョン、◎:カラースケッチ、
	息:トイカメラ風、🏘:ミニチュア効果、🖋:セレクトカラー、🖾:シルエッ
	ト、圖:ハイキー、圖:ローキー、賞:HDRペインティング

露出制御	
露出補正	P、S、A、Mモード時に設定可能、範囲:±5段、補正ステップ:1/3、1/2ステッ
	プに変更可能
	• AEブラケティング時、撮影コマ数:3コマ、補正ステップ:1/3、1/2ステップ
オートブラケティング	•ホワイトバランスブラケティング時、撮影コマ数:3コマ、補正ステップ:
	1ステップ
	•アクティブD-ライティングブラケティング時、撮影コマ数:2コマ
AEロック	(Cm)ボタンによる輝度値ロック方式
ISO感度	ISO 100~12800 (1/3ステップ)、ISO 12800に対し約0.3、0.7、1段 (ISO 25600
(推奨露光指数)	相当)の増感、感度自動制御が可能
アクティブ	時ムオート 時代より強め 時日強め 時N標準 時日弱め OFFしない
D-ライティング	
オートフォーカス	
	TTL位相差検出方式:フォーカスポイント39点(うち、クロスタイプセンサー
方式	9点)、マルチCAM 4800DXオートフォーカスセンサーモジュールで検出、AF
	補助光(約0.5~3 m)付
検出範囲	-1~+19 EV(ISO 100、常温(20℃))
	• オートフォーカス (AF):シングルAFサーボ (AF-S)、コンティニュアスAF
しへブサーギ	サーボ(AF-C)、AFサーボモード自動切り換え(AF-A)を選択可能、被写体
レンスリーホ	条件により自動的に予測駆動フォーカスに移行
	• マニュアルフォーカス (MF):フォーカスエイド可能
フォーカフポイント	• AF39点設定時: 39点のフォーカスポイントから1点を選択
	• AF11点設定時:11点のフォーカスポイントから1点を選択
	シングルポイントAF、ダイナミックAF(9点、21点、39点)、オートエリアAF、
AFIDEER	3D-トラッキング
フォーカスロック	船(On)ボタン、またはシングルAFサーボ(AF-S)時にシャッターボタン半押し
フラッシュ	
	🖀、 💈、 🙅、 🖏、 🖾、 🙀、 🕲、 😫 時:オートポップアップ方式による自動発光
内蔵フラッシュ	P、S、A、M、判時:押しボタン操作による手動ポップアップ方式
	ガイドナンバー:約12(マニュアルフル発光時約13)(ISO 100・m、20℃)
	2016分割RGBセンサーによるTTL調光制御 :内蔵フラッシュ、SB-910、SB-900、
調光方式	SB-800、SB-700、SB-600、SB-400またはSB-300でi-TTL-BL調光(マルチパ
	ターン測光または中央部重点測光)、スタンダードi-TTL調光(スポット測光)可能
	通常発光オート、赤目軽減オート、通常発光オート+スローシャッター、赤目
	軽減オート+スローシャッター、通常発光、赤目軽減発光、通常発光+スロー
フラッシュモード	シャッター、赤目軽減発光+スローシャッター、後幕発光+スローシャッター、
	後幕発光、発光禁止
調光補正	範囲:-3~+1段、補正ステップ:1/3、1/2ステップ
	内蔵フラッシュ、別売スピードライト使用時に充電完了で点灯、フル発光によ
レティーフィト	る露出警告時は点滅
	ホットシュー(ISO 518)装備:シンクロ接点、通信接点、セーフティーロック
アクセサリーシュー	機構(ロック穴)付

1	ノフッシュ	
		• SB-910、SB-900、SB-800またはSB-700を主灯、SU-800をコマンダーとした
	ニコンクリエイティブ	アドバンストワイヤレスライティングに対応
	ライティングシステム	 ニコンクリエイティブライティングシステム対応スピードライトとの組み合
		わせで発光色温度情報伝達に対応
	シンクロターミナル	ホットシューアダプター AS-15(別売)
;	ホワイトバランス	
		オート、雷球、蛍光灯(7種)、晴天、フラッシュ、曇天、晴天日陰、プリヤッ
	ホワイトバランス	トマニュアル。プリヤットマニュアル以外はいずれも微調整可能
	ライブビュー撮影機能	
		● オートフォーカス(AF) :シングルAFサーボ(AF-S)、常時AFサーボ(AF-F)
	レンズサーボ	• マニュアルフォーカス (ME)
	AFエリアモード	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		コントラストAF方式 全面面の任音の位置でAF可能(顔認識AFまたはターゲッ
	フォーカス	ト追尾AFのときは、カメラが決めた位置でAF可能)
	おまかサシーン	
	(シーン白動判別)	撮影モード習、③で使用可能
Ē	動画機能	
	動画i成的 測光方式	
	測光モード	
		• 1920 × 1080 · 60p/50p/30p/25p/24p
		• 1320 × 7000 · 60p/50p/23p/24p
		• 640 × 424 : 30p/25p
	記録画素数/	• 040 × 424 · 300/230
	フレームレート	※ 00p・59.941ps、50p・501ps、50p・29.971ps、25p・251ps、24p・25.9701ps ※ 20- (Com は「ビデナリナ」 た、「NTCC」 の担心(一躍相互)た
		※ 25P/50Pは [ビナオ出力] か [PAL] の場合に選択り能
		※ 標準/高囲筫選択可能
	ノアイル形式	
	映像上 縮 力 式	
	百戸記録力式	
	球日衣 直 武府	内蔵スノレオマイン、外部マイン使用可能(スノレオ球目)、マイン感受改正可能
		150100~12600、15012600に対し対0.5、0.7、1段(15025600相当)の増感
7	仮晶モニター	
	液晶モニター	3.2型(3:2) IFI液晶モニター、約104万トット(/20×480×3=1,036,800)、
ļ		ハリアンクル方式、視野角1/0°、視野率約100%、明るご調整可能
Ŧ	再生機能	
		1コマ冉生、サムネイル冉生(4、12、80分割またはカレンターモード)、拡大
	再生機能	再生、動画再生、スライドショー(静止画/動画選択再生可能)、ヒストグラム
		表示、ハイライト表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング、画像コメ
		ント入力可能(英数字36文字まで)
	インターフェース	
	USB	Hi-Speed USB
	ビデオ出力	NTSC、PAL

インターフェース	
HDMI出力	HDMIミニ端子(Type C)装備
マクセサリ	• ワイヤレスリモートコントローラー WR-1、WR-R10(別売)
アクセリリー	• リモートコード:MC-DC2(別売)
9-2710	• GPSユニット:GP-1/GP-1A(別売)
	ステレオミニジャック(φ3.5mm)装備、ステレオマイクロホンME-1(別売)
外部マイジ入力	使用可能
Wi-Fi(無線LAN)	
準拠規格	IEEE802.11b、IEEE802.11g
/	• IEEE802.11b : DSSS/CCK
1云达力式	• IEEE802.11g : OFDM
周波数範囲 (中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11ch)
通信55寸(日通し)	約30 m*
通信距離(兄通し)	※ 電波干渉が無い場合。通信距離は遮蔽物や電波状態などにより影響されます。
データ転送速度	54 Mbps*
(相格值)	※表示の数値は、規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示す
	ものではありません。
ヤキュリティー	認証方式:オープンシステム、WPA2-PSK
	暗号方式:AES
無線設定	WPS対応
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
位置情報機能	
位置情報機能	受信周波数 1575.42 MHz(C/Aコード)、測地系 WGS 84
表示言語	
表示言語	日本語、英語
電源	
使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a(1個使用)
ACアダプター	ACアダプター EH-5b(パワーコネクター EP-5Aと組み合わせて使用)(別売)
三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法・質量	
寸法(W×H×D)	約125×98×76 mm
「「「」	約530g(バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、ボディーキャップを除く)
貝里	約480g(本体のみ)
動作環境	
温度	0°C~40°C
湿度	85%以下(結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA(カメラ映像機器工業会)規格またはガイド ラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- •本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■ バッテリーチャージャー MH-24

電源	AC 100–240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
定格入力容量	18–24 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.9 A
適応電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a
充電時間	EN-EL14a充電時:約1時間50分 ※残量のない状態からの充電時間(周囲温度25℃)
使用温度	0°C~40°C
寸法(W×H×D)	約70×26×97 mm
質量	約96 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

~ AC (交流)、--- DC (直流)、回 クラスⅡ機器 (二重絶縁構造)

■Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a

形式	リチウムイオン充電池		
定格容量	7.2 V、1230 mAh		
使用温度	0℃~40℃		
寸法(W×H×D)	約38×53×14 mm		
質量	約49g(端子カバーを除く)		

• 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

•本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

🖉 このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF) Version 2.0: 各社のデジタルカメラで記録された画 像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format): デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭 用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif Version 2.3: (Exif = Exchangeable image file format for digital still cameras): デジタルカ メラとブリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。こ の規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力 を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge:デジタルカメラとプリンターメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタル カメラの画像を、パソコンを介さずプリンターで直接印刷するための標準規格です。
- HDMI (High-Definition Multimedia Interface):家庭用電化製品およびAV機器用のマルチメ ディアインターフェース規格です。1本のケーブルをつなぐだけで、画像、音声、制御信号をHDMI 対応機器に送信できます。

🖉 商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴ、およびSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国 における登録商標です。
- Mac OSおよびOS Xは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- IOSの商標は、米国およびその他の国におけるCiscoのライセンスに基づき使用しています。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標 または登録商標です。

нэті

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

🖉 認証マークの表示

セットアップメニューの [認証マークの表示] では、このカメラが取得している認証マークの一部を確認できます(ロ215)。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2013 The FreeType Project (<u>http://www.freetype.org</u>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License(HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2013 The HarfBuzz Project (<u>http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz</u>) のものです。すべての権利はその 所有者に帰属します。

レンズキットをご購入のお客様へ

付属されるレンズは、レンズキットの内容によって異なります。

AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR/ AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G

AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR、AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G の各部名称は次の通りです(イラストは、AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR です)。



- このレンズはDXフォーマットのニコンデジタルー眼レフカメラ専用です。
- このレンズは、デジタルー眼レフカメラのD4 シリーズ、D3 シリーズ、D2 シリーズ、D1 シリーズ、D800 シリーズ、D700、D610、D600、D300 シリーズ、D200、D100、D90、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D7000、D5100、D5000、D3200、D3100、D3000、およびフィルムー眼レフカメラには対応していません。
- このレンズは沈胴機構を採用しています。

■ピント合わせの方法

ピント合わせの方法は、カメラのフォーカスモードで設定できます(ロ53)。

このレンズをD810 シリーズ、Df、D750、D7200、D7100、D5200に装着してお使いの場合、ピント合わせを行った後にカメラの半押しタイマーがオフになると、再び半押しタイマーがオンになったときにピント位置が変わります。撮影時に再度ピント合わせを行ってください。マニュアルフォーカスでピント合わせからシャッターをきるまでに時間がかかる場合は、カメラの半押しタイマーを長めに設定しておくことをおすすめします。

オートフォーカス

カメラのフォーカスモードをオートフォーカスに設定すると、カメラが自動でピント合わせを行います(ロ53)。

- カメラのフォーカスモードがオートフォーカスに設定されていても、カメラのシャッターボタンを半押ししたまま、あるいはカメラのAF-ONボタンを保持したまま、レンズのフォーカスリングを回転させると手動でピント合わせができます(M/A(マニュアル優先オートフォーカスモード))。カメラのシャッターボタンを再度半押ししたり、カメラのAF-ONボタンを再度操作すると、オートフォーカス撮影が可能になります。
- オートフォーカス撮影を行っているときにフォーカスリングに触れると、ピントを合わせていた位置がずれますのでご注意ください。

マニュアルフォーカス

カメラのフォーカスモードを [**MF**](マニュアルフォーカス)に設定すると、レンズの フォーカスリングを回して手動でピントを合わせることができます(ロ59)。

カメラの電源がOFFのときやカメラの半押しタイマーがオフになったときは、フォーカスリングを回してもピント合わせはできません。また、ズームリングを回すとピントずれが生じます。ピント合わせをするときは、カメラの電源をONにするかシャッターボタンを半押しして半押しタイマーをオンにしてから行ってください。

■カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

このレンズの装着時にカメラの内蔵フラッシュを使用する場合は、次のことにご注意く ださい。

- •撮影距離0.6 m以上で使用してください。
- •ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。

※カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写 真に写り込む現象です。





デジタル一眼レフカメラ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離		
D5500/D5300/D5200/D3300	 焦点距離18mmでは撮影距離1m以上 		
	● 焦点距離24、35、45、55mmでは制約なし		

■手ブレ補正機能 (AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR のみ)

AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VRをカメラに装着すると、シャッターボタン を半押ししたときに手ブレを補正します。撮影メニュー [光学手ブレ補正] (四189) でレンズの手ブレ補正機能のON/OFFを切り換えられます。手ブレ補正機能を使用する と、使わないときと比べて4.0段*シャッタースピードを遅くして撮影できるため、 シャッタースピードの選択範囲が広がります。

※ CIPA規格準拠。ただし、FXフォーマット対応レンズはFXフォーマットデジタルー眼レフ使用時、DX レンズはDXフォーマットデジタルー眼レフ使用時。ズームレンズは最も望遠側で測定。

▶ 手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。
- 流し撮りなどでカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレだけが補正されます。
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュの充電中は、手ブレ補正は行いません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正機能を有効にすることをおすすめします。ただし、三脚の種類や 撮影条件により、手ブレ補正機能を使用しない方がよい場合があります。

■AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR、AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6Gの付属アクセサリー

•55 mmスプリング式レンズキャップ LC-55A

・裏ぶた

■AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR、AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6Gで使用できるアクセサリー

- •55 mmネジ込み式フィルター
- 裏ぶた LF-4
- レンズケース CL-0815
- •バヨネットフード HB-N106

レンズフードの取り付け方

フード着脱指標(●)とフード取り付け指標(J⁻⁻⁻)を合わせて(①)、フードを矢印の 方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標(--O)を合わせてください(②)。



- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標 (↓)付近を持って回転させてください。
- フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意ください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。着脱の際は、フードセット指標(-O)付近を持って回転させてください。

■■仕様

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-P DXレンズ			
焦点距離	18 mm–55 mm			
最大口径比	1:3.5–5.6			
レンズ構成	9群12枚(非球面レンズ2枚)			
画角	76° – 28° 50′			
焦点距離目盛	18、24、35、45、55 mm			
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能			
ズーミング	ズームリングによる回転式			
ピント合わせ	ステッピングモーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能			
手ブレ補正(AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VRのみ)	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式			
最短撮影距離※1	撮像面から0.25 m(ズーム全域)			
絞り羽根枚数	7枚(円形絞り)			
絞り方式	自動絞り			
絞りの範囲≋2	 ・焦点距離18 mm時: f/3.5-22 ・焦点距離55 mm時: f/5.6-38 			
測光方式	開放測光			
アタッチメントサイズ	55 mm (P=0.75 mm)			
寸法	約64.5 mm (最大径) × 62.5 mm (レンズマウント基準面からレンズ先端まで、 沈胴時)			
哲量	AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR:約205 g			
只王	AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G:約195 g			

※1距離基準マーク(凹60)は撮像面の位置を示します。

※2カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。

AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II

AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR IIの各部名称は次の通りです。



- このレンズはDXフォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ専用です。
- •このレンズは沈胴機構を採用しています。

■ピント合わせの方法

カメラのフォーカスモードとレンズのA-M切り換えスイッチの位置を変えることにより、ピント合わせの方法を選べます(ロ53、59)。

■カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

このレンズの装着時にカメラの内蔵フラッシュを使用する場合は、次のことにご注意く ださい。

- •撮影距離0.6 m以上で使用してください。
- •ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。

※カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写 真に写り込む現象です。



■手ブレ補正機能

AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR IIをカメラに装着すると、シャッターボタンを半押ししたときに手ブレを補正します。手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べ 4.0 段*シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がり、幅広い領域で手持ち撮影が可能です。

- ※ 測定条件: 焦点距離 55 mm、DX フォーマット機使用時、CIPA ガイドライン準拠。また、手ブレ補正 効果は、撮影者や撮影状況によって異なります。
- 手ブレ補正機能を使うときは、手ブレ補正スイッチをONにしてください。



▶ 手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。
- 流し撮りなどでカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレだけが補正されます。
- 手ブレ補正中にカメラの電源をOFF にしたり、レンズを取り外したりしないでください。
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュの充電中は、手ブレ補正は行いません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正スイッチをOFFにしてください。ただし、三脚を使っても雲台を 固定しないときや、一脚を使用するときには、スイッチをONにすることをおすすめします。

■ AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR IIの付属アク セサリー

- •52mmスプリング式レンズキャップ LC-52
- ・裏ぶた

■ AF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR IIで使用でき るアクセサリー

- •52mmネジ込み式フィルター
- 裏ぶた LF-4
- ソフトケース CL-0815
- ●バヨネットフードHB-69

レンズフードの取り付け方





- フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標

(↓)付近を持って回転させてください。

- フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意ください。
- -収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

■■仕様

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DX レンズ			
焦点距離	18 mm–55 mm			
最大口径比	1:35-5.6			
レンズ構成	8群11枚(非球面レンズ1枚)			
画角	76°– 28° 50′			
焦点距離目盛	18、24、35、45、55 mm			
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能			
ズーミング	ズームリングによる回転式			
ピント合わせ	超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能			
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式			
最短撮影距離※1	●オートフォーカス時:撮像面から0.28m(ズーム全域)			
	•マニュアルフォーカス時:撮像面から0.25 m(ズーム全域)			
絞り羽根枚数	7枚(円形絞り)			
絞り方式	自動絞り			
絞りの範囲 ^{※2}	●焦点距離18 mm時:f/3.5-22			
	●焦点距離55 mm時:f/5.6-38			
測光方式	開放測光			
アタッチメントサイズ	52 mm (P=0.75 mm)			
寸注	約66 mm(最大径)×59.5 mm(レンズマウント基準面からレンズ先端まで、			
246	沈胴時)			
質量	約195 g			

※1距離基準マーク(□60)は撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。

AF-S DX NIKKOR 18-140mm f/3.5-5.6G ED VR

本書では、主にAF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VRのレンズを使用して説 明しています。AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VRの各部名称は次の通り です。



• このレンズはDXフォーマットのニコンデジタルー眼レフカメラ専用です。

■ピント合わせの方法

カメラのフォーカスモードとレンズのA-M切り換えスイッチの位置を変えることにより、ピント合わせの方法を選べます(ロ53、59)。

AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VR使用時のピント合わせにつ いて

カメラのフォーカスモードが [AF-S] の場合は、レンズのA-M切り換えスイッチがAになっていても、 オートフォーカスでピントが合った状態でシャッターボタンを半押ししたままフォーカスリングを手 で回転させると、マニュアルフォーカスでピントを調整できます。

いったんシャッターボタンから指を放し、再度半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせます。

■カメラの内蔵フラッシュ使用時のご注意

このレンズの装着時にカメラの内蔵フラッシュを使用する場合は、次のことにご注意ください。

- •撮影距離0.6 m以上で使用してください。
- •ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。

※カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写 真に写り込む現象です。





デジタル一眼レフカメラ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離	
D7100/D7000/D300シリーズ/D200/D100	 焦点距離18 mmでは撮影距離1 m以上 	
	● 焦点距離24 mm以上は制約なし	
	 焦点距離18 mmでは撮影距離2.5 m以上 	
D90/D80/D50	● 焦点距離24 mmでは撮影距離1 m以上	
	• 焦点距離35 mm以上は制約なし	
D5500/D5300/D5200/D5100/D5000/D3300/	 ● 佳卓距離18mm、24mmでは撮影距離1 m以上 	
D3200/D3100/D3000/D70シリーズ/D60/		
D40シリーズ	● 馬京距離35mm以上は制約なし	

■手ブレ補正機能

AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VRをカメラに装着すると、シャッターボ タンを半押ししたときに手ブレを補正します。手ブレ補正機能を使用すると、使わない ときと比べ4.0 段*(焦点距離 140mm、D300s 使用時)シャッタースピードを遅くし て撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がり、幅広い領域で手持ち撮影 が可能です。

- ※ CIPA(カメラ映像機器工業会)規格によるものです。また、手ブレ補正効果は、撮影者や撮影条件に よって異なります。
- 手ブレ補正機能を使うときは、手ブレ補正スイッチをONにしてください。



🔽 手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。
- 流し撮りなどでカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレだけが補正されます。
- 手ブレ補正中にカメラの電源をOFFにしたり、レンズを取り外したりしないでください(その状態でレンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。カメラの電源スイッチを再度ONにすれば、音は消えます)。
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュの充電中は、手ブレ補正は行いません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正スイッチをOFFにしてください。ただし、三脚を使っても雲台を 固定しないときや、一脚を使用するときには、スイッチをONにすることをおすすめします。

■AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VRの付属 アクセサリー

•67mmスプリング式レンズキャップLC-67

・裏ぶた

■AF-S DX NIKKOR 18–140mm f/3.5–5.6G ED VRで使用 できるアクセサリー

- •67 mmネジ込み式フィルター
- 裏ぶた LF-4
- ソフトケース CL-1018
- ●バヨネットフード HB-32

レンズフードの取り付け方

フード着脱指標(●)とフード取り付け指標(↓)を合わせて(①)、フードを矢印の 方向に回転させ、フード着脱指標とフードセット指標(—〇)を合わせてください(②)。





-フード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード取り付け指標

(」) 付近を持って回転させてください。

- フードが正しく取り付けられないと画像にケラレを生じますのでご注意ください。 - 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

■■仕様

型式	ニコンF マウントCPU 内蔵G タイプ、AF-S DXレンズ			
焦点距離	18 mm-140 mm			
最大口径比	1:3.5–5.6			
レンズ構成	12 群17枚(ED レンズ1枚、非球面レンズ1枚)			
画角	76°– 11° 30′			
焦点距離目盛	18、24、35、50、70、140 mm			
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能			
ズーミング	ズームリングによる回転式			
ピント合わせ	IF(ニコン内焦)方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアル			
	フォーカス可能			
手ブレ補正	ボイスコイルモーター(VCM)によるレンズシフト方式			
最短撮影距離※1	撮像面から0.45 m(ズーム全域)			
絞り羽根枚数	7枚(円形絞り)			
絞り方式	自動絞り			
絞りの範囲*2	●焦点距離18 mm時:f/3.5-22			
	●焦点距離140 mm時:f/5.6-38			
測光方式	開放測光			
アタッチメントサイズ	67 mm (P=0.75 mm)			
寸法	約78 mm(最大径)× 97 mm(レンズマウント基準面からレンズ先端まで)			
質量	約490 g			

※1距離基準マーク(ロ60)は撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。

🔽 レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- CPU信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズ面の清掃は、ほこりを拭う程度にしてください。指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の 布に無水アルコール(エタノール)または市販のレンズクリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から 外周へ渦巻き状に、拭きむら、拭き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- •レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NCフィルターをお使いいただけます。また、レンズのフードも役立ちます。
- レンズをケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- •フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光の当たるところ、防虫剤のあるところも避けてください。
- レンズを水にぬらすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部
 に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

🖉 広角・超広角レンズのオートフォーカス撮影について

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。このよう な場合は、マニュアルフォーカスでピントを合わせるか、フォーカスロックを利用してください。

1 背景に対してメインの被写体が小さい場合 フォーカスポイント内に遠くの建物と近くの人物が混在する場合は、背景にピ ントが合い、人物のピント精度が低下することがあります。



〈人物〉

〈花畑〉

2 絵柄が細かい場合

背景に対して被写体が小さい場合や被写体と背景の明暗差が少ない場合は、 オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。

「オートフォーカスが苦手な被写体」の説明も参照してください(ロ54)。

記録可能コマ数と連続撮影可能コマ数

画質モード(□161)と画像サイズ(□163)の組み合わせによって、16 GBのSDカード に記録できるコマ数、および連続撮影できるコマ数は、次のようになります*1。ただ し、カードの種類や撮影条件によって、コマ数は増減することがあります。

画質モード	画像サイズ	1コマあたりの ファイルサイズ	記録可能コマ数	連続撮影可能 コマ数 ^{※2}
RAW(14ビット記録)	—	約23.8 MB	437コマ	6コマ
RAW(12ビット記録)	—	約19.0 MB	524コマ	13コマ
FINE	L	約12.0 MB	1000コマ	100コマ
	М	約7.4 MB	1700그マ	100그マ
	S	約3.8 MB	3300コマ	100コマ
NORM	L	約6.3 MB	2000コマ	100コマ
	М	約3.8 MB	3300コマ	100コマ
	S	約2.0 MB	6300コマ	100그マ
BASIC	L	約2.7 MB	3900コマ	100그マ
	М	約1.9 MB	6500コマ	100그マ
	S	約1.0 MB	12100コマ	100コマ

※1 SanDisk社製16 GBのExtreme Pro SDHC UHS-1メモリーカードを使用した場合。

※2 ISO感度がISO 100の場合の、連続撮影速度を維持して撮影できるコマ数です。次のような場合、連続撮影可能コマ数は減少します。

- [長秒時ノイズ低減] (□187) を [する] に設定した場合
- [自動ゆがみ補正](□186)を [する] に設定した場合

• カスタムメニュー d6 [デート写し込み設定](四199)を [しない] 以外に設定した場合

電池寿命について

充電したLi-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL14a(1230mAh)による電池寿命 は、次の通りです。

- 撮影可能コマ数(1コマ撮影モード):約600コマ(CIPA基準準拠*1)
- 撮影可能コマ数(連続撮影モード):約2000コマ(当社試験条件*2)
- 動画撮影可能時間:約50分*3
- ※1 初期設定条件で 30 秒間隔ごとに撮影レンズを無限遠から至近に1 往復フォーカシング動作をさせて 1 コマ撮影する。ライブビュー撮影なし。1 回レリーズ(2回に1回は内蔵フラッシュをフル発光)した後、液晶モニターを4秒間点灯。消灯後半押しタイマーがオフになるまで放置。以後同じ動作を繰 り返す。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II、温度23(±2)℃。
- ※2 レリーズモード **い**, フォーカスモードAF-C、画質モードBASIC、画像サイズM、ホワイトバランス AUTO、ISO 100、シャッタースピード1/250秒、シャッターボタンの半押しを3秒間持続後、撮影レ ンズを無限遠から至近間を3往復フォーカシング動作させ6回連続レリーズした後、液晶モニターを 4秒間点灯させ、消灯後半押しタイマーがオフになるまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レン ズAF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II (VR機能OFF)、温度20℃。
- ※3 電池寿命測定方法を定めた CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による実撮影電池寿命です。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II、温度23(±2) C。カメラは初期設定状態。
 - 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は20分(1080/60pまたは1080/50p)です。
 - 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
 - カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- ※バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって電池寿命が 異なります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- ライブビュー撮影などで液晶モニターを使用した場合
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- •オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- •低速シャッタースピードで撮影した場合
- Wi-Fi(無線LAN)機能を使用した場合
- 位置情報機能を使用した場合
- GPSユニットを使用した場合
- Eye-Fiカードを使用した場合
- VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)機能をONにした場合
- AF-Pレンズ使用時にズーム操作を繰り返した場合

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL14aの性能を最大限に発揮させるため、次の ことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま 放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。
マーク・英数字

₩ (オート)	
③ (発光禁止オート)	
え (ポートレート)	
◢ (風景)	
♥ (クローズアップ)	
SCENE (シーン)	
☑ (夜景ポートレート)	
■ (夜景)	
× (パーティー)	
å (海・雪)	
▲ (夕焼け)	
▲ (トワイライト)	
₩ (ペット)	
(キャンドルライト)	
♥ (紅葉)	
¶ (料理)	
EFFECTS (スペシャルエフェクト)	
図 (ナイトビジョン)	
◎ (カラースケッチ)	3, 38, 41
🞗 (トイカメラ風)	3, 38, 42
☞ (ミニチュア効果)	3, 38, 43
ℰ (セレクトカラー)	3, 39, 45
盋(シルエット)	
□ (ハイキー)	
□ (□-+-)	
ġ (HDRペインティング)	
P (プログラムオート)	
S(シャッター優先オート)	
A (絞り優先オート)	
M (マニュアル)	
₿ (プログラムシフト)	
WB (ホワイトバランス)	105
⑤ (1コマ撮影)	47
❑L(低速連続撮影)	47, 48
♀️H (高速連続撮影)	47, 48
◊ (セルフタイマー)	47, 51
章 2s (2秒リモコン (ML-L3))	47, 72
â (瞬時リモコン (ML-L3))	
☑ (静音撮影)	47, 50
☞ (ライブビュー)	24, 123, 132

(ソノクルバイノドAF)	55
[♀] (ダイナミックAF)	55
[3D] (3D-トラッキング)	55
(オートエリアAF)	55
🕲 (顔認識AF)	125
疑 (ワイドエリアAF)	125
隠 (ノーマルエリアAF)	125
	125
◎ (マルチパターン測光)	
◉ (中央部重点測光)	93
● (スポット測光)	93
12 (フラッシュ調光補正)	97
☑ (露出補正)	95
AE-BKT (AEブラケティング)	112
WB-BKT (WBブラケティング)	112
翻 (ADLブラケティング)	112
AUTO (フラッシュモード)	65
REAR (フラッシュモード)	67
SLOW (フラッシュモード)	65,67
i (アイ)ボタン	7, 141
Fn (ファンクション) ボタン	202
? (ヘルプ)	8, 275
✿ (レディーライト)	. 4, 23, 249
♪ (電子音)	196
▶ (連続撮影可能コマ数)	49, 302
1コマ撮影	47
1コマ表示	141
3D-RGBマルチパターン測光	242
3D-トラッキング	55
ACアダプター	251, 255
ADLブラケティング(オートブラケティ	ングのセッ
ADLフラケティング (オートフラケティ ト)	ングのセッ 112
ADLフラケティング (オートフラケティ ト) Adobe RGB (色空間)	ングのセッ 112 187
ADLフラケティング(オートフラケティ ト) Adobe RGB(色空間) AE/AFロックボタンの機能	ングのセッ 112 187 203
ADLフラケティング(オートフラケティ ト)Adobe RGB(色空間) AE/AFロックボタンの機能 AEブラケティング(オートブラケティング	ングのセッ 112 187 203 ブのセット)
ADLフラケティング(オートフラケティ ト)Adobe RGB(色空間)Adobe RGB(色空間) AE/AFロックボタンの機能 AEブラケティング(オートブラケティング 112	ングのセッ 112 187 203 ブのセット)
ADLフラケティング(オートフラケティ ト)Adobe RGB(色空間) AE/AFロックボタンの機能 AEブラケティング(オートブラケティング 112 AEロック	ングのセッ 112 187 203 ブのセット)
ADLフラケティング(オートフラケティ ト)Adobe RGB(色空間) AE/AFロックボタンの機能 AEブラケティング(オートブラケティング 112 AEロック AF-A(AFサーボモード自動切り換え)	ングのセッ 112
ADLフラケティング(オートフラケティ ト)Adobe RGB(色空間) AE/AFロックボタンの機能 AEブラケティング(オートブラケティング 112 AEロック AF-A(AFサーボモード自動切り換え) AF-C(コンティニュアスAFサーボ)	ングのセッ 112
ADLフラケティング(オートフラケティ ト)Adobe RGB(色空間)Adobe RGB(色空間)AE/AFロックボタンの機能AEブラケティング(オートブラケティング 112 AEロックAF-A(AFサーボモード自動切り換え)AF-C(コンティニュアスAFサーボ)AF-F(常時AFサーボ)AF-F(常時AFサーボ)	ングのセッ 112 112 187 203 ブのセット) 94
ADLフラケティング(オートフラケティ ト) Adobe RGB(色空間) AE/AFロックボタンの機能 AEブラケティング(オートブラケティング 112 AEロック AF-A(AFサーボモード自動切り換え) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-F(常時AFサーボ) AF-S(シングルAFサーボ)	ングのセッ 112 112 117 112 117 10 10 10 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11
ADLフラケティング(オートフラケティ ト) Adobe RGB(色空間) AE/AFロックボタンの機能 AEブラケティング(オートブラケティング 112 AEロック AF-A(AFサーボモード自動切り換え) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-F(常時AFサーボ) AF-S(シングルAFサーボ) AFエリアモード	ングのセッ 112 117 117 117 117 117 117 117 117 117
ADLフラケティング(オートフラケティ ト) Adobe RGB(色空間) AE/AFロックボタンの機能 AEブラケティング(オートブラケティング 112 AEロック AF-A(AFサーボモード自動切り換え) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-F(常時AFサーボ) AF-S(シングルAFサーボ) AFエリアモード AFエリアモードー	ングのセッ 112 117 117 112 117 117 117 117 117 117
ADLフラケティング(オートフラケティ ト) Adobe RGB(色空間) AE/AFロックボタンの機能 AEブラケティング(オートブラケティング 112 AEロック AF-A(AFサーボモード自動切り換え) AF-C(コンティニュアスAFサーボ) AF-F(常時AFサーボ) AF-F(常時AFサーボ) AFエリアモード AFエリアモード自動切り換え AF点数切り換え	ングのセッ 112 112 117 112 112 112 112 112 112 112

AFロック		57
A-GPSデータ更新		82
A-M切り換えスイッチ 17,59,	292,	296
AVケーブル		171
BASIC		61
Bulb (バルブ撮影)		91
Camera Control Pro 2		252
Capture NX 262,	209,	252
CEC		.173
CPU信号接点		.242
CPUレンズ	241	242
D-ライティング	,	218
DCF Version 2.0		.286
		167
DPOE (Digital Print Order Format)	160	286
	109,	200
Evif Version 23		.242 286
		200
ことにには「日本市」		214 242
		.242 61
FT/ホタノの検能		202
	•••••	.242 172
		172
HDIVII-CEC		1/3
		100
HDR (ハイダイナミックレンジ)		100
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク	ト)	.100
HDR(ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング(スペシャルエフェク Hi (感度)	ト)	.100 40 69
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264	ト)	.100 40 69 .283
HDR(ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング(スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXプリント	⊢)	.100 40 69 .283 .167
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度	ト) 69,	.100 40 69 .283 .167 .188
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示	ト) 69,	.100 40 69 .283 .167 .188 .196
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 i-TTL-BL調光	ト) 69,	.100 40 .283 .167 188 .196 .201
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 i-TTL-BL調光 i-TTL調光	ト) 69,	.100 40 .283 .167 .188 .196 .201 .248
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 i-TTL-BL調光 JPEG.	ト) 69, 61,	.100 40 .283 .167 188 .196 .201 .248 198
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 TTL-BL調光 i-TTL調光 JPEG L (画像サイズ)	ト) 69, 61,	.100 40 .283 .167 188 .196 .201 .248 198 63
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 TTL-BL調光 TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ)	ト) 69, 61,	100 40 283 167 188 196 201 248 198 63
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 I-TTL-BL調光 I-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ)	ト) 69, 61, 124,	100 40 283 167 188 196 201 248 198 63 63 131
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 I-TTL-BL調光 I-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ)	ト) 69, 61, 124, 198,	100 40 283 167 188 196 201 248 198 63 131 283
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXプリント ISO感度 ISO感度表示 I-TTL-BL調光 I-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ)	ト) 69, 61, 124, 198,	100 40 283 167 188 196 201 248 198 63 131 283 61
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXプリント ISO感度 ISO感度表示 I-TTL-BL調光 I-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ) MF (マニュアルフォーカス)53,59, MOV NEF NORMAL	69, 61, 124, 198,	100 40 283 167 188 196 201 248 198 63 131 283 61 61
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXプリント ISO感度 ISO感度表示 i-TTL-BL調光 I-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ) MF (マニュアルフォーカス)53,59, MOV NEF NORMAL NTSC	69, 61, 124, 198,	100 40 69 283 167 188 196 201 248 198 63 63 63 61 213
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXプリント ISO感度 ISO感度表示 I-TTL-BL調光 I-TTL-BL調光 I-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ) MF (マニュアルフォーカス)53,59, MOV NEF NORMAL NTSC PAL	 L) L) 69, L) 61, L) 124, L) 124, L) 124, L) 171, 	100 40 283 167 188 196 201 248 198 63 131 283 61 61 213 213
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 I-TTL-BL調光 I-TTL-BL調光 I-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ) M (画像サイズ) MF (マニュアルフォーカス)	 ト) 69, 61, 124, 198, 171, 164, 	100 40 69 283 167 188 196 201 248 198 63 131 283 61 213 213 286
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 I-TTL-BL調光 I-TTL-BL調光 I-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ) MF (マニュアルフォーカス)53,59, MOV NEF NORMAL NTSC PAL PictBridge (ピクトブリッジ) PINコード	 ト) 69, 61, 124, 198, 171, 1164, 	100 40 283 167 188 196 201 248 198 63 131 283 61 213 213 286 177
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 i-TTL-BL調光 i-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ) M (画像サイズ) MF (マニュアルフォーカス)53,59, MOV NEF NORMAL NTSC PAL PictBridge (ピクトブリッジ) PINコード PRE (プリセットマニュアル)	 ト) 69, 61, 61, 124, 198, 171, 164, 105, 	100 40 69 283 167 188 196 201 248 198 63 131 283 61 213 213 286 177 108
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 i-TTL-BL調光 i-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ) M (画像サイズ) MF (マニュアルフォーカス)53,59, MOV NEF NORMAL NTSC PAL PictBridge (ピクトブリッジ) PINコード PRE (プリセットマニュアル) RAW	 h) 69, 61, 171, 164, 105, 61, 	100 40 283 167 188 196 201 248 198 63 131 283 61 213 213 213 286 177 108 225
HDR (ハイダイナミックレンジ) HDRペインティング (スペシャルエフェク Hi (感度) H.264 INDEXブリント ISO感度 ISO感度表示 i-TTL-BL調光 i-TTL調光 JPEG L (画像サイズ) M (画像サイズ) M (画像サイズ) M (画像サイズ) MF (マニュアルフォーカス)53,59, MOV NEF NORMAL NTSC PAL PictBridge (ピクトブリッジ) PINコード PRE (プリセットマニュアル) RAW RAW記録	ト) 69, 61, 124, 198, 171, 164, 61,	100 40 69 283 167 188 196 201 248 198 63 131 283 61 213 213 286 177 108 225 186

RGBヒストグラム表示	143, 183
S (画像サイズ)	63
SDカード	206, 254
sRGB (色空間)	
SSID	178
USBケーブル	161, 164
ViewNX 2	159, 161, 212, 213
WBブラケティング(オートブ	ラケティングのセッ
ト)	112
Wi-Fi (無線LAN) 機能	xviii, 174
Wireless Mobile Utility	174, 175
WPS	175, 176, 177
WPSプッシュボタン接続	

ア

アイピース	
青強調 (フィルター効果)	
アオリ効果	
赤強調(フィルター効果)	
赤目軽減発光(フラッシュモード)	65,67
赤目補正	
明るさ (ピクチャーコントロール)	118
アクセサリーターミナル	14, 252
アクセサリー (使用できるアクセサリー)	
アクティブD-ライティング	
アクティブD-ライティングブラケティング	112
後幕発光 (フラッシュモード)	
位置情報xvii,	76, 147
位置情報記録	
位置情報表示	147
イメージセンサークリーニング	257
イメージダストオフ	209
色合い(色相)(ピクチャーコントロール)	118
色温度	106
色空間	187
色の濃さ(彩度)(ピクチャーコントロール)	118
印刷 (プリント)	164
インジケーター表示の+/-方向	204
インターバルタイマー撮影	
インデックスプリント	167
インフォ画面6,2	06, 209
ウォームトーン (フィルター効果)	221
衛星による日時合わせ	82
液晶モニター5,6,1	23, 206
液晶モニターを回転する	5
オート (撮影モード)	
オートエリアAF	55

オートフォーカス	53
オートブラケティング	
オートブラケティングのセット	112, 202
オートモード	3, 19
オート (ホワイトバランス)	105
おまかせシーン	25
音量	137

カ

カードなし時レリーズ	
カードの初期化(フォーマット)	
外部マイク	132, 253
画角	242
拡大表示	
画質モード	61
カスタムピクチャーコントロール	
カスタムメニュー	
カスタムメニューのリセット	
風切り音低減	
画像合成	
画像コメント	213
画像サイズ	63
画像情報	142, 183
画像ファイル	
画像編集メニュー	216
傾き補正	
カメラ内部を自動で掃除する	
カラーカスタマイズ	
カラースケッチ	230
カラースケッチ (スペシャルエフェクト)…	38, 41
カレンダー表示	
簡単レタッチ	
感度自動制御	
魚眼効果	
距離基準マーク	60
記録可能コマ数	
記録フォルダー設定	
クイック調整 (ピクチャーコントロール)…	118
クール (モノトーン)	
クラシックデザイン	206, 208
グラフィックデザイン	6, 206
クリーニングミラーアップ	
クリエイティブライティングシステム	
クロススクリーン (フィルター効果)	
蛍光灯 (ホワイトバランス)	
言語 (Language)	211
現在地の設定(地域と日時)	211

高感度ノイズ低減	
格子線表示	128, 196
コマ送り	137
コマンドダイヤル回転方向の変更	204
コンティニュアスAFサーボ	. 53, 192
コントラスト (ピクチャーコントロール)	118

サ

最近設定した項目	237
サイズ	63, 219
再生	141
再生画面設定	183
再生フォルダー設定	183
再生メニュー	182
先幕発光(フラッシュモード)	
削除	
撮影画面サイズ	242
撮影情報	
撮影直後の画像確認	
撮影メニュー	
撮影メニューのリセット	
撮影モードダイヤル	
撮像素子前面をブロアーで掃除する	
サマータイム (夏時間)	211
サムネイル	
シーンモード	3, 30
自動発光 (フラッシュモード)	
自動ゆがみ補正	186
視度調節	14, 252
	89, 90
※ 1000000000000000000000000000000000000	
シャッタースピード	88, 90
シャッターボタン	21.23
シャッター優先オート	
常時AFサーボ	
焦点距離	
初期化 (フォーマット)	16, 206
初期設定一覧	191,205
シルエット (スペシャルエフェクト)	
白黒 (モノトーン)	
シングルAFサーボ	53, 124
シングルポイントAF	
シンクロターミナル	
推奨SDカード	
スカイライト (フィルター効果)	
スタンダード(ピクチャーコントロール)	

スタンダードi-TTL調光	201, 248
ステレオマイクロホン13	32, 135, 253
スピーカー	2
スピードライト	247
スペシャルエフェクトモード	
スポット測光 (測光モード)	
スマートデバイス	175
スライドショー	157
スローシャッター (フラッシュモード)	65, 67
静音撮影	47, 50
制御上限感度(感度自動制御)	
晴天 (ホワイトバランス)	105
晴天日陰(ホワイトバランス)	105
接眼補助レンズ	252
接眼目当て	51
接続設定のリセット	179
セットアップメニュー	205
セピア (モノトーン)	220
セルフタイマー	. 47, 51, 195
セルフポートレート撮影	5
セレクトカラー	233
セレクトカラー(スペシャルエフェクト))39, 45
全押し (シャッターボタン)	23
全画像削除	155
選択画像削除	
測光モード	
外付けフラッシュ発光	201
ソフト (フィルター効果)	221

タ

ダイナミックAF	
タイマー	51, 70, 194
タイム撮影 (長時間露出)	91, 92
ダイレクトプリント	164
多重露出	
縦位置自動回転	
縦横位置情報の記録	212
誕生日カウンター	
地域と日時	211
チャージャー	11, 251
着脱指標	. 12, 287, 292, 296
中央部重点測光 (測光モード)	
調光範囲	
調光補正	
調色 (ピクチャーコントロール)	
長秒時ノイズ低減	
通常発光オート(フラッシュモー	ド)65

ツーボタンリセット 74
低速限界設定(感度自動制御) 188
デート写し込み設定 199
チェージョン ション ション ション ション ション ション ション ション ション シ
デデモード 201
フレビード
電球 (ホワイトハフノス)105
電子音設定196
トイカメラ風(スペシャルエフェクト)
動画
動画撮影ボタン27,132
動画の設定135
動画の編集138
動画のマニュアル設定136
統合表示146
登録項目の削除 (マイメニュー)239
登録項目の順序変更(マイメニュー)240
時計用電池18
トリミング219
曇天 (ホワイトバランス)105

ナ

内蔵AF補助光の照射設定	192
内蔵フラッシュ	64
内蔵フラッシュ発光	201
ナイトビジョン(スペシャルエフェクト)	37
夏時間の設定(地域と日時)	211
ニコンクリエイティブライティングシステム	247
日時の設定(地域と日時)	211
ニュートラル (ピクチャーコントロール)	116
認証マークの表示	215
塗り絵	230
ノイズ低減1	87, 188

Л

ハイアングル撮影	5
ハイキー (スペシャルエフェクト)	
ハイダイナミックレンジ	
ハイビジョンテレビと接続する	172
ハイライト表示	143, 183
発光禁止 (フラッシュモード)	65
発光禁止オート(撮影モード)	
バッテリー	11, 251
バルブ(長時間露出)撮影	91
パワーオフ時間	194
パワーコネクター	251, 255
範囲指定 (PictBridge)	

半押し (シャッターボタン)	21, 23
半押しAEロック	194
半押しタイマー	23, 82, 194
非CPUレンズ	246
ピクチャーコントロール	116
ヒストグラム表示	143, 144, 183
日付選択 (PictBridge)	167
日付と時刻を設定する	
日付の表示順(地域と日時)	211
日付プリント (PictBridge)	166
ビデオ出力	213
ビビッド(ピクチャーコントロール)	116
標準表示	142
ピント表示	21, 59
ファームウェアバージョン	215
ファインダー(視度調節)	14, 252
ファインダー内格子線表示	196
ファンクションボタン	202
フィルター効果	118, 221
風景 (ピクチャーコントロール)	116
フォーカスエイド	59
フォーカスエイドインジケーター	193
フォーカスポイント	.21, 24, 57, 126
	C7
フォーカスホイントを選い	
フォーカスホイントを選ぶ フォーカスモード	57 53, 59, 124
フォーカスホイントを選い フォーカスモード フォーカスモード切り換えスイッチ	53, 59, 124 59
フォーカスホイントを選い フォーカスモード フォーカスモード切り換えスイッチ フォーカスリング	53, 59, 124 59, 297, 292, 296
フォーカスホイフトを選い フォーカスモード フォーカスモード切り換えスイッチ フォーカスリング	53, 59, 124 53, 29, 124 59 9, 287, 292, 296 57
フォーカスホイントを選い フォーカスモード フォーカスモード切り換えスイッチ フォーカスリング	
フォーカスホイントを選い フォーカスモード フォーカスモード切り換えスイッチ フォーカスリング59 フォーカスロック フォーマット(カードの初期化) フチ設定(PictBridge)	
フォーカスホイフトを選い フォーカスモード フォーカスモード切り換えスイッチ フォーカスリング	
フォーカスホイフトを選い フォーカスモード	
フォーカスボイントを選い フォーカスモード フォーカスモード切り換えスイッチ フォーカスリング フォーカスロック フォーマット(カードの初期化) ブチ設定(PictBridge) ブラケティング プラスRAW記録 フラッシュ	
フォーカスボイントを選い フォーカスモード フォーカスモード切り換えスイッチ フォーカスリング フォーカスロック フォーマット(カードの初期化) ブチ設定(PictBridge) ブラケティング プラスRAW記録 フラッシュ フラッシュ調光補正	
フォーカスホイフトを選い フォーカスモード フォーカスモード切り換えスイッチ フォーカスリング	
フォーカスボイントを選い	
フォーカスボイントを選い	
フォーカスモード	57 59 59 59 57 57 57 57 57 16 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57 57
フォーカスモード	57 53, 59, 124 59 0, 287, 292, 296
フォーカスボイントを選い	
フォーカスモード	
フォーカスモード	
フォーカスモード	
フォーカスモード	57 53, 59, 124 59 9, 287, 292, 296 57 16, 206 112, 202 202
フォーカスモード	57 53, 59, 124 59 2, 287, 292, 296 57 16, 206 112, 202
フォーカスモード	57 53, 59, 124 59 2, 287, 292, 296 57 16, 206 112, 202 202
フォーカスモード	

編集前後の画像表示	235
ポートレート(ピクチャーコントロール)	116
ボディーキャップ	1, 251
ホワイトバランス	
ホワイトバランスの微調整	107
ホワイトバランスブラケティング(WBブラ	ラケティン
グ)	112

<u>र</u>
マイク132, 135, 253
枚数指定(PictBridge)166
マイメニュー
マイメニュー登録(マイメニュー)238
マニュアル (露出)90
マニュアル発光モード(内蔵フラッシュ発光)201
マニュアルフォーカス53, 59, 124, 131
マルチセレクター2,9
マルチパターン測光(測光モード)
マルチプログラムオート87
緑強調(フィルター効果)221
ミニチュア効果232
ミニチュア効果(スペシャルエフェクト)38,43
ミラー1,259
メモリーカード254
モノクローム(ピクチャーコントロール)116
モノトーン220

ヤ

ゆがみ補正	229
用紙設定 (PictBridge)	166
予測駆動フォーカス	54

ラ

ライブビュー	24, 123, 132
ライブビュースイッチ2	4, 27, 123, 132
リセット	74, 185, 191
リモート	214
リモートコード	92, 214, 252
リモート操作	214
リモコン	72, 195, 253
リモコン受光部	72
リモコン待機時間	195
輪郭強調(ピクチャーコントロール)	118
レーティング	152
レディーライト	4, 23, 249
レリーズモード	47

レンズ	241
レンズマウント	
連続撮影	47, 48
連続撮影可能コマ数	
連番モード	
ローアングル撮影	5
ローキー (スペシャルエフェクト)	
録音設定	
ログ取得	
ログリスト	
露出インジケーター	90, 204
露出設定ステップ幅	
露出ディレーモード	
露出補正	

ワ

ワイヤレスリモートコントローラー73, 214, 253

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報 拠点です。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンブラザショールーム ナビダイヤル
 0570-02-8080
 ニコンブラザサービスセンター ナビダイヤル
 0570-02-8060

- 音声ガイダンスにしたがってご利用ください。
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター(03)6702-0577 に おかけください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記URLをご覧ください。 http://www.nikon-image.com/support/showroom/



修理サービスのご案内

■インターネットでのお申込み

ニコンイメージングジャパン修理センターで承ります。 下記のホームページからお申込みいただけます。



http://www.nikon-image.com/support/repair/

•ニコン ピックアップサービスで発送する場合

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者 (ヤマト運輸)が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります(大きさや重さには制 限があり、取り扱いできない製品もあります)。

•ご自身で発送する場合

インターネットでお申込みいただいた後、お客様ご自身で修理品を梱包し、修理センターまで発送して ください。

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26 修理センターナビダイヤル 0570-02-8200

※修理センターでは、宅配便、郵送をお受けします。ご来所の方の受付はしておりません。

■お電話でのお申込み

お電話でのお申込みの場合は、ニコンピックアップサービスをご利用いただけます。

📩 ニコン ピックアップサービス専用 フリーダイヤル(ヤマト運輸にて承ります)

0120-02-8155

営業時間:9:00~18:00 (年末年始 12/29~1/4 を除く毎日)

※上記フリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。修理内容に関するお問い合わせにはお答えできません。修理内容に関するお問い合わせは修理センターへお願いします。

■サービスセンターでのお手続き

ニコンプラザのサービスセンター窓口でお見積り・受付をいたします。

🔽 修理品をお預けいただく場合のご注意

- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けく ださい。
- 修理に必要と思われるもの以外の付属品は、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データをやむを得ず消去する場合があります。大切な データは必ずバックアップをお取りください。

補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品(機能維持に必要な部品)の保有期間内(製造打ち切り後7年を目安)を、修理可能期間 とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、ニコンサービ ス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故 障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程 度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

修理に関するお問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

修理センター ナビダイヤル 0570-02-8200

営業時間:9:30~18:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター(03)6702-0577 に おかけください。

製品の使い方に関するお問い合わせ先

■インターネットでのお問い合わせ

http://www.nikon-image.com/support/contact/

■お電話でのお問い合わせ

お電話でお問い合わせいただく前に本説明書の「困ったときは」をご参照ください。

ニコンカスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

営業時間:9:30~18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター(03)6702-0577 に おかけください。
- •ファクシミリは、(03) 5977-7499 にお送りください。

お問い合わせ時のお願い

おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、
 「現象(表示されたメッセージ)」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

🚥 ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内 🛚

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。 ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重要なお知らせなどをメールでご案内いたします。

■製品登録方法

製品は、「ニコンイメージング会員」(無料)の「製品登録」ページからご登録いただけます。 ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホームページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内

http://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

■ニコンイメージング会員とは

登録製品に関するサポート情報・ニコン製品情報や、お得で便利な会員特典※などフォトライフ をよりお楽しみいただくための会員サービスです。 ※特典は登録製品ごとに異なります。



■ご注意

- ・ご登録にはメールアドレスとインターネットに接続できる環境が必要です。
- ・登録製品の製品番号(製品本体および保証書に記載)が必要です。
- ・特典の内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

━━━ ニコンイメージングサポートページのご案内 |

http://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。 製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。



